

第2章 都道府県別にみる商業

第2章では、都道府県別に業種別事業所(商店)数・就業者数・年間商品販売額、上位区市町村順事業所(商店)数・年間商品販売額、立地別の商店数(小売)、卸売・小売別の販売上位品目をみます。

本文の「3. 立地別にみる商店(小売業)」については第3章第3部で全国の特徴をみますが、ここでは都道府県別の特徴をみています。なお、主に使われている用語の定義(詳しくは利用上の注意別表を参照してください)は以下のとおりです。

商業集積地区	地方自治体が商店が集まるよう指定した地域で、小売店、飲食店及びサービス業を営む事業所(商店)が30店舗以上ある商店街をいいます。
駅周辺型	JRや私鉄(地下鉄を除く)などの駅周辺に立地する商業集積地区をいいます。
市街地型	駅周辺を除く都市の中心部にある繁華街やオフィス街に立地する商業集積地区をいいます。
住宅地背景型	住宅地又は住宅団地を後背地として、主にそれらに居住する人々が消費者である商業集積地区をいいます。
ロードサイド型	国道あるいはこれに準ずる主要道路の沿線を中心に立地している商業集積地区をいいます。
その他	商業集積地区のうち上記のもの以外をいい、観光地や神社・仏閣周辺などにある商店街も含まれます。
オフィス街地区	商業地域及び近隣商業地域であって、商業集積地区の対象とならない地区をいいます。

この章で、各都道府県別の卸売・小売のそれぞれの上位品目を紹介しています。その品目の中に、「他の〇〇」という品目（商品分類）がでてきますが、わかりにくいので、あらかじめ、どのようなものか示しておきます。

【卸売】

他の農畜産物・水産物	皮・毛皮、家畜・鶏、卵、はちみつなどです。
他の食料・飲料	調味料、カレー粉、ソーセージ、納豆・豆腐、練り物（おでんの材料）、食塩、食用油、うどん・そば・ラーメンなどのめん類、冷凍食品、レトルト食品、サプリメントなどです。
他の建築材料	かわら、タイル、コンクリートブロック、砂・砂利生コン、シャッター・サッシ、衛生用陶磁器（トイレの便器など）などです。
他の化学製品	火薬、硫酸・塩酸、接着剤、農薬、殺虫剤、プラスチック素材、筆記用インク、合成ゴム、界面活性剤などです。
他の一般機械器具	理髪・理容機械、クレーン、自動販売機、消化器、石油コンロ・ストーブ、ガスファヒーター、工具類などです。

【小売】

他の飲食料品	うどん・そば・ラーメンなどのめん類、バターやチーズなどの乳製品、レトルト食品、冷凍食品、健康食品、サプリメント、調味料、缶詰・瓶詰食品などです。
--------	--

なお、どの商品分類にも分類されない「その他」は卸売、小売とも上位から除いています。

また、小売の上位品目は、百貨店・総合スーパーでの販売を除いて計算しています。百貨店・総合スーパーは、別の分類で調査をしているためです。

北海道

- 農畜水産物、食料・飲料の卸売年間商品販売額が
大きい北海道 -

北海道の卸売年間商品販売額をみると、農畜・水産物の加工が盛んなことから、農畜産物・水産物卸売業、食料・飲料卸売業の全国順位が高くなっています。

事業所数は、北海道の卸売業の40.6%、小売商店の24.2%、年間商品販売額では卸売業の57.2%、小売業の34.7%が札幌に集中しています。

また、寒冷地であることから燃料小売業の販売額も多くなっています。

業種別に全国順位をみると、農耕用品小売業、燃料小売業の全国順位が事業所数、就業者数、年間商品販売額ともに1位となっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

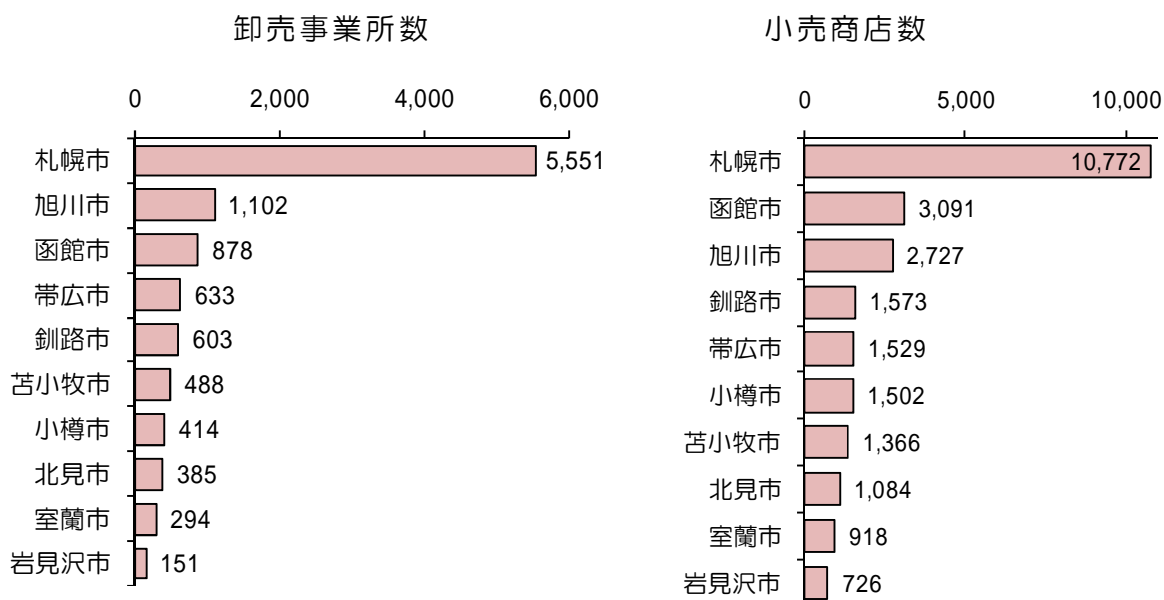
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
北海道計	58,236	7	488,933	6	17,819,365	6
卸売業計	13,687	5	129,829	6	11,662,826	6
各種商品卸売業	63	3	610	5	193,646	6
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	62	14	317	16	10,722	19
衣服・身の回り品卸売業	527	8	5,029	8	143,985	10
農畜産物・水産物卸売業	1,910	4	22,014	4	2,856,101	3
食料・飲料卸売業	1,533	5	17,064	6	1,458,333	5
建築材料卸売業	1,714	6	14,640	4	1,243,523	4
化学製品卸売業	534	5	3,724	8	288,841	9
鉱物・金属材料卸売業	636	6	6,080	6	1,544,474	6
再生資源卸売業	354	7	2,172	10	58,600	14
一般機械器具卸売業	1,335	5	11,794	6	673,218	9
自動車卸売業	875	5	8,484	5	340,553	12
電気機械器具卸売業	726	6	7,800	6	685,773	9
その他の機械器具卸売業	488	6	4,471	7	295,768	7
家具・建具・じゅう器等卸売業	402	11	2,842	9	131,831	11
医薬品・化粧品等卸売業	819	5	8,885	5	814,560	7
他に分類されない卸売業	1,709	6	13,903	7	922,897	6
小売業計	44,549	8	359,104	6	6,156,539	6
各種商品小売業	183	10	35,041	8	621,945	9
織物・衣服・身の回り品小売業	6,100	7	27,457	9	349,934	10
飲食料品小売業	14,683	8	139,391	6	1,876,298	6
自動車・自転車小売業	3,157	9	23,955	6	625,950	7
家具・じゅう器・機械器具小売業	3,618	8	17,591	9	406,985	9
その他の小売業	16,808	6	115,669	5	2,275,426	3
医薬品・化粧品小売業	3,474	8	20,097	9	407,554	6
農耕用品小売業	763	1	5,085	1	318,643	1
燃料小売業	3,553	1	21,312	1	896,374	1
書籍・文房具小売業	2,053	6	35,580	4	188,980	6
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,102	9	6,241	9	98,451	9
写真機・写真材料小売業	123	7	403	12	3,573	13
時計・眼鏡・光学機械小売業	923	5	3,357	5	36,503	9
他に分類されない小売業	4,817	8	23,594	9	325,349	9

2. 市町村別の状況

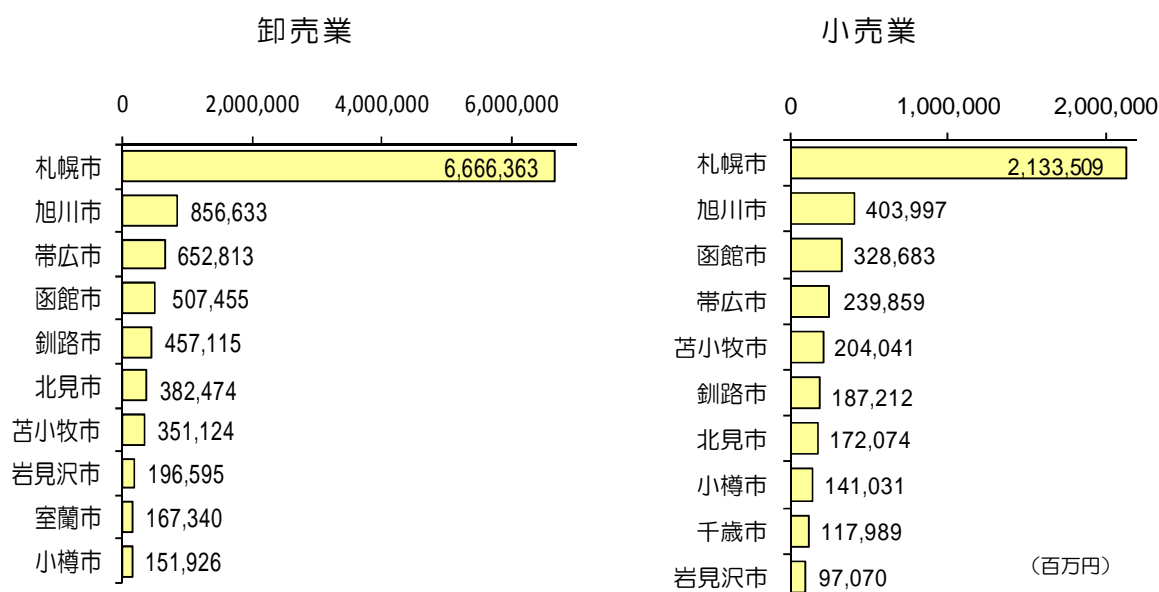
北海道の事業所数をみると、卸売業の40.6%を札幌市が占めています。小売商店では24.2%を札幌市が占め、次いで、函館市、旭川市、釧路市、帯広市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は札幌市が北海道の57.2%を占め、次いで、旭川市、帯広市、函館市、釧路市の順となっています。小売業も北海道の34.7%を札幌市が占め、次いで、旭川市、函館市、帯広市、苫小牧市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

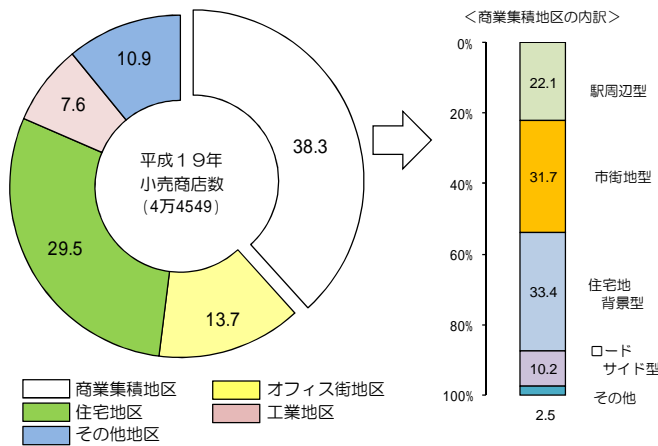


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が38.3%、次いで、住宅地区が29.5%の順となっています。商業集積地区の内訳の割合では住宅地背景型の割合が高くなっています。また、ロードサイド型の商店数はアウトレットモールが開業したことなどから伸びています。

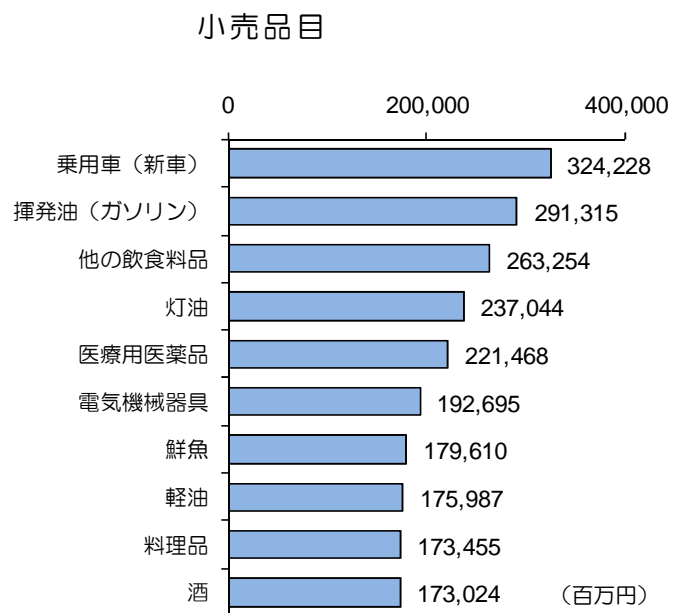
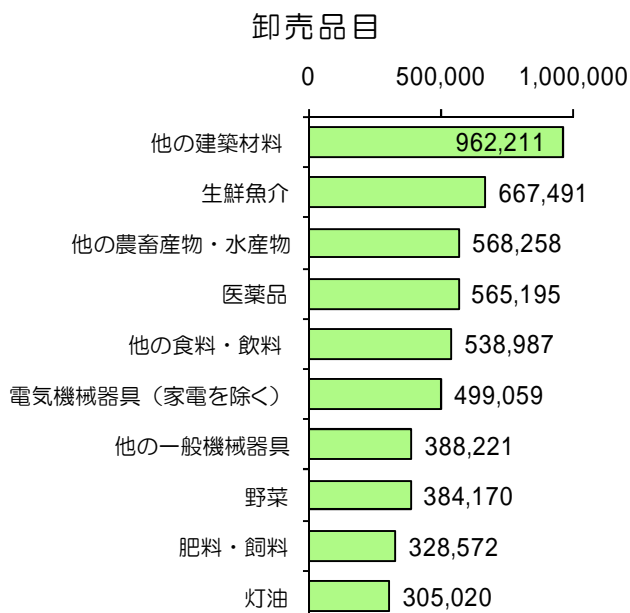


	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	44,549	12.7
商業集積地区	17,066	15.4
駅周辺型	3,770	18.5
市街地型	5,414	15.7
住宅地背景型	5,706	12.8
ロードサイド型	1,744	0.5
その他	432	48.8
オフィス街地区	6,107	0.1
住宅地区	13,155	18.0
工業地区	3,374	3.5
その他地区	4,847	10.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売では「他の建築材料」のほか、「生鮮魚介」、「他の農畜産物・水産物」、「野菜」など農畜水産物関連が上位に入っています。小売では寒冷地であることから「灯油」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



青森県

- 青森市、八戸市、弘前市の3市で青森県の年間商品販売額の卸売業の8割、小売業の6割を占める -

青森県の事業所数、年間商品販売額は、卸売業、小売業とも一つの市に集中しておらず、青森市、八戸市、弘前市の3市に分散しています。年間商品販売額ではこの3市で卸売業の80.4%、小売業では60.9%を占めています。

小売業の立地をみると、商業集積地区の割合が36.9%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では、住宅地背景型の割合が最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、生鮮魚介、果実、野菜、酒類などが上位に入っています。小売販売品目では酒、灯油、料理品、鮮魚などが上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

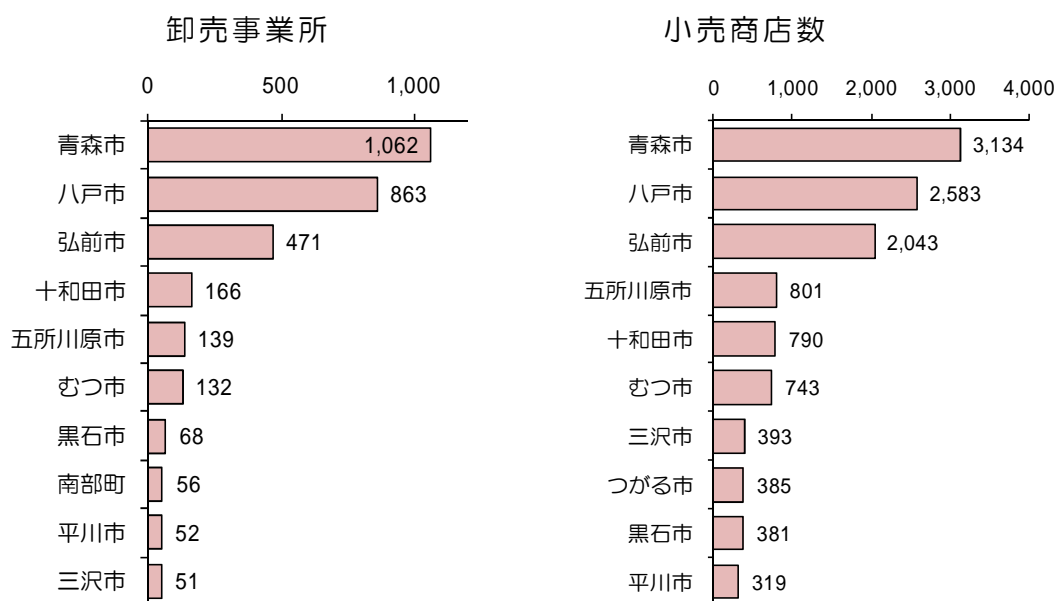
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
青森県計	18,672	28	122,730	28	3,310,311	29	
業種別	卸売業計	3,517	29	32,175	27	1,870,352	30
	各種商品卸売業	7	41	93	37	14,915	15
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	9	35	48	36	964	39
	衣服・身の回り品卸売業	81	35	561	34	13,765	36
	農畜産物・水産物卸売業	683	20	8,252	15	471,335	18
	食料・飲料卸売業	539	26	5,437	27	304,951	29
	建築材料卸売業	462	29	3,879	24	214,698	26
	化学製品卸売業	97	35	740	35	37,931	37
	鉱物・金属材料卸売業	145	31	1,350	30	167,596	28
	再生資源卸売業	87	29	655	30	17,298	31
	一般機械器具卸売業	296	30	2,145	32	98,363	33
	自動車卸売業	198	31	1,794	31	60,561	34
	電気機械器具卸売業	171	29	1,409	35	93,065	34
	その他の機械器具卸売業	91	35	751	35	37,154	35
	家具・建具・じゅう器等卸売業	128	35	720	37	28,412	30
	医薬品・化粧品等卸売業	191	31	1,909	30	156,816	28
	他に分類されない卸売業	332	37	2,432	35	152,528	28
	小売業計	15,155	28	90,555	27	1,439,959	26
	各種商品小売業	42	38	5,078	33	99,455	32
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,942	29	6,996	27	89,870	29
	飲食料品小売業	5,643	26	35,916	28	468,457	25
	自動車・自転車小売業	1,046	30	6,690	29	169,184	27
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,217	32	5,457	29	102,923	31
	その他の小売業	5,265	28	30,418	25	510,069	25
	医薬品・化粧品小売業	1,086	28	5,756	25	98,384	25
	農耕用品小売業	359	17	1,525	21	32,589	21
	燃料小売業	1,126	23	6,223	24	218,685	23
	書籍・文房具小売業	511	32	7,660	26	40,593	29
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	346	30	1,512	33	22,143	33
	写真機・写真材料小売業	64	17	215	18	1,965	24
	時計・眼鏡・光学機械小売業	246	28	819	27	6,567	38
	他に分類されない小売業	1,527	31	6,708	25	89,142	24

2. 市町村別の状況

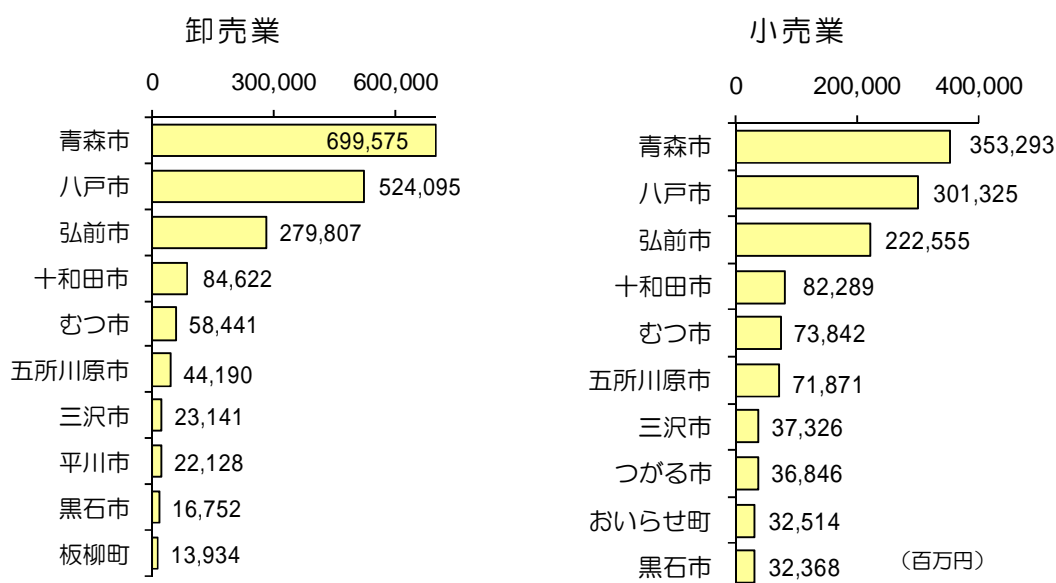
青森県の事業所数をみると、卸売事業所、小売商店ともに上位3市は、青森市、八戸市、弘前市の順となっており、この3市で卸売事業所の68.1%、小売事業所の51.2%を占めています。

年間商品販売額でも、卸売業、小売業ともに上位3市は青森市、八戸市、弘前市の順となっており、この3市で卸売業の80.4%、小売業の60.9%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

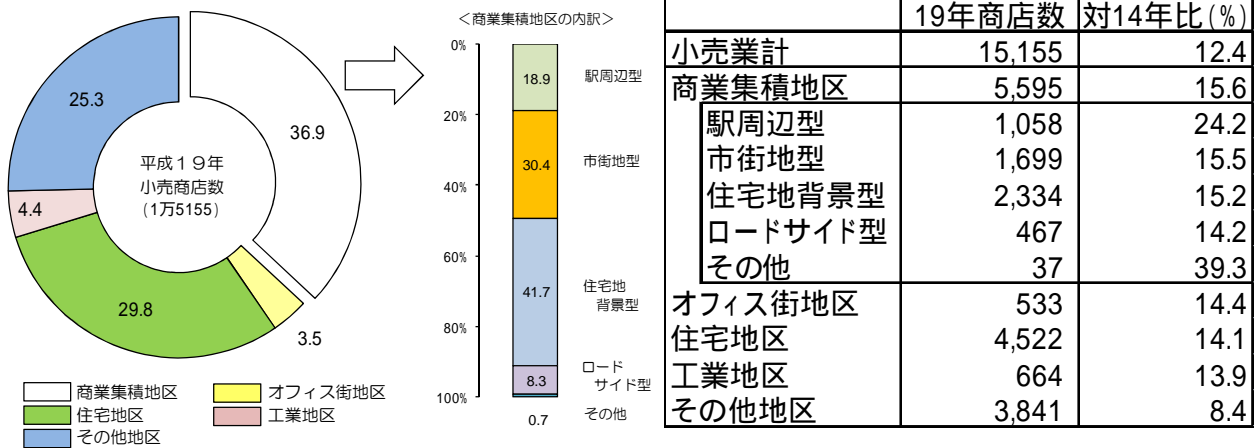


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.9%と最も高く、商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が41.7%と最も高くなっています。

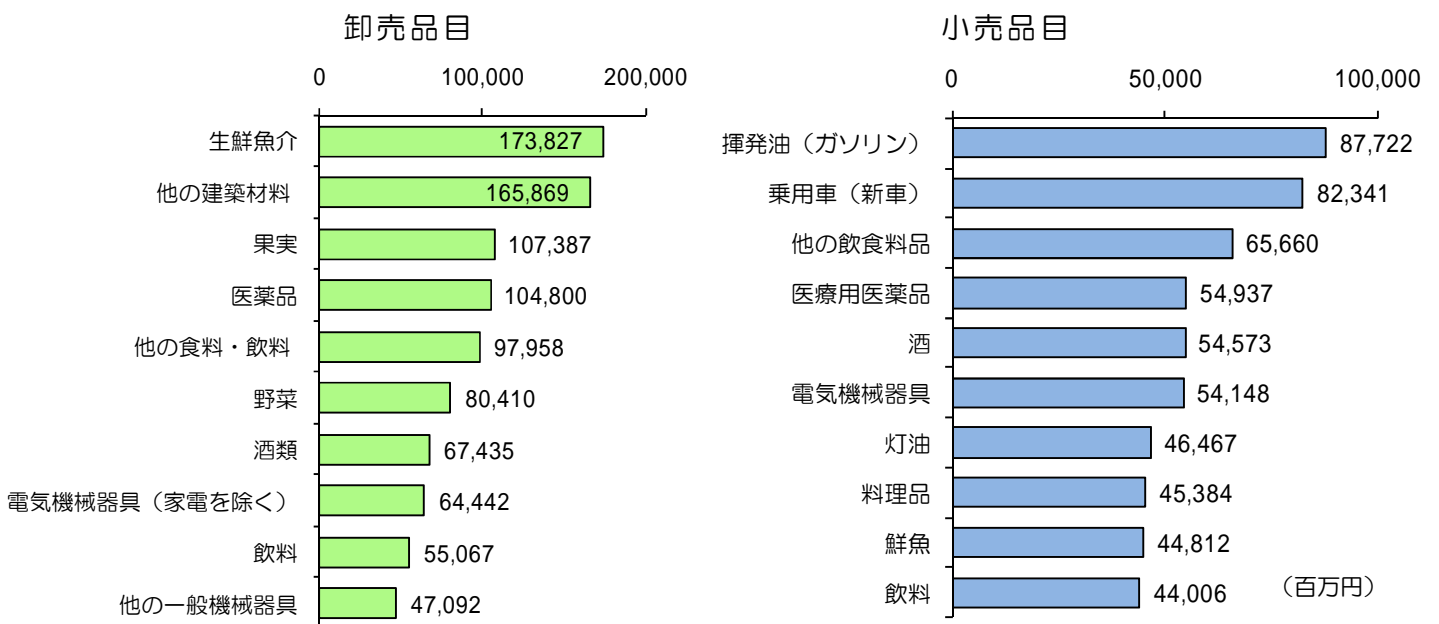


4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では、「生鮮魚介」が1位となったほか、「果実」、「野菜」、「酒類」などが上位に入っています。

小売品目では、「酒」、「灯油」、「料理品」、「鮮魚」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



岩手県

- 岩手県の卸売年間商品販売額の5割が盛岡市に集中 -

岩手県の事業所数をみると、卸売業の32.6%、小売業の19.4%が盛岡市に集中しています。年間商品販売額をみると、卸売業の50.7%、小売業の27.8%が盛岡市に集中しています。

小売業の立地をみると、商業集積地区の割合が39.3%、住宅地区の割合が22.1%となっています。また、大型ショッピングセンターが開業したことから、平成14年と比べると商業集積地区のうち、ロードサイド型の割合が伸びています。

卸売販売品目では、農畜水産物関連の販売額が多くなっています。

1. 事業所、就業者数、年間商品販売額(平成19年)

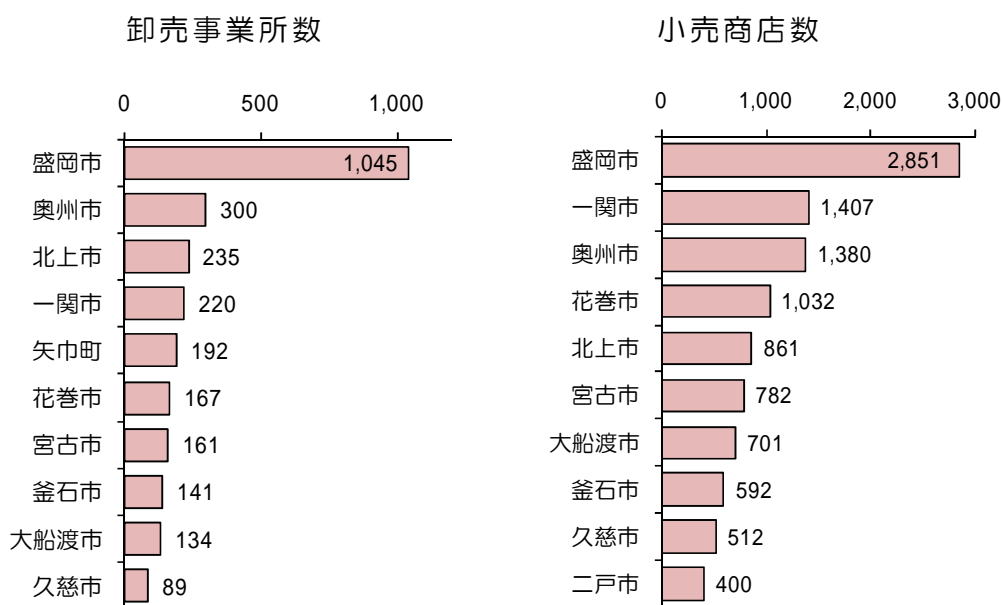
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
岩手県計	17,922	30	114,841	29	3,188,084	31
卸売業計	3,201	32	28,144	33	1,868,268	31
各種商品卸売業	14	28	161	25	8,898	23
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	7	42	36	41	872	41
衣服・身の回り品卸売業	72	39	689	30	21,132	28
農畜産物・水産物卸売業	379	35	3,781	35	381,360	25
食料・飲料卸売業	500	31	5,596	23	374,793	23
建築材料卸売業	431	31	3,211	31	225,316	25
化学製品卸売業	93	37	619	40	34,226	40
鉱物・金属材料卸売業	141	32	1,194	35	167,448	29
再生資源卸売業	74	34	518	39	10,816	39
一般機械器具卸売業	291	31	2,171	31	115,199	31
自動車卸売業	243	26	2,574	23	81,136	29
電気機械器具卸売業	167	30	1,516	31	99,757	33
その他の機械器具卸売業	107	28	966	30	54,384	27
家具・建具・じゅう器等卸売業	100	40	602	38	20,709	37
医薬品・化粧品等卸売業	197	30	1,689	35	128,259	33
他に分類されない卸売業	385	31	2,821	31	143,963	31
小売業計	14,721	30	86,697	30	1,319,816	31
各種商品小売業	43	36	5,414	31	79,463	35
織物・衣服・身の回り品小売業	1,918	30	6,727	31	77,896	34
飲食料品小売業	5,395	30	34,270	31	436,968	28
自動車・自転車小売業	1,082	29	6,434	31	142,553	34
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,226	30	4,583	35	66,116	41
その他の小売業	5,057	29	29,269	27	516,819	24
医薬品・化粧品小売業	1,036	29	5,380	29	97,742	26
農耕用品小売業	360	16	1,894	9	47,421	11
燃料小売業	1,038	25	6,122	25	220,698	22
書籍・文房具小売業	518	31	7,003	28	36,243	32
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	369	28	1,553	31	23,320	29
写真機・写真材料小売業	51	23	166	24	1,515	29
時計・眼鏡・光学機械小売業	245	29	787	29	6,924	34
他に分類されない小売業	1,440	35	6,364	28	82,956	29

2. 市町村別の状況

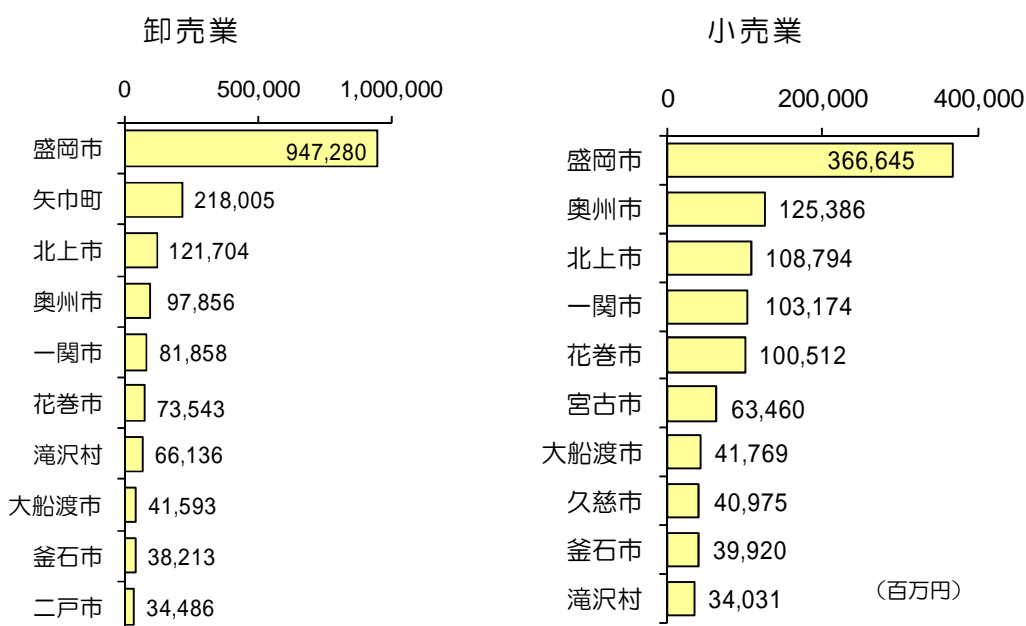
岩手県の事業所数をみると、卸売事業所の32.6%を盛岡市が占め、次いで、奥州市、北上市の順となっています。小売商店は盛岡市が19.4%を占め、次いで、一関市、奥州市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の50.7%を盛岡市が占め、次いで、矢巾町、北上市、奥州市の順となっています。小売業は27.8%を盛岡市が占め、次いで、奥州市、北上市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

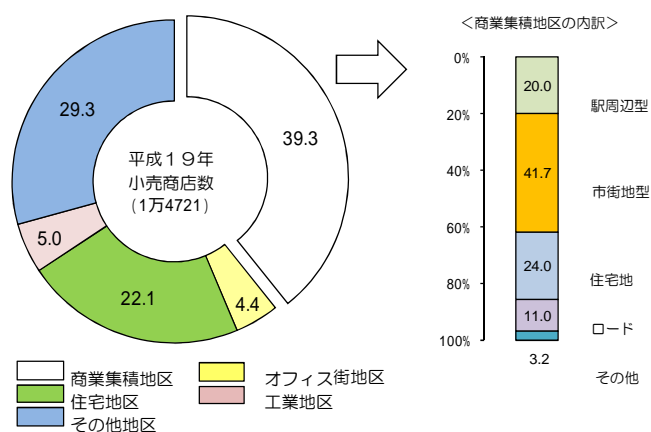


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区が39.3%となり、商業集積地区の内訳では市街地型が41.7%と最も割合が高くなっています。また、大型ショッピングセンターが開業したことからロードサイド型の割合が伸びています。

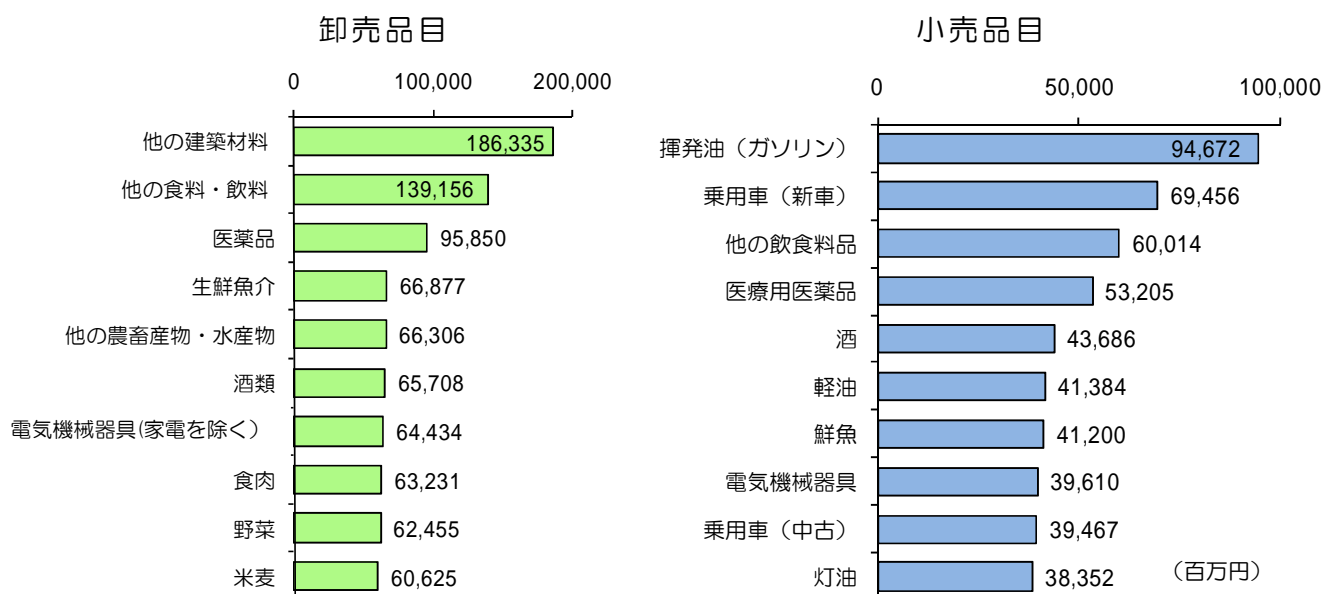


	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	14,721	12.4
商業集積地区	5,778	14.3
駅周辺型	1,156	16.0
市街地型	2,412	15.4
住宅地背景型	1,389	23.9
ロードサイド型	638	78.2
その他	183	44.9
オフィス街地区	655	6.0
住宅地区	3,251	13.9
工業地区	730	12.1
その他地区	4,307	14.0

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の食料・飲料」、「生鮮魚介」、「他の農畜産物・水産物」、「酒類」、「食肉」、「野菜」など農畜水産、食料関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



宮城県

- 宮城県の卸売年間商品販売額の9割は仙台市に集中 -

宮城県の年間商品販売額をみると、卸売業の85.8%、小売業の50.1%が仙台市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が40.5%と最も高く、商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型の割合が30%を超えて高くなっています。

卸売販売品目をみると、「電気機械器具(家電を除く)」が1位となったほか、「生鮮魚介」、「酒類」、「他の化学製品」などが上位に入っています。小売販売品目では、「婦人服」や「料理品」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

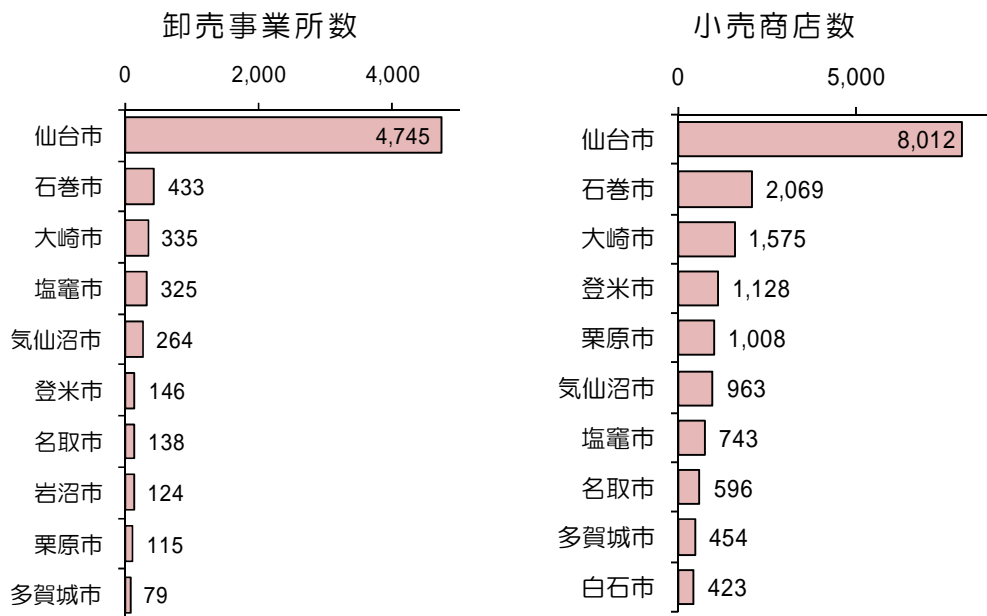
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
宮城県計	29,498	15	240,473	13	10,601,386	12
卸売業計	7,442	13	76,852	12	8,069,598	9
各種商品卸売業	33	11	330	9	299,783	5
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	29	26	103	29	4,595	26
衣服・身の回り品卸売業	202	16	2,315	14	71,974	15
農畜産物・水産物卸売業	975	11	10,378	11	887,132	10
食料・飲料卸売業	911	13	10,520	13	1,261,686	7
建築材料卸売業	814	14	6,761	13	632,549	9
化学製品卸売業	384	11	3,221	10	293,247	8
鉱物・金属材料卸売業	405	13	4,720	12	1,539,904	7
再生資源卸売業	190	15	1,662	12	58,207	15
一般機械器具卸売業	784	11	7,229	11	604,798	11
自動車卸売業	406	13	4,145	15	233,620	15
電気機械器具卸売業	590	8	7,377	8	813,219	8
その他の機械器具卸売業	348	10	3,729	8	279,369	8
家具・建具・じゅう器等卸売業	262	17	2,526	15	139,573	9
医薬品・化粧品等卸売業	357	13	4,824	11	401,013	12
他に分類されない卸売業	752	14	7,012	14	548,928	13
小売業計	22,056	15	163,621	14	2,531,787	15
各種商品小売業	96	16	11,311	14	186,944	15
織物・衣服・身の回り品小売業	3,049	16	15,138	13	204,257	13
飲食料品小売業	7,903	15	68,299	13	817,624	15
自動車・自転車小売業	1,598	19	11,380	16	310,358	16
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,843	18	9,383	15	208,541	15
その他の小売業	7,567	16	48,110	16	804,062	15
医薬品・化粧品小売業	1,635	14	8,892	14	165,685	14
農耕用品小売業	336	20	1,844	12	47,705	9
燃料小売業	1,405	15	8,530	16	289,959	17
書籍・文房具小売業	802	16	12,161	13	84,425	13
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	527	16	3,013	16	43,980	16
写真機・写真材料小売業	41	29	122	36	1,154	37
時計・眼鏡・光学機械小売業	380	16	1,423	14	14,454	17
他に分類されない小売業	2,441	17	12,125	16	156,700	19

2. 市町村別の状況

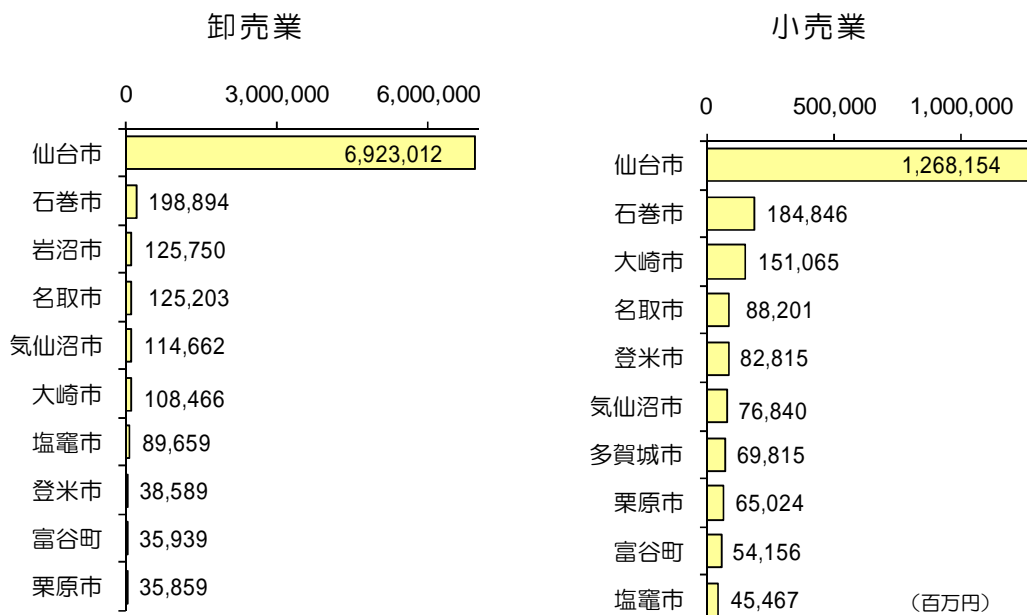
宮城県の事業所数をみると、卸売事業所の63.8%、小売商店の36.3%を仙台市が占め、卸売事業所、小売商店ともに次いで、石巻市、大崎市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の85.8%、小売業の50.1%を仙台市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

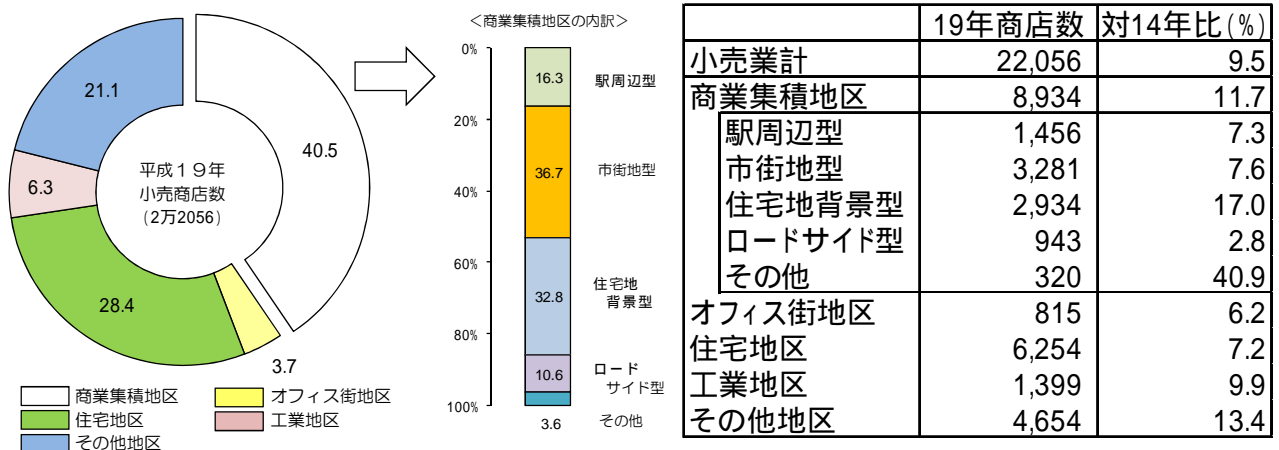


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

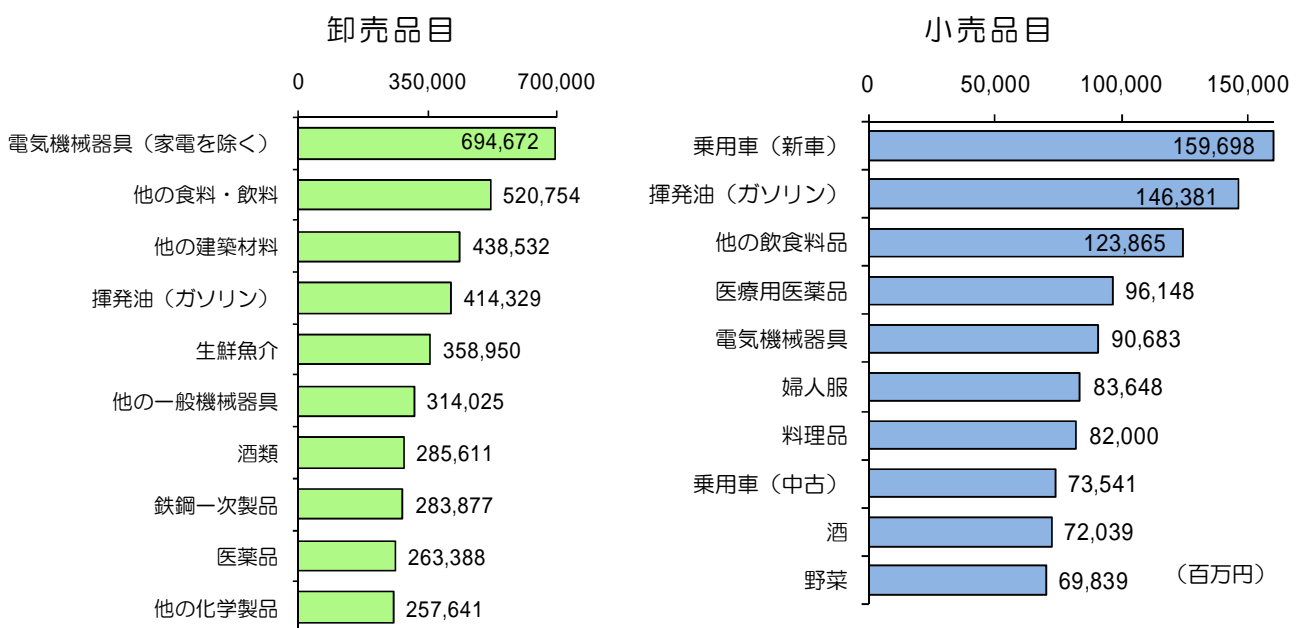
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が40.5%と高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型の割合が30%を超えています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」が1位となったほか、「鉄鋼一次製品」も上位に入っています。小売品目では「婦人服」や「料理品」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



秋田県

- 秋田県の卸売年間商品販売額の3分の2が秋田市に集中 -

秋田県の事業所数をみると卸売事業所の43.4%、小売商店の24.6%を秋田市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の66.0%、小売業の33.0%が秋田市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が33.3%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では、住宅地背景型の割合が36.5%と最も高くなっています。また、駅周辺型の割合も25.6%と高い割合となっています。

卸売販売品目をみると、「米麦」、「木材・竹材」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

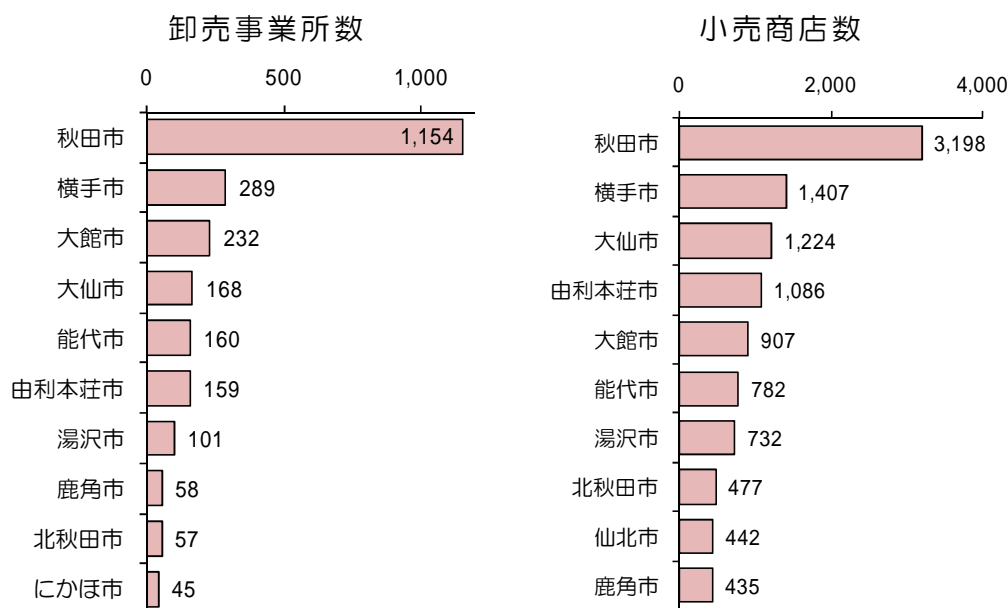
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
秋田県計	15,665	36	96,090	38	2,470,794	38	
卸売業計	2,656	38	21,310	38	1,330,364	37	
業種別	各種商品卸売業	19	20	229	17	14,192	17
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	47	37	1,233	37
	衣服・身の回り品卸売業	57	44	306	44	8,453	44
	農畜産物・水産物卸売業	359	37	3,749	36	314,380	33
	食料・飲料卸売業	383	38	3,237	37	181,244	35
	建築材料卸売業	423	32	2,924	32	173,669	32
	化学製品卸売業	86	39	622	39	37,881	38
	鉱物・金属材料卸売業	100	37	920	38	106,950	39
	再生資源卸売業	88	28	623	33	12,107	38
	一般機械器具卸売業	201	38	1,538	39	68,649	36
	自動車卸売業	176	32	1,636	33	59,565	35
	電気機械器具卸売業	145	37	1,107	36	69,811	40
	その他の機械器具卸売業	91	35	651	37	32,804	38
	家具・建具・じゅう器等卸売業	73	43	415	43	15,354	41
	医薬品・化粧品等卸売業	169	35	1,322	40	126,399	34
	他に分類されない卸売業	278	40	1,984	41	107,673	38
	小売業計	13,009	34	74,780	36	1,140,430	37
	各種商品小売業	43	36	4,536	34	72,802	39
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,603	36	5,783	36	74,505	35
	飲食料品小売業	4,938	32	29,416	36	369,748	37
自動車・自転車小売業	914	36	5,886	32	132,951	37	
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,121	38	3,790	41	63,885	43	
その他の小売業	4,390	35	25,369	31	426,539	30	
医薬品・化粧品小売業	869	35	4,561	33	85,422	30	
農耕用品小売業	369	15	1,806	15	41,670	16	
燃料小売業	904	28	4,937	31	167,483	31	
書籍・文房具小売業	457	37	6,366	33	30,633	37	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	253	40	1,110	44	17,388	39	
写真機・写真材料小売業	35	32	155	28	1,506	31	
時計・眼鏡・光学機械小売業	220	33	642	36	6,436	40	
他に分類されない小売業	1,283	40	5,792	38	75,999	33	

2. 市町村別の状況

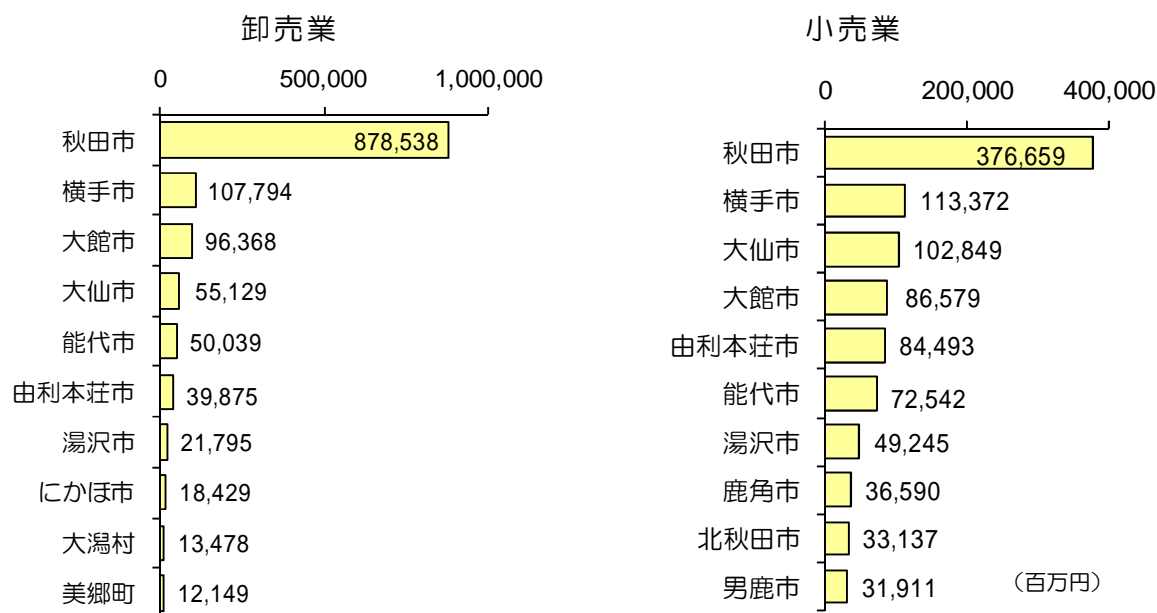
秋田県の事業所数をみると、卸売事業所の43.4%を秋田市が占めています。小売商店も秋田市が最も多く24.6%を占めており、次いで、横手市、大仙市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の66.0%、小売業の33.0%を秋田市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

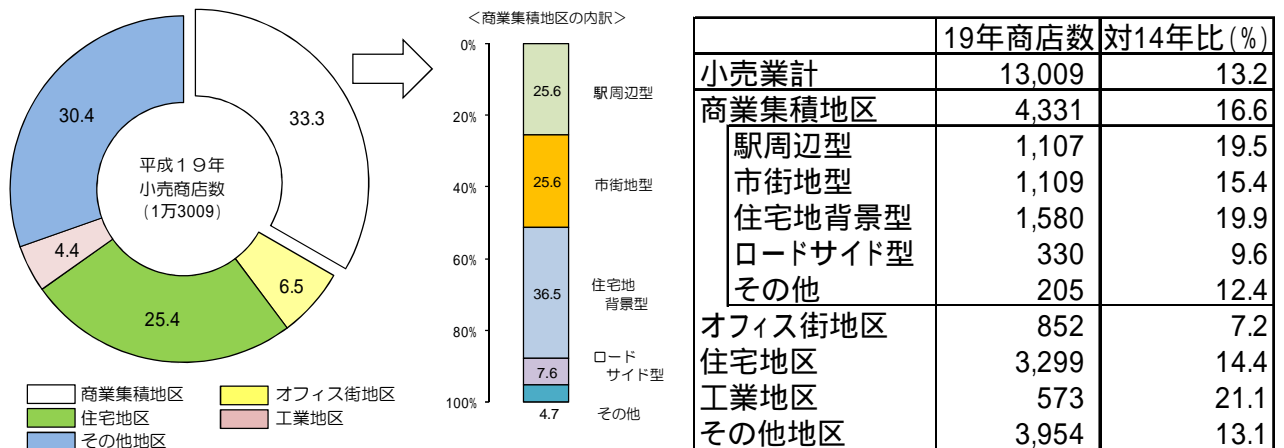


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

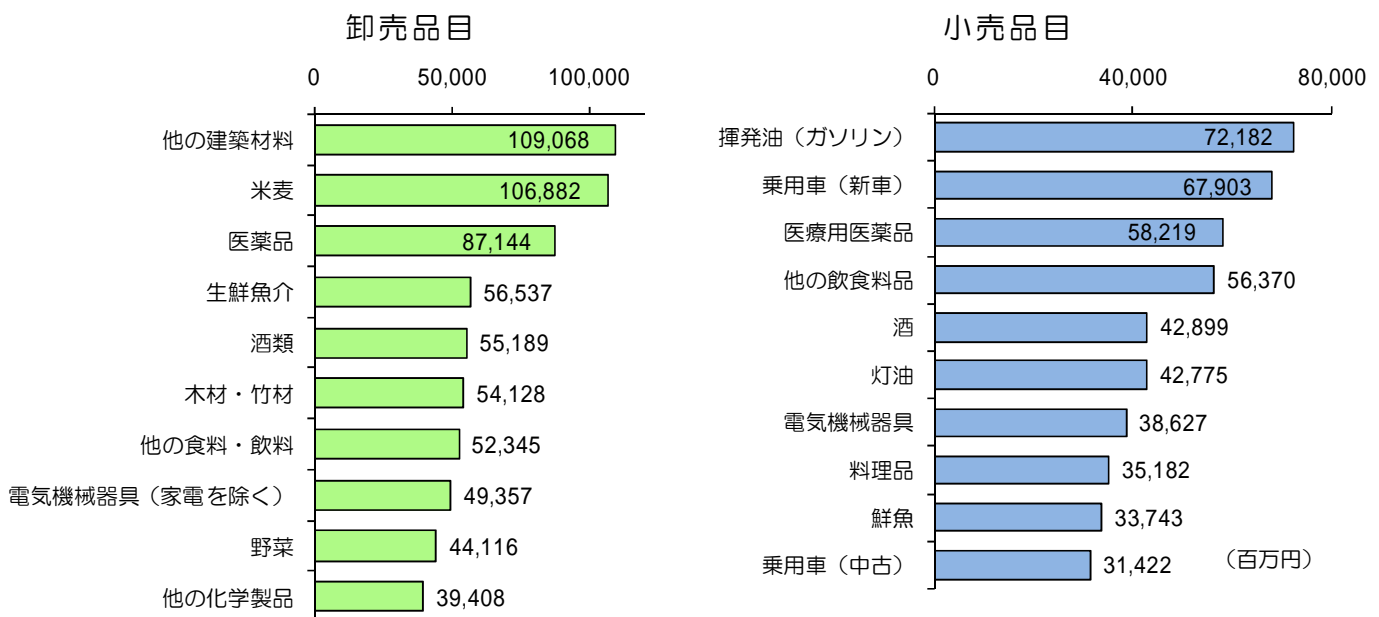
小売商店の立地をみると、商業集積地の割合が33.3%と最も高くなっています。商業集積地の内訳では住宅地背景型の割合が36.5%と最も高くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「米麦」、「生鮮魚介」、「酒類」、「野菜」などの農水産関連が上位に入っているほか、「木材・竹材」、「電気機械器具(家電を除く)」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



山形県

- 山形県の卸売年間商品販売額の5割が山形市に集中 -

山形県の事業所数をみると、卸売事業所の34.2%、小売商店の20.2%を山形市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の53.1%、小売業の26.3%を山形市が占めています。

小売商店の立地をみると、住宅地区、その他地区、商業集積地区のそれぞれが30%近くとなっており、立地に分散がみられます。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が38.9%と最も高くなっています。

卸売販売品目では、「米麦」、「果実」、「野菜」、「生鮮魚介」などの農水産物関連が上位に入っています。

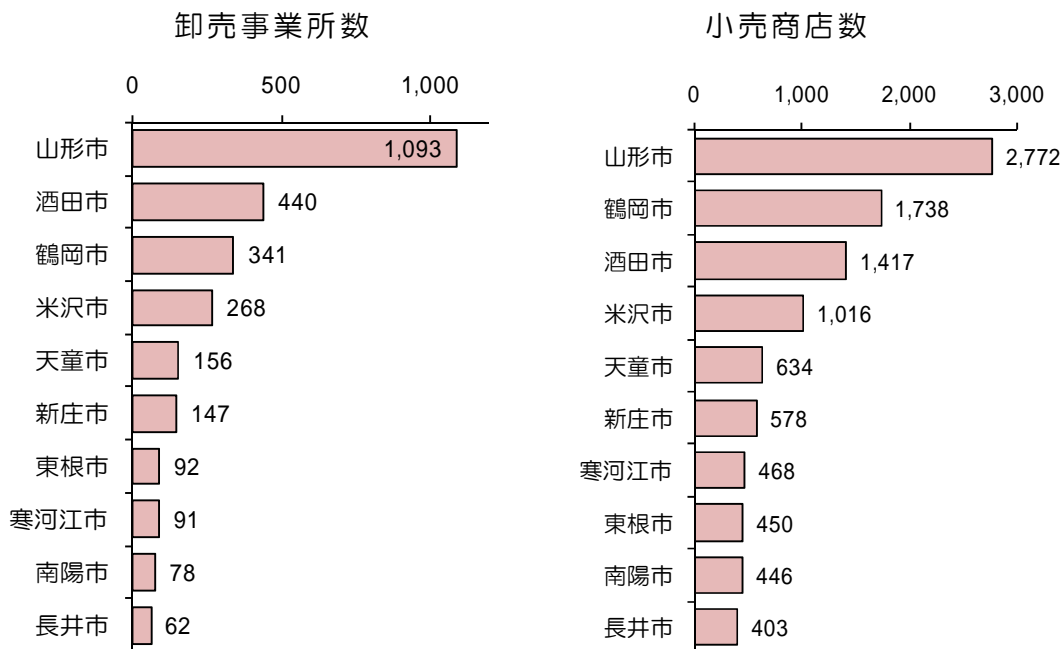
1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
山形県計	16,906	31	102,854	34	2,702,748	33
卸売業計	3,196	33	25,236	34	1,480,549	34
各種商品卸売業	11	35	156	27	2,706	39
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	52	19	223	21	6,869	22
衣服・身の回り品卸売業	103	30	639	33	14,674	35
農畜産物・水産物卸売業	501	30	4,659	30	389,411	24
食料・飲料卸売業	420	35	3,313	36	149,423	38
建築材料卸売業	421	33	2,816	34	129,546	39
化学製品卸売業	128	30	818	31	47,408	33
鉱物・金属材料卸売業	132	33	1,266	33	126,894	38
再生資源卸売業	123	24	769	26	14,169	34
一般機械器具卸売業	263	32	1,971	33	93,789	34
自動車卸売業	218	28	2,134	29	111,883	25
電気機械器具卸売業	147	36	1,543	30	101,286	32
その他の機械器具卸売業	88	37	718	36	42,484	33
家具・建具・じゅう器等卸売業	103	37	575	39	16,004	40
医薬品・化粧品等卸売業	151	39	1,400	36	117,162	36
他に分類されない卸売業	335	34	2,236	38	116,842	36
小売業計	13,710	31	77,618	34	1,222,199	33
各種商品小売業	45	35	3,453	41	58,450	43
織物・衣服・身の回り品小売業	1,720	33	5,573	37	67,991	37
飲食品小売業	5,000	31	32,282	33	418,167	31
自動車・自転車小売業	1,123	28	6,745	28	155,860	30
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,193	34	4,529	37	85,597	36
その他の小売業	4,629	33	25,036	32	436,134	28
医薬品・化粧品小売業	859	37	4,000	36	69,775	35
農耕用品小売業	413	11	1,771	16	40,034	17
燃料小売業	893	30	5,253	29	179,713	28
書籍・文房具小売業	415	41	5,780	36	33,171	35
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	270	37	1,356	36	20,867	35
写真機・写真材料小売業	13	45	63	45	840	41
時計・眼鏡・光学機械小売業	259	27	728	33	6,805	35
他に分類されない小売業	1,507	32	6,085	31	84,929	27

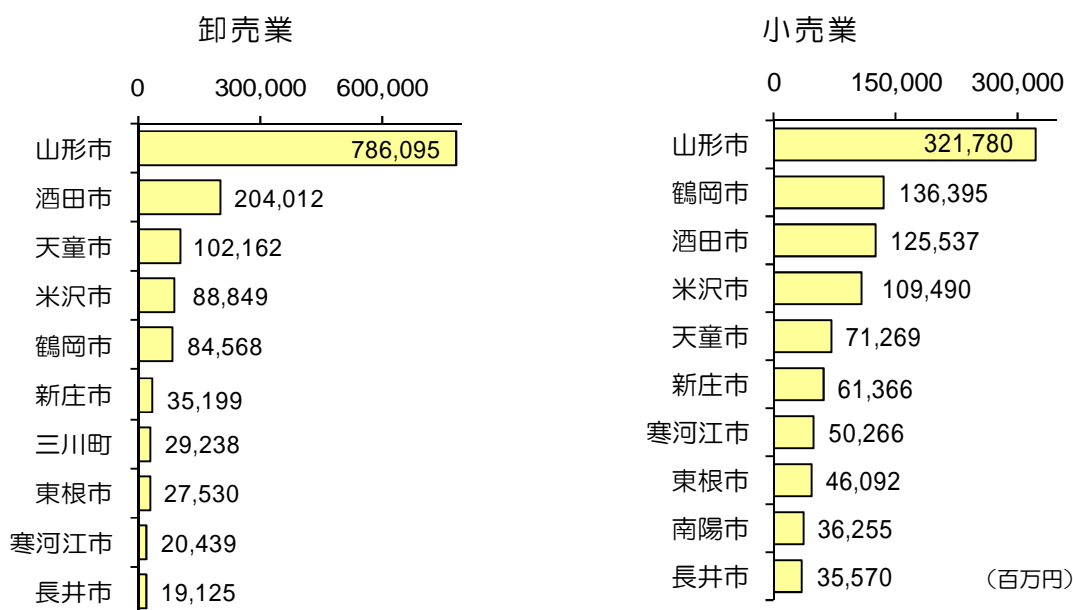
2. 市町村別の状況

山形県の事業所数をみると、卸売事業所の34.2%、小売商店の20.2%を山形市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の53.1%、小売業の26.3%を山形市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

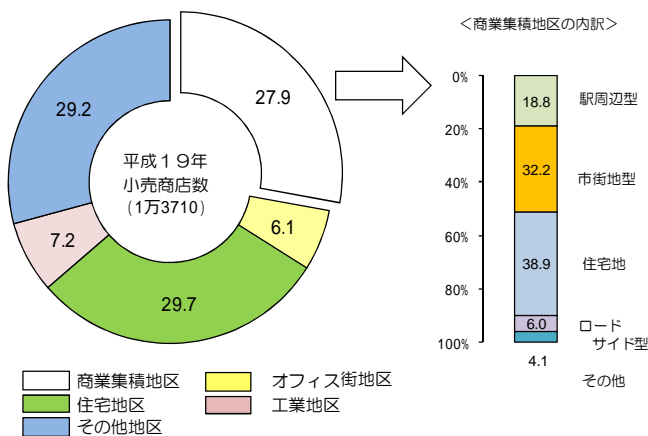


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、住宅地区、その他地区、商業集積地区がいずれも30%近くとなっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が38.9%と最も高くなっています。

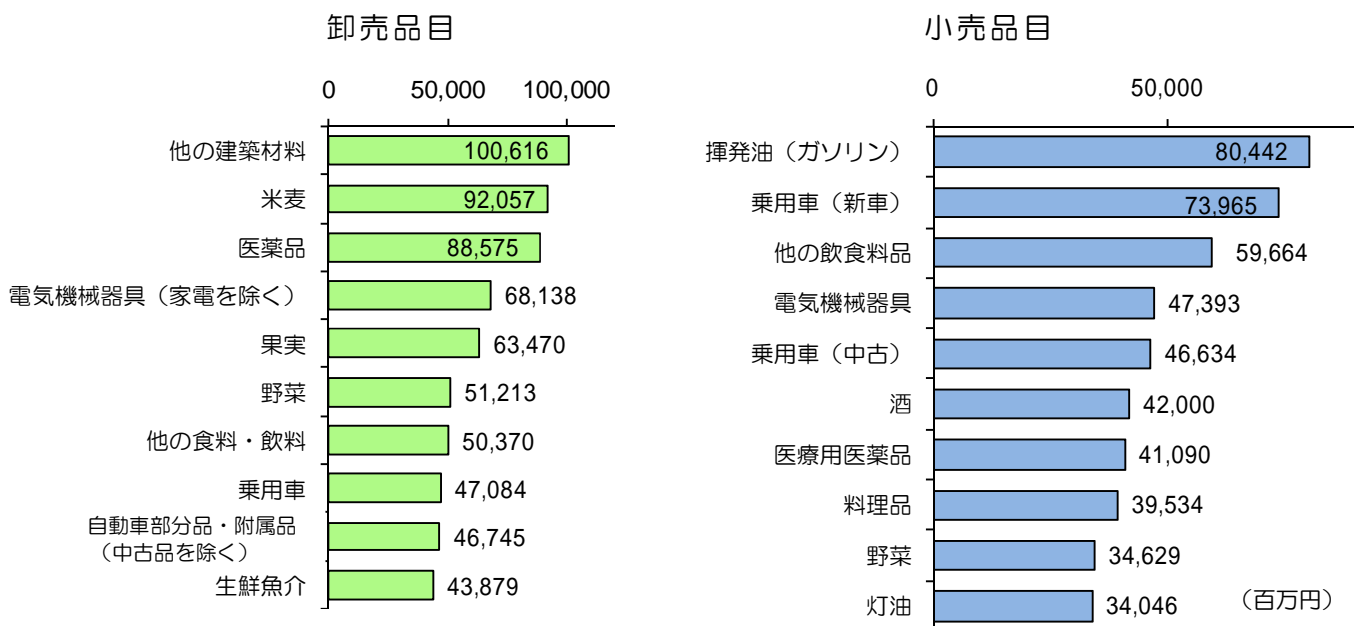


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	13,710	12.4
商業集積地区	3,823	17.2
駅周辺型	720	13.9
市街地型	1,230	19.1
住宅地背景型	1,487	18.8
ロードサイド型	230	0.4
その他	156	20.8
オフィス街地区	832	2.8
住宅地区	4,069	11.4
工業地区	989	9.6
その他地区	3,997	14.5

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「米麦」、「果実」、「野菜」、「生鮮魚介」などの農水産関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



福島県

- 郡山市、いわき市、福島市の小売年間商品販売額計は
福島県の5割強 -

福島県の年間商品販売額をみると、卸売業では郡山市が40.8%を占めています。小売業では1位の郡山市、2位のいわき市、3位の福島市で福島県の53.4%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の立地割合が42.9%と他の県と比べても高くなっており、商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型の割合が高くなっています。

卸売販売品目をみると「電気機械器具(家電を除く)」、「スポーツ用品」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

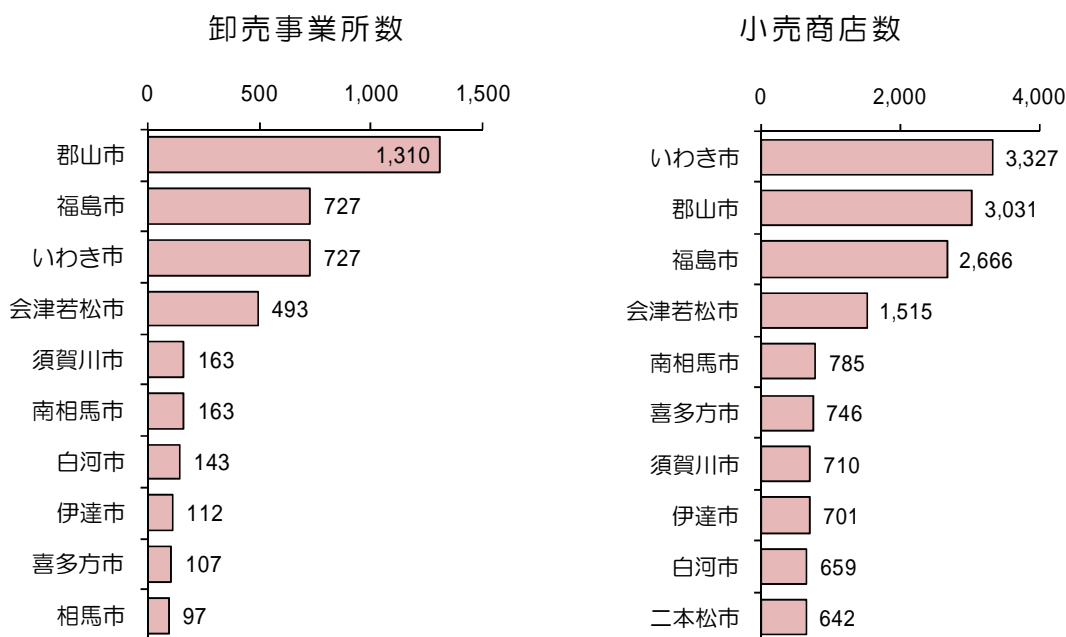
	事業所数	就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	
福島県計	26,124	18	171,094	19	4,670,152	
卸売業計	4,869	20	40,335	21	2,631,244	
業 種 別	各種商品卸売業	27	211	20	6,863	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	16	49	35	1,448	
	衣服・身の回り品卸売業	137	1,246	17	43,996	
	農畜産物・水産物卸売業	690	6,728	19	500,074	
	食料・飲料卸売業	602	5,632	22	402,652	
	建築材料卸売業	669	4,223	21	227,824	
	化学製品卸売業	178	1,334	20	75,173	
	鉱物・金属材料卸売業	229	2,050	19	271,759	
	再生资源卸売業	160	922	24	33,000	
	一般機械器具卸売業	421	2,883	22	156,860	
	自動車卸売業	297	3,347	18	153,463	
	電気機械器具卸売業	252	2,002	22	178,073	
	その他の機械器具卸売業	164	1,335	20	80,599	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	223	1,398	21	36,126	
	医薬品・化粧品等卸売業	229	2,211	26	197,376	
	他に分類されない卸売業	575	4,764	20	265,959	
	小売業計	21,255	17	130,759	18	2,038,908
	業 種 別	各種商品小売業	75	6,689	28	112,547
		織物・衣服・身の回り品小売業	2,594	9,651	20	118,775
		飲食品小売業	7,587	53,989	16	701,559
自動車・自転車小売業		1,571	9,437	21	235,809	
家具・じゅう器・機械器具小売業		1,919	7,376	21	136,554	
その他の小売業		7,509	43,617	18	733,664	
医薬品・化粧品小売業		1,435	7,437	17	132,803	
農耕用品小売業		510	2,191	7	51,852	
燃料小売業		1,550	8,913	14	296,100	
書籍・文具小売業		696	9,787	19	57,210	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業		491	2,508	21	39,660	
写真機・写真材料小売業		46	166	24	1,744	
時計・眼鏡・光学機械小売業		377	1,182	19	10,900	
他に分類されない小売業		2,404	11,433	19	143,394	

2. 市町村別の状況

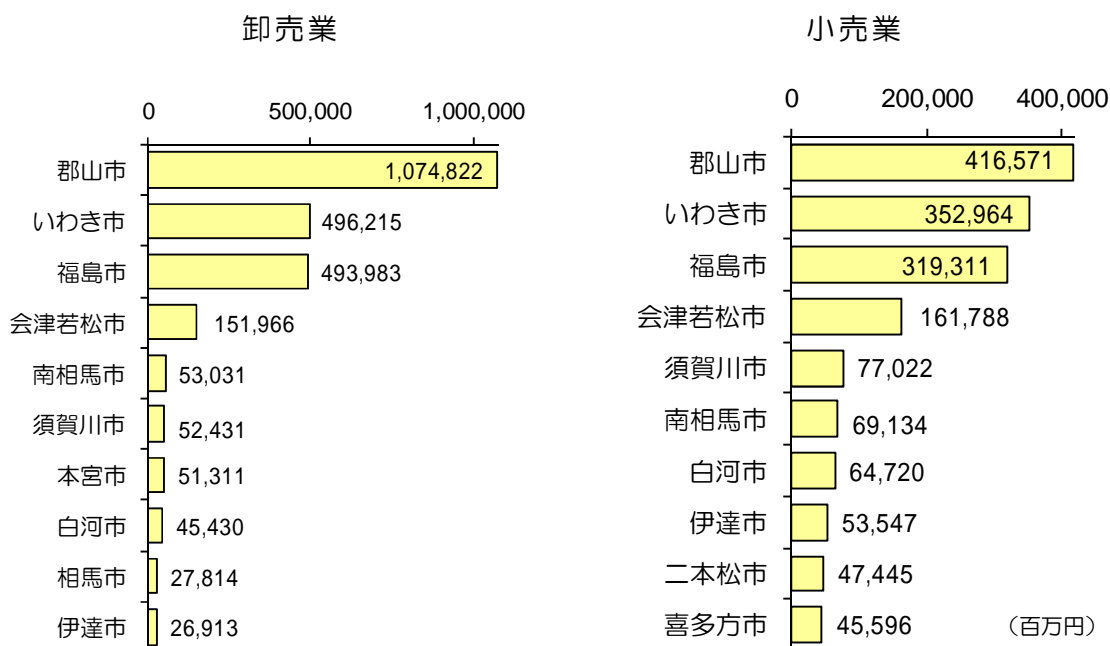
福島県の事業所数をみると、卸売事業所の26.9%を郡山市が占め、福島市、いわき市が続いています。小売商店は、いわき市の割合が15.7%と最も高く、次いで、郡山市、福島市、会津若松市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の40.8%、小売業の20.4%を郡山市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

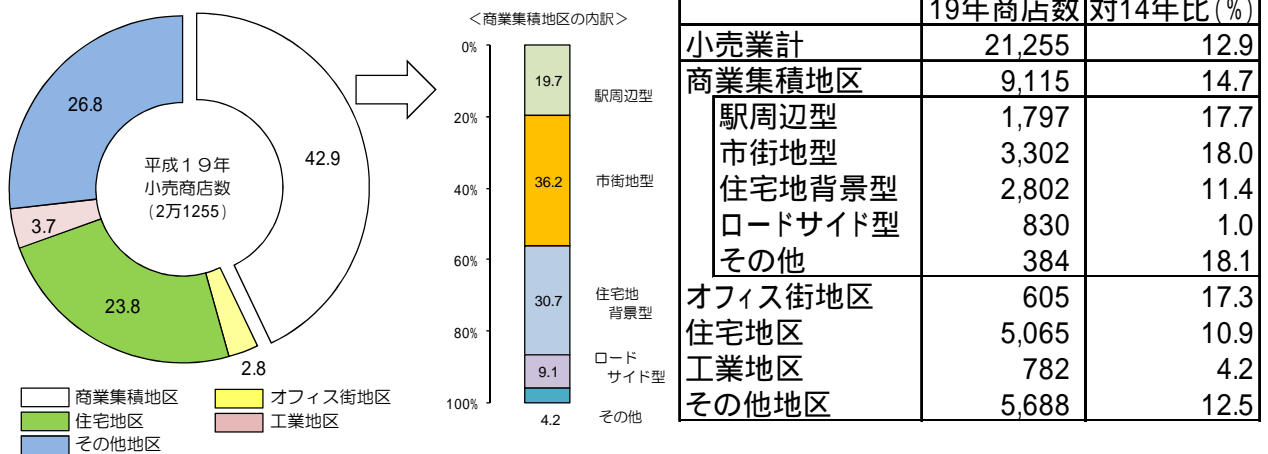


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

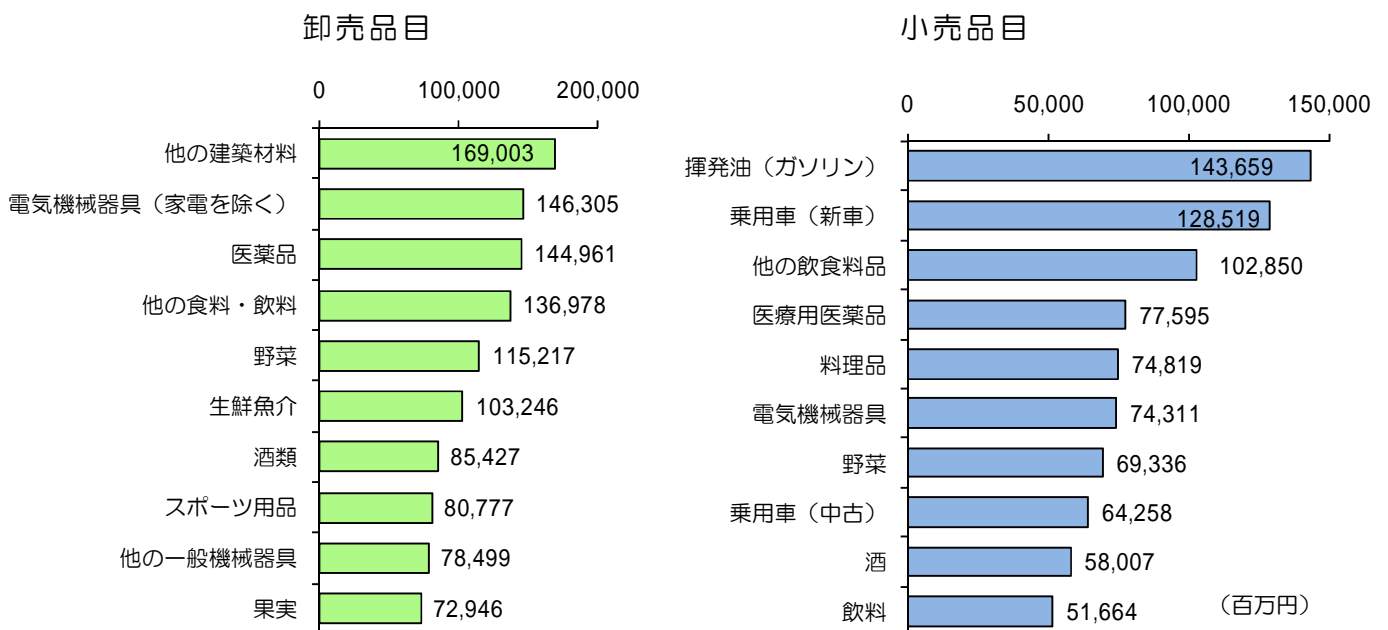
小売商店の立地をみると、商業集積地区が42.9%と高い割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が36.2%と最も高く、次いで、住宅地背景型となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「スポーツ用品」が入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



茨城県

- 工業製品と農畜産関連品の卸売年間商品販売額が
大きい茨城県 -

茨城県の年間商品販売額をみると、卸売業、小売業のいずれも水戸市、つくば市、土浦市の順となり、この3市で卸売業の53.3%、小売業の26.6%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区、住宅地区、その他地区の割合はそれぞれ約30%と、この3地区に分散しています。また、商業集積地区の内訳では駅周辺型が32.9%と高い割合になっています。

卸売販売品目をみると、「電気機械器具」が上位に入っているほか、「一般機械器具」や「鉄鋼一次製品」などの工業製品や、「野菜」、「食肉」などの農畜産関連も上位にみられます。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

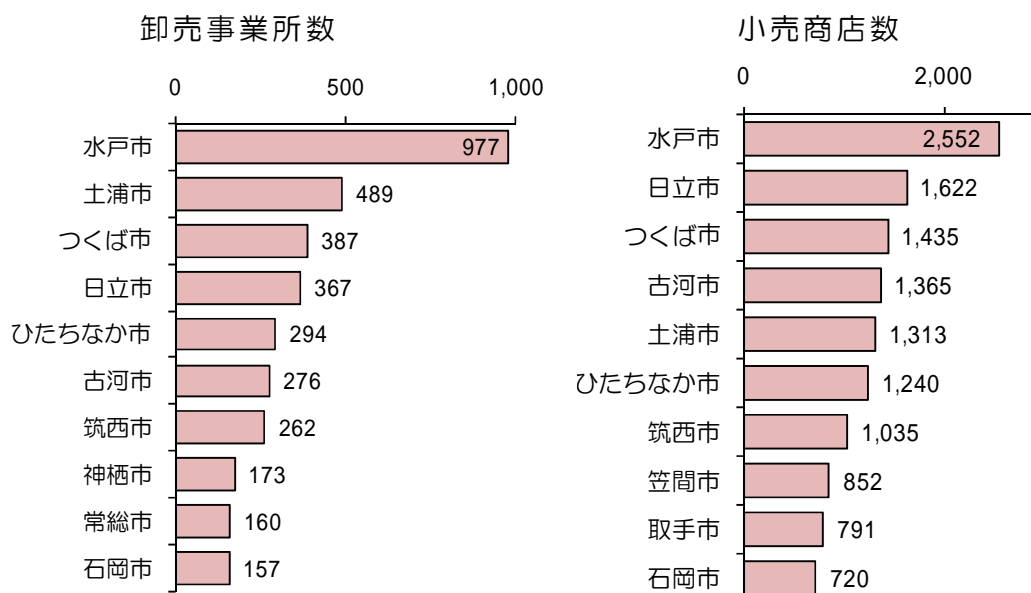
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
茨城県計	31,248	14	227,410	14	6,869,837	15
卸売業計	5,834	16	50,130	15	3,911,079	16
各種商品卸売業	25	17	254	15	11,867	19
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	28	27	145	26	4,348	27
衣服・身の回り品卸売業	119	26	897	23	69,315	17
農畜産物・水産物卸売業	914	12	8,648	14	621,497	14
食料・飲料卸売業	676	16	6,250	17	397,181	22
建築材料卸売業	936	12	5,871	14	313,315	17
化学製品卸売業	196	17	1,794	16	131,255	16
鉱物・金属材料卸売業	273	15	3,118	14	389,236	17
再生資源卸売業	246	11	1,729	11	69,350	12
一般機械器具卸売業	408	20	2,962	21	198,694	20
自動車卸売業	360	16	4,214	14	318,417	13
電気機械器具卸売業	313	16	3,207	15	660,065	11
その他の機械器具卸売業	219	14	1,922	15	141,608	13
家具・建具・じゅう器等卸売業	189	23	1,313	22	62,908	18
医薬品・化粧品等卸売業	252	19	2,721	19	239,227	16
他に分類されない卸売業	680	16	5,085	17	282,797	18
小売業計	25,414	14	177,280	13	2,958,758	13
各種商品小売業	94	17	10,770	15	180,129	18
織物・衣服・身の回り品小売業	3,181	15	14,258	14	190,162	14
飲食料品小売業	8,999	13	73,680	12	940,737	11
自動車・自転車小売業	2,100	13	11,930	15	327,292	15
家具・じゅう器・機械器具小売業	2,154	14	10,579	13	231,540	13
その他の小売業	8,886	13	56,063	12	1,088,899	11
医薬品・化粧品小売業	1,724	13	10,663	12	182,614	12
農耕用品小売業	522	3	2,206	6	59,522	2
燃料小売業	1,940	7	11,581	11	428,509	11
書籍・文房具小売業	761	20	10,990	16	71,429	16
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	698	12	4,209	12	66,298	11
写真機・写真材料小売業	58	19	206	20	2,253	19
時計・眼鏡・光学機械小売業	445	14	1,454	13	16,342	14
他に分類されない小売業	2,738	15	14,754	12	261,932	11

2. 市町村別の状況

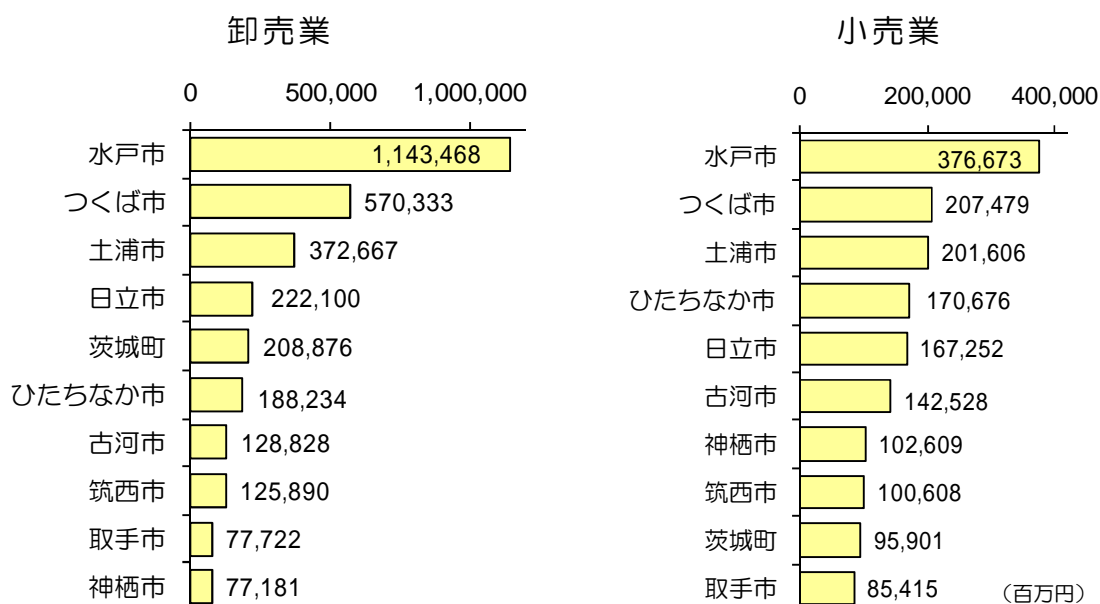
茨城県の事業所数をみると、卸売事業所では水戸市が16.7%を占め、次いで、土浦市、つくば市の順となっています。小売商店は水戸市が10.0%を占め、次いで、日立市、つくば市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では水戸市が29.2%、次いで、つくば市、土浦市の順となっており、この3市で茨城県の53.3%を占めています。小売業では水戸市が12.7%、次いで、つくば市、土浦市の順となっており、この3市で26.6%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

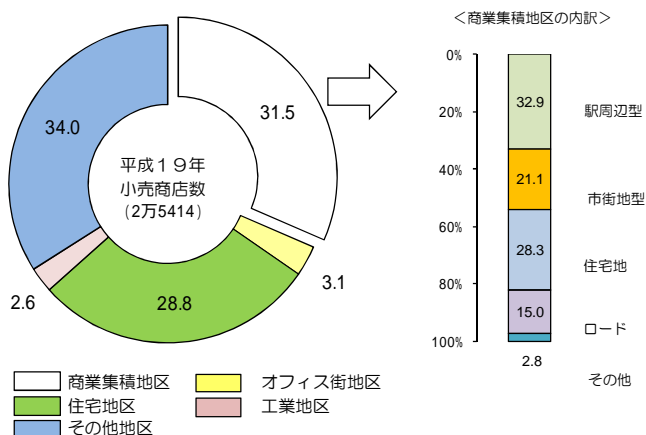


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、其他地区、商業集積地区、住宅地区の割合がそれぞれ30%前後となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型の割合が32.9%と高い割合となっています。また、ロードサイド型の割合が伸びています。

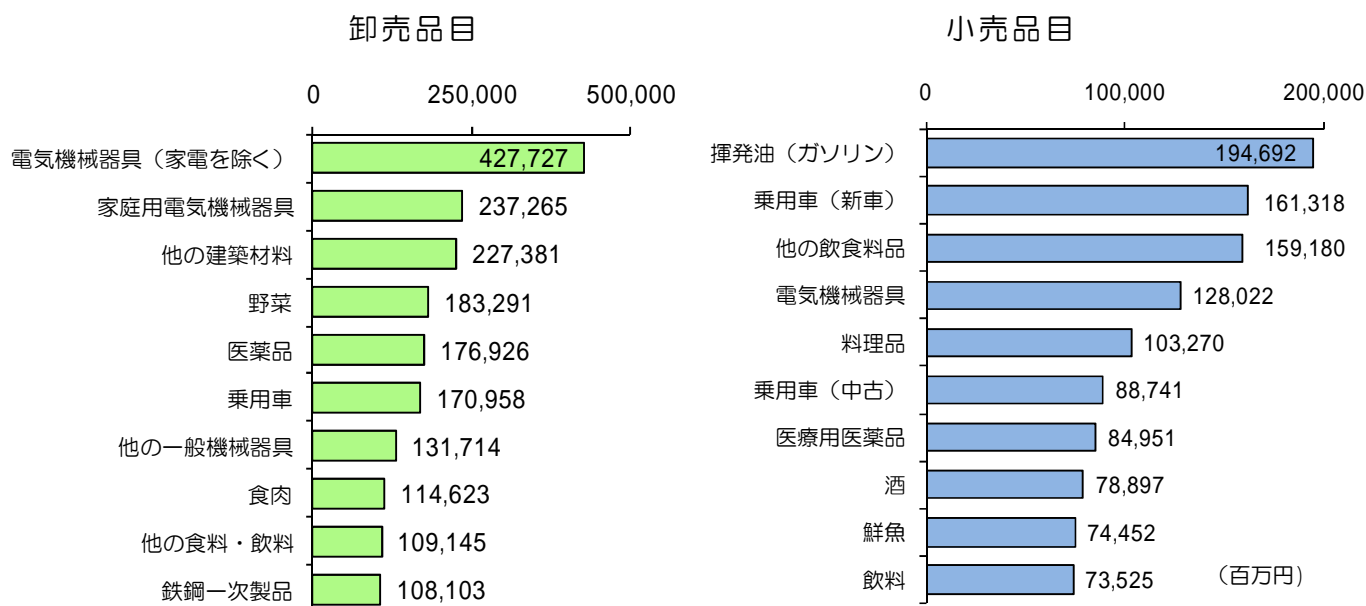


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	25,414	12.7
商業集積地区	7,999	17.6
駅周辺型	2,629	22.8
市街地型	1,685	15.7
住宅地背景型	2,267	23.5
ロードサイド型	1,198	15.3
その他	220	24.9
オフィス街地区	783	43.4
住宅地区	7,321	11.2
工業地区	669	5.6
其他地区	8,642	12.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「家庭用電気機械器具」、「他の一般機械器具」、「鉄鋼一次製品」などの工業製品が入っているほか、「野菜」、「食肉」が入り、工業、農畜産関連が上位にみられます。

【販売上位10品目】(平成19年)



栃木県

- ロードサイド型の商業集積地区の伸びが大きい栃木県 -

栃木県の年間商品販売額をみると、卸売業の61.7%、小売業の31.2%が宇都宮市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.2%と最も高く、商業集積地区の内訳では市街地型の割合が32.6%と最も高くなっています。

また、大型ショッピングセンターが開業したことから、商業集積地区のうちロードサイド型が平成14年と比べると60.2%増と大きく伸びています。

販売品目をみると、卸売品目では「自動車部分品・附属品」や電気機械器具関連、小売品目では「婦人服」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

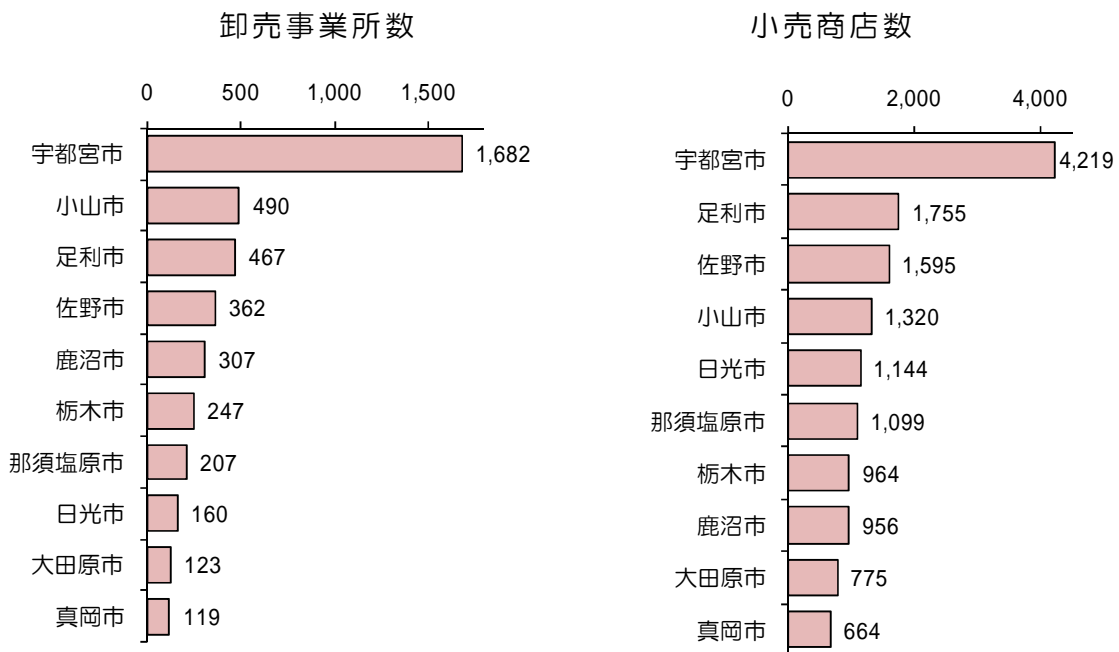
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
栃木県計	23,991	20	167,860	20	5,650,308	18
卸売業計	4,975	19	41,532	20	3,514,104	17
各種商品卸売業	14	28	112	32	2,771	38
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	56	17	229	20	9,222	21
衣服・身の回り品卸売業	186	17	1,054	20	28,220	23
農畜産物・水産物卸売業	508	27	4,746	29	394,471	23
食料・飲料卸売業	638	18	6,017	18	368,404	24
建築材料卸売業	797	15	5,400	16	315,894	16
化学製品卸売業	188	20	1,196	25	87,246	25
鉱物・金属材料卸売業	227	19	2,520	17	361,668	18
再生資源卸売業	174	16	1,138	18	51,751	17
一般機械器具卸売業	412	19	3,179	19	217,628	19
自動車卸売業	317	19	3,753	17	454,339	8
電気機械器具卸売業	254	18	2,719	20	658,396	12
その他の機械器具卸売業	154	19	1,182	23	72,814	23
家具・建具・じゅう器等卸売業	217	19	1,468	19	48,976	21
医薬品・化粧品等卸売業	190	32	2,155	27	207,674	19
他に分類されない卸売業	643	18	4,664	21	234,629	23
小売業計	19,016	21	126,328	20	2,136,204	17
各種商品小売業	93	19	11,389	13	195,344	14
織物・衣服・身の回り品小売業	2,576	19	10,173	19	145,544	20
飲食料品小売業	6,585	21	49,776	19	663,255	19
自動車・自転車小売業	1,563	21	9,800	20	278,332	20
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,615	24	6,923	23	148,673	23
その他の小売業	6,584	21	38,267	22	705,056	20
医薬品・化粧品小売業	1,194	25	5,630	28	94,764	27
農耕用品小売業	370	14	1,820	14	43,023	13
燃料小売業	1,339	17	8,067	18	281,391	18
書籍・文房具小売業	582	28	7,773	24	61,655	18
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	526	17	3,105	15	50,826	15
写真機・写真材料小売業	45	27	140	31	1,656	27
時計・眼鏡・光学機械小売業	301	24	983	23	15,001	16
他に分類されない小売業	2,227	21	10,749	21	156,740	18

4. 市町村別の状況

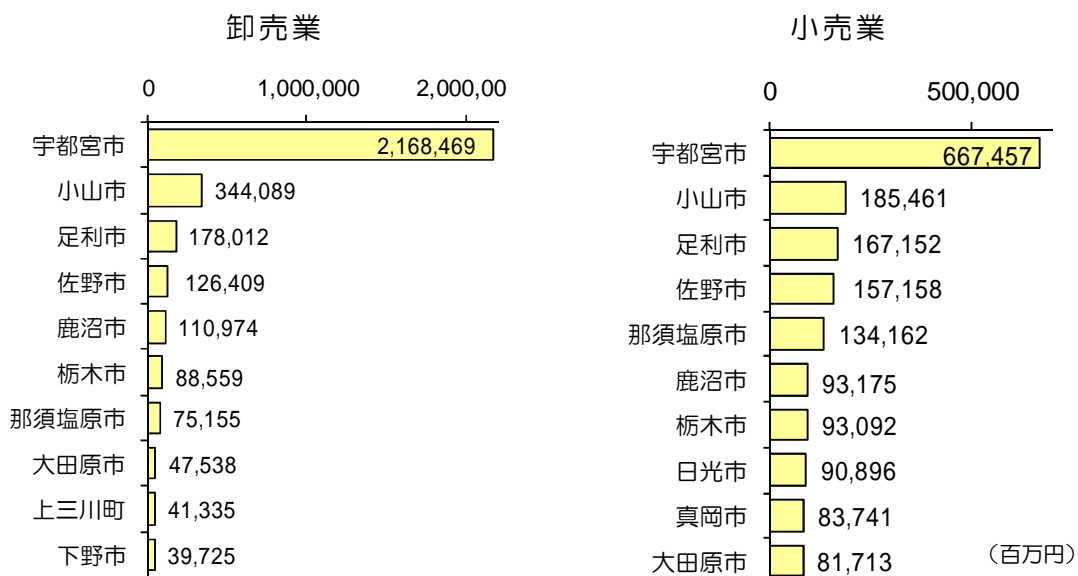
栃木県の事業所数をみると、卸売事業所の33.8%を宇都宮市が占めており、次いで、小山市、足利市の順となっています。小売商店の割合も宇都宮市が22.2%と最も高く、次いで、足利市、佐野市、小山市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の61.7%、小売業の31.2%を宇都宮市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

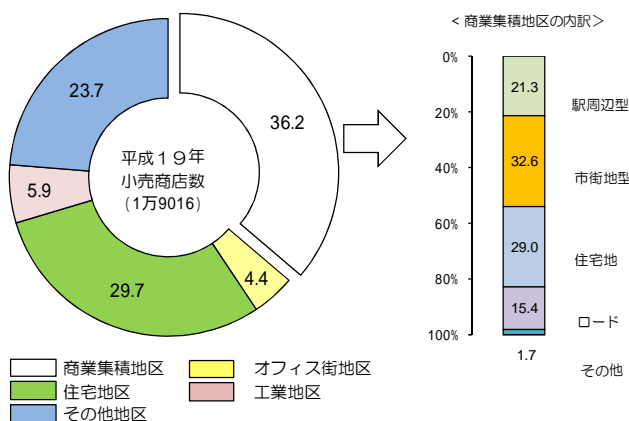


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.2%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が32.6%と最も高くなっています。また、大型ショッピングセンターが開業したことから、ロードサイド型は平成14年と比べて60.2%と大きく増加しています。

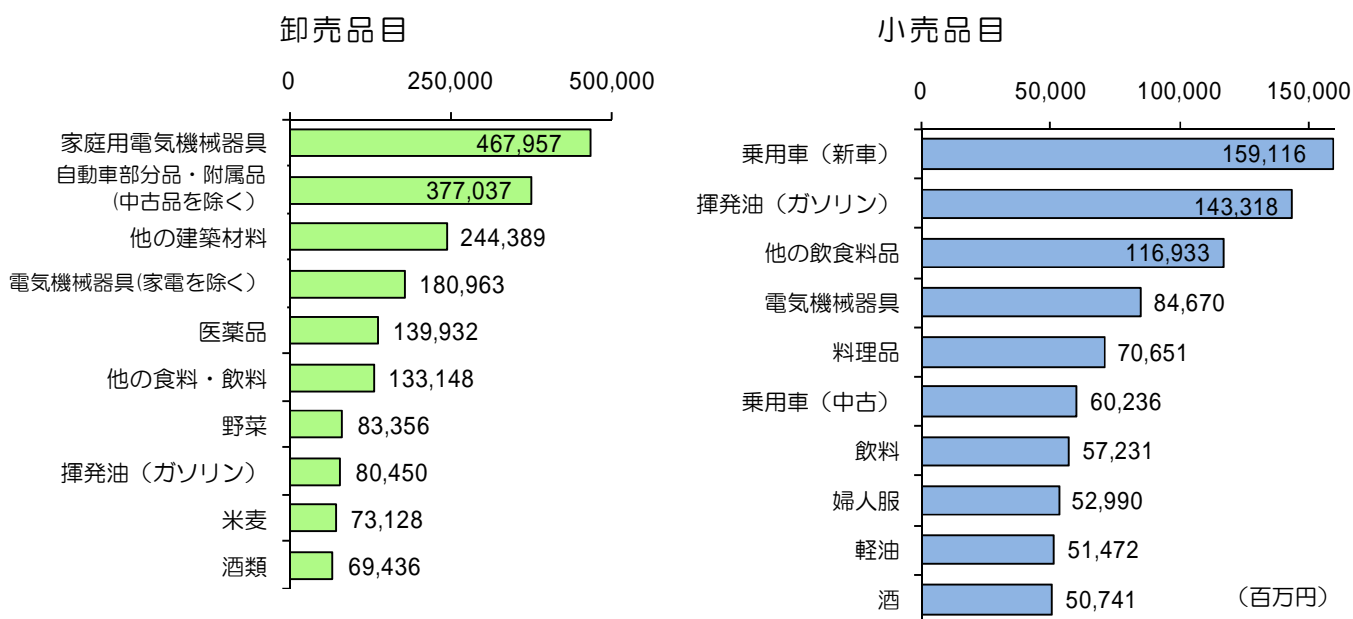


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	19,016	10.8
商業集積地区	6,891	14.0
駅周辺型	1,467	19.7
市街地型	2,245	18.2
住宅地背景型	1,995	21.4
ロードサイド型	1,064	60.2
その他	120	49.2
オフィス街地区	846	3.3
住宅地区	5,644	8.9
工業地区	1,130	2.2
その他地区	4,505	13.4

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では、1位に「家庭用電気機械器具」、2位に「自動車部品・附属品」、4位に「電気機械器具(家電を除く)」が入っています。小売品目では「婦人服」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



群馬県

- 群馬県の卸売業は家庭用電気機械器具の
年間商品販売額が圧倒的に多い -

群馬県の事業所数をみると卸売事業所数の24.6%、小売商店の17.6%を高崎市が占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は前橋市の割合が42.8%と最も高く、小売業では高崎市の割合が20.1%と最も高くなっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区とその他地区の割合がほぼ同じで30%を超えています。商業集積地区の内訳では、市街地型のほか、ロードサイド型の割合が高くなっています。

卸売販売品目をみると、「家庭用電気機械器具」の販売額が他の品目に比べて圧倒的に多くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

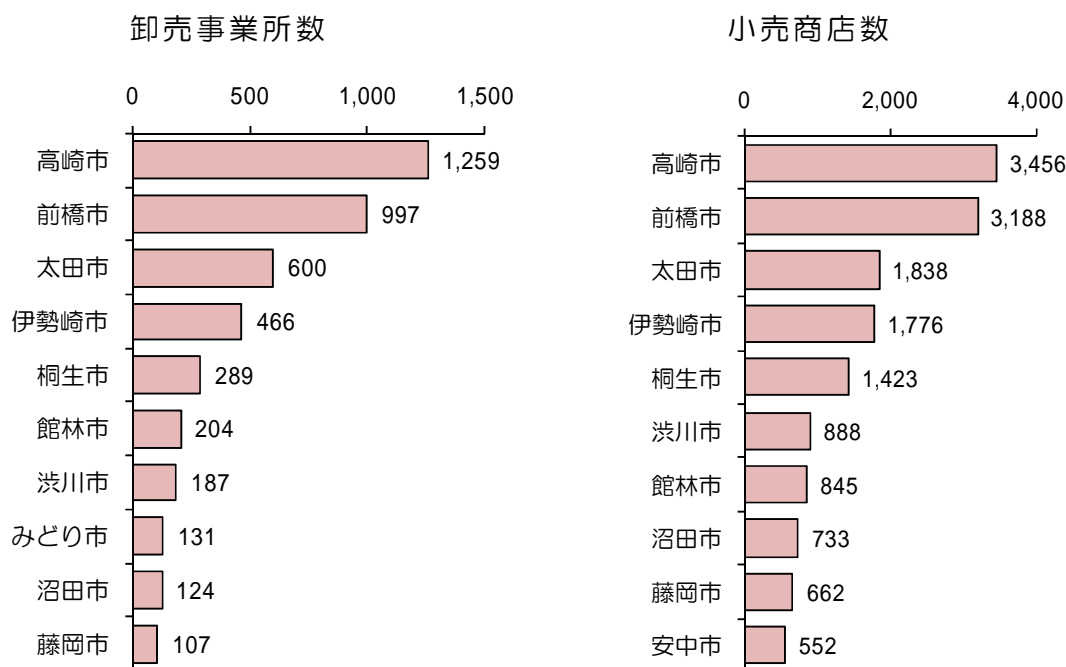
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
群馬県計	24,771	19	175,581	18	6,830,048	16	
業 種 別	卸売業計	5,118	18	47,539	18	4,704,270	13
	各種商品卸売業	20	18	136	30	5,267	31
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	85	12	447	12	13,736	15
	衣服・身の回り品卸売業	185	18	1,209	18	32,041	21
	農畜産物・水産物卸売業	580	24	6,281	23	470,721	19
	食料・飲料卸売業	588	24	5,922	19	570,233	15
	建築材料卸売業	722	17	4,683	20	282,245	18
	化学製品卸売業	206	16	1,721	17	118,209	19
	鉱物・金属材料卸売業	243	16	2,846	16	320,077	20
	再生資源卸売業	196	14	1,240	15	56,301	16
	一般機械器具卸売業	549	15	4,434	15	333,784	14
	自動車卸売業	373	15	4,290	13	272,013	14
	電気機械器具卸売業	224	23	2,906	18	1,345,919	6
	その他の機械器具卸売業	134	23	1,495	18	100,197	17
	家具・建具・じゅう器等卸売業	174	27	1,403	20	71,087	16
	医薬品・化粧品等卸売業	224	22	3,072	15	231,274	17
	他に分類されない卸売業	615	19	5,454	16	481,167	15
	小売業計	19,653	20	128,042	19	2,125,778	18
	各種商品小売業	74	27	7,592	26	140,656	28
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,416	20	10,316	18	148,654	19
	飲食料品小売業	7,124	18	53,327	17	666,751	18
	自動車・自転車小売業	1,730	17	10,266	19	305,035	18
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,625	23	7,065	22	157,505	20
	その他の小売業	6,684	19	39,476	19	707,176	19
	医薬品・化粧品小売業	1,242	24	6,158	23	106,141	21
	農耕用品小売業	322	21	1,430	22	34,979	20
	燃料小売業	1,284	20	7,534	19	272,570	19
	書籍・文房具小売業	540	30	8,357	23	60,592	20
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	546	15	3,195	14	51,459	14
写真機・写真材料小売業	57	21	207	19	2,533	17	
時計・眼鏡・光学機械小売業	347	18	1,261	17	16,104	15	
他に分類されない小売業	2,346	19	11,334	20	162,798	16	

2. 市町村別の状況

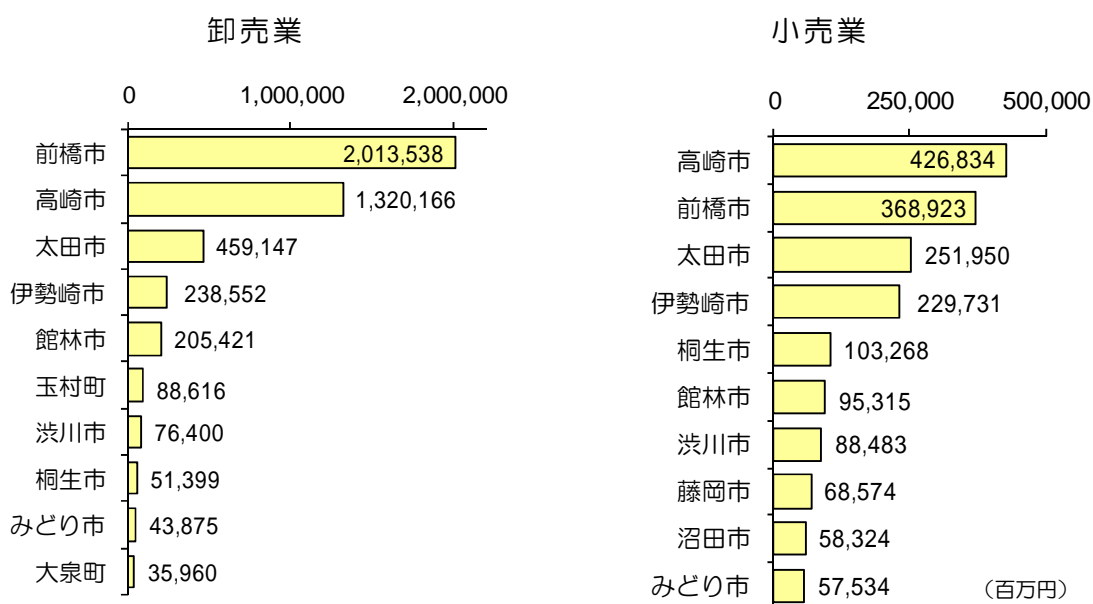
群馬県の事業所数をみると、卸売事業所の24.6%、小売商店の17.6%を高崎市が占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は1位が前橋市で42.8%を占め、次いで、高崎市、太田市の順となっています。小売業では1位が高崎市で20.1%を占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

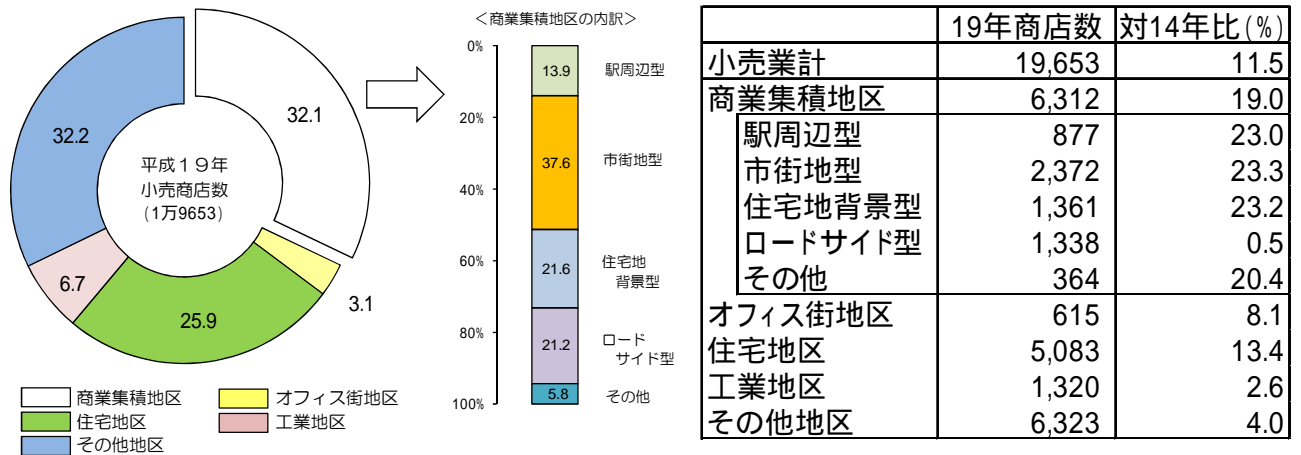


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

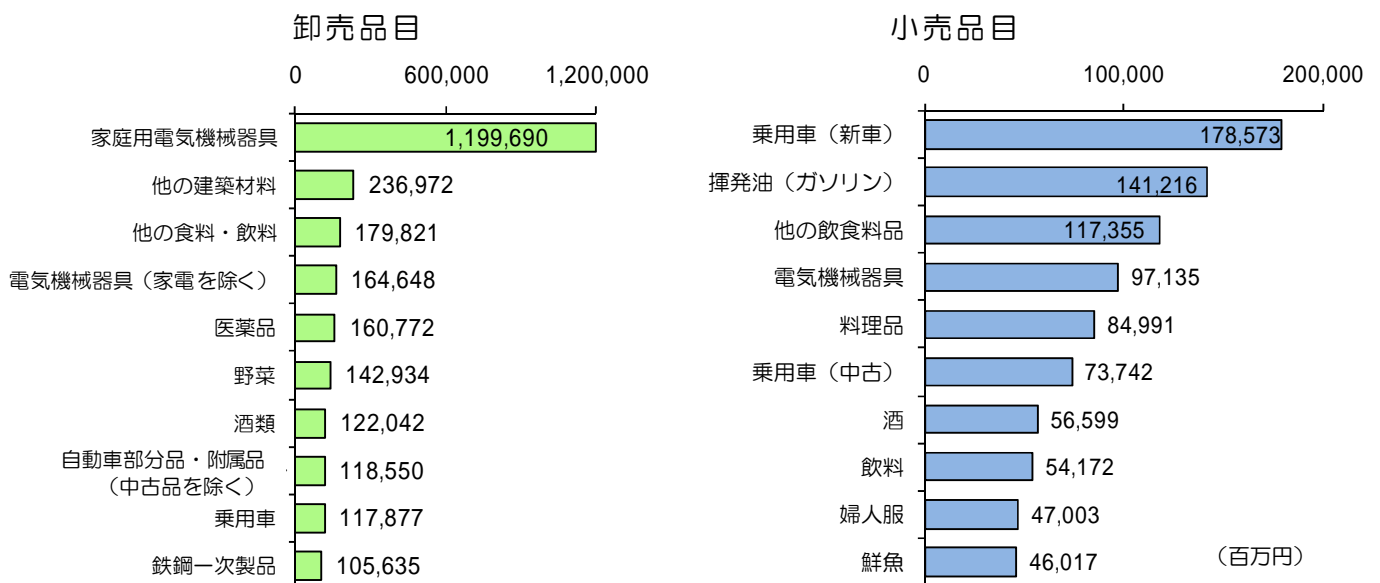
小売商店の立地をみると、その他地区と商業集積地区が30%を超えています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が37.6%と最も高くなっていますが、ロードサイド型の割合も21.2%と高い割合となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「家庭用電気機械器具」が1兆円を超えて圧倒的に多くなっています。

【販売上位10品目】(平成19年)



埼玉県

- 埼玉県の小売商店の立地は住宅地区が4割以上、
商業集積地区の半数近くが駅周辺型 -

埼玉県の事業所数をみると、卸売事業所数の21.7%、小売商店の15.8%をさいたま市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の39.4%、小売業の19.9%をさいたま市が占めています。

小売商店の立地をみると、住宅地区での割合が42.1%と全国で最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では46.4%と半数近くが駅周辺型となっています。

小売販売品目をみると、飲食料品関連が上位にみられます。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

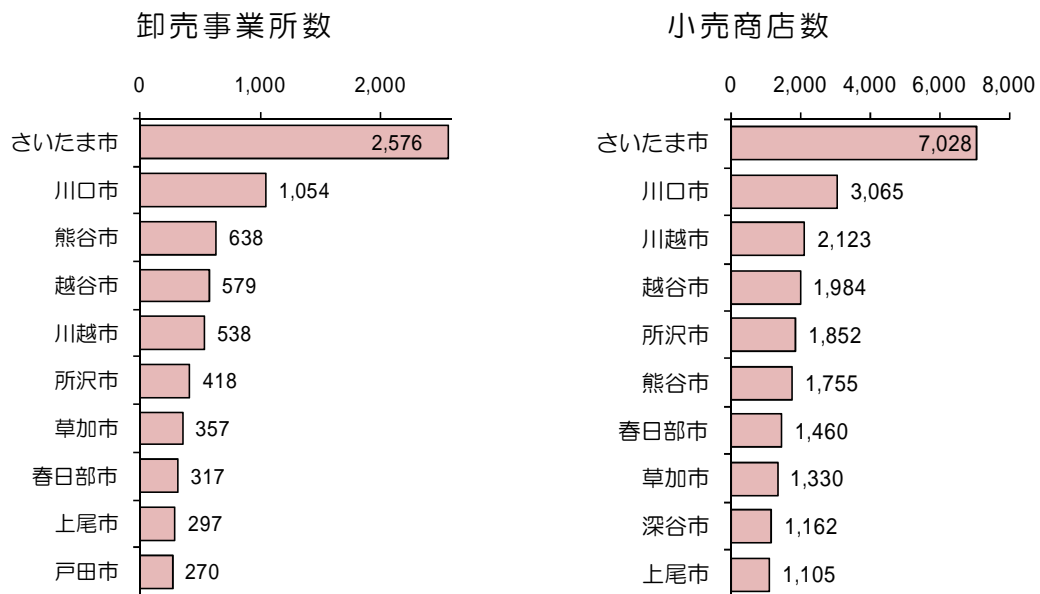
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
埼玉県計	56,427	8	488,751	7	15,153,850	7	
卸売業計	11,854	8	113,274	7	8,816,010	7	
業 種 別	各種商品卸売業	35	8	227	18	10,908	22
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	86	11	430	14	11,622	17
	衣服・身の回り品卸売業	453	9	3,662	10	398,779	6
	農畜産物・水産物卸売業	1,121	10	11,789	10	848,289	11
	食料・飲料卸売業	1,190	9	13,150	9	1,151,943	9
	建築材料卸売業	1,819	4	12,970	7	827,216	7
	化学製品卸売業	438	9	3,803	7	248,191	10
	鉱物・金属材料卸売業	639	5	6,468	5	654,525	11
	再生資源卸売業	493	5	3,995	4	148,748	6
	一般機械器具卸売業	1,088	7	9,675	7	826,711	6
	自動車卸売業	799	6	8,266	6	649,870	6
	電気機械器具卸売業	612	7	6,939	9	664,074	10
	その他の機械器具卸売業	458	7	4,640	6	314,380	6
	家具・建具・じゅう器等卸売業	464	8	3,684	7	174,884	7
	医薬品・化粧品等卸売業	567	6	8,371	6	990,116	5
	他に分類されない卸売業	1,592	8	15,205	6	895,755	7
	小売業計	44,573	7	375,477	5	6,337,840	5
	各種商品小売業	187	8	37,059	7	848,025	5
	織物・衣服・身の回り品小売業	6,033	8	28,143	8	406,043	8
	飲食料品小売業	15,768	7	158,587	5	1,983,629	5
自動車・自転車小売業	3,509	5	24,280	5	808,191	5	
家具・じゅう器・機械器具小売業	3,687	7	20,853	7	527,849	6	
その他の小売業	15,389	8	106,555	6	1,764,103	6	
医薬品・化粧品小売業	3,477	7	25,162	5	454,994	5	
農耕用品小売業	436	10	1,652	18	27,705	23	
燃料小売業	2,294	3	17,211	3	537,394	4	
書籍・文房具小売業	1,871	8	24,377	7	211,600	5	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,298	6	8,528	5	141,180	5	
写真機・写真材料小売業	121	8	517	8	6,028	8	
時計・眼鏡・光学機械小売業	862	8	3,272	7	40,366	5	
他に分類されない小売業	5,030	7	25,836	7	344,837	7	

2. 市町村別の状況

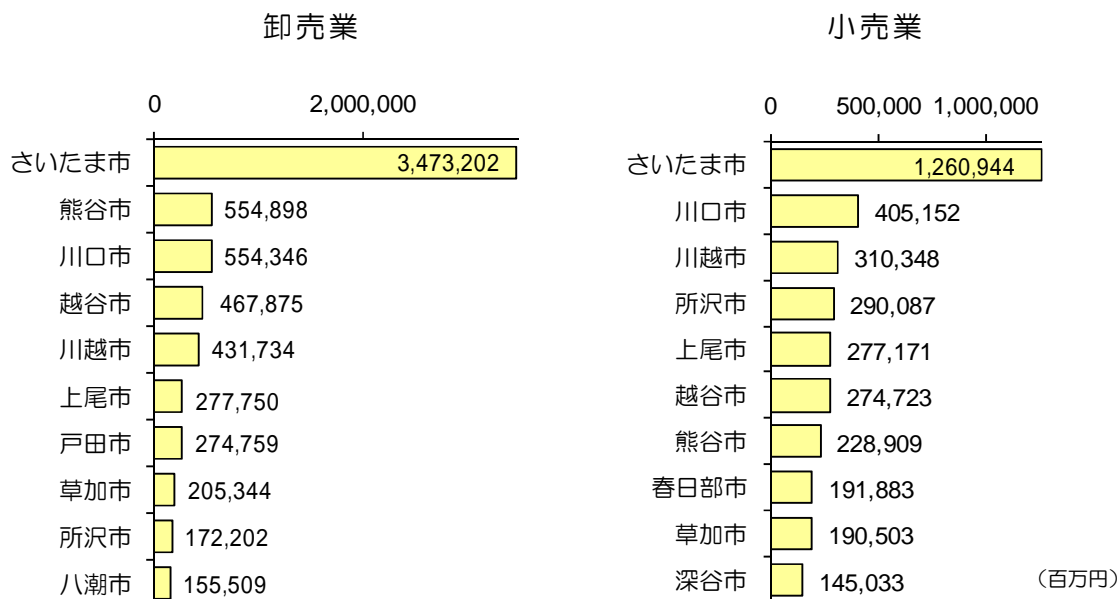
埼玉県の事業所数をみると、卸売事業所はさいたま市が21.7%を占め、次いで、川口市、熊谷市の順となっています。小売商店はさいたま市が15.8%を占め、次いで、川口市、川越市、越谷市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の39.4%、小売業の19.9%をさいたま市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

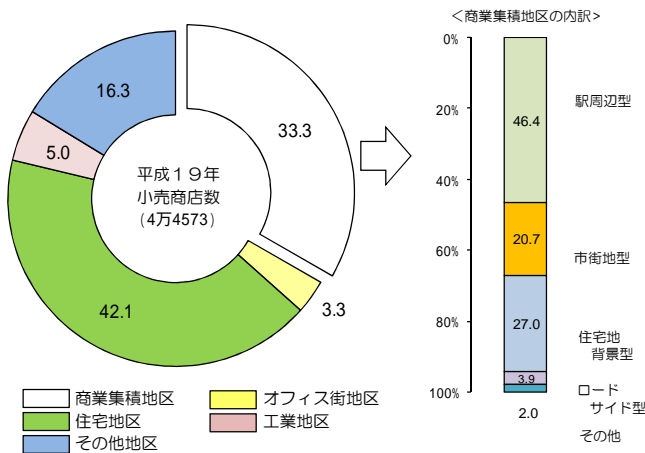


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が42.1%と全国で最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が半数近くの46.4%と最も高い割合となっています。



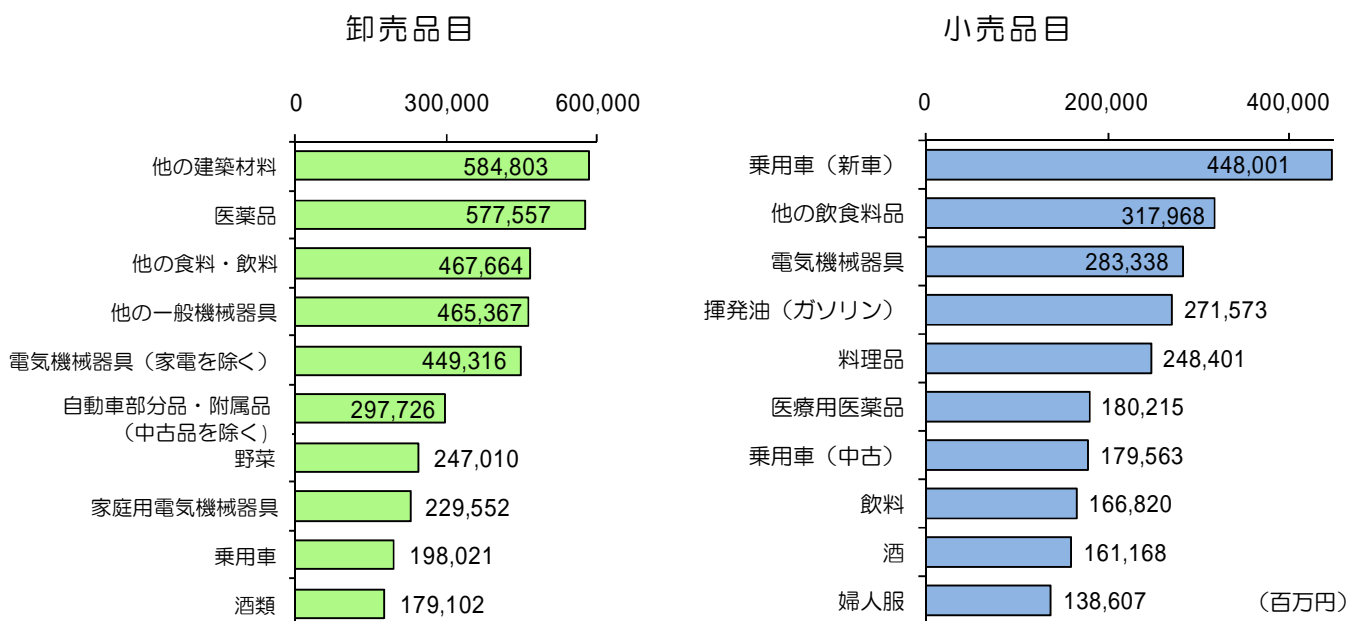
	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	44,573	10.0
商業集積地区	14,849	16.6
駅周辺型	6,891	12.1
市街地型	3,068	16.0
住宅地背景型	4,013	27.2
ロードサイド型	584	16.1
その他	293	205.2
オフィス街地区	1,457	13.1
住宅地区	18,760	8.8
工業地区	2,222	11.1
その他地区	7,285	7.6

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「自動車部分品・附属品」が上位に入っています。

小売品目をみると、「他の飲食料品」、「料理品」、「飲料」など飲食料関連品目が上位に多く入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



千葉県

- 千葉県の商業集積地区では駅周辺型が多い -

千葉県の事業所数をみると、卸売事業所の18.8%、小売商店の13.8%を千葉市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の39.6%、小売業の19.5%を千葉市が占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.0%と高い割合になっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が50.1%とほぼ半数となっています。

販売品目をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」などの工業製品があるほか、「生鮮魚介」、「野菜」などの生鮮品もみられます。小売品目では「飲食料品」、「料理品」、「飲料」などの飲食料関連や「婦人服」などが上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

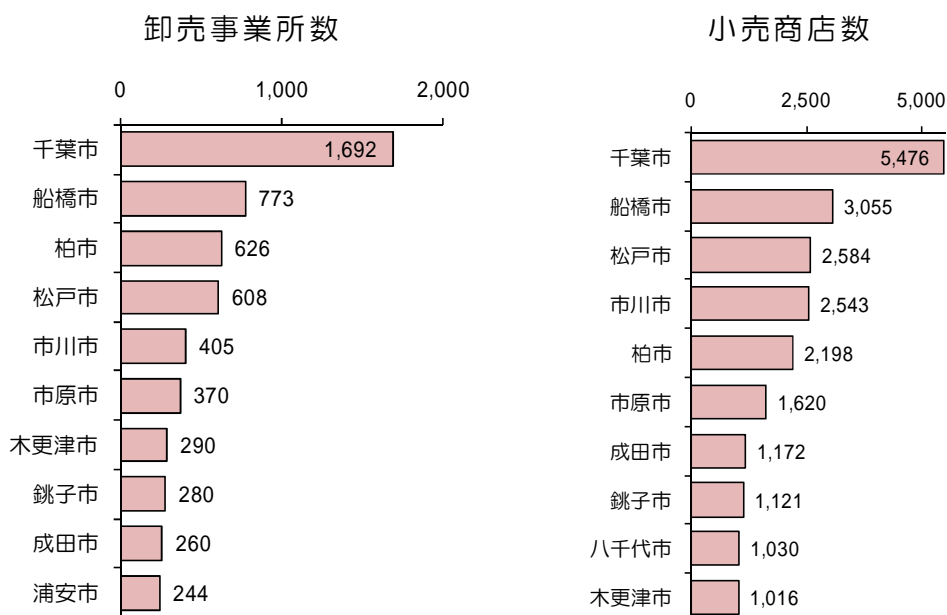
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
千葉県計	48,596	9	442,302	9	12,322,192	9	
業種別	卸売業計	8,993	10	87,479	11	6,567,201	12
	各種商品卸売業	35	8	322	10	14,653	16
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	30	24	123	27	2,367	31
	衣服・身の回り品卸売業	246	14	2,199	16	75,514	13
	農畜産物・水産物卸売業	1,541	6	15,032	8	1,015,366	9
	食料・飲料卸売業	1,074	10	12,530	10	914,719	11
	建築材料卸売業	1,432	9	9,661	9	635,329	8
	化学製品卸売業	358	12	2,663	12	244,633	11
	鉱物・金属材料卸売業	477	11	5,302	8	643,820	12
	再生資源卸売業	264	10	2,287	8	81,697	11
	一般機械器具卸売業	595	13	5,338	13	337,780	13
	自動車卸売業	577	10	6,462	8	694,566	5
	電気機械器具卸売業	404	12	5,476	11	389,870	15
	その他の機械器具卸売業	269	12	2,371	12	154,340	12
	家具・建具・じゅう器等卸売業	353	12	2,682	13	126,397	12
	医薬品・化粧品等卸売業	376	11	6,297	10	560,573	10
	他に分類されない卸売業	962	13	8,734	13	675,577	10
	小売業計	39,603	9	354,823	7	5,754,991	7
	各種商品小売業	247	3	48,527	5	820,666	6
	織物・衣服・身の回り品小売業	5,948	9	28,966	7	410,108	7
	飲食料品小売業	13,747	9	139,258	7	1,782,553	7
	自動車・自転車小売業	2,920	10	22,162	7	661,526	6
	家具・じゅう器・機械器具小売業	3,163	9	18,151	8	428,138	8
	その他の小売業	13,578	9	97,759	8	1,651,999	7
	医薬品・化粧品小売業	2,906	9	20,531	8	383,740	7
	農耕用品小売業	492	5	2,447	3	58,747	4
	燃料小売業	2,032	5	14,017	7	460,892	7
	書籍・文房具小売業	1,749	9	22,394	8	169,697	8
	スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,214	7	7,949	6	133,568	6
写真機・写真材料小売業	112	11	581	6	7,900	5	
時計・眼鏡・光学機械小売業	781	9	2,996	9	38,341	7	
他に分類されない小売業	4,292	9	26,844	4	399,115	4	

2. 市町村別の状況

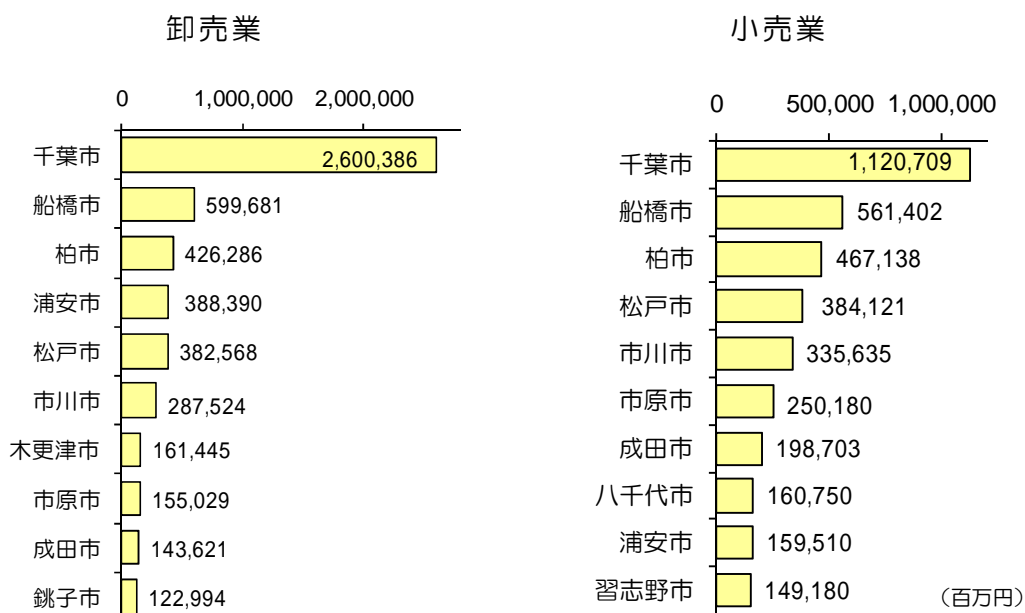
千葉県の事業所数をみると、卸売事業所の18.8%を千葉市が占め、次いで、船橋市、柏市の順となっています。小売商店は、13.8%を千葉市が占め、次いで、船橋市、松戸市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の39.6%、小売業の19.5%を千葉市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

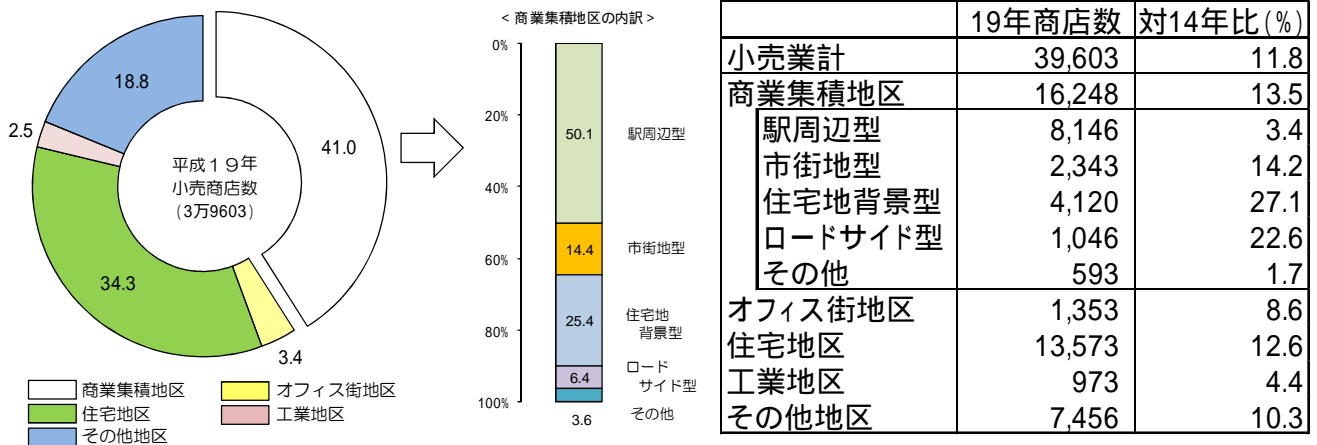


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型の割合が50.1%と高い割合となっています。また、オフィス街地区の商店数は増加しています。

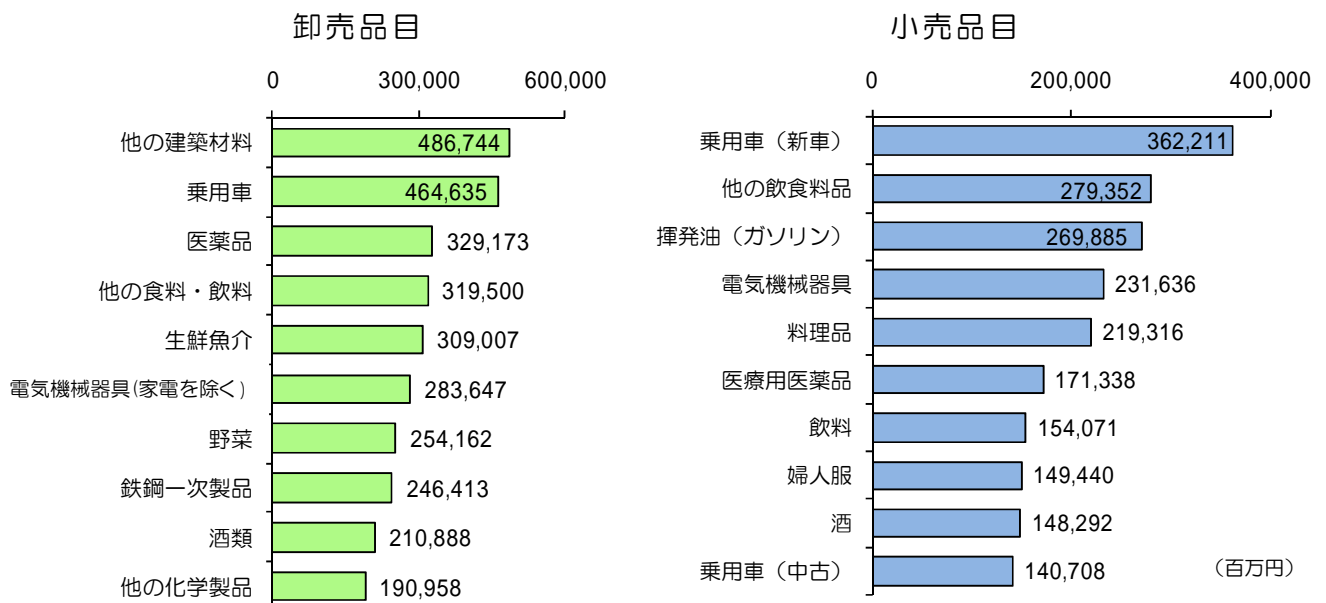


4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「乗用車」、「鉄鋼一次製品」、「生鮮魚介」、「野菜」など工業製品、農水産品など多様な品目が上位に入っています。

小売品目では「他の飲食料品」、「料理品」、「飲料」など食料品関連のほか、「婦人服」も上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



東京都

- 東京都の商業集積地区は駅周辺型が6割 -

東京都の卸売事業所数をみると、中央区が15.3%を占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業では千代田区、中央区、港区が東京都の72.2%を占め、これは全国でみても28.8%を占めています。小売年間商品販売額は中央区、新宿区、渋谷区で東京都の23.0%を占め、それぞれ1兆円を超えています。

業種別に年間商品販売額をみると、卸売業では繊維品卸売業の2位以外は全ての業種で全国1位となっています。小売業では農耕用品小売業と燃料小売業以外は全国1位となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が全国で唯一50%を超えています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が60.2%と高い割合となっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

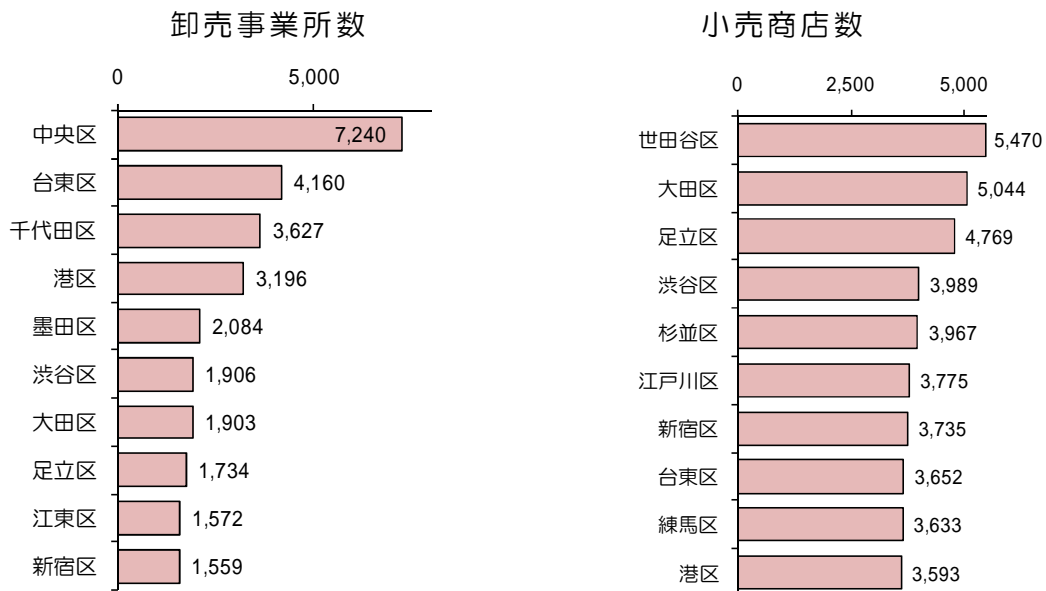
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
東京都計	149,965	1	1,699,450	1	182,211,327	1	
卸売業計	47,270	1	816,306	1	164,932,421	1	
業種別	各種商品卸売業	163	1	18,371	1	42,314,218	1
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	979	2	10,287	2	980,004	2
	衣服・身の回り品卸売業	5,180	1	84,353	1	5,120,541	1
	農畜産物・水産物卸売業	4,150	1	51,645	1	7,346,258	1
	食料・飲料卸売業	4,088	1	77,286	1	11,324,360	1
	建築材料卸売業	3,553	1	38,681	1	4,294,318	1
	化学製品卸売業	2,744	1	47,791	1	10,648,212	1
	鉱物・金属材料卸売業	2,443	1	43,526	1	23,519,795	1
	再生資源卸売業	1,136	1	7,156	1	635,935	1
	一般機械器具卸売業	3,447	1	59,555	1	6,378,837	1
	自動車卸売業	1,532	1	21,340	1	4,326,642	1
	電気機械器具卸売業	3,296	1	116,829	1	21,550,054	1
	その他の機械器具卸売業	2,307	1	43,750	1	4,015,833	1
	家具・建具・じゅう器等卸売業	1,736	1	20,898	1	1,343,069	1
	医薬品・化粧品等卸売業	1,921	1	46,573	1	7,053,072	1
	他に分類されない卸売業	8,595	1	128,265	1	14,081,276	1
	小売業計	102,695	1	883,144	1	17,278,905	1
	各種商品小売業	251	2	126,983	1	2,864,210	1
	織物・衣服・身の回り品小売業	18,949	1	106,587	1	1,952,121	1
	飲食料品小売業	34,578	1	332,444	1	4,681,155	1
自動車・自転車小売業	4,913	2	36,643	1	1,464,712	1	
家具・じゅう器・機械器具小売業	8,185	1	51,107	1	1,625,096	1	
その他小売業	35,819	1	229,380	1	4,691,611	1	
医薬品・化粧品小売業	8,120	1	59,731	1	1,193,843	1	
農耕用品小売業	116	43	451	45	7,460	46	
燃料小売業	2,235	4	16,571	5	537,250	5	
書籍・文房具小売業	5,485	1	53,474	1	916,231	1	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	2,779	1	19,552	1	447,258	1	
写真機・写真材料小売業	365	1	1,803	1	38,178	1	
時計・眼鏡・光学機械小売業	2,059	1	8,842	1	183,273	1	
他に分類されない小売業	14,660	1	68,956	1	1,368,119	1	

2. 市区別の状況

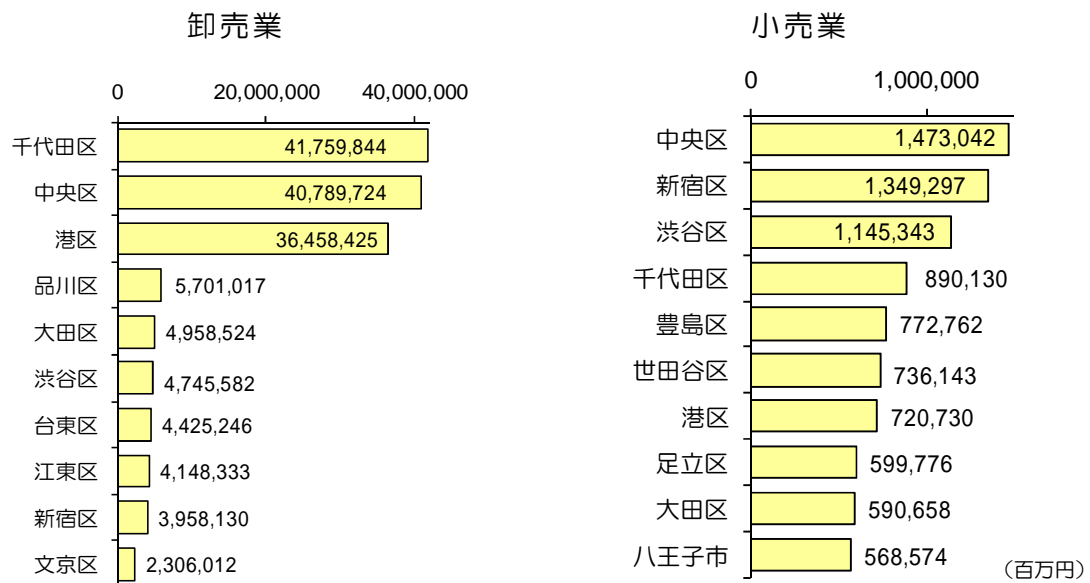
東京都の事業所数をみると、卸売事業所の15.3%を中央区が占め、最も高い割合となっています。小売商店は、世田谷区、大田区、足立区、渋谷区となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は企業の本社が集中する千代田区、中央区、港区が多く、3区で東京の卸売業の72.2%を占めています。小売年間商品販売額では中央区、新宿区、渋谷区がそれぞれ1兆円を超え、3区で23.0%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市区】(平成19年)

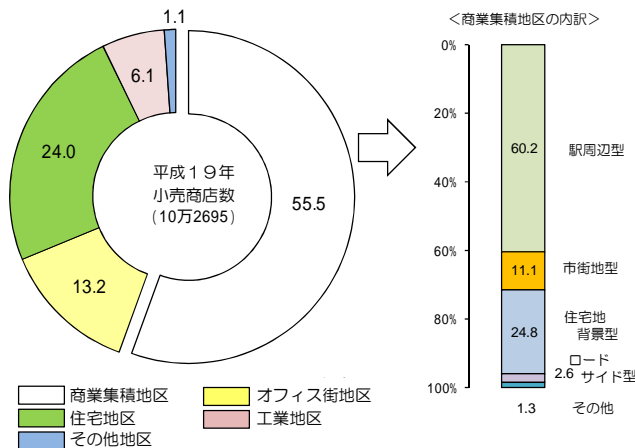


【年間商品販売額の上位10市区】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、55.5%が商業集積地区となり、全国で最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が60.2%と高い割合となっています。



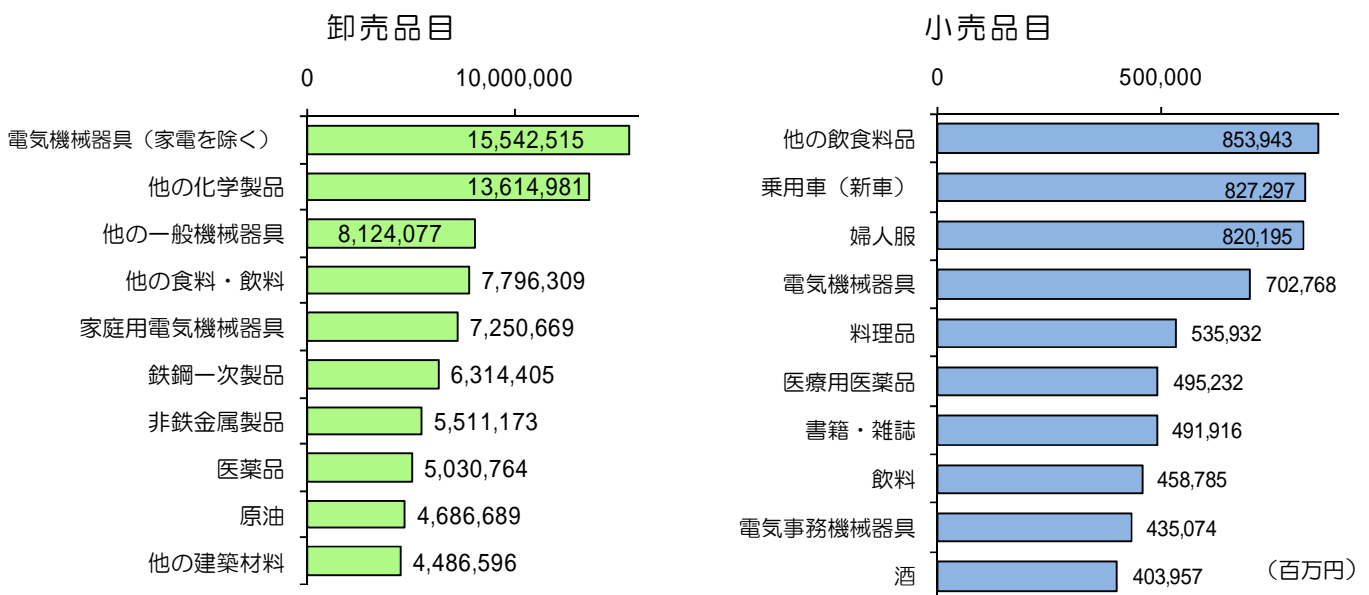
	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	102,695	13.7
商業集積地区	57,018	11.8
駅周辺型	34,334	9.1
市街地型	6,338	12.0
住宅地背景型	14,156	19.4
ロードサイド型	1,473	1.7
その他	717	0.3
オフィス街地区	13,605	7.3
住宅地区	24,684	20.7
工業地区	6,279	10.0
その他地区	1,109	29.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「他の化学製品」いずれも10兆円を超えています。

小売品目では、「婦人服」、「書籍・雑誌」、パソコンなどが含まれる「電気事務機械器具」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



神奈川県

- 神奈川県の小売店の5割は商業集積地区、
そのうち6割以上は駅周辺型 -

神奈川県の事業所数をみると卸売事業所の43.9%、小売商店の37.2%を横浜市が占めています。年間商品販売額では卸売業の48.9%、小売業の43.5%を横浜市が占めています。

業種別の年間商品販売額をみると、卸売業は全国5位、小売業は全国3位となっています。

小売商店の立地をみると、49.1%が商業集積地区となっています。商業集積地区の内訳では64.6%が駅周辺型となっており、駅周辺型の割合は全国で最も高くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

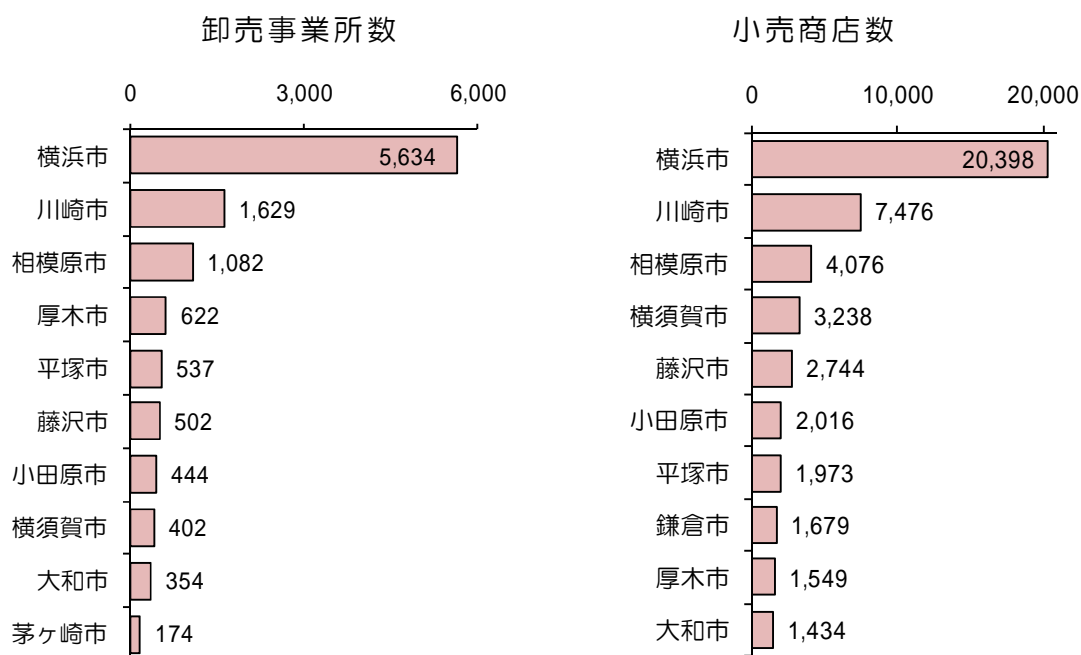
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
神奈川県計	67,716	4	643,763	4	20,946,950	5	
卸売業計	12,824	6	145,664	5	12,398,845	5	
業種別	各種商品卸売業	42	6	471	8	26,489	12
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	54	18	293	17	11,059	18
	衣服・身の回り品卸売業	417	10	3,389	11	125,055	12
	農畜産物・水産物卸売業	1,450	7	16,174	6	1,335,201	6
	食料・飲料卸売業	1,454	7	17,404	5	1,380,820	6
	建築材料卸売業	1,716	5	13,358	6	990,415	6
	化学製品卸売業	498	6	4,918	5	308,334	6
	鉱物・金属材料卸売業	568	7	5,697	7	999,838	8
	再生資源卸売業	501	4	3,856	5	177,657	4
	一般機械器具卸売業	1,120	6	12,233	5	1,193,614	4
	自動車卸売業	890	4	16,085	3	1,380,480	3
	電気機械器具卸売業	832	5	14,556	5	1,512,634	5
	その他の機械器具卸売業	537	5	7,749	4	592,625	4
	家具・建具・じゅう器等卸売業	529	6	4,262	6	189,341	6
	医薬品・化粧品等卸売業	541	7	7,432	7	844,204	6
	他に分類されない卸売業	1,675	7	17,787	5	1,331,079	5
	小売業計	54,892	4	498,099	3	8,548,105	3
業種別	各種商品小売業	224	4	53,219	3	1,138,404	4
	織物・衣服・身の回り品小売業	8,422	5	47,346	3	694,454	3
	飲食料品小売業	19,627	3	211,362	3	2,740,139	3
	自動車・自転車小売業	3,573	4	28,663	3	988,903	3
	家具・じゅう器・機械器具小売業	4,325	4	24,482	4	773,793	4
	その他の小売業	18,721	4	133,027	3	2,212,413	5
	医薬品・化粧品小売業	4,555	3	35,514	2	607,109	2
	農耕用品小売業	166	36	792	33	12,119	41
	燃料小売業	1,912	8	16,825	4	565,549	3
	書籍・文房具小売業	2,369	4	29,149	5	281,891	4
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,508	4	9,695	4	165,118	4
	写真機・写真材料小売業	134	6	606	5	9,209	4
	時計・眼鏡・光学機械小売業	1,030	4	4,436	4	62,561	4
	他に分類されない小売業	7,047	3	36,010	3	508,857	3

2. 市町村別の状況

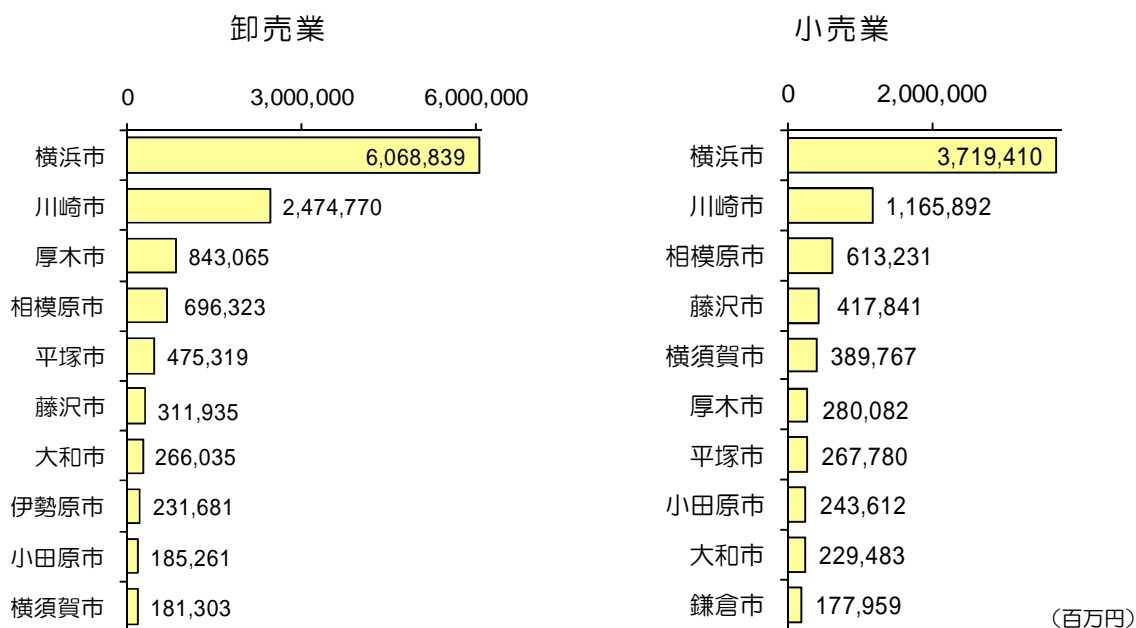
神奈川県の事業所数をみると、卸売事業所の43.9%、小売商店の37.2%を横浜市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の48.9%、小売業の43.5%を横浜市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)



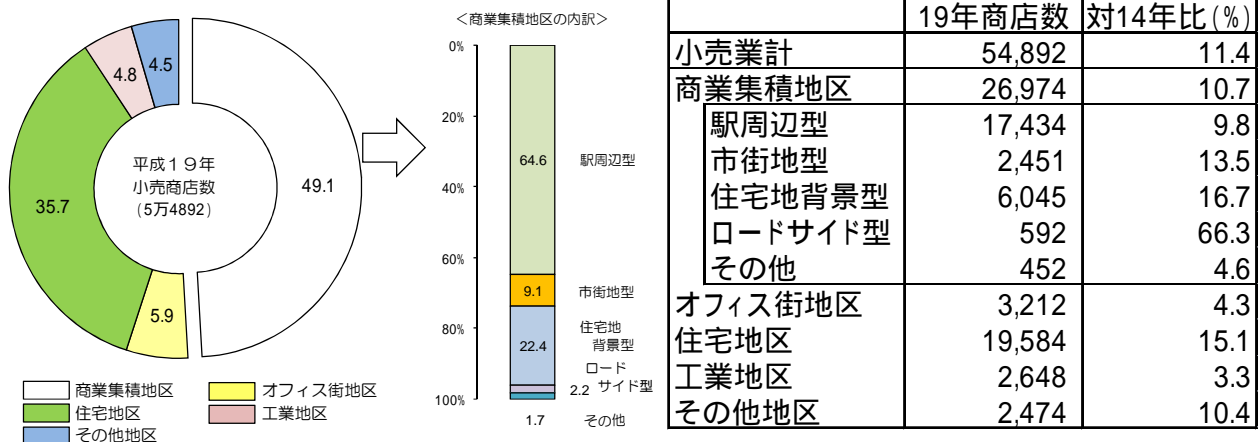
【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



(百万円)

3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、49.1%が商業集積地区となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が64.6%となっており、全国で最も高い割合となっています。

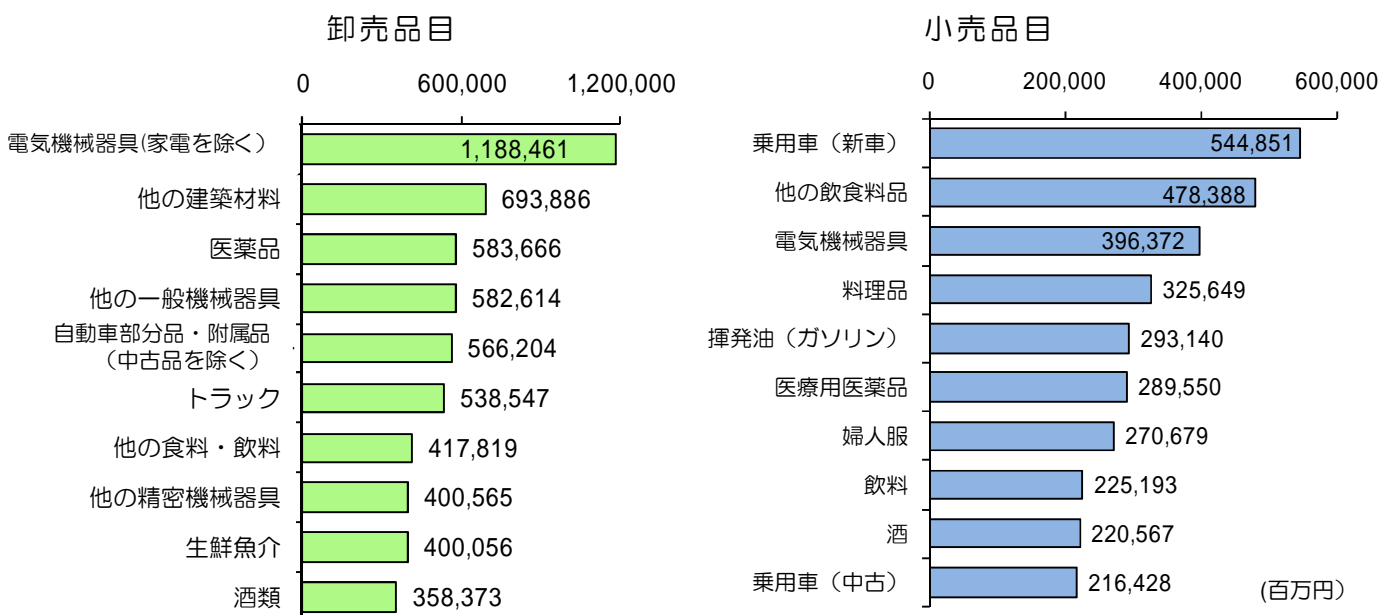


4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「他の一般機械器具」、「自動車部分品・附属品」、「他の精密機械器具」と工業製品の品目が多く入っています。

小売品目では「他の飲食料品」、「料理品」、「飲料」など飲食料品関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



新潟県

- 新潟県の年間商品販売額は卸売業の6割近く、
小売業の4割近くが新潟市に集中 -

新潟県の事業所数をみると、卸売事業所の39.8%、小売商店の29.3%を新潟市が占めています。年間商品販売額では卸売業の57.1%、小売業の36.5%を新潟市が占めています。

業種別にみると、農耕用品小売業が事業所数では全国2位、年間商品販売額では全国3位となっています。

小売商店の立地では商業集積地区が35.7%と最も高い割合となっており、商業集積地区の内訳では、住宅地背景型の割合が最も高くなっています。また、ロードサイド型の割合が増加しています。

卸売販売品目をみると、「鉄鋼一次製品」、「金物」、「酒類」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

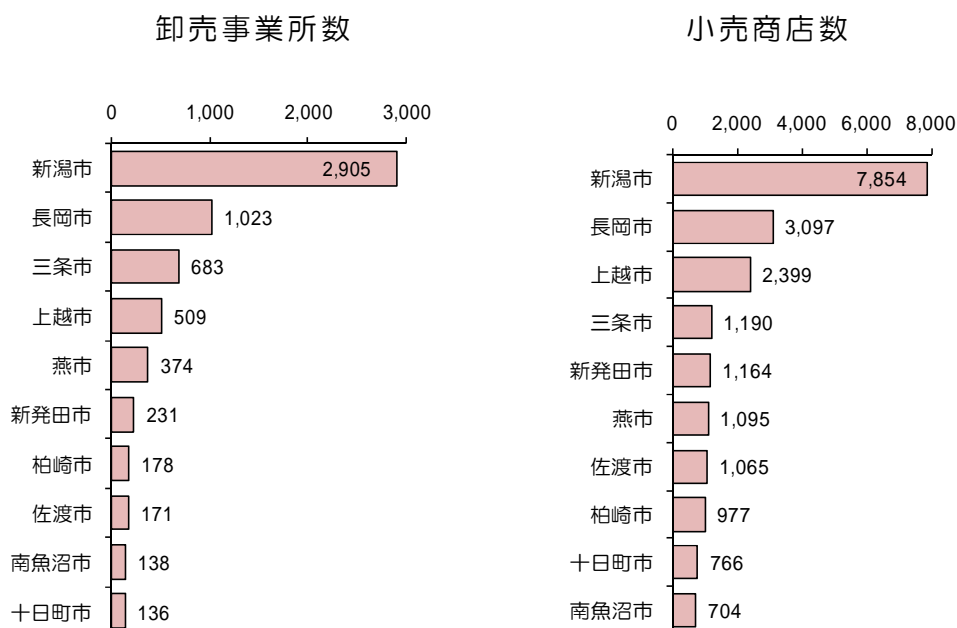
	事業所数	就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	
新潟県計	34,087	13	222,217	15	7,185,195	
卸売業計	7,304	14	67,031	14	4,608,546	
業種別	各種商品卸売業	32	12	311	13	27,368
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	108	10	471	11	29,605
	衣服・身の回り品卸売業	259	13	2,341	13	74,586
	農畜産物・水産物卸売業	789	14	7,454	17	416,876
	食料・飲料卸売業	805	14	7,791	15	620,348
	建築材料卸売業	883	13	6,959	12	442,750
	化学製品卸売業	266	14	1,859	15	131,374
	鉱物・金属材料卸売業	435	12	5,186	9	832,564
	再生資源卸売業	231	12	1,592	13	66,361
	一般機械器具卸売業	749	12	6,118	12	327,262
	自動車卸売業	438	12	4,525	12	207,341
	電気機械器具卸売業	347	14	3,380	14	276,782
	その他の機械器具卸売業	226	13	2,067	14	116,679
	家具・建具・じゅう器等卸売業	284	15	2,807	11	107,765
	医薬品・化粧品等卸売業	303	15	3,306	14	251,237
	他に分類されない卸売業	1,149	10	10,864	9	679,648
	小売業計	26,783	13	155,186	15	2,576,649
業種別	各種商品小売業	98	15	9,548	20	175,448
	織物・衣服・身の回り品小売業	3,610	13	13,340	15	173,970
	飲食料品小売業	9,516	11	60,294	15	841,020
	自動車・自転車小売業	2,221	12	13,615	12	340,825
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,599	12	9,478	14	174,629
	その他の小売業	8,739	14	48,911	15	870,757
	医薬品・化粧品小売業	1,769	12	8,588	15	170,196
	農耕用品小売業	602	2	2,496	2	58,801
	燃料小売業	1,483	13	8,671	15	320,235
	書籍・文房具小売業	896	14	11,617	15	82,287
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	566	14	2,604	19	40,796
	写真機・写真材料小売業	82	14	271	15	2,045
	時計・眼鏡・光学機械小売業	479	11	1,404	15	14,220
他に分類されない小売業	2,862	13	13,260	15	182,177	

2. 市町村別の状況

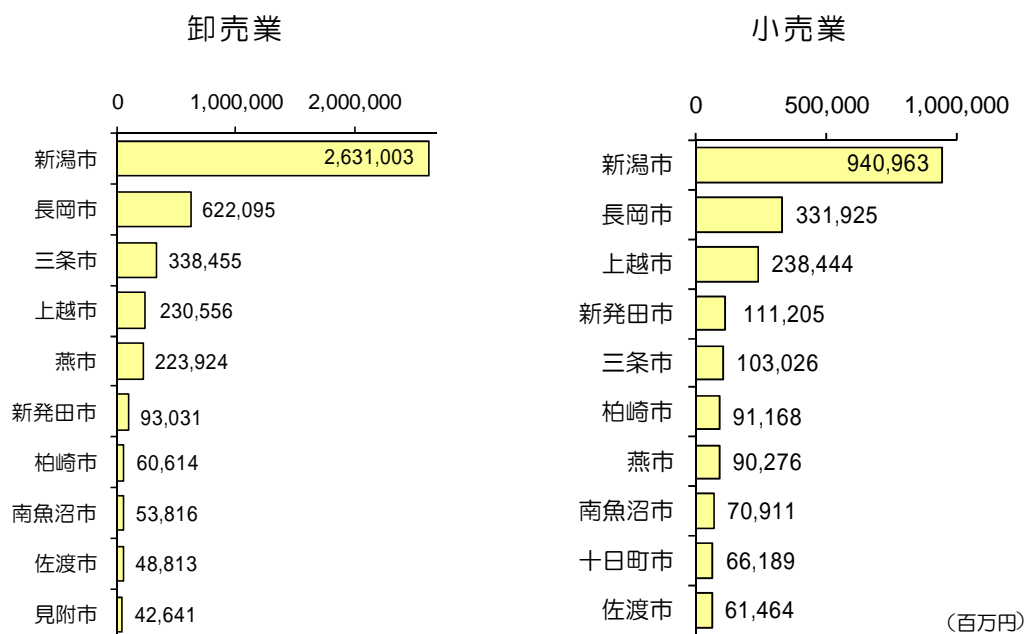
新潟県の事業所数をみると、卸売事業所の39.8%を新潟市が占め、次いで、長岡市、三条市、上越市の順となっています。小売商店は29.3%を新潟市が占め、次いで、長岡市、上越市、三条市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の57.1%、小売業の36.5%を新潟市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

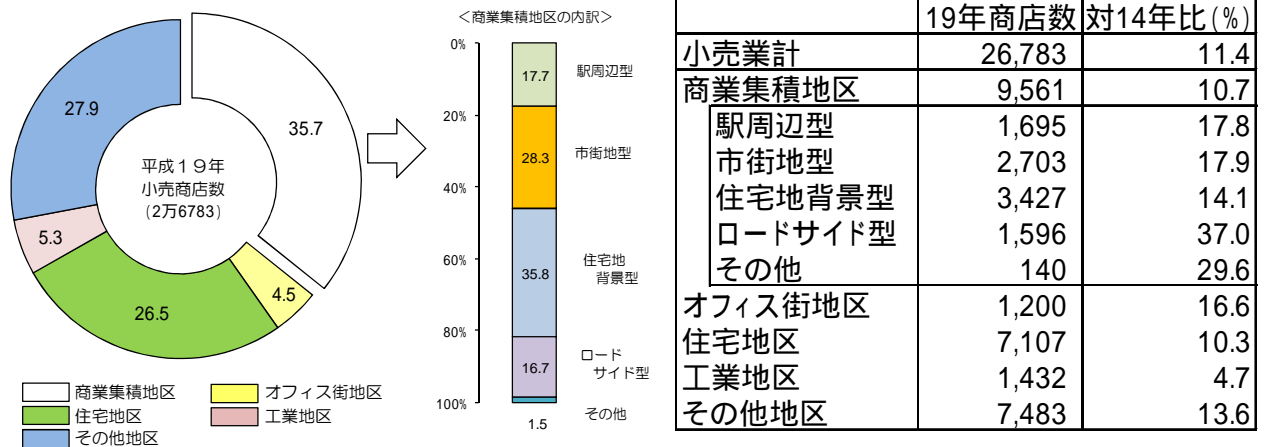


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

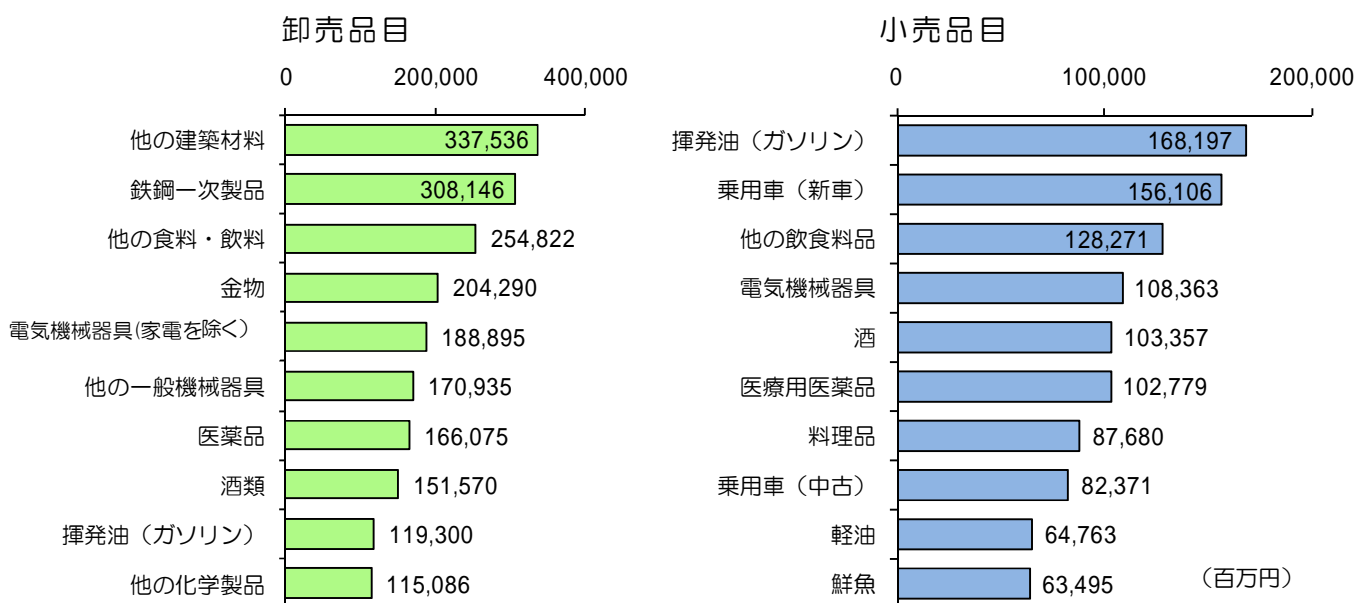
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が35.7%と最も高く、次いで、その他地区、住宅地区の順となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が35.8%と最も高くなっています。また、ロードサイド型が伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「鉄鋼一次製品」、「金物」、「酒類」が上位に入っています。小売販売品目では「酒」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



富山県

- 富山県の事業所数、年間商品販売額はともに富山市に集中 -

富山県の事業所数をみると、卸売事業所の48.6%、小売商店の35.0%を富山市が占めています。年間商品販売額も卸売業の61.8%、小売業の43.4%を富山市が占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が34.0%と最も高く、商業集積地区の内訳では、住宅地背景型の割合が最も高くなっています。また、ロードサイド型の割合は23.3%と他県に比べて高くなっている一方、駅周辺型の割合は14.0%と低くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

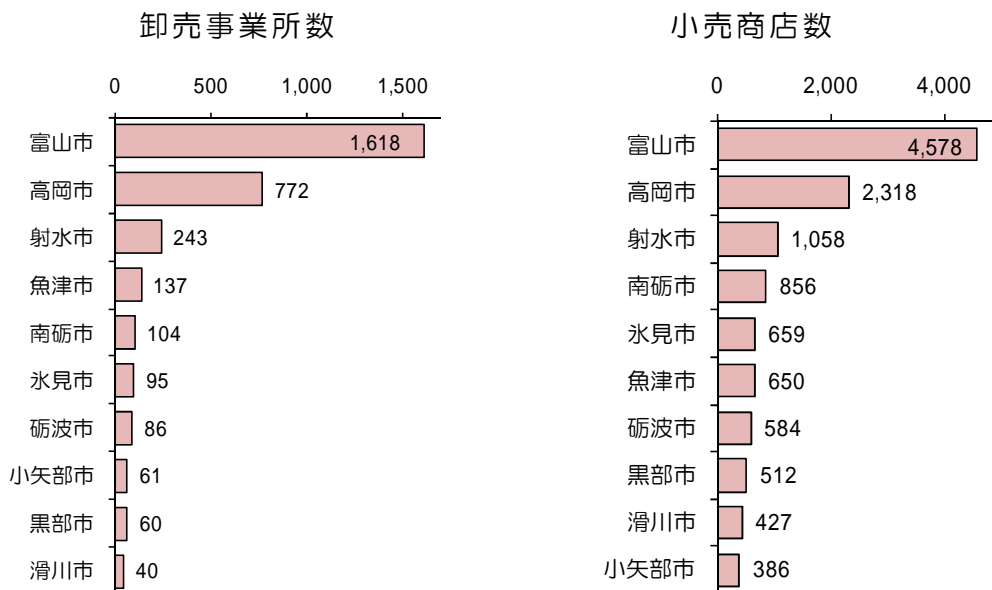
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
富山県計	16,409	33	100,970	35	3,297,996	30	
卸売業計	3,330	31	29,185	31	2,122,552	27	
業種別	各種商品卸売業	14	28	155	28	11,150	21
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	24	29	106	28	2,665	30
	衣服・身の回り品卸売業	132	22	926	22	30,489	22
	農畜産物・水産物卸売業	342	40	3,227	39	174,447	40
	食料・飲料卸売業	387	37	3,938	35	264,709	30
	建築材料卸売業	355	37	2,883	33	182,956	30
	化学製品卸売業	135	28	1,263	22	126,006	18
	鉱物・金属材料卸売業	230	17	2,392	18	445,144	15
	再生資源卸売業	96	25	711	29	24,482	27
	一般機械器具卸売業	349	25	2,599	26	191,728	21
	自動車卸売業	234	27	2,255	27	129,071	24
	電気機械器具卸売業	157	32	1,743	26	182,699	22
	その他の機械器具卸売業	101	32	1,030	27	53,268	28
	家具・建具・じゅう器等卸売業	176	26	1,060	27	34,864	27
	医薬品・化粧品等卸売業	188	33	1,745	31	134,949	31
	他に分類されない卸売業	410	28	3,152	28	133,923	32
	小売業計	13,079	33	71,785	38	1,175,444	35
業種別	各種商品小売業	35	42	3,715	38	77,428	37
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,013	25	6,668	32	88,578	30
	飲食料品小売業	4,093	37	27,392	39	371,298	36
	自動車・自転車小売業	906	37	5,783	34	159,132	28
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,269	28	4,260	40	85,617	35
	その他の小売業	4,763	31	23,967	35	393,390	34
	医薬品・化粧品小売業	1,360	20	4,666	32	76,194	32
	農耕用品小売業	162	37	747	37	16,289	34
	燃料小売業	699	35	4,129	36	154,480	34
	書籍・文房具小売業	478	35	6,490	31	37,199	31
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	272	36	1,327	37	22,569	32
	写真機・写真材料小売業	41	29	185	23	2,030	22
	時計・眼鏡・光学機械小売業	197	38	624	38	8,152	30
	他に分類されない小売業	1,554	29	5,799	37	76,478	32

2. 市町村別の状況

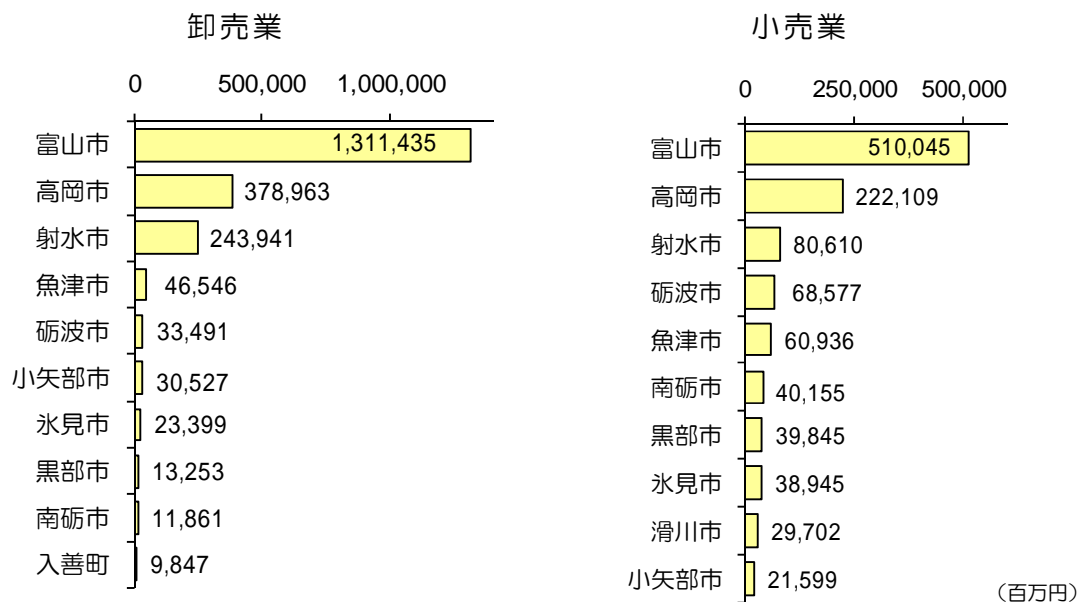
富山県の事業所数をみると、卸売事業所の48.6%、小売商店の35.0%を富山市が占め、次いで、卸売事業所、小売商店ともに高岡市、射水市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業の61.8%、小売業の43.4%を富山市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

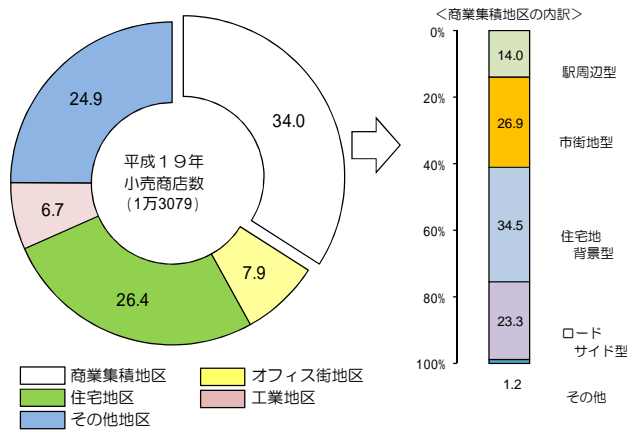


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が34.0%と最も高くなっています。商業集積地の内訳では住宅地背景型の割合が34.5%と最も高くなっていますが、ロードサイド型の割合も23.3%と高くなっています。

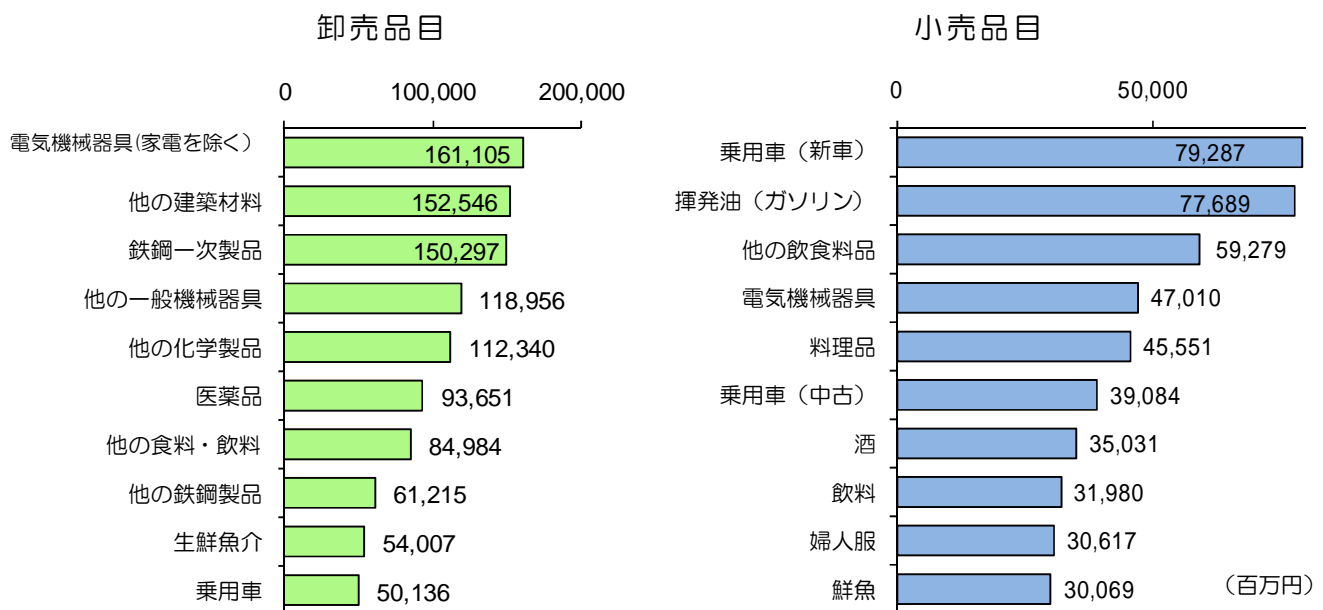


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	13,079	15.4
商業集積地区	4,449	15.8
駅周辺型	625	14.3
市街地型	1,197	22.1
住宅地背景型	1,535	21.1
ロードサイド型	1,037	4.2
その他	55	30.4
オフィス街地区	1,034	18.3
住宅地区	3,459	15.0
工業地区	878	4.7
その他地区	3,259	16.7

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」、「他の化学製品」、「生鮮魚介」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



石川県

- 石川県の年間商品販売額は卸売業の8割、
小売業の5割が金沢市に集中 -

石川県の事業所数をみると、卸売事業所の59.4%、小売商店の37.9%を金沢市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の77.4%、小売業の45.2%が金沢市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区と住宅地区の割合が30%を超えて高く、商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が最も高くなっています。また、ロードサイド型の割合は平成14年と比べて22.7%の増加となっています。

卸売販売品目でみると、「電気機械器具(家電を除く)」、「織物」の販売額が多くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

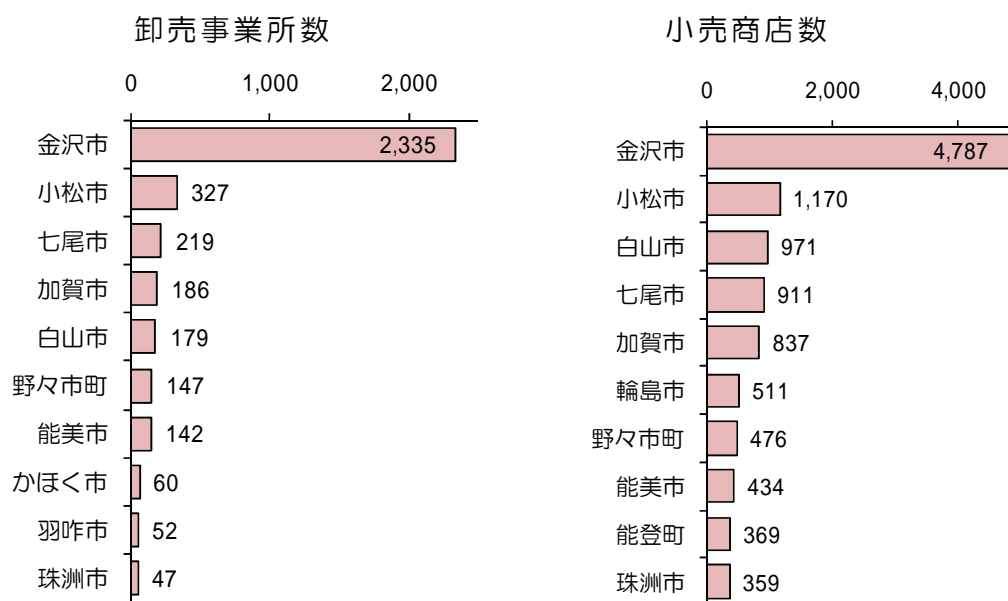
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
石川県計	16,564	32	112,460	30	4,157,618	22	
業種別	卸売業計	3,932	26	35,487	23	2,818,190	21
	各種商品卸売業	16	25	105	33	4,710	33
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	109	9	663	8	109,082	6
	衣服・身の回り品卸売業	142	19	1,173	19	35,523	20
	農畜産物・水産物卸売業	373	36	4,594	32	346,726	29
	食料・飲料卸売業	510	30	4,921	29	463,099	17
	建築材料卸売業	467	28	3,718	25	281,729	19
	化学製品卸売業	133	29	805	32	57,653	31
	鉱物・金属材料卸売業	173	26	1,977	20	271,843	22
	再生資源卸売業	91	27	630	32	19,504	28
	一般機械器具卸売業	384	22	3,031	20	217,798	18
	自動車卸売業	216	29	2,206	28	104,147	26
	電気機械器具卸売業	243	20	2,853	19	351,578	18
	その他の機械器具卸売業	135	22	1,292	21	93,139	19
	家具・建具・じゅう器等卸売業	285	14	1,648	17	54,871	20
	医薬品・化粧品等卸売業	212	25	2,234	25	162,236	27
	他に分類されない卸売業	443	27	3,637	23	244,551	22
	小売業計	12,632	36	76,973	35	1,339,428	30
	各種商品小売業	50	34	5,373	32	142,230	27
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,887	32	7,587	25	97,496	26
	飲食料品小売業	4,216	36	28,830	37	385,444	33
	自動車・自転車小売業	1,019	31	6,553	30	187,158	25
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,248	29	5,305	33	108,985	30
	その他の小売業	4,212	38	23,325	37	418,115	32
	医薬品・化粧品小売業	781	41	3,852	38	78,819	31
	農耕用品小売業	114	44	462	44	10,743	44
	燃料小売業	697	36	4,439	35	170,014	29
書籍・文房具小売業	670	24	6,341	34	41,557	28	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	282	34	1,385	35	20,980	34	
写真機・写真材料小売業	49	24	141	30	990	39	
時計・眼鏡・光学機械小売業	207	35	648	35	7,338	32	
他に分類されない小売業	1,412	36	6,057	33	87,673	26	

2. 市町村別の状況

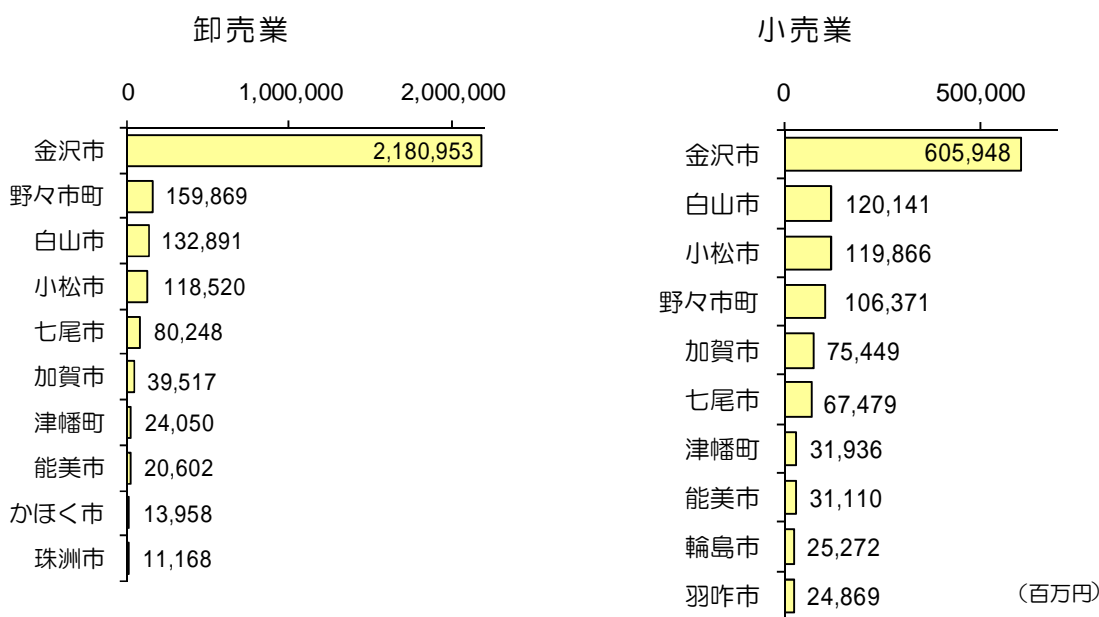
石川県の事業所数をみると、卸売事業所の59.4%、小売商店の37.9%を金沢市が占めています。

年間商品販売額では卸売業の77.4%、小売業の45.2%が金沢市となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

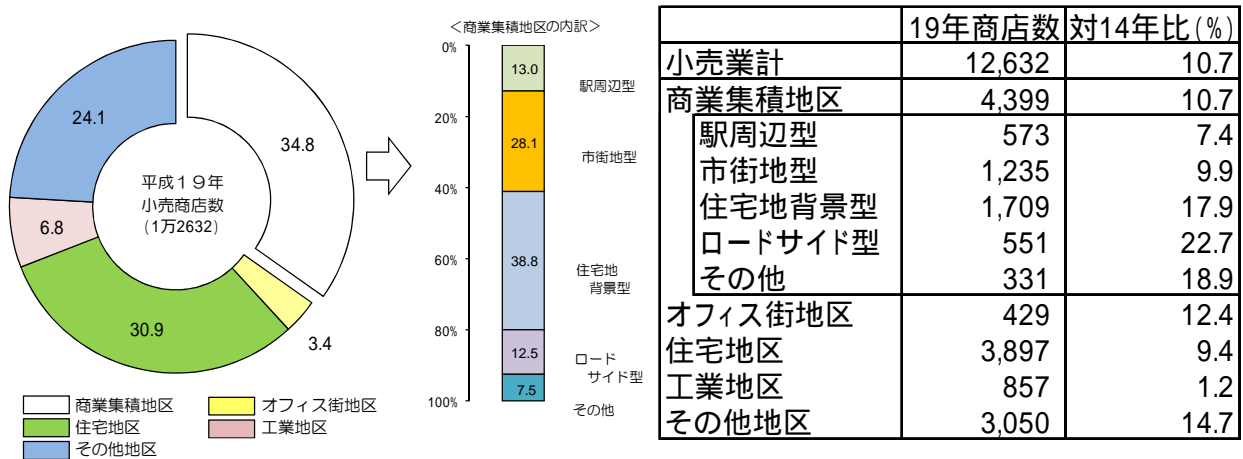


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

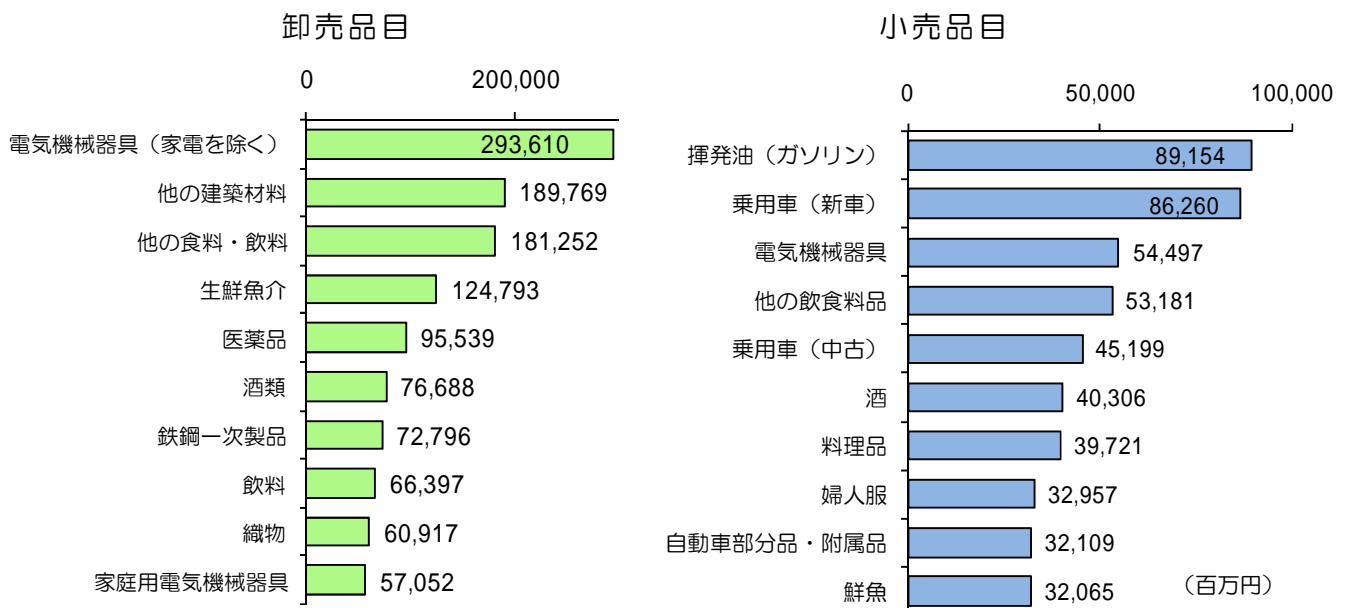
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が34.8%と最も高く、次いで、住宅地区が30.9%となっており、いずれも30%を超えています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が38.8%と最も高い割合となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「他の食料・飲料」、「生鮮魚介」、「酒類」、「織物」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



福井県

- 商業集積地区のうちロードサイド型の割合が最も高い福井県 -

福井県の年間商品販売額を業種別にみると、繊維品卸売業が全国で5位と上位に入っています。

事業所数をみると、卸売事業所の49.1%、小売商店の34.9%を福井市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の72.9%、小売業の42.7%を福井市が占め、福井市に集中しています。

小売商店の立地では商業集積地区の割合が32.2%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳ではロードサイド型の割合が最も高くなっており、全国でも最も高い割合となっています。

卸売販売品目をみると、「織物」、「他の化学製品」、「生鮮魚介」、「他の精密機械器具」、「米麦」などが上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

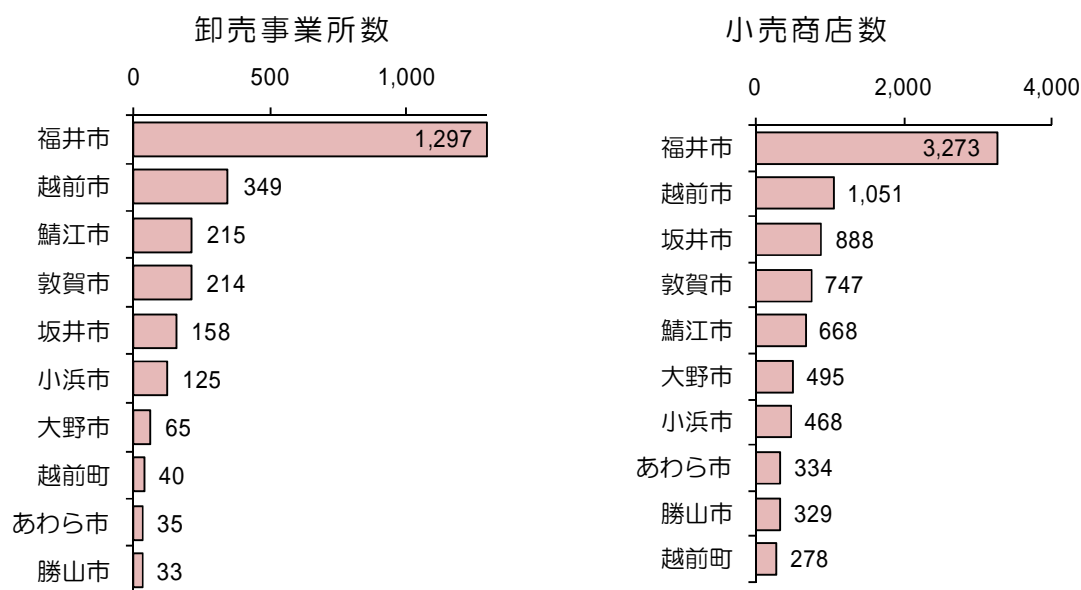
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
福井県計	12,021	41	76,191	41	2,230,298	39
卸売業計	2,641	39	22,328	37	1,325,605	38
各種商品卸売業	7	41	56	42	1,732	43
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	191	5	1,135	5	115,122	5
衣服・身の回り品卸売業	128	23	828	24	22,334	27
農畜産物・水産物卸売業	274	43	2,894	42	197,679	39
食料・飲料卸売業	305	42	2,772	41	128,590	42
建築材料卸売業	285	42	2,180	41	133,483	38
化学製品卸売業	105	32	964	29	98,978	23
鉱物・金属材料卸売業	83	40	1,339	32	139,541	36
再生資源卸売業	66	39	335	42	7,802	42
一般機械器具卸売業	202	37	1,548	38	62,006	39
自動車卸売業	136	40	1,270	37	54,434	36
電気機械器具卸売業	84	44	999	37	88,383	36
その他の機械器具卸売業	153	20	1,550	17	72,720	24
家具・建具・じゅう器等卸売業	153	29	946	30	23,475	35
医薬品・化粧品等卸売業	139	41	1,157	44	91,222	40
他に分類されない卸売業	330	38	2,355	36	88,104	41
小売業計	9,380	43	53,863	42	904,694	41
各種商品小売業	41	39	2,422	44	61,657	41
織物・衣服・身の回り品小売業	1,459	38	4,794	41	59,420	41
飲食料品小売業	3,142	46	21,723	42	288,847	41
自動車・自転車小売業	779	39	5,133	37	141,271	35
家具・じゅう器・機械器具小売業	908	43	3,341	44	68,606	40
その他の小売業	3,051	46	16,450	44	284,892	42
医薬品・化粧品小売業	547	45	2,350	46	41,733	46
農耕用品小売業	111	45	610	43	10,853	42
燃料小売業	586	42	3,179	44	124,444	38
書籍・文房具小売業	365	44	4,365	42	26,660	41
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	211	44	1,153	42	17,083	40
写真機・写真材料小売業	35	32	150	29	1,674	26
時計・眼鏡・光学機械小売業	162	41	497	42	6,447	39
他に分類されない小売業	1,034	45	4,146	44	55,998	43

2. 市町村別の状況

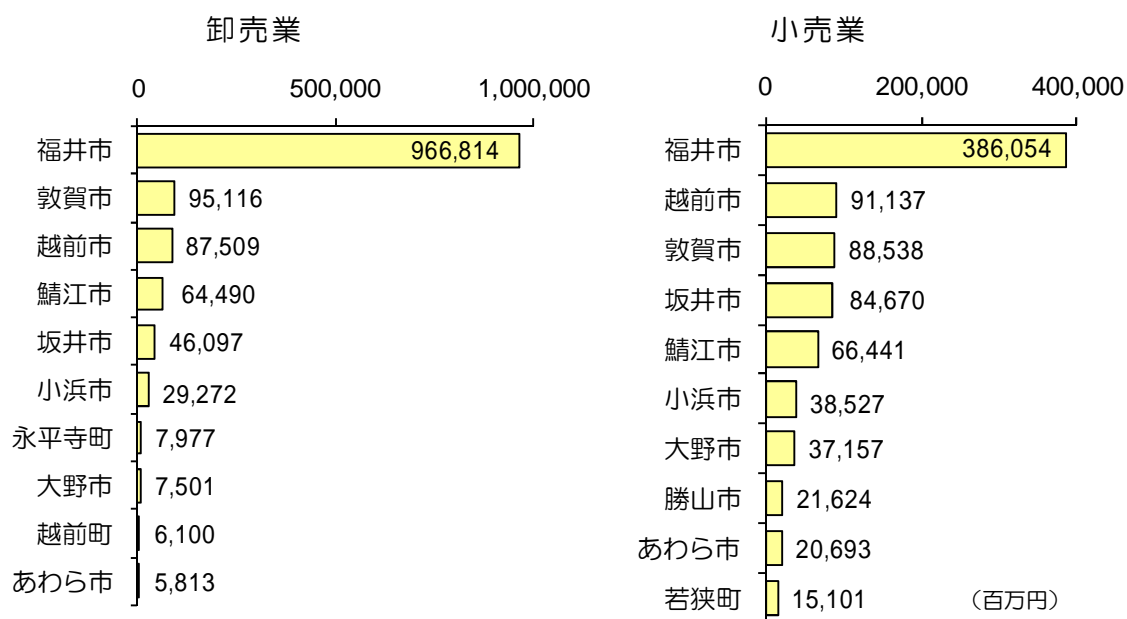
福井県の事業所数をみると、卸売事業所の49.1%、小売商店の34.9%を福井市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の72.9%、小売業の42.7%を福井市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

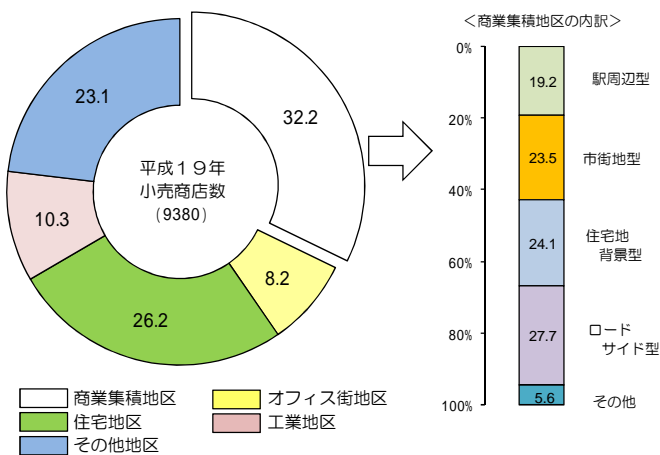


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が32.2%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳ではロードサイド型が27.7%と最も高く、全国で最も高い割合となっています。

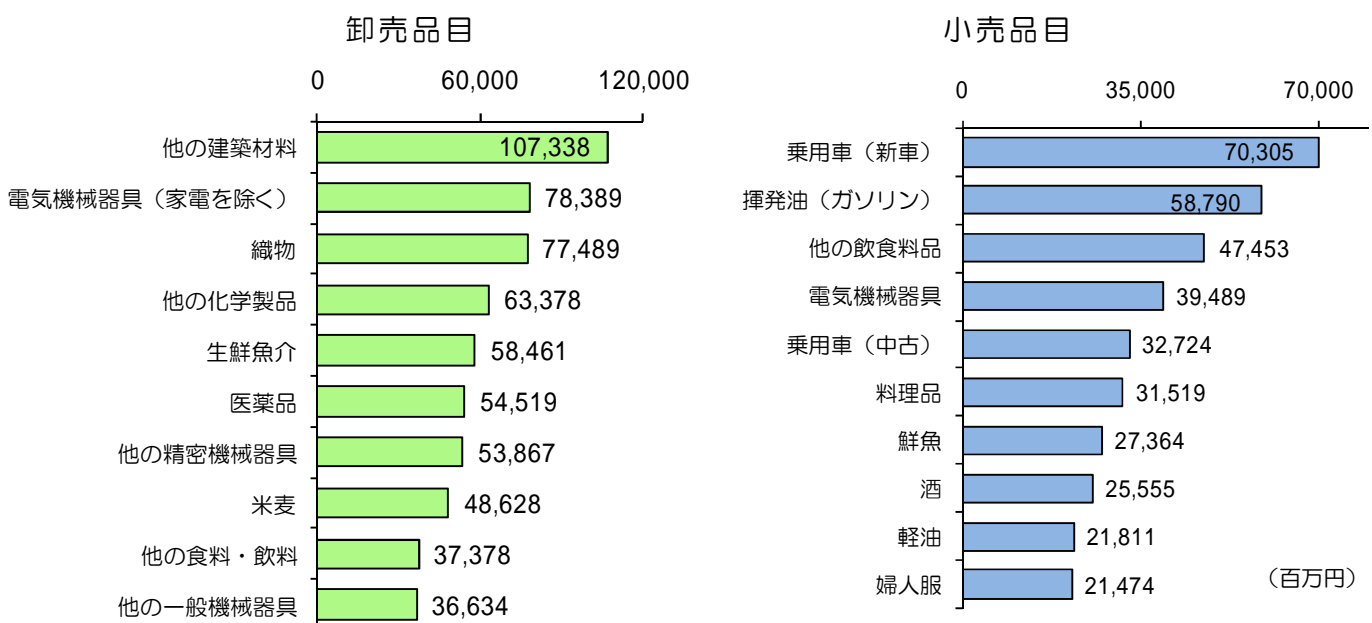


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	9,380	13.3
商業集積地区	3,025	15.7
駅周辺型	580	23.5
市街地型	710	19.8
住宅地背景型	729	20.6
ロードサイド型	838	3.6
その他	168	22.6
オフィス街地区	771	17.9
住宅地区	2,456	14.4
工業地区	963	0.7
その他地区	2,165	11.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「織物」、「他の化学製品」、「他の精密機械器具」、「他の一般機械器具」が入っているほか、「生鮮魚介」、「米麦」、「他の食料・飲料」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



山梨県

- 山梨県の卸売事業所数の4割、
年間商品販売額の5割強が甲府市 -

山梨県の事業所数をみると、卸売事業所数の42.0%、小売商店の26.5%を甲府市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の54.6%、小売業の28.5%を甲府市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区、商業集積地区、住宅地区に分散がみられます。また、商業集積地区のうち住宅地背景型などのほか、ロードサイド型の割合も高くなっています。

卸売販売品目をみると、「非鉄金属地金」、「ジュエリー製品」、「果実」、「野菜」、「菓子・パン類」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

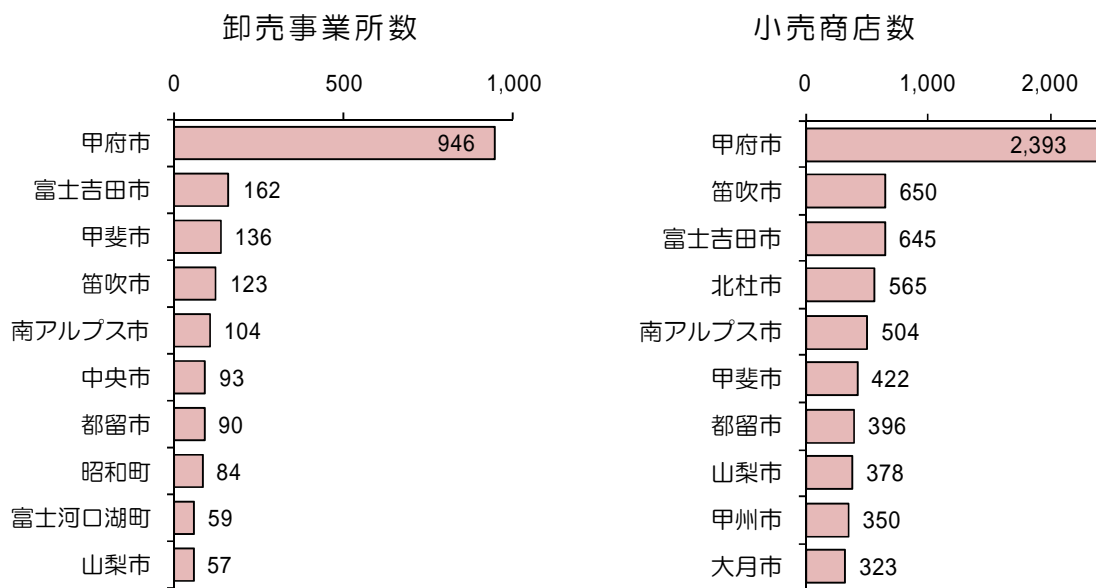
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
山梨県計	11,280	44	70,899	43	1,899,724	41	
卸売業計	2,252	41	17,579	41	1,026,267	40	
業種別	各種商品卸売業	5	45	29	46	690	47
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	37	21	166	25	5,168	25
	衣服・身の回り品卸売業	112	29	691	29	22,628	26
	農畜産物・水産物卸売業	296	42	2,511	45	139,482	44
	食料・飲料卸売業	320	39	3,025	39	170,297	37
	建築材料卸売業	268	45	1,730	46	92,685	42
	化学製品卸売業	56	44	468	42	24,744	42
	鉱物・金属材料卸売業	82	41	745	42	162,082	30
	再生資源卸売業	47	42	292	44	6,275	45
	一般機械器具卸売業	142	40	1,195	41	55,109	40
	自動車卸売業	111	44	1,118	40	34,374	45
	電気機械器具卸売業	97	39	908	41	73,686	39
	その他の機械器具卸売業	42	46	309	46	20,273	43
	家具・建具・じゅう器等卸売業	71	44	371	44	11,527	44
	医薬品・化粧品等卸売業	100	46	1,036	45	79,510	43
	他に分類されない卸売業	466	24	2,985	30	127,737	34
	小売業計	9,028	44	53,320	43	873,456	42
	各種商品小売業	31	44	2,406	45	74,832	38
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,226	44	4,171	43	59,268	42
	飲食料品小売業	3,187	43	21,699	43	272,790	42
自動車・自転車小売業	611	45	3,755	45	112,631	40	
家具・じゅう器・機械器具小売業	735	46	2,991	46	58,715	45	
その他的小売業	3,238	44	18,298	41	295,221	40	
医薬品・化粧品小売業	645	44	3,058	43	52,198	41	
農耕用品小売業	107	46	364	47	5,401	47	
燃料小売業	657	37	3,639	40	112,905	39	
書籍・文房具小売業	283	46	3,609	45	23,500	42	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	240	41	996	45	14,551	45	
写真機・写真材料小売業	28	38	94	41	909	40	
時計・眼鏡・光学機械小売業	138	45	483	43	5,020	44	
他に分類されない小売業	1,140	42	6,055	34	80,737	30	

2. 市町村別の状況

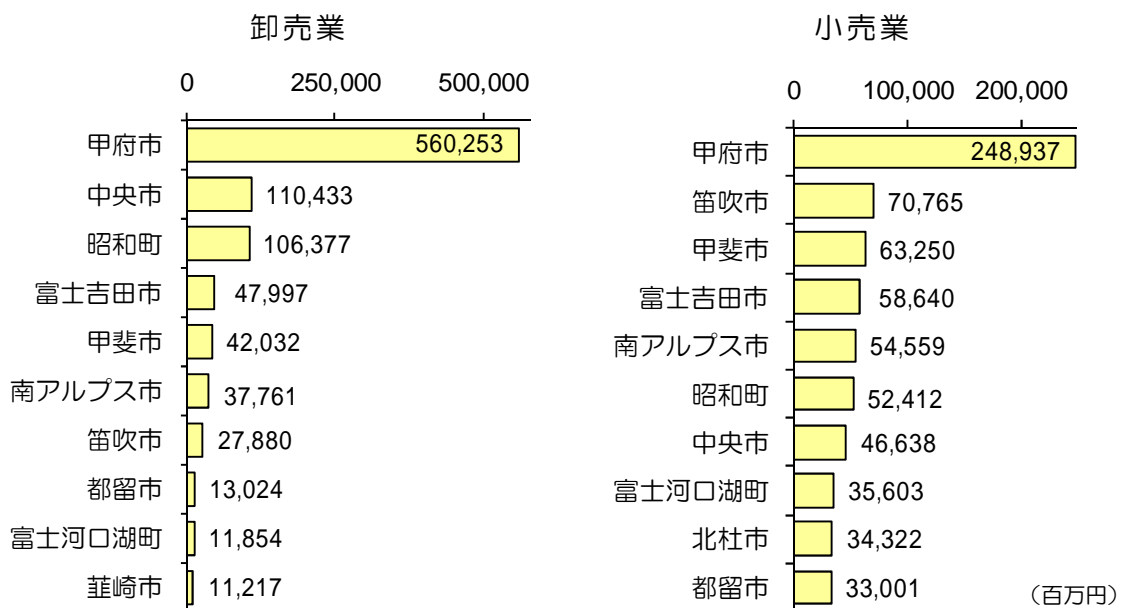
山梨県の事業所数をみると、卸売事業所の42.0%、小売商店の26.5%を甲府市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の54.6%、小売業の28.5%を甲府市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

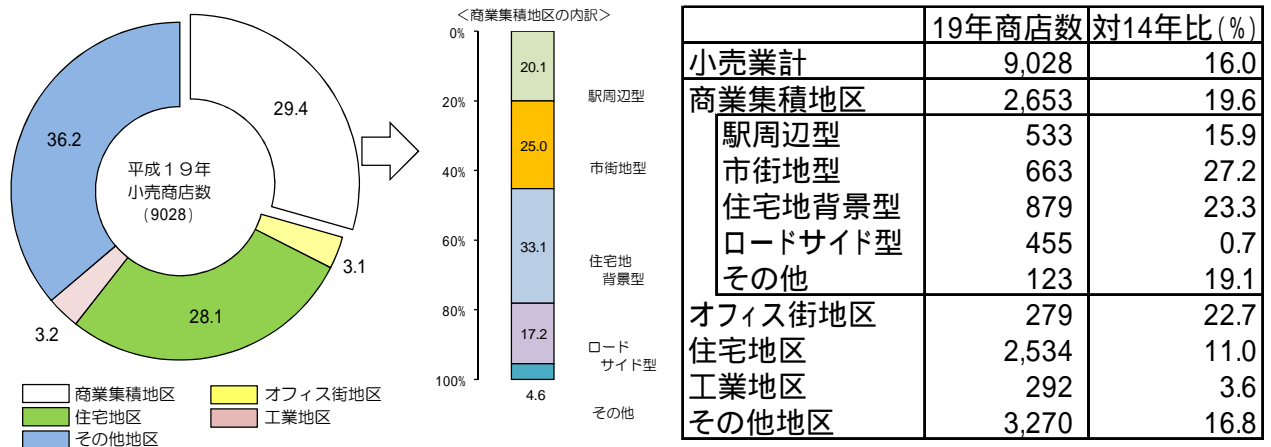


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

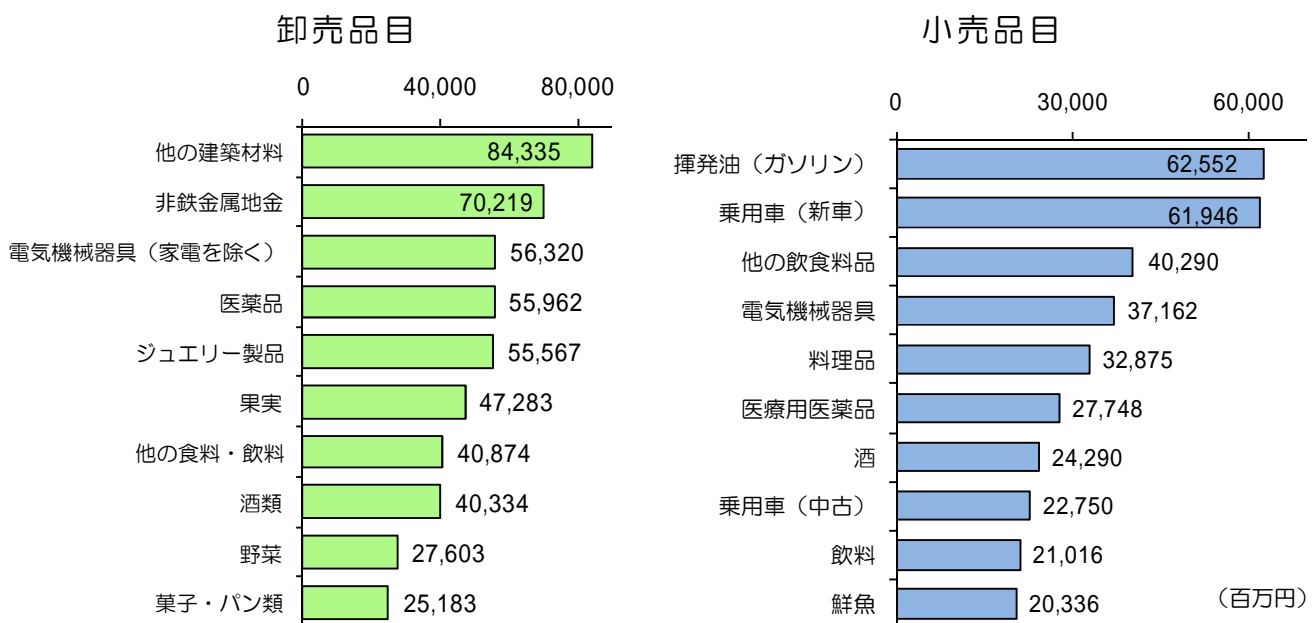
小売商店の立地をみると、その他地区の36.2%に次いで、商業集積地区と住宅地区が30%弱の割合となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が33.1%と最も高くなっています。また、ロードサイド型の割合も高くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「非鉄金属地金」、「ジュエリー製品」、「果実」、「野菜」、「菓子・パン類」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



長野県

- 長野県の年間商品販売額は、卸売業の6割弱、小売業の3割強を長野市と松本市で占める -

長野県の事業所数をみると、卸売事業所の42.9%、小売商店の27.3%を長野市と松本市で占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の57.6%、小売業の32.6%を長野市と松本市で占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.4%となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が30.6%、市街地型が24.8%、住宅地背景型が22.8%、ロードサイド型が18.1%となっており、立地にばらつきがみられます。

卸売販売品目をみると、「電気機械器具」が最も多く、「揮発油(ガソリン)」も上位に入っています。

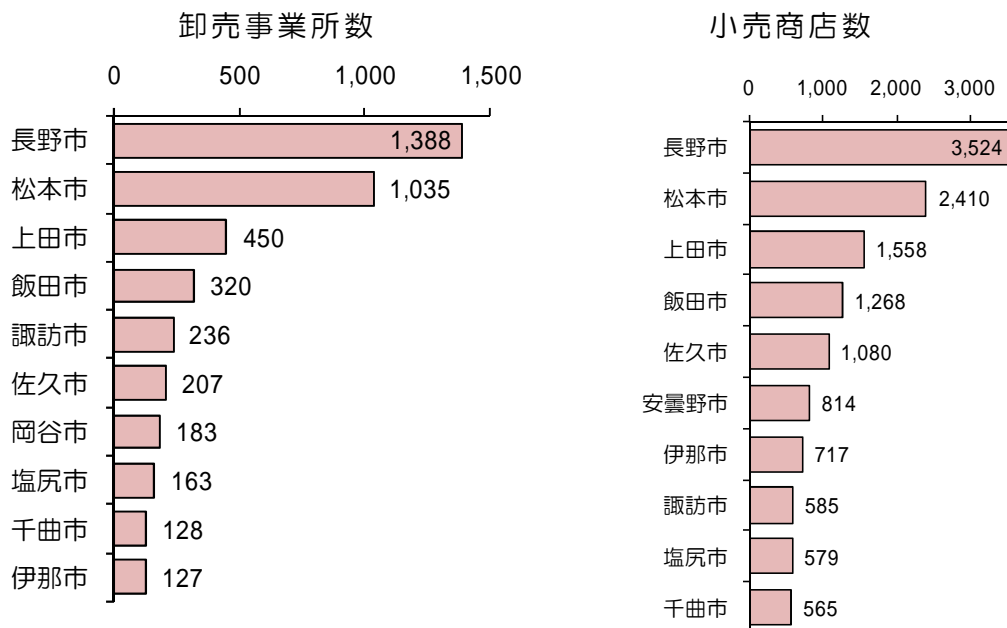
1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
長野県計	27,362	16	190,491	16	5,832,187	17	
業 種 別	卸売業計	5,651	17	49,544	16	3,458,611	18
	各種商品卸売業	31	13	318	11	17,985	13
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	17	32	73	32	922	40
	衣服・身の回り品卸売業	142	19	677	31	25,713	25
	農畜産物・水産物卸売業	665	22	7,035	18	366,948	27
	食料・飲料卸売業	758	15	7,946	14	564,515	16
	建築材料卸売業	739	16	5,632	15	335,803	14
	化学製品卸売業	213	15	2,036	14	156,326	13
	鉱物・金属材料卸売業	280	14	2,888	15	409,676	16
	再生資源卸売業	136	22	985	22	47,102	18
	一般機械器具卸売業	565	14	4,171	16	346,044	12
	自動車卸売業	374	14	3,908	16	166,699	18
	電気機械器具卸売業	367	13	2,957	17	364,571	17
	その他の機械器具卸売業	184	16	1,464	19	104,356	16
	家具・建具・じゅう器等卸売業	204	21	1,499	18	57,939	19
	医薬品・化粧品等卸売業	314	14	2,932	17	207,028	20
	他に分類されない卸売業	662	17	5,023	19	286,984	17
	小売業計	21,711	16	140,947	16	2,373,576	16
	各種商品小売業	94	17	8,620	21	156,435	26
	織物・衣服・身の回り品小売業	3,043	17	11,356	17	163,673	16
	飲食料品小売業	6,585	21	51,806	18	696,942	17
	自動車・自転車小売業	1,950	15	12,064	14	333,704	14
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,033	16	8,069	17	183,002	16
	その他の小売業	8,006	15	49,032	14	839,820	14
	医薬品・化粧品小売業	1,463	17	7,197	18	131,725	18
	農耕用品小売業	402	12	1,838	13	47,649	10
	燃料小売業	1,472	14	8,979	13	316,193	13
	書籍・文房具小売業	786	17	11,994	14	76,975	15
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	521	18	2,710	17	41,038	19
写真機・写真材料小売業	119	9	413	11	5,067	11	
時計・眼鏡・光学機械小売業	416	15	1,335	16	13,824	20	
他に分類されない小売業	2,827	14	14,566	13	207,350	14	

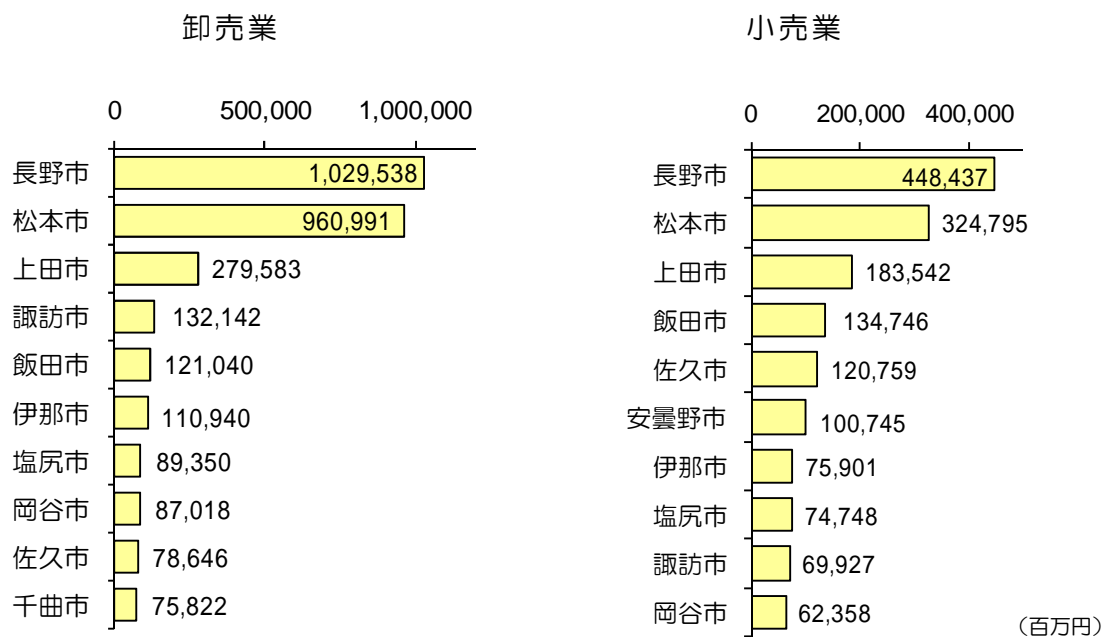
2. 市町村別の状況

長野県の事業所数をみると、卸売事業所の42.9%、小売商店の27.3%を長野市と松本市で占めています。年間商品販売額でみると、卸売業の57.6%、小売業の32.6%を長野市と松本市で占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

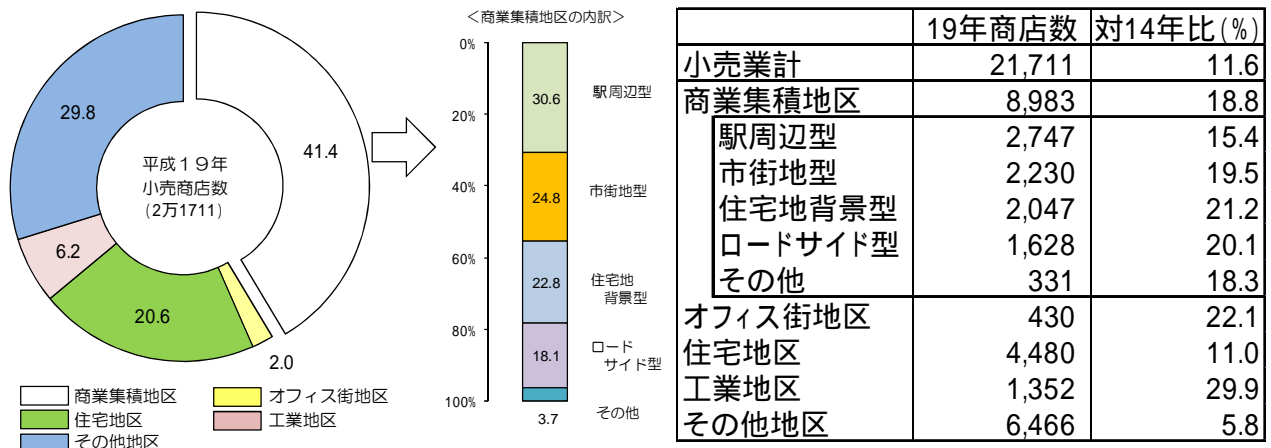


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

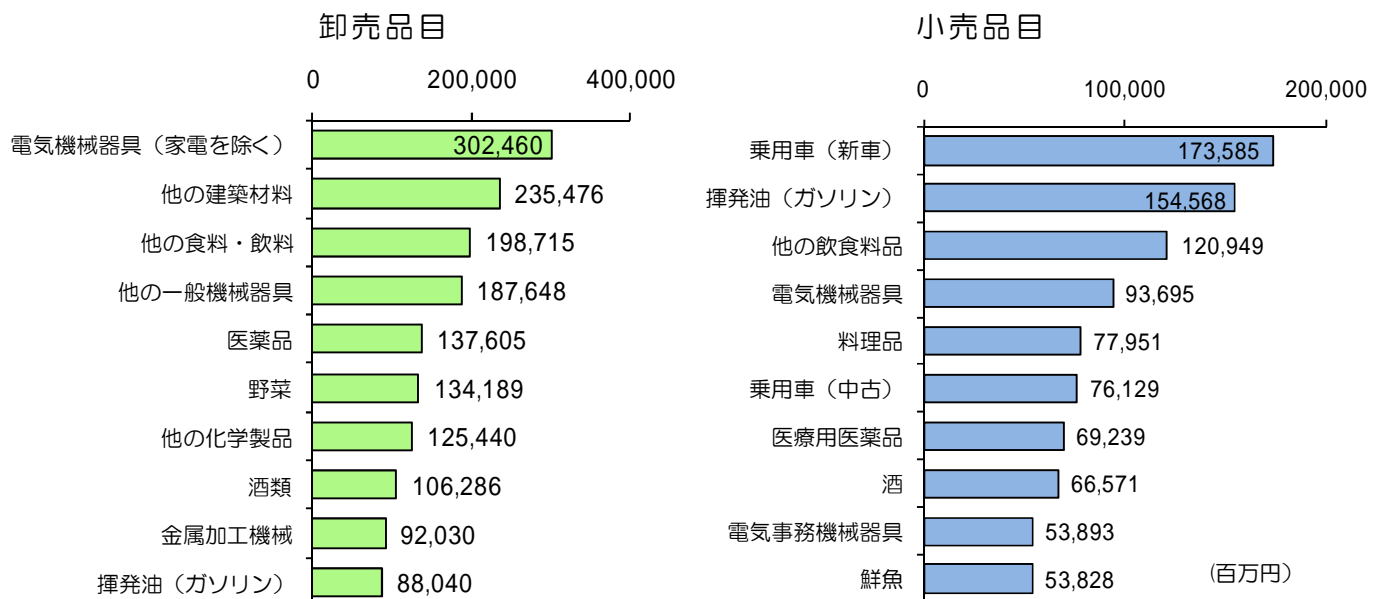
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.4%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が30.6%、市街地型、住宅地背景型が20%を超え、ロードサイド型が20%弱となっており、立地にばらつきがみられます。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「揮発油(ガソリン)」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



岐阜県

- 卸売品目では繊維品関連品目が大きい岐阜県 -

岐阜県の卸売業を業種別にみると、繊維品卸売業、衣服・身の回り品卸売業などの繊維品関連が上位に入っているほか、陶磁器・ガラス器を扱う家具・建具・じゅう器等卸売業も上位に入っています。

事業所数をみると卸売事業所の36.2%、小売商店の20.4%を岐阜市が占めています。年間商品販売額では卸売業の47.8%、小売業の21.8%を岐阜市が占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が34.8%と最も高く、次いで、住宅地区と工業地区が同じぐらいの割合となっています。

卸売販売品目をみると、「婦人・子供服」、「男子服」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

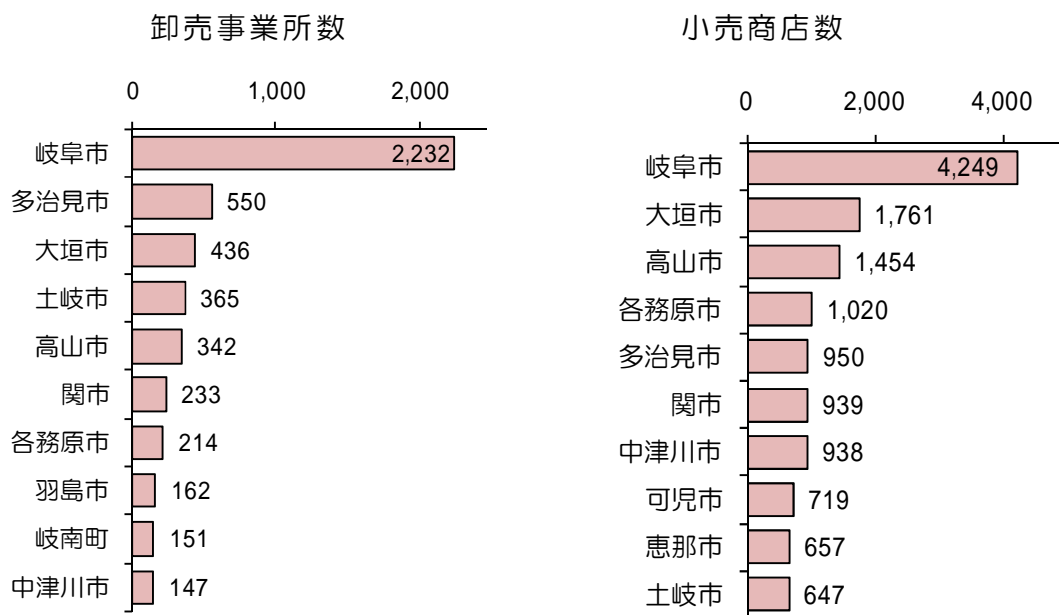
	事業所数		就業者数		年間商品販売額			
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位		
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-		
岐阜県計	27,006	17	181,621	17	4,760,601	20		
卸売業計	6,171	15	49,364	17	2,648,467	22		
業種別	各種商品卸売業	18	23	216	19	7,916	27	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	132	7	908	7	55,914	7	
	衣服・身の回り品卸売業	914	5	7,326	7	389,609	7	
	農畜産物・水産物卸売業	503	28	4,949	28	275,788	34	
	食料・飲料卸売業	653	17	5,811	20	256,605	31	
	建築材料卸売業	659	20	4,979	18	275,395	20	
	化学製品卸売業	157	23	1,230	23	128,044	17	
	鉱物・金属材料卸売業	194	21	1,689	26	150,104	33	
	再生資源卸売業	165	17	1,058	19	45,958	19	
	一般機械器具卸売業	402	21	3,346	18	149,250	25	
	自動車卸売業	346	17	3,180	19	158,735	19	
	電気機械器具卸売業	190	28	1,660	27	110,510	30	
	その他の機械器具卸売業	125	26	1,063	25	75,695	22	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	763	4	4,402	5	132,793	10	
	医薬品・化粧品等卸売業	256	17	2,484	22	215,995	18	
	他に分類されない卸売業	694	15	5,063	18	220,159	24	
	小売業計	20,835	18	132,257	17	2,112,133	19	
	業種別	各種商品小売業	87	23	7,774	25	132,744	29
		織物・衣服・身の回り品小売業	3,202	14	11,804	16	149,434	18
		飲食料品小売業	6,109	23	47,801	21	607,444	21
自動車・自転車小売業		2,079	14	12,360	13	341,931	12	
家具・じゅう器・機械器具小売業		2,040	15	8,724	16	162,413	18	
その他の小売業		7,318	18	43,794	17	718,167	18	
医薬品・化粧品小売業		1,490	16	7,851	16	133,355	16	
農耕用品小売業		240	26	904	28	17,532	30	
燃料小売業		1,337	18	8,283	17	296,618	15	
書籍・文房具小売業		826	15	10,724	17	63,990	17	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業		493	20	2,614	18	41,419	18	
写真機・写真材料小売業		82	14	273	14	2,753	16	
時計・眼鏡・光学機械小売業		305	21	1,045	21	12,657	21	
他に分類されない小売業		2,545	16	12,100	17	149,843	20	

2. 市町村別の状況

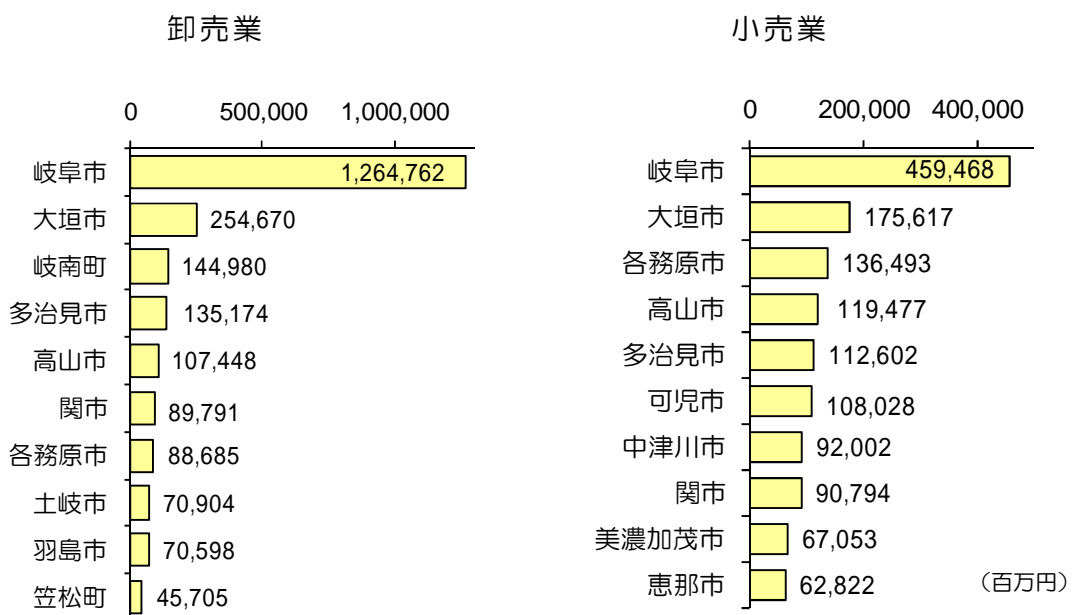
岐阜県の事業所数をみると、卸売事業所の36.2%、小売商店の20.4%を岐阜市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の47.8%、小売業の21.8%を岐阜市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

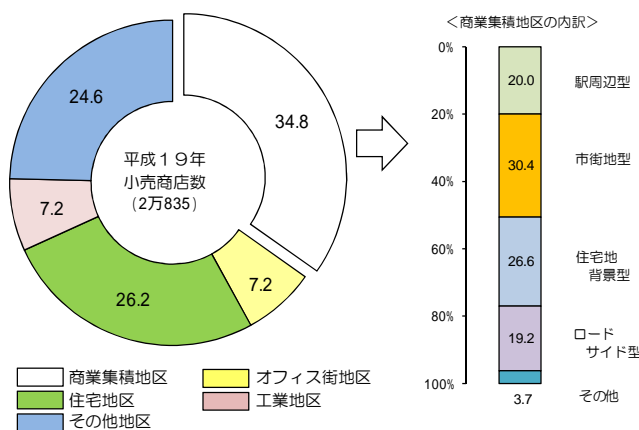


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区が34.8%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型が30.4%と最も高い割合となっています。

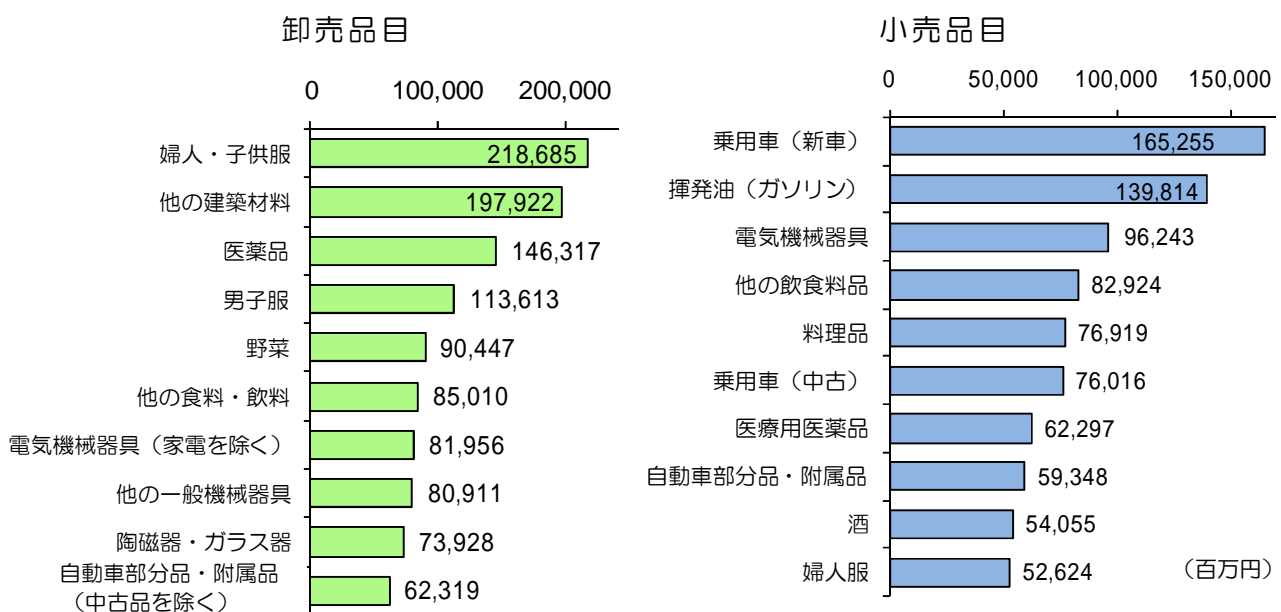


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	20,835	12.7
商業集積地区	7,248	13.3
駅周辺型	1,451	17.4
市街地型	2,207	17.0
住宅地背景型	1,928	21.0
ロードサイド型	1,391	15.7
その他	271	10.6
オフィス街地区	1,510	5.4
住宅地区	5,455	19.6
工業地区	1,507	5.0
その他地区	5,115	7.6

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「婦人・子供服」、「男子服」などの繊維品関連のほか、「陶磁器・ガラス器」、「自動車部分品・附属品」が入っています。小売品目では「自動車部分品・附属品」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



静岡県

- 静岡県の卸売年間商品販売額の6割を
静岡市と浜松市で占める -

静岡県の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業では化学製品卸売業が全国5位、自動車卸売業が全国7位となっています。また、小売業では写真機・写真材料小売業が全国7位と上位に入っています。

事業所数をみると、卸売事業所の50.0%、小売商店の39.8%を静岡市と浜松市で占めています。年間商品販売額でみると、卸売業の64.5%、小売業の42.8%を静岡市と浜松市で占めています。

小売商店の立地をみると住宅地区の割合が33.7%と最も高くなっています。

商業集積地区の内訳をみると、駅周辺型、市街地型、住宅地背景型が30%前後となっており、立地にばらつきがみられます。

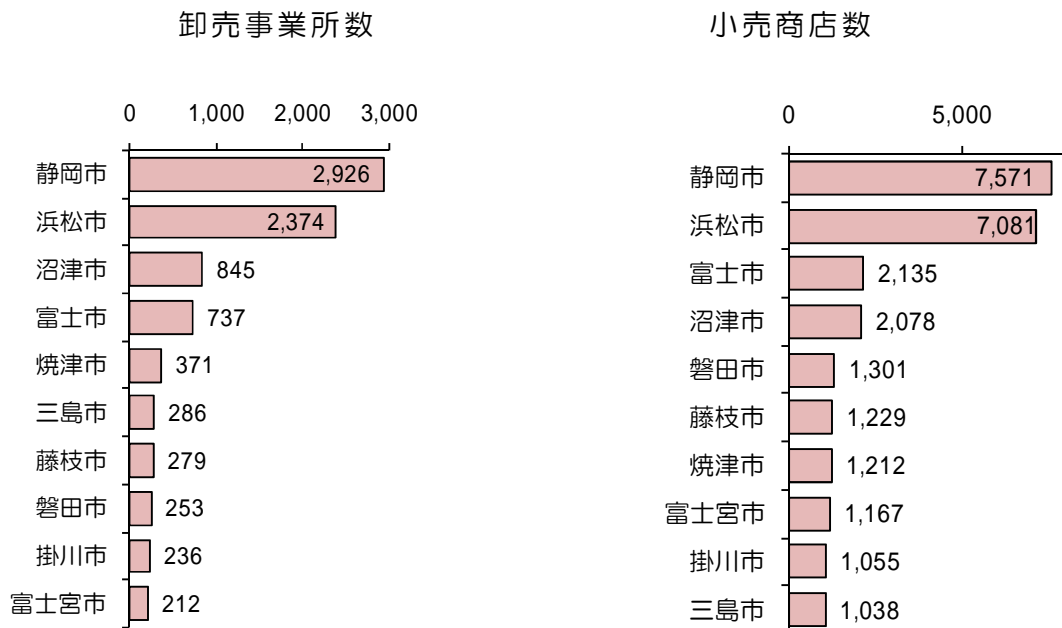
1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
静岡県計	47,394	10	330,084	10	11,054,615	11	
業 種 別	卸売業計	10,608	9	89,271	9	6,976,433	11
	各種商品卸売業	34	10	598	6	61,772	9
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	111	8	475	10	25,925	10
	衣服・身の回り品卸売業	340	12	2,286	15	69,680	16
	農畜産物・水産物卸売業	1,280	9	13,016	9	1,049,155	8
	食料・飲料卸売業	1,500	6	13,532	8	840,449	12
	建築材料卸売業	1,263	10	8,676	10	554,041	11
	化学製品卸売業	493	7	3,870	6	339,505	5
	鉱物・金属材料卸売業	502	9	4,568	13	862,177	9
	再生資源卸売業	316	9	2,276	9	83,471	10
	一般機械器具卸売業	1,053	8	8,015	10	700,962	8
	自動車卸売業	602	9	6,080	10	505,847	7
	電気機械器具卸売業	532	11	5,454	12	569,121	14
	その他の機械器具卸売業	313	11	2,795	11	184,472	11
	家具・建具・じゅう器等卸売業	444	9	2,674	14	101,923	14
	医薬品・化粧品等卸売業	469	10	4,607	12	434,406	11
	他に分類されない卸売業	1,356	9	10,349	10	593,528	12
	小売業計	36,786	10	240,813	10	4,078,182	10
	各種商品小売業	186	9	13,480	12	306,636	12
	織物・衣服・身の回り品小売業	5,714	10	21,935	10	347,065	11
	飲食品小売業	12,803	10	104,302	10	1,323,501	10
	自動車・自転車小売業	3,184	8	18,889	10	551,640	10
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,838	10	11,738	11	268,514	11
	その他の小売業	12,061	10	70,469	10	1,280,825	10
	医薬品・化粧品小売業	2,615	10	16,060	10	281,642	10
	農耕用品小売業	444	9	1,846	11	39,458	19
	燃料小売業	1,803	11	12,484	10	455,766	9
書籍・文房具小売業	1,170	12	12,636	12	120,220	10	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,076	10	5,782	10	87,258	10	
写真機・写真材料小売業	136	5	530	7	6,225	7	
時計・眼鏡・光学機械小売業	641	10	2,100	10	25,115	10	
他に分類されない小売業	4,176	10	19,031	10	265,142	10	

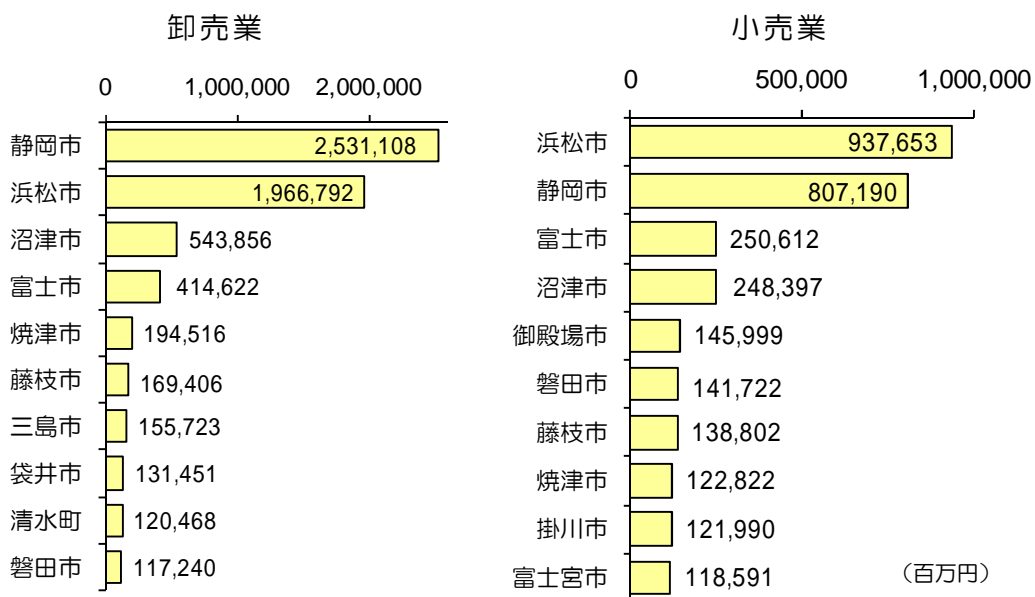
2. 市町村別の状況

静岡県の事業所数をみると、卸売事業所の50.0%、小売商店の39.8%を静岡市と浜松市で占めています。年間商品販売額でも、卸売業の64.5%、小売業の42.8%を静岡市と浜松市で占めています。また、小売年間商品販売額では浜松市が静岡市を上回っています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

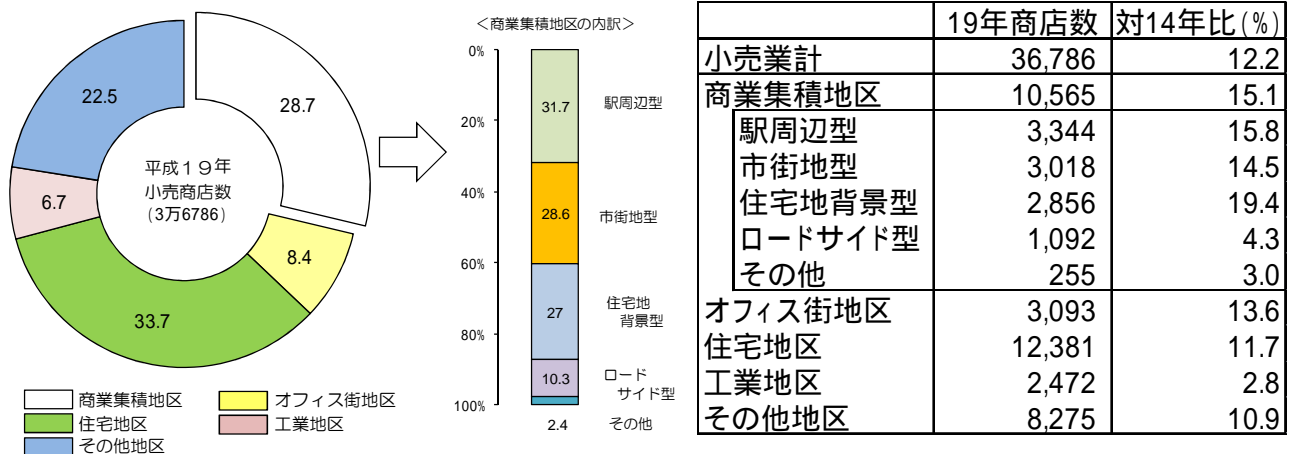


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

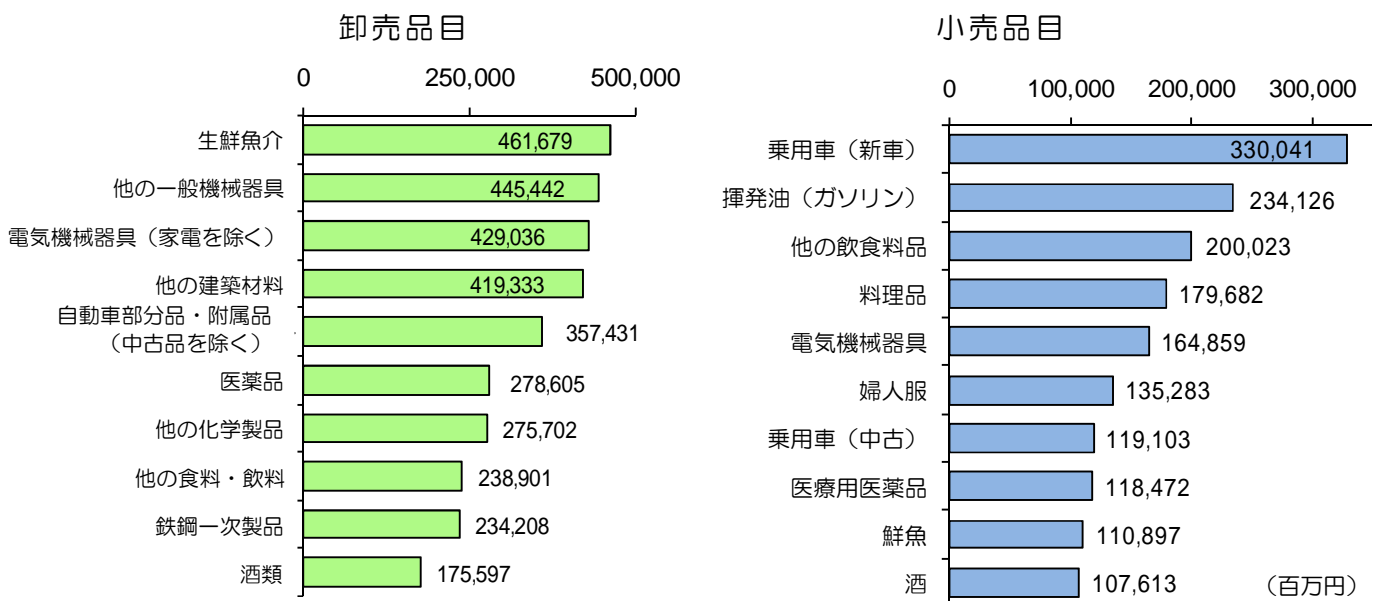
小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が33.7%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳をみると、駅周辺型、市街地型、住宅地背景型が30%前後となっており、立地にばらつきがみられます。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では1位は「生鮮魚介」、2位は「他の一般機械器具」、3位は「電気機械器具(家電を除く)」となっています。

【販売上位10品目】(平成19年)



愛知県

- 愛知県の商業販売額は全国3位 -

愛知県の年間商品販売額を業種別に全国順位で見ると卸売業は4位以内、小売業では5位以内と全ての業種で上位に入っています。

事業所数は卸売事業所の56.3%、小売商店の34.6%を名古屋市が占め、年間商品販売額では卸売業の77.0%、小売業の38.5%が名古屋市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区と住宅地区の割合がほぼ同じとなり、商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が最も高くなっています。また、ロードサイド型の商店数は2千を超えて全国で最も多くなっています。

販売品目をみると、卸売の上位5品目はいずれも2兆円を超えています。また、小売で1位となっている「乗用車(新車)」は東京に次いで2位の販売額となっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

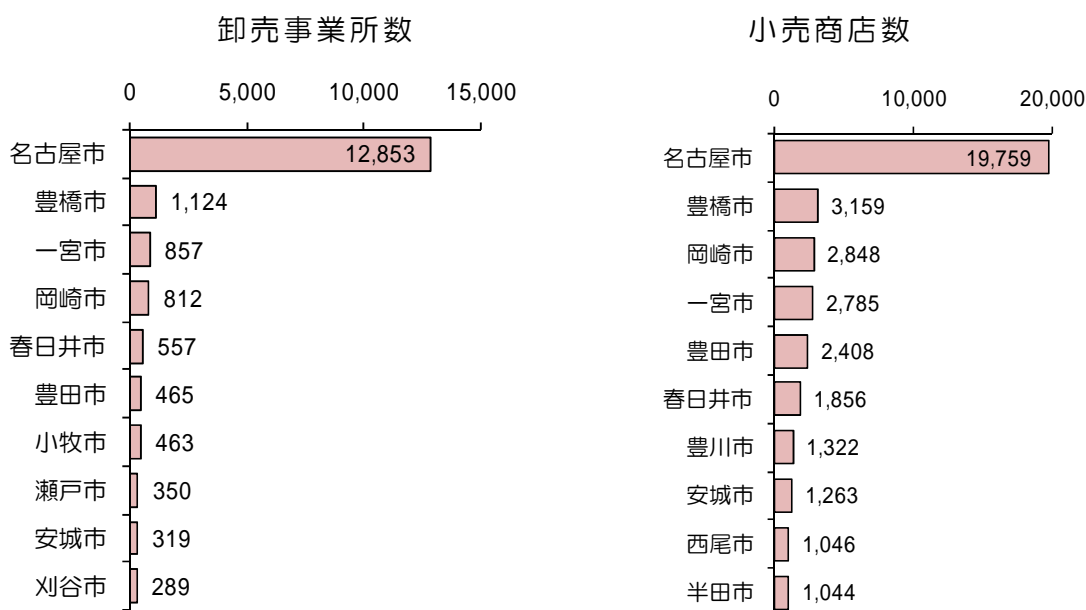
	事業所数	就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	
愛知県計	80,001	3	720,116	3	43,443,249	
卸売業計	22,848	3	264,963	3	35,151,716	
業種別	各種商品卸売業	47	5	1,131	3	1,152,129
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	478	4	3,906	4	376,213
	衣服・身の回り品卸売業	1,338	3	15,338	3	966,368
	農畜産物・水産物卸売業	2,044	3	22,868	3	1,737,047
	食料・飲料卸売業	2,187	3	28,446	3	2,943,836
	建築材料卸売業	2,182	3	19,348	3	1,707,101
	化学製品卸売業	1,339	3	13,649	3	2,239,681
	鉱物・金属材料卸売業	1,269	3	16,881	3	8,347,244
	再生資源卸売業	669	3	4,946	3	385,936
	一般機械器具卸売業	2,389	3	27,712	3	3,449,752
	自動車卸売業	1,380	2	16,131	2	2,756,479
	電気機械器具卸売業	1,406	3	25,156	3	3,436,635
	その他の機械器具卸売業	857	3	10,311	3	915,419
	家具・建具・じゅう器等卸売業	1,072	3	9,104	3	463,565
	医薬品・化粧品等卸売業	963	3	16,787	3	1,694,592
	他に分類されない卸売業	3,228	3	33,249	3	2,579,718
	小売業計	57,153	3	455,153	4	8,291,533
	各種商品小売業	317	1	51,391	4	1,219,474
	織物・衣服・身の回り品小売業	9,309	3	39,283	4	587,815
	飲食料品小売業	17,469	4	163,179	4	2,113,688
自動車・自転車小売業	5,075	1	36,301	2	1,359,042	
家具・建具・じゅう器・機械器具小売業	5,505	3	32,719	3	791,289	
その他の小売業	19,478	3	132,280	4	2,220,225	
医薬品・化粧品小売業	4,398	4	28,217	4	488,236	
農耕用品小売業	488	6	2,392	4	56,967	
燃料小売業	2,605	2	18,453	2	736,587	
書籍・文房具小売業	2,664	3	40,407	2	291,412	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,768	3	10,775	3	181,583	
写真機・写真材料小売業	215	3	724	3	9,401	
時計・眼鏡・光学機械小売業	1,121	3	4,474	3	72,884	
他に分類されない小売業	6,219	5	26,838	5	383,155	

2. 市町村別の状況

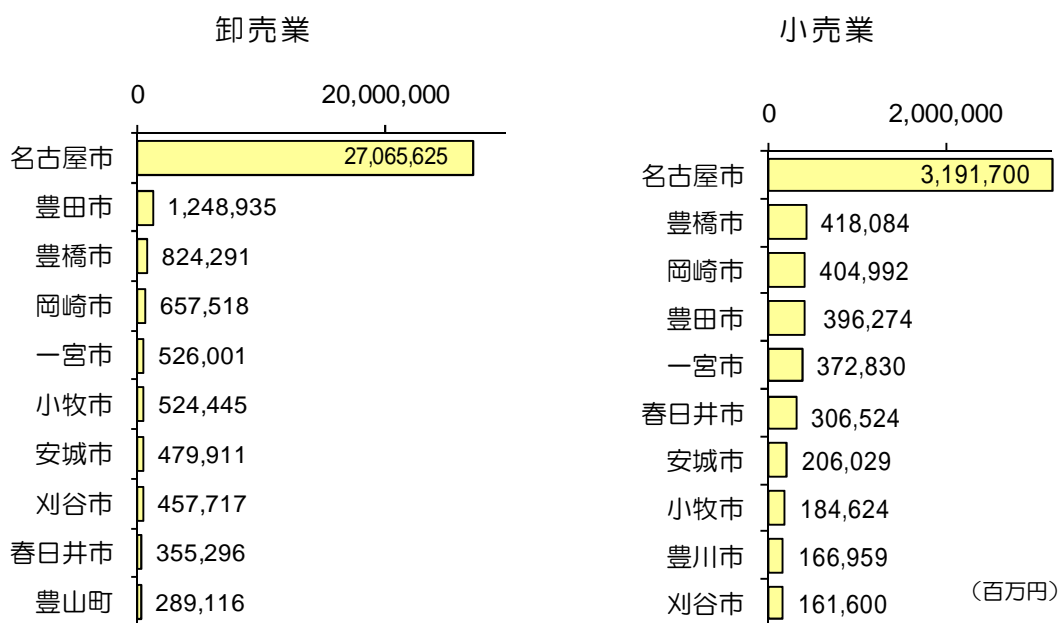
愛知県の事業所数をみると卸売事業所の56.3%、小売商店の34.6%を名古屋市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の77.0%、小売業の38.5%を名古屋市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)



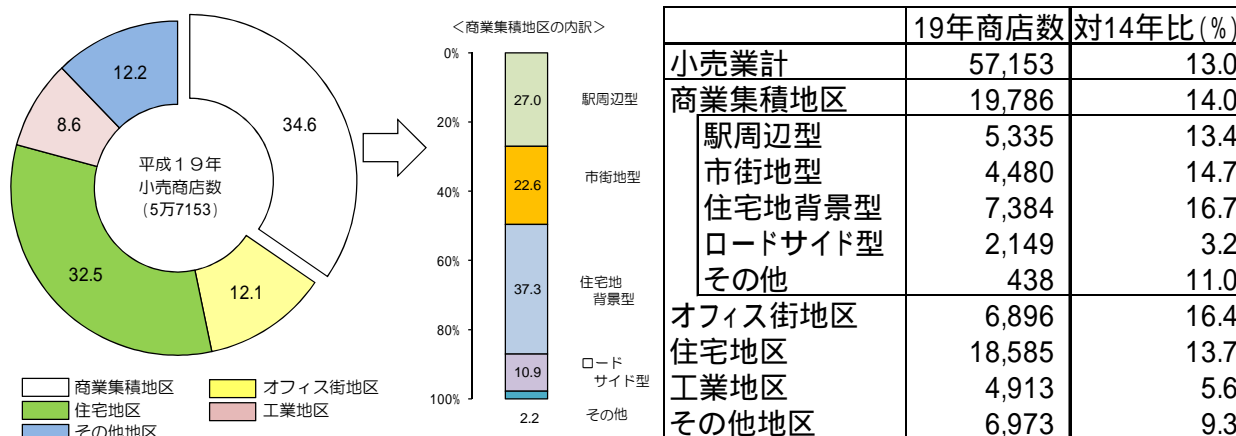
【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区と住宅地区の割合が30%を超えており、ほぼ同じ割合となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が37.3%と最も高くなっています。

また、ロードサイド型の商店数は2千を超えて全国で最も多くなっています。

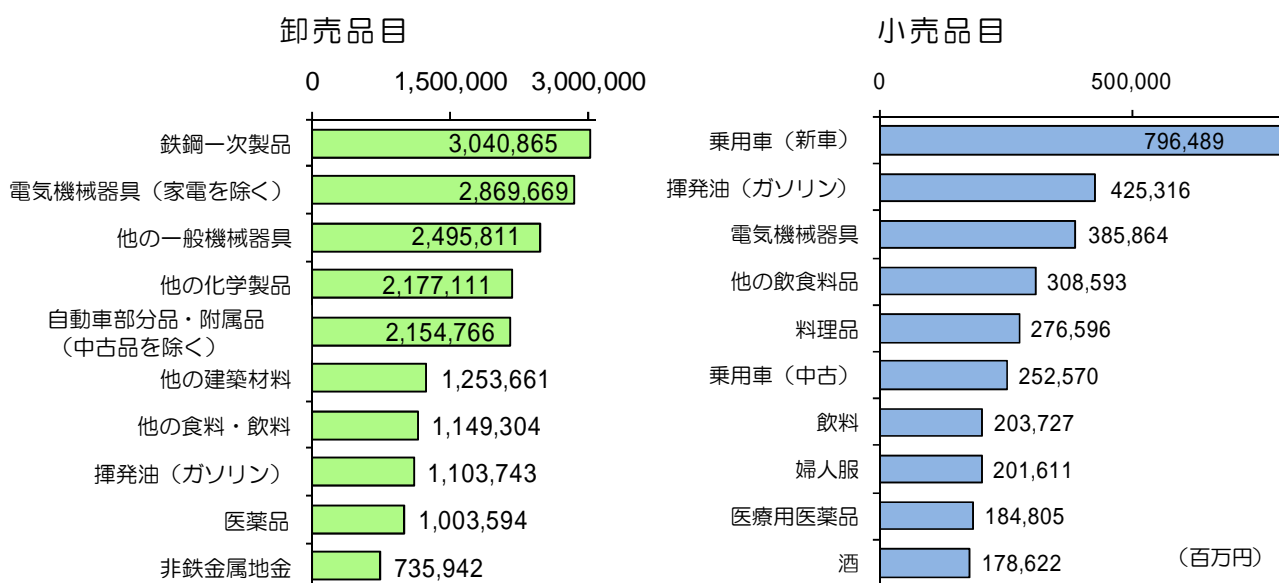


4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「鉄鋼一次製品」、「電気機械器具(家電を除く)」、「他の一般機械器具」、「他の化学製品」、「自動車部分品・付属品」が入っており、いずれも2兆円を超えています。

小売品目では「乗用車(新車)」が1位となっています。これは東京に次いで全国で2番目に多い販売額となっています。

【販売上位10品目】(平成19年)



三重県

- 三重県の商業集積地区の立地は分散 -

三重県の事業所数をみると、卸売事業所の22.9%、小売商店の14.5%を四日市市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の37.9%、小売業の19.0%を四日市市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区が32.3%と最も高くなっています。次いで、商業集積地区と住宅地区がそれぞれ30%弱の割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型、駅周辺型がそれぞれ20%を超えており、立地にばらつきがみられます。また、ロードサイド型の割合は商業集積地区の22.8%となっており、他県に比べて割合が高くなっています。

卸売販売品目をみると、「軽油」、「他の化学製品」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

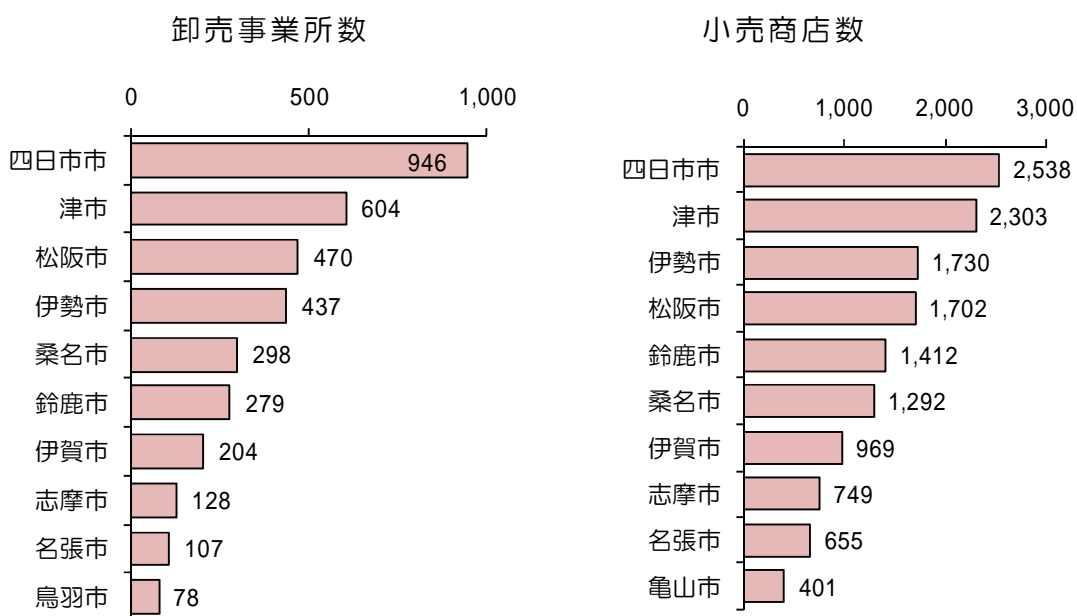
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
三重県計	21,602	24	150,728	23	3,940,384	26	
業 種 別	卸売業計	4,136	23	33,316	26	2,007,855	29
	各種商品卸売業	12	34	81	38	2,245	41
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	33	42	372	45
	衣服・身の回り品卸売業	94	32	432	40	11,034	39
	農畜産物・水産物卸売業	644	23	5,407	25	321,796	31
	食料・飲料卸売業	615	19	5,267	28	234,034	33
	建築材料卸売業	519	25	3,576	27	192,935	29
	化学製品卸売業	145	26	1,013	28	80,779	26
	鉱物・金属材料卸売業	193	22	1,900	23	291,737	21
	再生資源卸売業	129	23	1,153	17	38,825	22
	一般機械器具卸売業	330	28	2,711	23	151,790	24
	自動車卸売業	255	25	2,979	21	149,938	22
	電気機械器具卸売業	162	31	1,440	32	149,223	25
	その他の機械器具卸売業	99	33	926	33	51,229	30
	家具・建具・じゅう器等卸売業	201	22	1,247	23	46,423	22
	医薬品・化粧品等卸売業	216	24	1,716	33	137,552	30
	他に分類されない卸売業	514	22	3,435	26	147,944	29
	小売業計	17,466	24	117,412	23	1,932,530	22
	各種商品小売業	64	29	10,052	17	175,007	20
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,380	21	9,607	21	139,991	21
	飲食料品小売業	5,565	28	42,558	24	537,066	23
	自動車・自転車小売業	1,527	23	9,413	22	299,240	19
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,628	22	6,912	24	145,783	24
	その他の小売業	6,302	24	38,870	20	635,443	22
	医薬品・化粧品小売業	1,172	26	6,013	24	99,908	24
	農耕用品小売業	256	24	1,258	24	27,109	24
	燃料小売業	1,167	22	7,345	20	248,754	20
書籍・文房具小売業	676	23	8,885	20	49,907	23	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	402	25	2,582	20	37,606	22	
写真機・写真材料小売業	58	19	263	17	3,102	14	
時計・眼鏡・光学機械小売業	303	23	982	24	11,651	22	
他に分類されない小売業	2,268	20	11,542	18	157,406	17	

2. 市町村別の状況

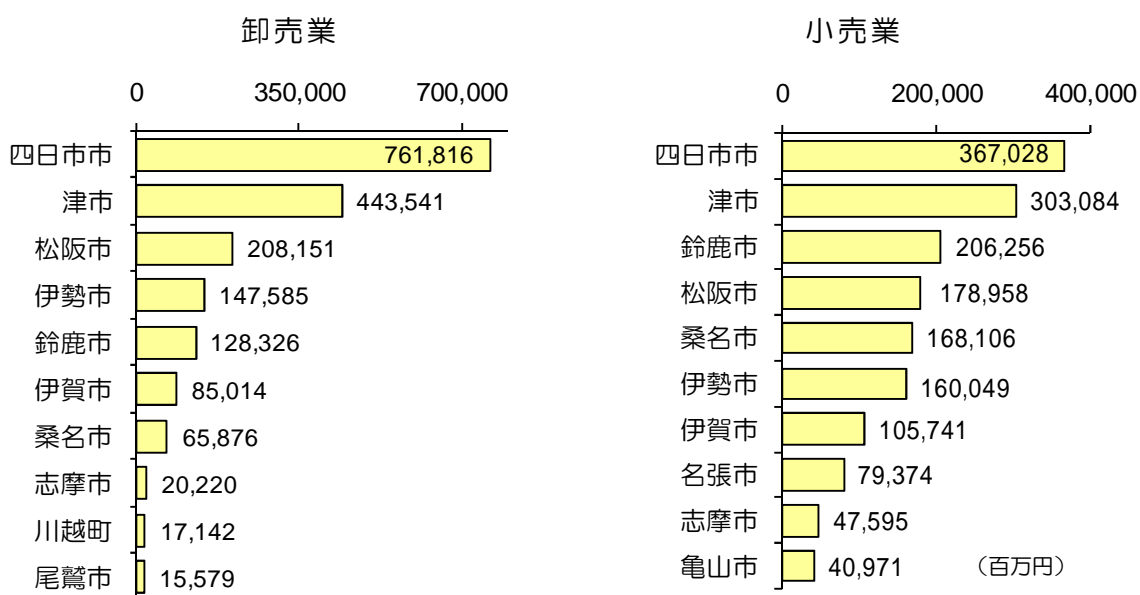
三重県の事業所数をみると、卸売事業所では四日市市が22.9%と最も多く、次いで、津市、松阪市、伊勢市の順となっています。小売商店をみると、1位が四日市市で14.5%、次いで、津市、伊勢市、松阪市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では1位の四日市市が37.9%を占め、次いで、津市の順となっています。小売業では、四日市市が19.0%を占めており、四日市市と津市が3千億円を超えています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

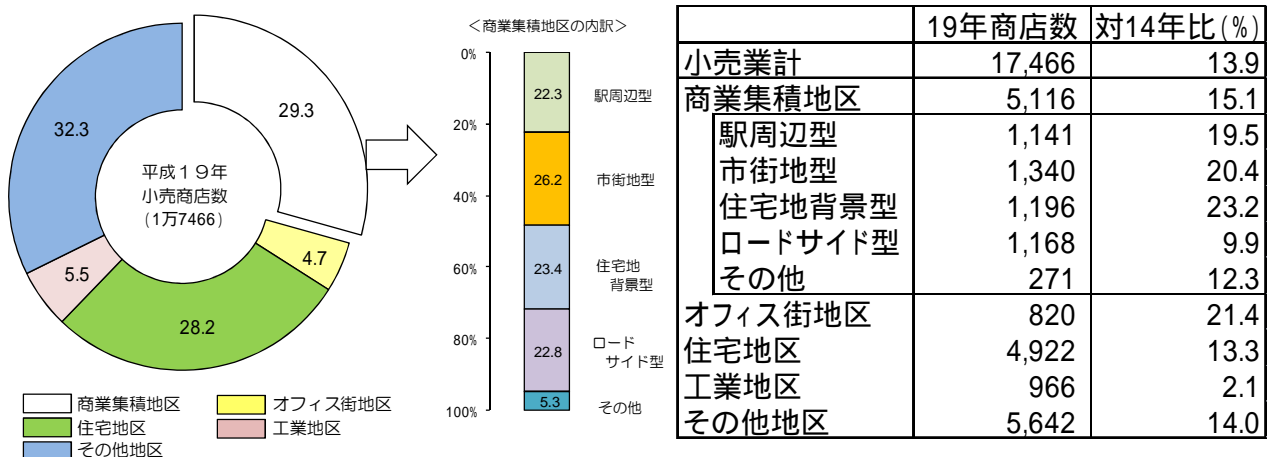


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

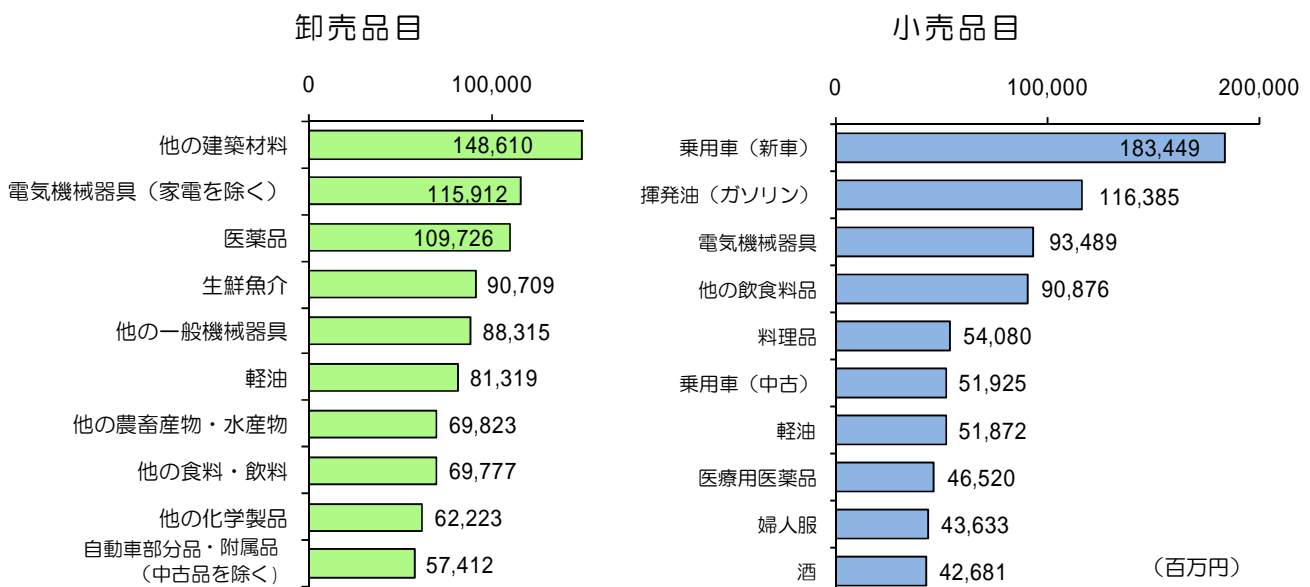
小売商店の立地をみると、その他地区、商業集積地区、住宅地区が30%前後とほぼ同じ割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型、駅周辺型のいずれも20%を超えており、立地に分散がみられます。なお、ロードサイド型は22.8%と高い割合となっており、アウトレットモールが開業したことなどから商店数も増加しています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では2位に「電気機械器具(家電を除く)」、4位に「生鮮魚介」、6位に「軽油」、9位に「他の化学製品」が入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



滋賀県

- 滋賀県の商業集積地区のうち、
駅周辺型と住宅地背景型が3割強 -

滋賀県の卸売事業所数をみると、大津市の事業所が最も多いものの、彦根市、栗東市、長浜市などが続いており、分散しています。小売商店では、大津市が19.6%と最も高く、次いで、彦根市、東近江市、甲賀市、長浜市の順となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区のうち、駅周辺型と住宅地背景型の割合がそれぞれ30%を超える一方、市街地型の割合は低くなっています。

年間商品販売額をみると、卸売業、小売業ともに大津市が20%を占めています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

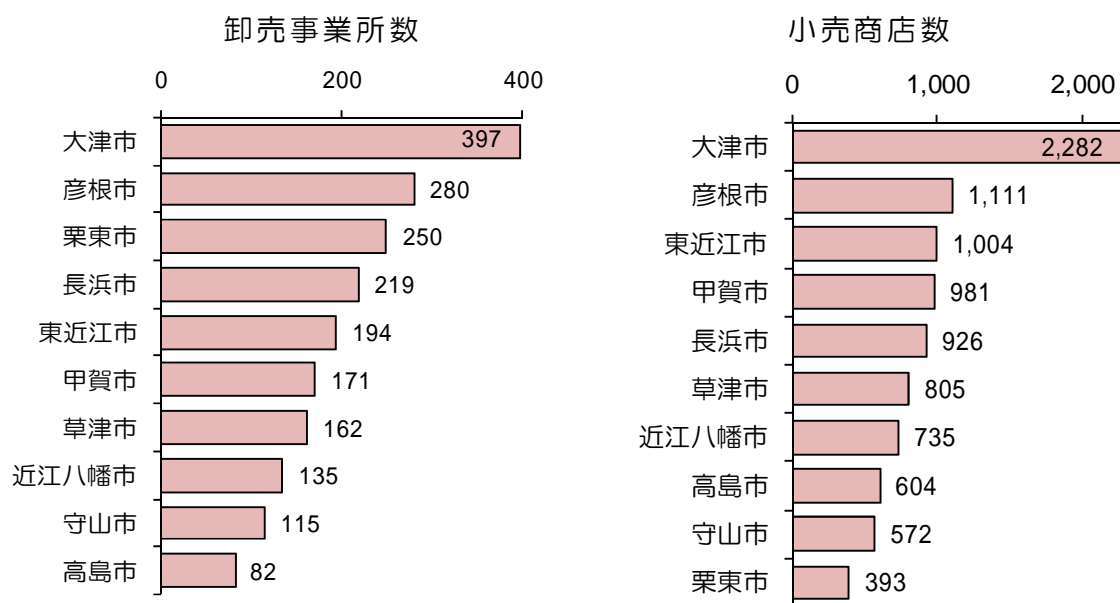
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
滋賀県計	14,008	38	106,492	33	2,516,575	37	
業種別	卸売業計	2,374	40	18,755	40	1,155,801	39
	各種商品卸売業	13	33	126	31	4,752	32
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	33	22	283	18	13,499	16
	衣服・身の回り品卸売業	77	37	515	37	12,163	37
	農畜産物・水産物卸売業	248	45	2,139	46	117,916	46
	食料・飲料卸売業	259	45	2,125	47	99,039	46
	建築材料卸売業	374	35	2,487	39	156,197	34
	化学製品卸売業	93	37	823	30	69,593	29
	鉱物・金属材料卸売業	111	35	1,154	37	141,860	35
	再生資源卸売業	62	40	338	41	8,977	41
	一般機械器具卸売業	256	34	1,899	34	132,743	27
	自動車卸売業	170	33	1,444	35	69,201	33
	電気機械器具卸売業	107	38	914	40	84,960	37
	その他の機械器具卸売業	73	39	617	39	33,123	37
	家具・建具・じゅう器等卸売業	142	30	921	32	26,109	33
	医薬品・化粧品等卸売業	115	44	1,206	42	109,444	39
	他に分類されない卸売業	241	41	1,764	43	76,225	43
	小売業計	11,634	38	87,737	29	1,360,774	29
	各種商品小売業	62	30	8,417	23	160,232	23
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,434	41	5,370	39	66,312	38
	飲食品小売業	3,800	39	34,541	30	393,677	32
	自動車・自転車小売業	1,227	27	7,445	26	200,313	23
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,152	36	5,820	28	118,343	27
	その他の小売業	3,959	39	26,144	30	421,897	31
	医薬品・化粧品小売業	817	38	4,747	31	72,362	33
	農耕用品小売業	243	25	1,030	26	21,339	27
	燃料小売業	568	45	4,071	37	169,817	30
書籍・文房具小売業	478	35	7,578	27	37,325	30	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	265	38	1,756	27	25,718	27	
写真機・写真材料小売業	26	40	135	33	1,254	33	
時計・眼鏡・光学機械小売業	211	34	764	30	9,597	26	
他に分類されない小売業	1,351	38	6,063	32	84,485	28	

2. 市町村別の状況

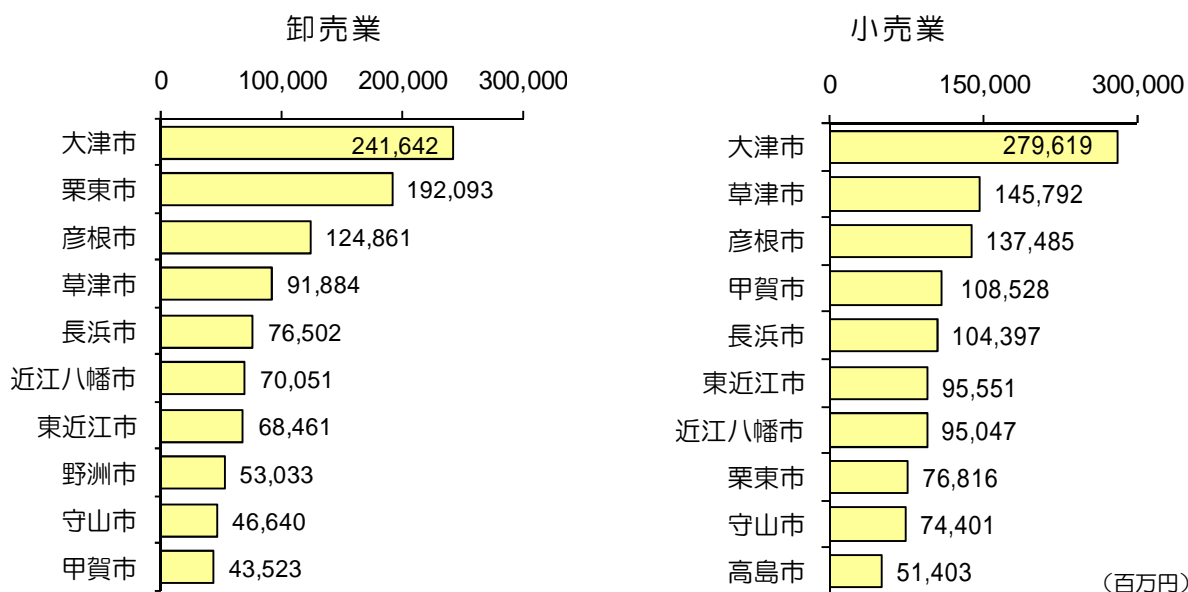
滋賀県の事業所数をみると、卸売事業所では大津市が16.7%と最も高く、次いで、彦根市、栗東市、長浜市、東近江市の順となっています。小売商店では大津市が19.6%、次いで、彦根市、東近江市、甲賀市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業は大津市が20.9%と最も高く、次いで、栗東市、彦根市の順となっています。小売業でも大津市が20.5%と最も高く、次いで、草津市、彦根市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

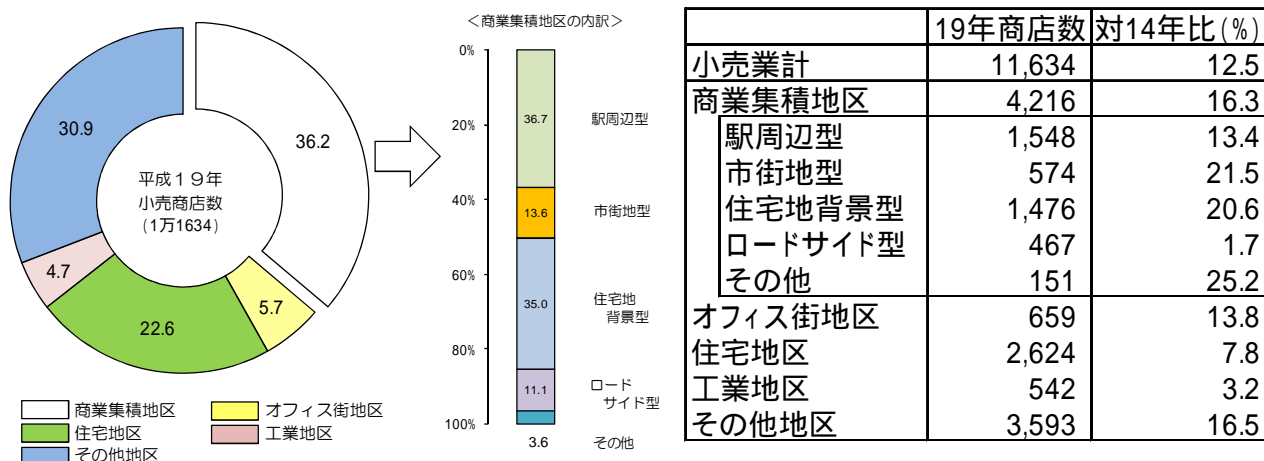


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

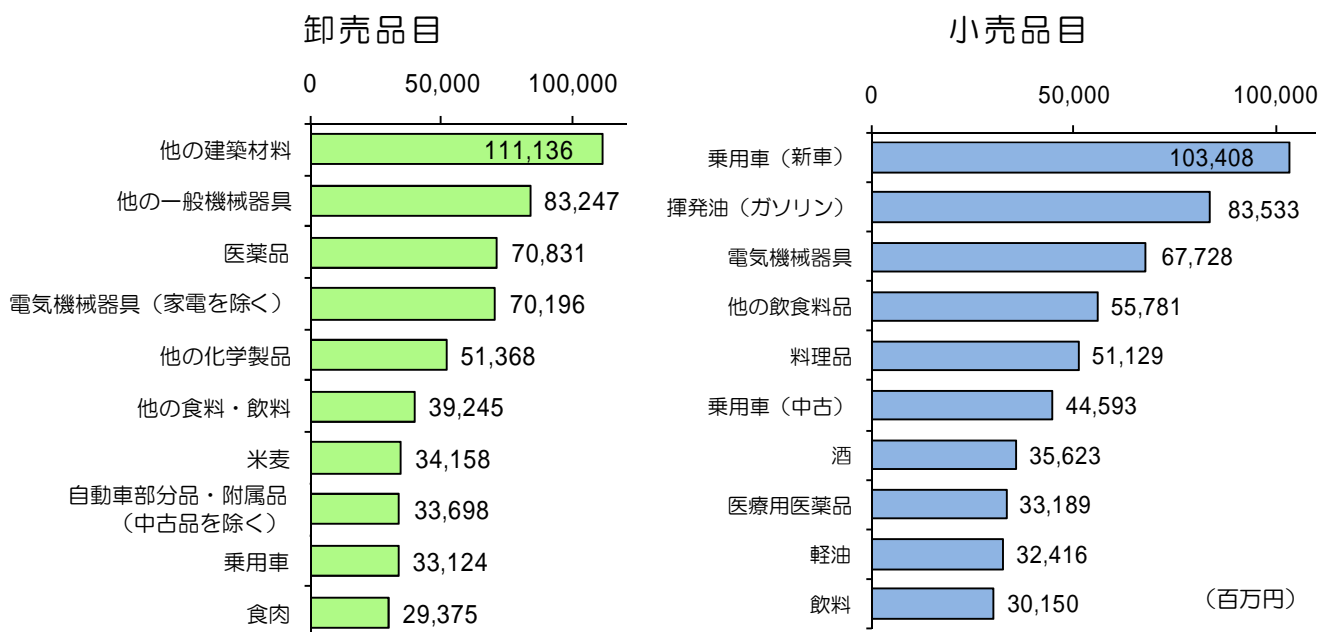
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.2%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型、住宅地背景型の割合がそれぞれ30%を超えています。また、市街地型の割合は13.6%と少なくなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の一般機械器具」、「電気機械器具(家電を除く)」、「乗用車」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



京都府

- 京都府の年間商品販売額は卸売業の8割、
小売業の6割が京都市に集中 -

京都府の事業所数をみると、卸売事業所の73.4%、小売商店の62.4%を京都市が占めています。年間商品販売額でみると、卸売業の81.3%、小売業の66.6%が京都市に集中しています。

業種別にみると、繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)は事業所数、就業者数ともに全国で3位となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.7%と最も多く、商業集積地区の内訳では住宅地背景型が44.9%と最も多く、次いで、市街地型と駅周辺型がほぼ同じ割合となっています。

卸売販売品目をみると、上位に「織物」が入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

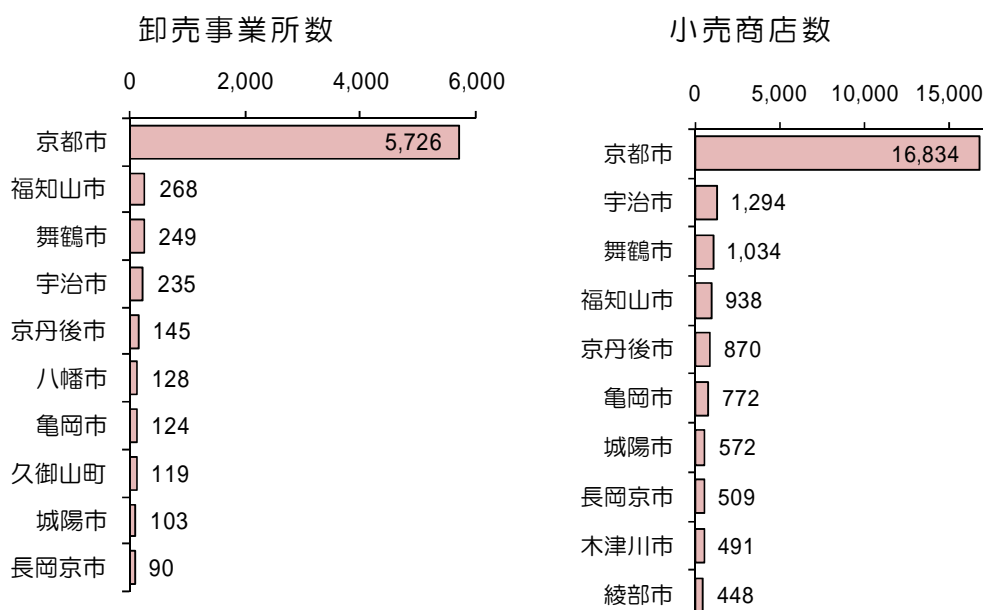
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
京都府計	34,767	12	268,207	12	7,396,170	13	
業 種 別	卸売業計	7,803	12	74,180	13	4,373,672	15
	各種商品卸売業	26	16	289	14	11,335	20
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	693	3	4,087	3	167,611	4
	衣服・身の回り品卸売業	954	4	10,046	4	411,438	5
	農畜産物・水産物卸売業	808	13	9,174	13	563,442	15
	食料・飲料卸売業	975	12	11,066	12	702,855	13
	建築材料卸売業	720	18	5,288	17	332,254	15
	化学製品卸売業	279	13	2,049	13	98,617	24
	鉱物・金属材料卸売業	182	24	1,820	24	142,171	34
	再生資源卸売業	138	20	994	21	25,740	26
	一般機械器具卸売業	425	17	4,017	17	231,759	17
	自動車卸売業	329	18	3,022	20	176,520	17
	電気機械器具卸売業	323	15	4,073	13	380,677	16
	その他の機械器具卸売業	201	15	2,241	13	133,010	14
	家具・建具・じゅう器等卸売業	403	10	2,748	12	101,863	15
	医薬品・化粧品等卸売業	360	12	4,308	13	367,944	13
	他に分類されない卸売業	987	12	8,958	12	526,435	14
	小売業計	26,964	12	194,027	11	3,022,498	12
	各種商品小売業	91	21	23,561	10	481,393	10
	織物・衣服・身の回り品小売業	4,297	11	20,530	11	362,684	9
	飲食料品小売業	9,127	12	74,703	11	881,552	13
	自動車・自転車小売業	1,827	16	11,185	17	306,217	17
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,530	13	11,675	12	234,950	12
	その他小売業	9,092	12	52,373	13	755,701	16
	医薬品・化粧品小売業	1,598	15	9,093	13	152,250	15
	農耕用品小売業	183	33	857	30	13,529	38
	燃料小売業	838	33	5,817	26	189,484	26
書籍・文房具小売業	1,309	10	14,489	11	104,400	11	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	656	13	3,717	13	52,619	13	
写真機・写真材料小売業	103	13	377	13	4,225	12	
時計・眼鏡・光学機械小売業	462	12	1,557	12	19,785	12	
他に分類されない小売業	3,943	11	16,466	11	219,410	12	

2. 市町村の状況

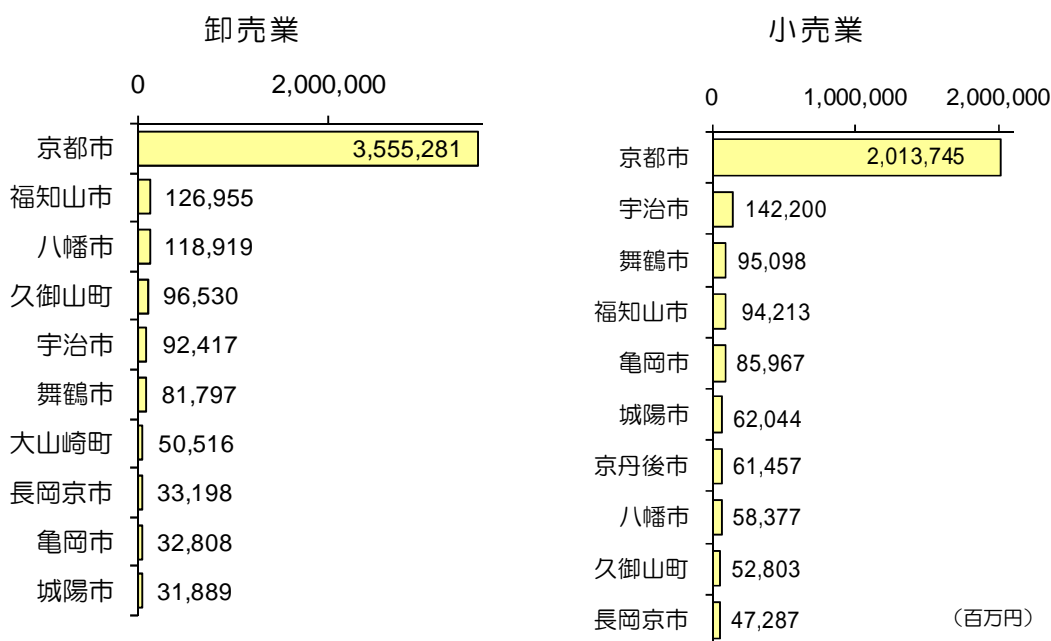
京都府の事業所数をみると、卸売事業所、小売商店ともに京都市が圧倒的に多く、卸売事業所の73.4%、小売商店の62.4%を占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の81.3%、小売業の66.6%が京都市に集中しています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

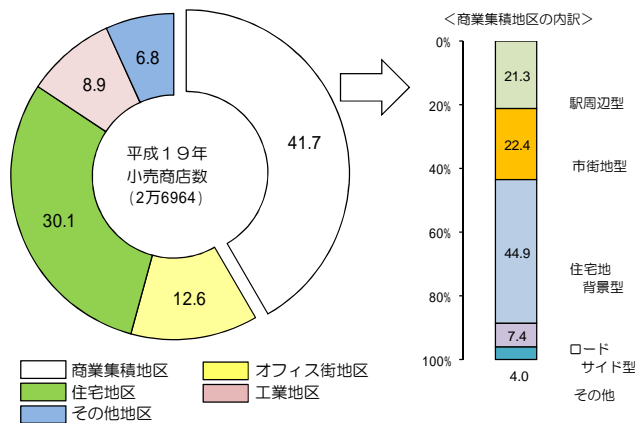


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.7%と最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が44.9%と最も多く、市街地型と駅周辺型は20%を超えています。

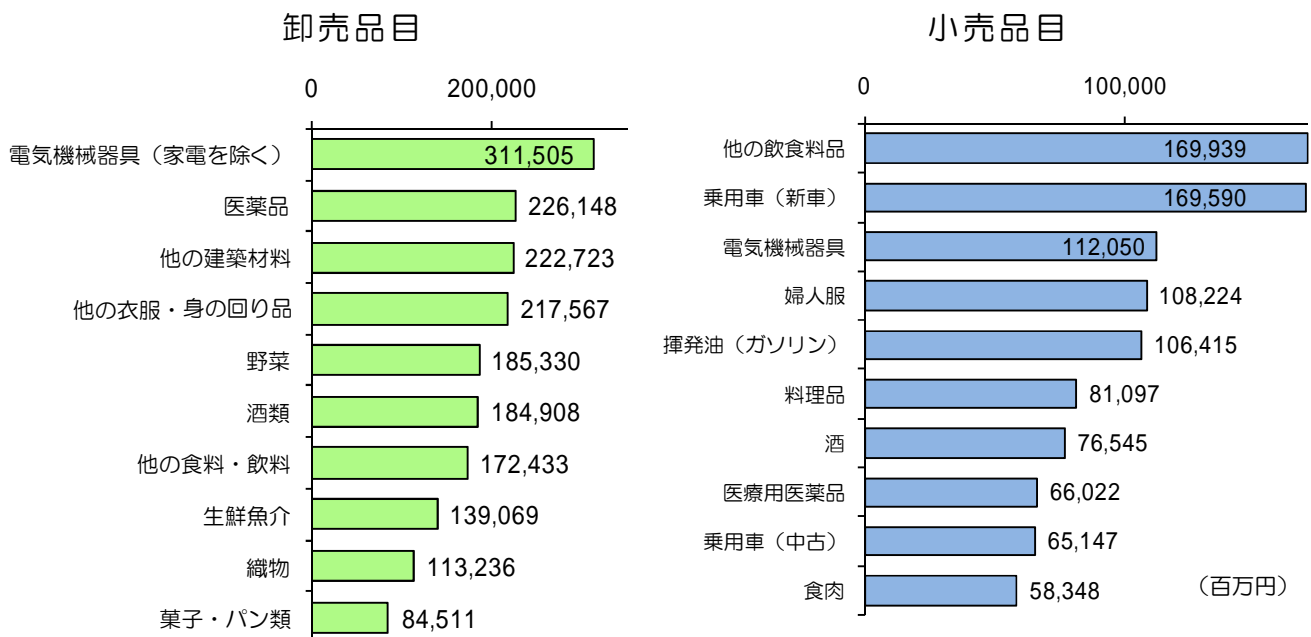


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	26,964	9.9
商業集積地区	11,238	11.3
駅周辺型	2,389	8.4
市街地型	2,522	10.2
住宅地背景型	5,045	15.3
ロードサイド型	832	7.5
その他	450	13.1
オフィス街地区	3,385	7.3
住宅地区	8,116	9.6
工業地区	2,396	5.8
その他地区	1,829	13.0

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「織物」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



大阪府

- 大阪府は全国2位の年間商品販売額、卸売業の8割、
小売業の5割は大阪市に集中 -

大阪府の事業所数をみると、卸売事業所の65.7%、小売商店の42.2%を大阪市が占めています。年間商品販売額では卸売業の82.2%、小売業の47.1%が大阪市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.1%、住宅地区が37.5%と高い割合となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が56.2%と高く、次いで、住宅地背景型の順となっています。

卸売販売品目をみると、「他の化学製品」、「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」などが上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

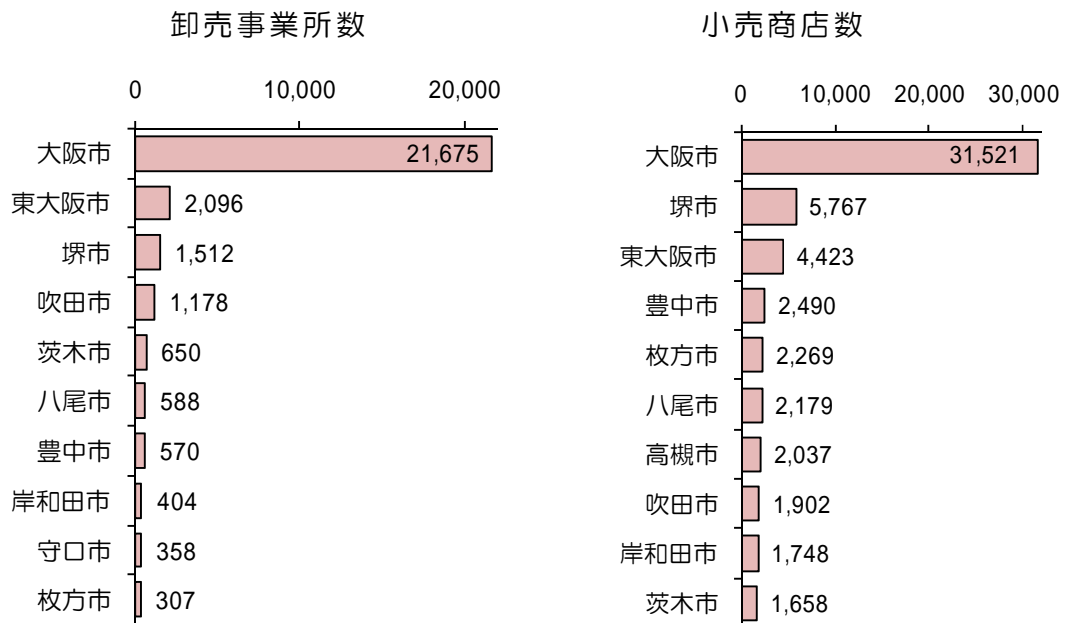
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
大阪府計	107,650	2	964,489	2	61,660,209	2	
業 種 別	卸売業計	32,985	2	412,946	2	52,009,668	2
	各種商品卸売業	111	2	2,652	2	3,927,514	2
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	1,209	1	11,945	1	2,083,102	1
	衣服・身の回り品卸売業	3,593	2	47,775	2	2,635,679	2
	農畜産物・水産物卸売業	2,418	2	28,268	2	2,862,349	2
	食料・飲料卸売業	2,688	2	36,155	2	4,433,498	2
	建築材料卸売業	2,660	2	24,285	2	2,209,370	2
	化学製品卸売業	2,136	2	25,773	2	4,629,475	2
	鉱物・金属材料卸売業	2,179	2	26,332	2	7,491,429	3
	再生資源卸売業	871	2	5,886	2	582,949	2
	一般機械器具卸売業	2,939	2	34,223	2	2,864,909	3
	自動車卸売業	1,266	3	12,805	4	1,160,906	4
	電気機械器具卸売業	1,839	2	39,650	2	7,288,565	2
	その他の機械器具卸売業	1,409	2	20,141	2	1,788,462	2
	家具・建具・じゅう器等卸売業	1,188	2	12,480	2	646,561	2
	医薬品・化粧品等卸売業	1,282	2	26,053	2	2,254,649	2
	他に分類されない卸売業	5,197	2	58,523	2	5,150,250	2
	小売業計	74,665	2	551,543	2	9,650,541	2
	各種商品小売業	204	6	57,600	2	1,404,534	2
	織物・衣服・身の回り品小売業	13,286	2	64,878	2	1,022,440	2
	飲食料品小売業	24,594	2	216,796	2	2,819,817	2
	自動車・自転車小売業	4,403	3	28,300	4	918,126	4
	家具・じゅう器・機械器具小売業	6,355	2	34,839	2	1,028,759	2
	その他的小売業	25,823	2	149,130	2	2,456,865	2
	医薬品・化粧品小売業	5,388	2	31,655	3	541,673	3
	農耕用品小売業	205	31	792	33	10,787	43
	燃料小売業	1,877	9	13,453	8	513,820	6
書籍・文房具小売業	3,804	2	39,503	3	346,100	2	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,856	2	11,728	2	219,946	2	
写真機・写真材料小売業	287	2	1,229	2	15,741	2	
時計・眼鏡・光学機械小売業	1,415	2	5,047	2	71,989	3	
他に分類されない小売業	10,991	2	45,723	2	736,809	2	

2. 市町村別の状況

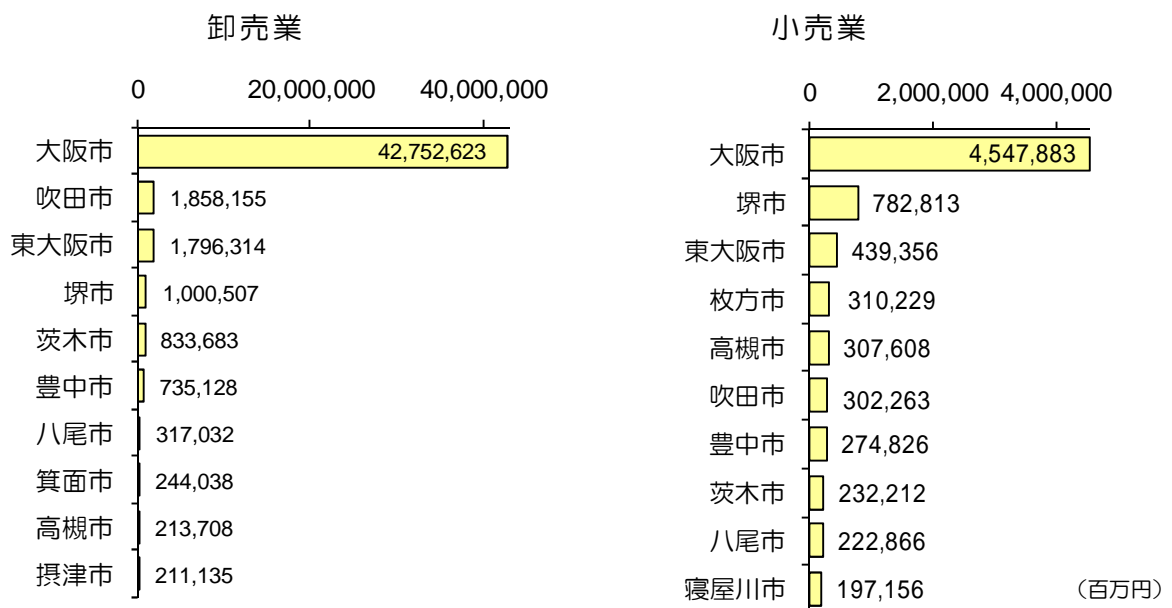
大阪府の事業所数をみると、卸売事業所の65.7%、小売商店の42.2%を大阪市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の82.2%、小売業の47.1%を大阪市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

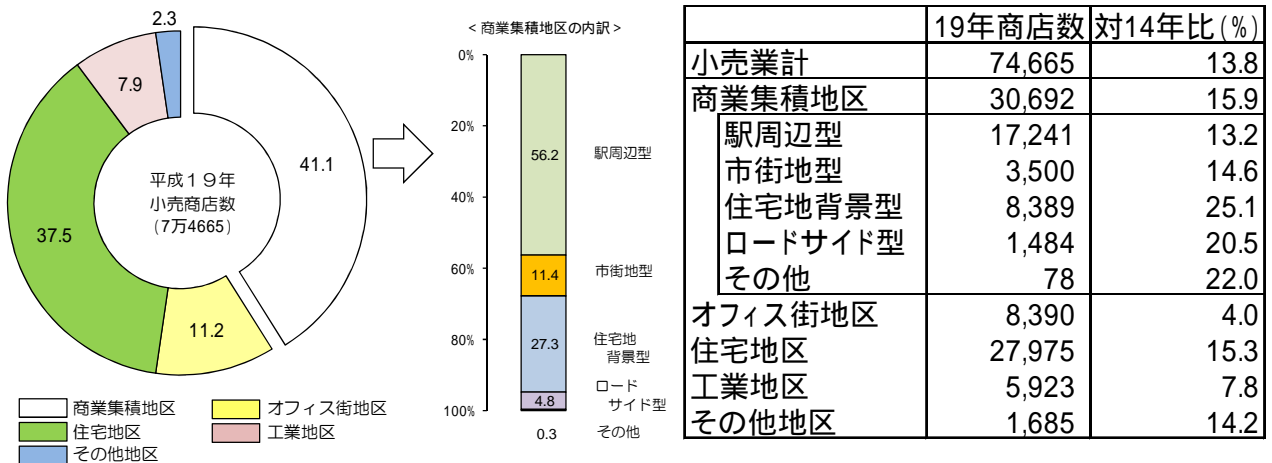


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

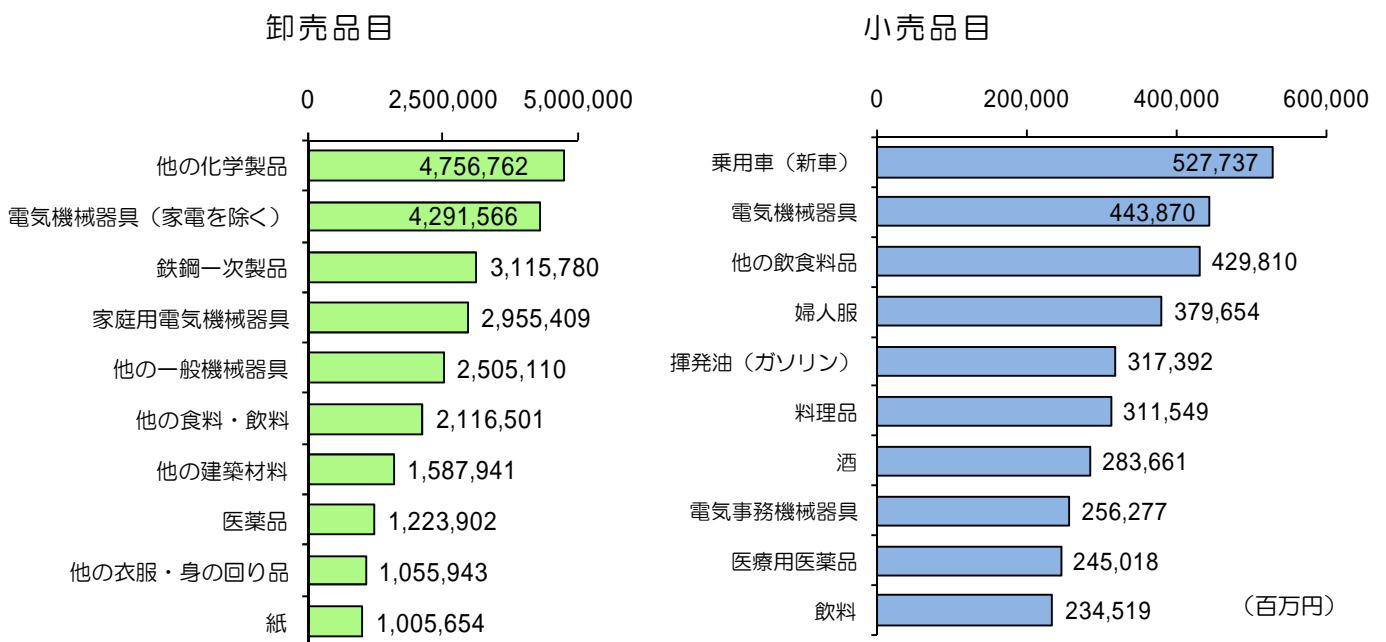
小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.1%、住宅地区が37.5%となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が56.2%、住宅地背景型が27.3%となっており、市街地型の割合は11.4%と低くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の化学製品」、「電気機械器具(家電を除く)」が上位に入っています。小売品目では、「婦人服」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



兵庫県

- 兵庫県の年間商品販売額は卸売業の5割強、
小売業の3割強を神戸市が占める -

兵庫県の事業所数をみると、卸売業の38.2%、小売業の29.5%が神戸市に集中しています。年間商品販売額をみると卸売業の52.2%、小売業の32.7%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が40%近くと高くなっており、次いで、住宅地区となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が45.2%と最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、「食肉」、「酒類」などが上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

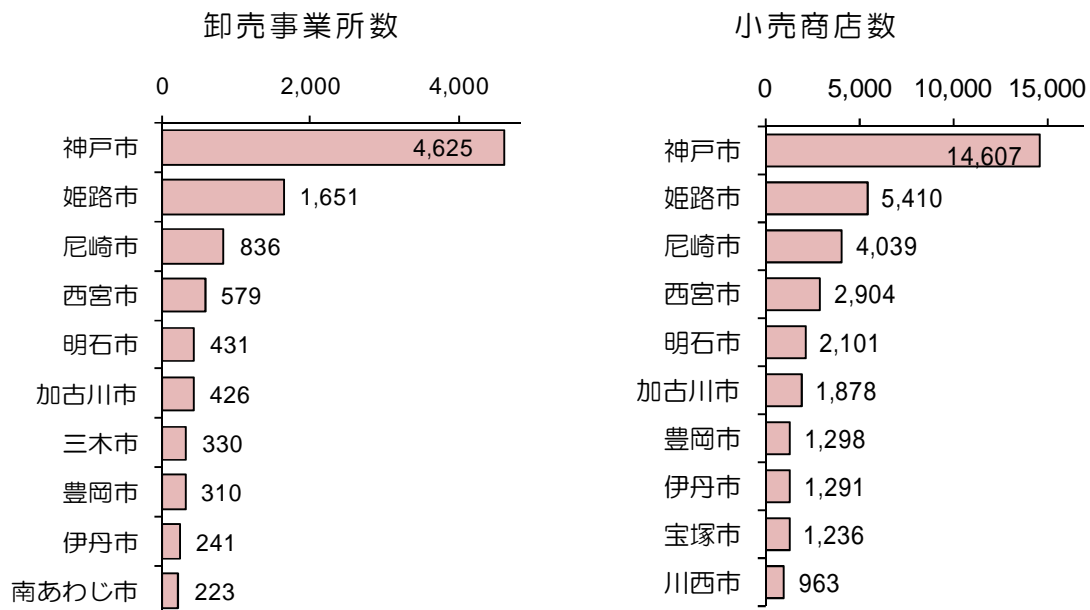
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
兵庫県計	61,597	6	464,678	8	13,269,264	8	
卸売業計	12,094	7	110,782	8	7,781,958	10	
業 種 別	各種商品卸売業	40	7	476	7	33,320	10
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	168	6	1,101	6	51,927	8
	衣服・身の回り品卸売業	761	7	8,656	5	589,738	4
	農畜産物・水産物卸売業	1,568	5	15,909	7	1,282,095	7
	食料・飲料卸売業	1,365	8	14,651	7	1,169,827	8
	建築材料卸売業	1,446	8	9,968	8	529,875	12
	化学製品卸売業	493	7	3,600	9	222,973	12
	鉱物・金属材料卸売業	528	8	5,118	10	528,190	14
	再生資源卸売業	340	8	2,511	7	148,031	7
	一般機械器具卸売業	1,002	10	8,705	8	619,153	10
	自動車卸売業	650	8	6,252	9	427,446	10
	電気機械器具卸売業	575	9	6,396	10	574,781	13
	その他の機械器具卸売業	377	8	3,443	9	225,137	9
	家具・建具・じゅう器等卸売業	474	7	3,315	8	145,341	8
	医薬品・化粧品等卸売業	540	8	7,194	8	578,726	9
	他に分類されない卸売業	1,767	5	13,487	8	655,398	11
	小売業計	49,503	5	353,896	8	5,487,306	8
	各種商品小売業	189	7	40,884	6	702,599	7
	織物・衣服・身の回り品小売業	8,427	4	34,405	5	461,364	5
	飲食料品小売業	16,082	6	137,145	8	1,733,203	8
自動車・自転車小売業	3,470	6	20,818	9	603,861	8	
家具・じゅう器・機械器具小売業	4,220	5	21,980	6	493,823	7	
その他の小売業	17,115	5	98,664	7	1,492,456	8	
医薬品・化粧品小売業	3,621	6	21,514	6	331,477	8	
農耕用品小売業	454	8	2,230	5	42,293	14	
燃料小売業	1,839	10	12,531	9	437,800	10	
書籍・文房具小売業	2,163	5	25,073	6	182,568	7	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,319	5	7,184	7	112,714	7	
写真機・写真材料小売業	157	4	623	4	6,584	6	
時計・眼鏡・光学機械小売業	895	6	3,234	8	39,938	6	
他に分類されない小売業	6,667	4	26,275	6	339,082	8	

2. 市町村別の状況

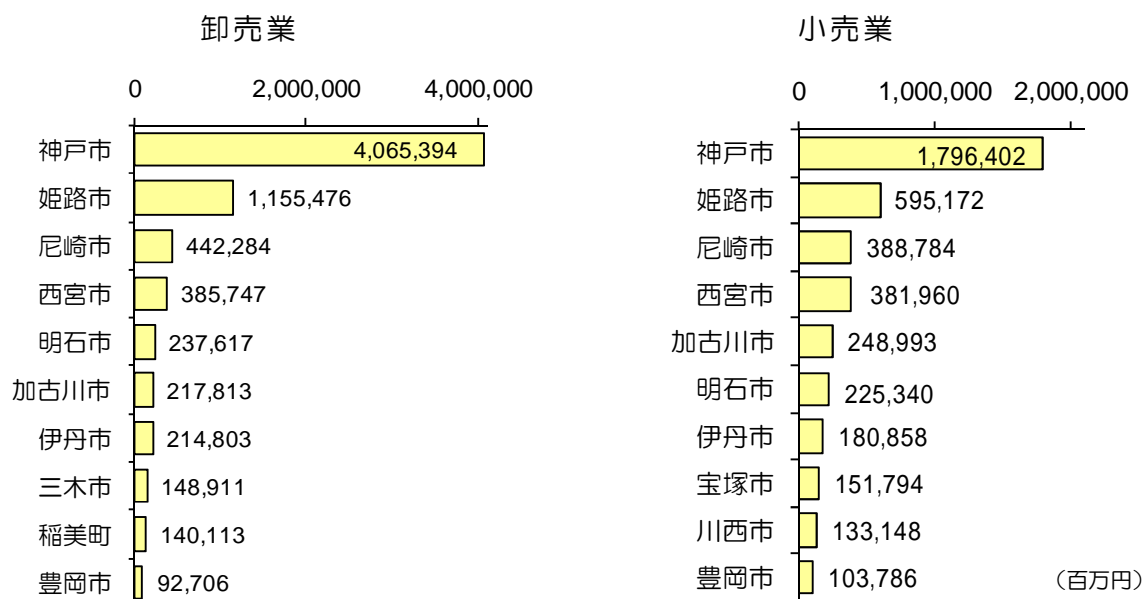
兵庫県の事業所数をみると、卸売事業所の38.2%、小売商店の29.5%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の52.2%、小売業の32.7%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

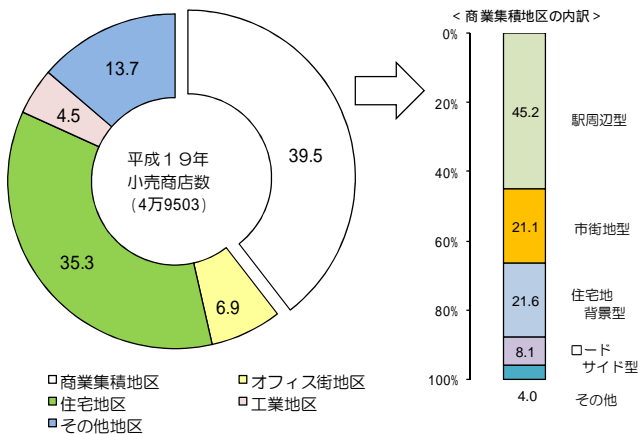


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が39.5%と最も高く、次いで、住宅地区が35.3%となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が45.2%で最も高く、住宅地背景型と市街地型が20%を超えてほぼ同じ割合となっています。

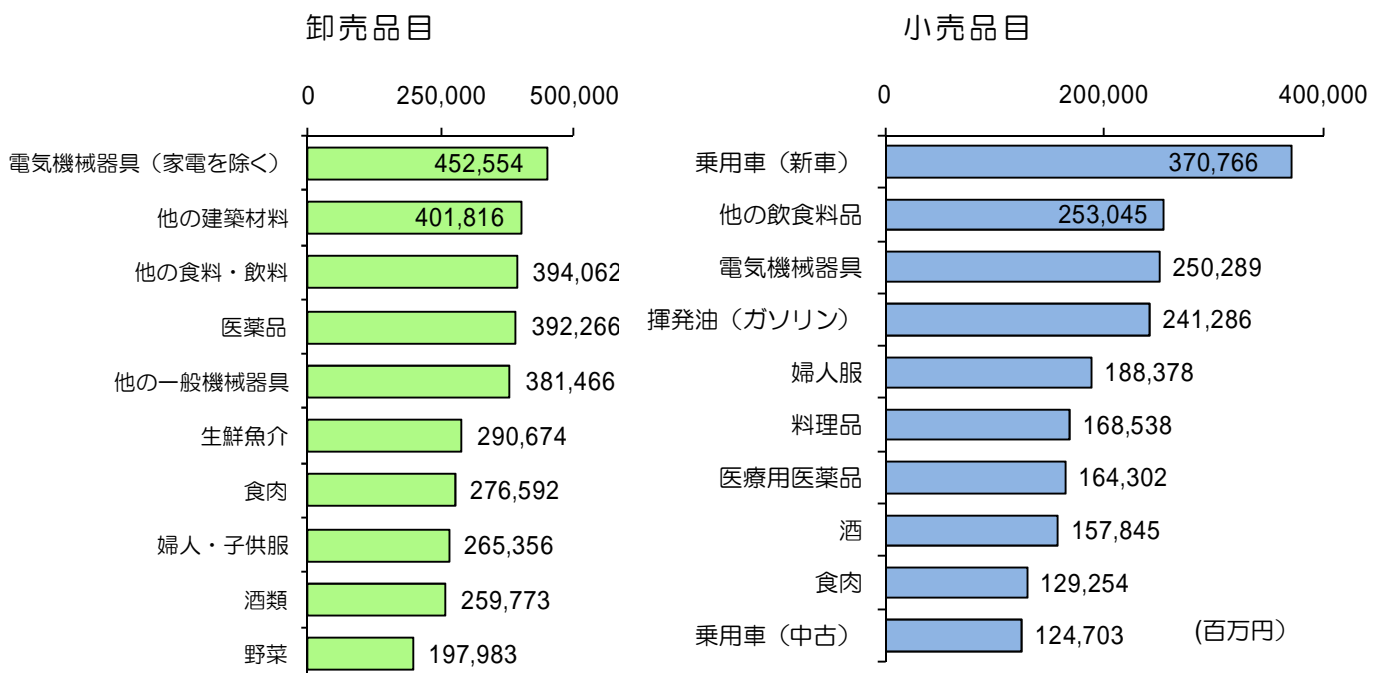


	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	49,503	10.8
商業集積地区	19,562	13.3
駅周辺型	8,833	12.1
市街地型	4,124	18.1
住宅地背景型	4,232	18.0
ロードサイド型	1,594	13.9
その他	779	14.7
オフィス街地区	3,433	3.8
住宅地区	17,499	13.3
工業地区	2,219	4.3
その他地区	6,790	4.8

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」が1位となったほか、「生鮮魚介」、「食肉」、「婦人・子供服」、「酒類」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



奈良県

- 奈良県の商業集積地区の半数以上が駅周辺型 -

奈良県の事業所数をみると、卸売事業所の20.1%、小売商店の23.6%を奈良市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の30.7%、小売業の31.4%を奈良市が占めています。

小売商店の立地をみると、住宅地区が34.0%と最も多く、次いで、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では52.7%と半数以上が駅周辺型となっています。なお、ロードサイド型商店数は大きく増加しています。

卸売販売品目をみると、「医薬品」が1千億円を超えて最も多くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

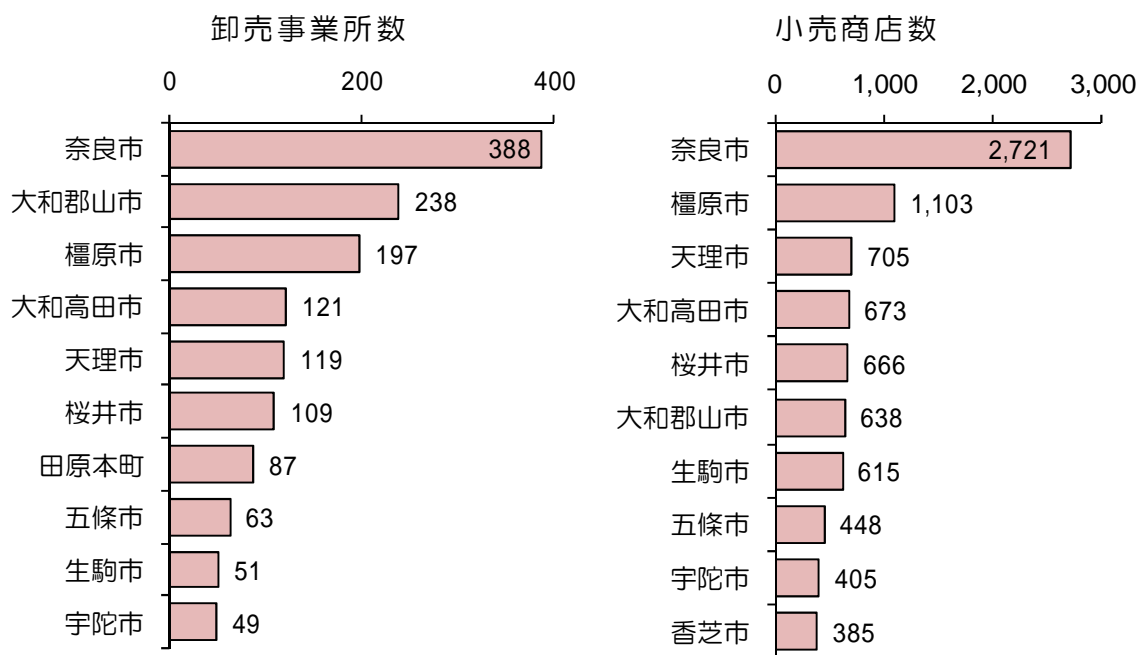
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
奈良県計	13,460	40	98,602	37	2,126,234	40
業種別						
卸売業計	1,928	44	16,025	44	875,957	44
各種商品卸売業	4	47	20	47	1,180	46
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	32	23	235	19	16,458	14
衣服・身の回り品卸売業	126	24	794	26	27,227	24
農畜産物・水産物卸売業	206	47	2,631	43	132,820	45
食料・飲料卸売業	257	46	2,510	43	127,879	43
建築材料卸売業	287	41	2,004	43	100,623	41
化学製品卸売業	61	42	425	43	24,759	41
鉱物・金属材料卸売業	72	45	632	45	35,166	47
再生資源卸売業	35	43	212	47	5,873	46
一般機械器具卸売業	112	46	916	45	33,299	45
自動車卸売業	116	42	965	46	75,446	32
電気機械器具卸売業	67	47	556	47	50,205	43
その他の機械器具卸売業	47	43	347	44	19,920	44
家具・建具・じゅう器等卸売業	134	32	961	29	35,264	26
医薬品・化粧品等卸売業	154	37	1,386	37	134,231	32
他に分類されない卸売業	218	45	1,431	45	55,607	45
小売業計	11,532	39	82,577	32	1,250,277	32
各種商品小売業	58	31	10,045	18	172,675	21
織物・衣服・身の回り品小売業	1,679	34	6,757	30	92,922	27
飲食料品小売業	3,818	38	32,228	34	374,478	35
自動車・自転車小売業	665	43	4,789	39	154,179	31
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,080	39	5,283	34	114,536	29
その他の小売業	4,232	37	23,475	36	341,488	38
医薬品・化粧品小売業	939	34	4,778	30	69,910	34
農耕用品小売業	159	38	638	42	10,467	45
燃料小売業	626	38	3,741	39	110,366	42
書籍・文房具小売業	495	33	5,726	37	45,668	24
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	233	42	1,426	34	20,419	36
写真機・写真材料小売業	54	22	204	21	2,344	18
時計・眼鏡・光学機械小売業	191	39	675	34	8,211	29
他に分類されない小売業	1,535	30	6,287	29	74,103	34

2. 市町村別の状況

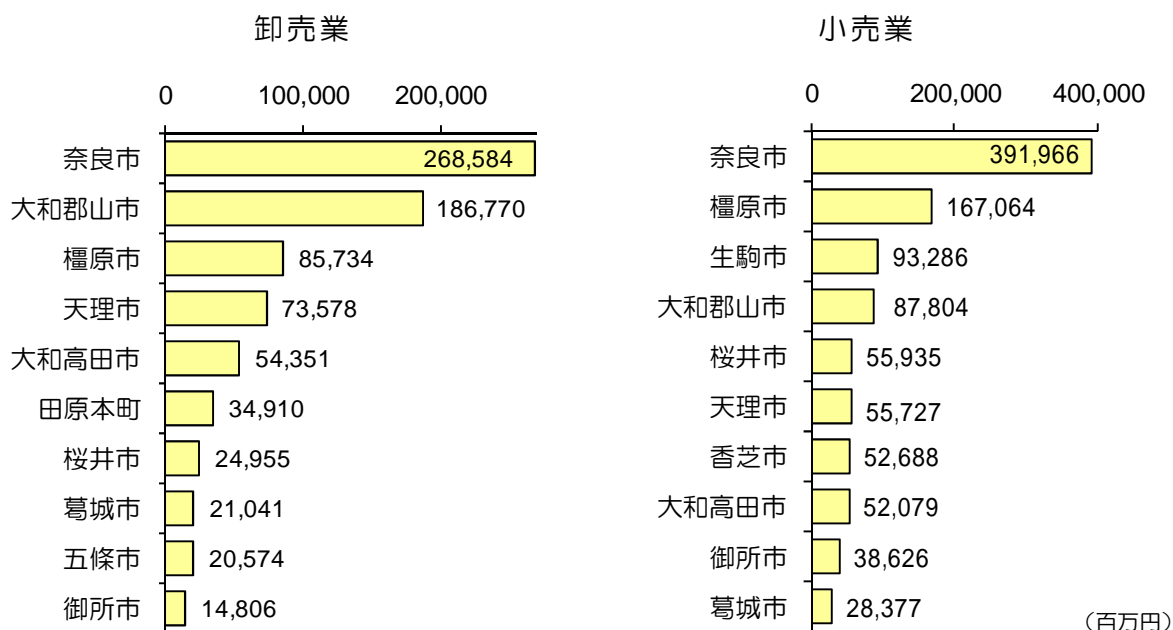
奈良県の事業所数をみると、卸売事業所では奈良市の割合が20.1%と最も高く、次いで、大和郡山市の順となっています。小売商店は23.6%が奈良市に集中しています。

年間商品販売額をみると卸売業では30.7%が奈良市、次いで、大和郡山市となっています。小売業では奈良市が31.4%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)



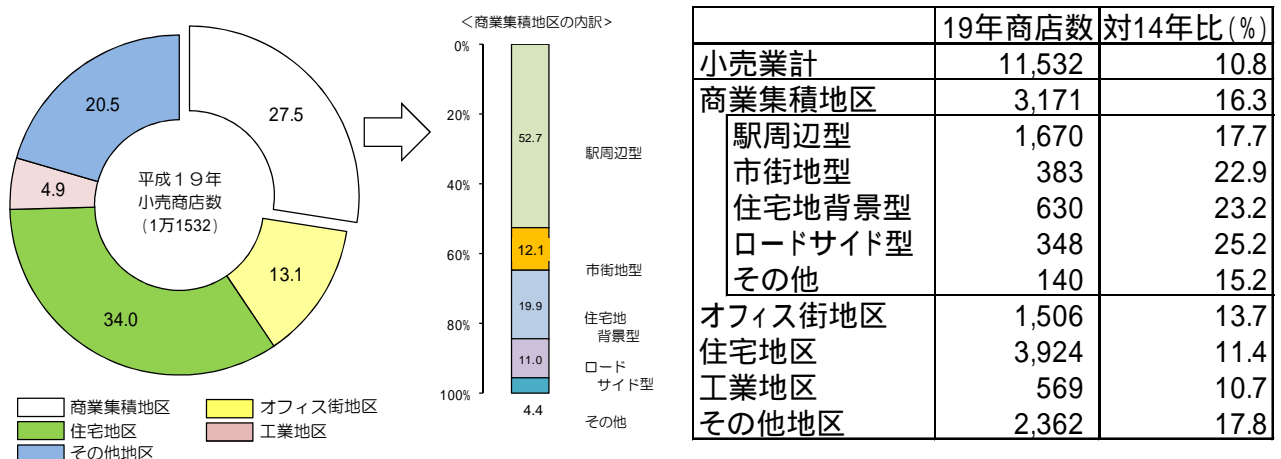
【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



(百万円)

3. 立地別にみる商店(小売業)

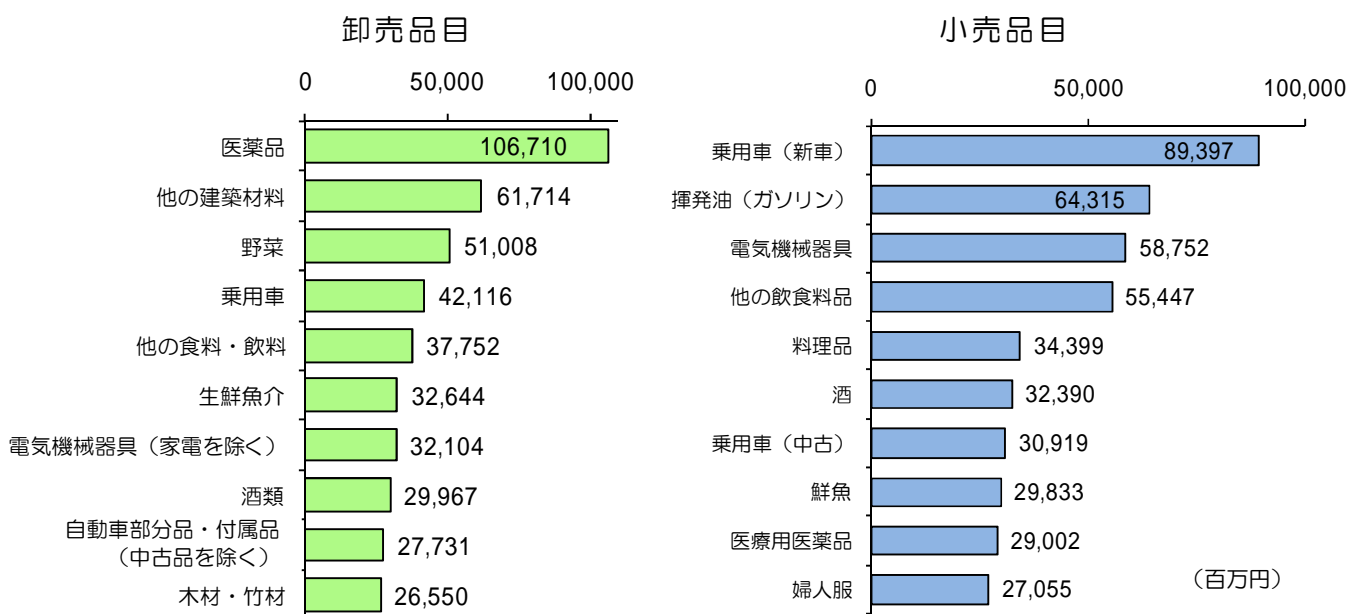
小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が34.0%と最も高く、次いで、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型が52.7%と半数以上を占め、次いで、住宅地背景型、市街地型の順となっています。なお、ロードサイド型の割合が大きく増加しています。



4. 品目別年間商品販売額

卸売販売品目をみると、「医薬品」、「木材・竹材」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



和歌山県

- 和歌山県の年間商品販売額は、卸売業の6割、
小売業の4割が和歌山市 -

和歌山県の事業所数をみると、卸売事業所の38.3%、小売商店の28.4%を和歌山市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の59.4%、小売業の39.4%を和歌山市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が36.5%と最も高く、次いで、住宅地区が25.9%、商業集積地区が25.8%とほぼ同じ割合となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型と市街地型が30%を超えています。

卸売販売品目をみると、「生鮮魚介」などの食料品関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

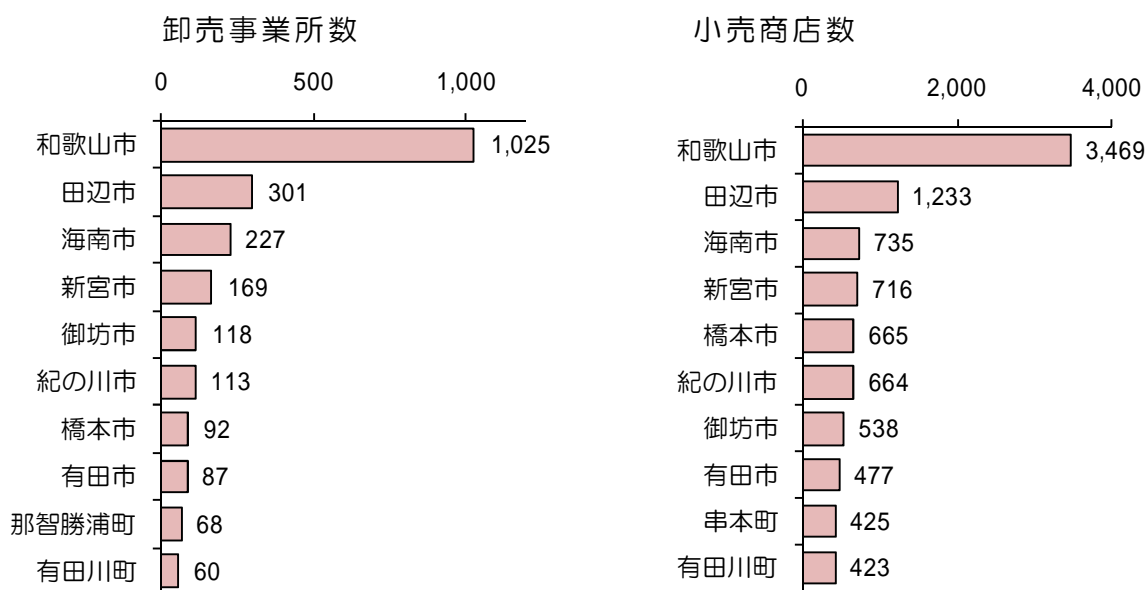
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
和歌山県計	14,871	37	86,418	40	1,866,101	42	
卸売業計	2,673	37	20,284	39	931,346	42	
業種別	各種商品卸売業	7	41	45	44	1,279	45
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	30	24	216	22	5,684	24
	衣服・身の回り品卸売業	73	38	457	39	9,979	40
	農畜産物・水産物卸売業	503	28	4,189	33	165,813	42
	食料・飲料卸売業	434	34	3,080	38	136,294	39
	建築材料卸売業	341	39	2,576	38	109,503	40
	化学製品卸売業	95	36	633	37	57,618	32
	鉱物・金属材料卸売業	97	38	803	40	62,158	45
	再生資源卸売業	55	41	597	35	12,688	36
	一般機械器具卸売業	136	41	1,059	43	31,612	47
	自動車卸売業	138	39	1,106	41	44,080	39
	電気機械器具卸売業	90	42	642	46	34,846	47
	その他の機械器具卸売業	34	47	271	47	13,623	47
	家具・建具・じゅう器等卸売業	184	24	1,072	26	31,362	29
	医薬品・化粧品等卸売業	159	36	1,329	39	91,152	41
	他に分類されない卸売業	297	39	2,209	39	123,657	35
	小売業計	12,198	37	66,134	39	934,755	40
	各種商品小売業	35	42	4,244	37	78,338	36
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,544	37	4,902	40	51,632	43
	飲食品小売業	4,270	35	27,652	38	334,292	39
自動車・自転車小売業	764	40	4,080	42	107,451	41	
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,199	33	4,471	38	78,118	38	
その他の小売業	4,386	36	20,785	39	284,923	41	
医薬品・化粧品小売業	806	39	3,175	41	45,816	43	
農耕用品小売業	213	28	895	29	16,036	35	
燃料小売業	750	34	3,963	38	108,031	43	
書籍・文房具小売業	453	38	5,035	39	29,353	39	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	305	33	1,216	39	14,963	44	
写真機・写真材料小売業	48	25	164	27	1,161	36	
時計・眼鏡・光学機械小売業	202	37	555	40	7,332	33	
他に分類されない小売業	1,609	28	5,782	39	62,230	41	

2. 市町村別の状況

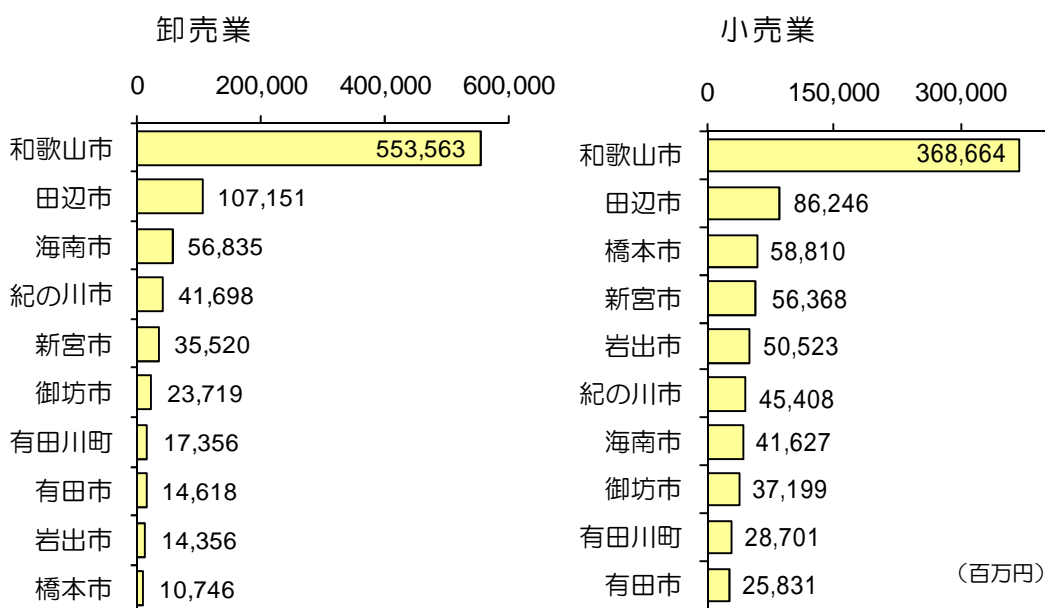
和歌山県の事業所数をみると、卸売事業所の38.3%、小売商店の28.4%を和歌山市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の59.4%、小売業の39.4%を和歌山市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

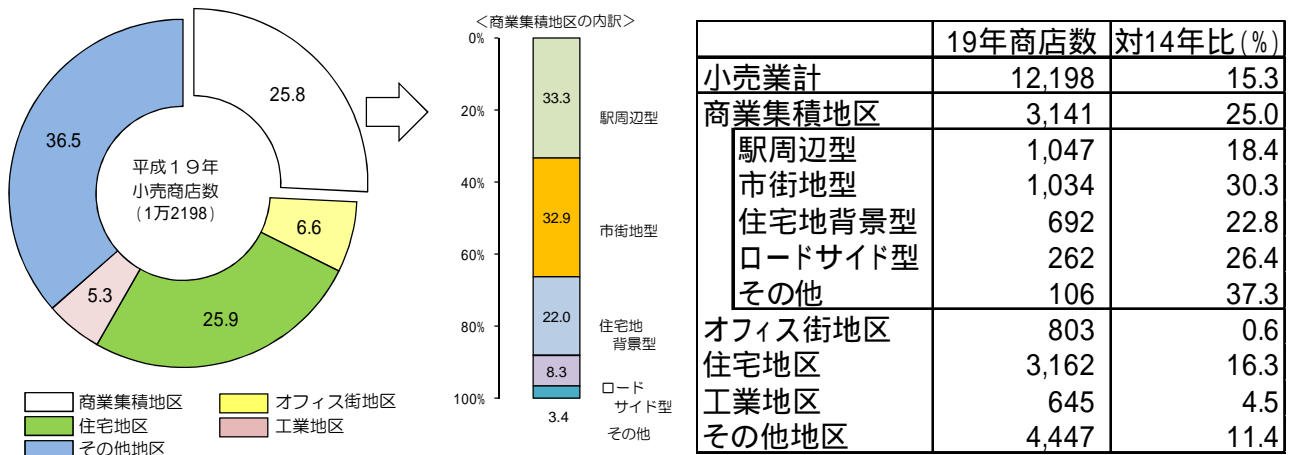


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

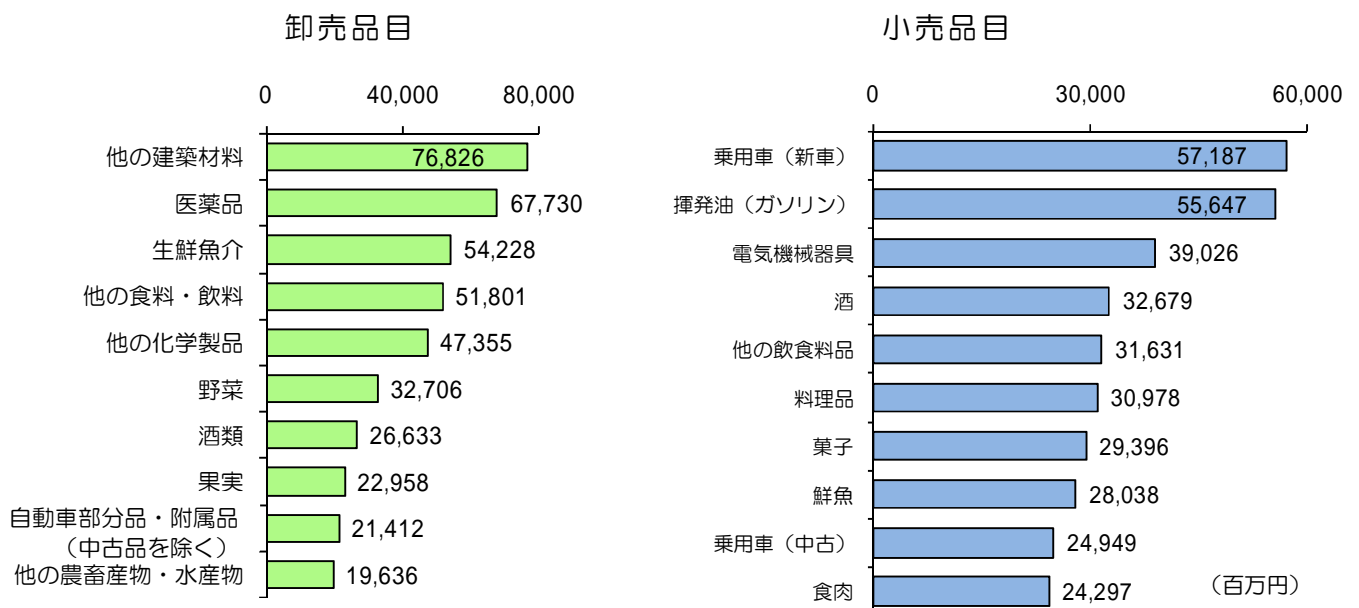
小売商店の立地をみると、その他地区の割合が36.5%と最も高く、次いで、住宅地区が25.9%、商業集積地区が25.8%とほぼ同じ割合となっています。また、商業集積地区の内訳では、駅周辺型と市街地型が30%を超えています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「医薬品」、「他の化学製品」などの化学品関連や「生鮮魚介」、「他の食料・飲料」、「野菜」、「酒類」、「果実」、「他の農畜産物・水産物」などの農水産、飲食料関連が上位に入っています。小売では「酒」、「菓子」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



鳥取県

- 鳥取県の年間商品販売額は卸売業の8割弱、小売業の6割強を鳥取市と米子市が占める -

鳥取県の事業所数をみると、卸売事業所の70.2%、小売商店の56.4%を鳥取市と米子市で占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の75.5%、小売業の65.3%を鳥取市と米子市で占めており、鳥取市と米子市に集中しています。

小売商店の立地をみると商業集積地区が40.2%を占めて最も高い割合となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高く、次いで、駅周辺型、ロードサイド型の順となっています。

卸売販売品目をみると、「他の農畜産物・水産物」、「生鮮魚介」、「他の食料・飲料」、「野菜」、「食肉」など農水産、飲食料品関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

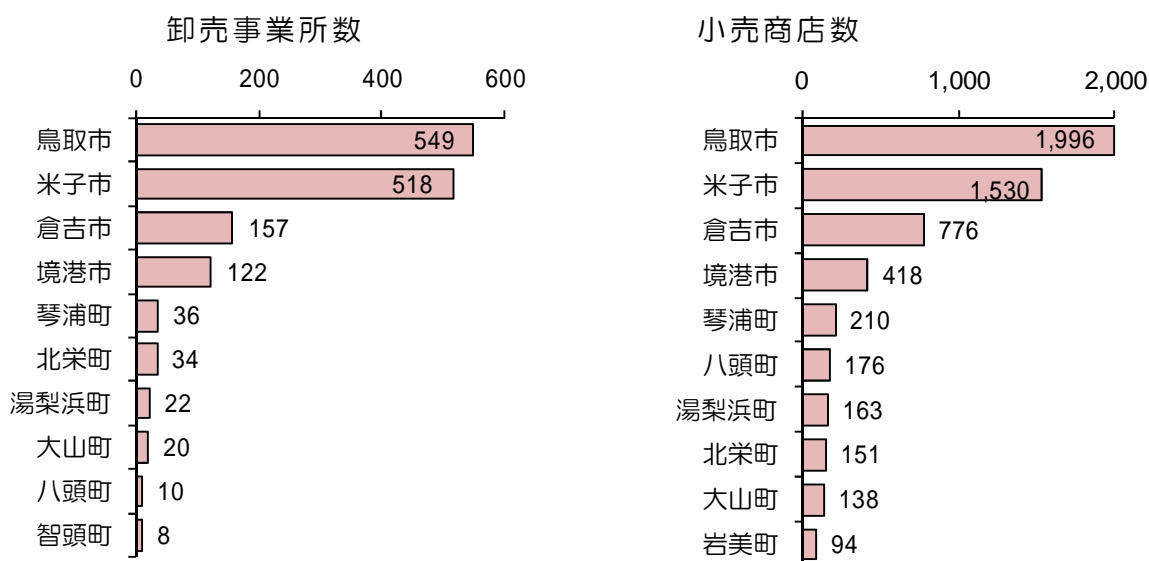
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
鳥取県計	7,770	47	53,034	47	1,348,156	47
業種別						
卸売業計	1,520	47	13,511	47	712,542	46
各種商品卸売業	6	44	76	40	3,786	35
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	4	46	15	46	407	44
衣服・身の回り品卸売業	33	47	214	47	3,823	47
農畜産物・水産物卸売業	230	46	2,598	44	163,815	43
食料・飲料卸売業	223	47	2,372	44	104,537	45
建築材料卸売業	245	46	1,883	45	87,118	45
化学製品卸売業	53	46	367	46	16,300	45
鉱物・金属材料卸売業	48	47	451	47	67,804	43
再生資源卸売業	26	46	286	45	6,618	43
一般機械器具卸売業	109	47	867	46	35,316	44
自動車卸売業	111	44	1,052	42	33,425	46
電気機械器具卸売業	88	43	689	45	52,008	42
その他の機械器具卸売業	47	43	328	45	20,742	42
家具・建具・じゅう器等卸売業	48	47	297	46	8,414	45
医薬品・化粧品等卸売業	99	47	950	46	61,242	47
他に分類されない卸売業	150	47	1,066	47	47,187	47
小売業計	6,250	47	39,523	47	635,614	47
各種商品小売業	31	44	3,563	39	59,838	42
織物・衣服・身の回り品小売業	852	47	2,989	47	37,794	47
飲食料品小売業	1,833	47	13,383	47	200,146	47
自動車・自転車小売業	501	47	3,324	47	74,733	47
家具・じゅう器・機械器具小売業	599	47	2,752	47	47,937	47
その他の小売業	2,434	47	13,512	47	215,165	47
医薬品・化粧品小売業	484	47	2,072	47	34,694	47
農耕用品小売業	119	42	653	41	16,932	33
燃料小売業	415	47	2,566	47	84,786	47
書籍・文房具小売業	282	47	3,539	46	17,391	47
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	174	47	809	47	11,009	47
写真機・写真材料小売業	18	44	91	42	1,051	38
時計・眼鏡・光学機械小売業	97	47	380	46	5,135	42
他に分類されない小売業	845	47	3,402	47	44,167	47

2. 市町村別の状況

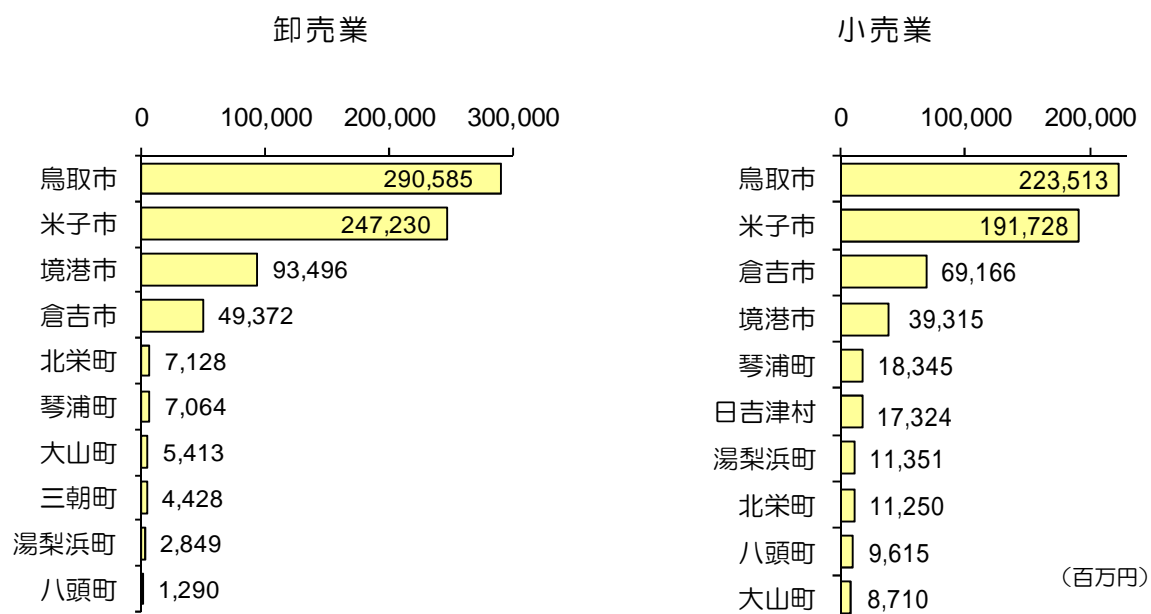
事業所数をみると、卸売事業所の70.2%、小売商店の56.4%を鳥取市と米子市で占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の75.5%、小売業の65.3%を鳥取市と米子市で占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

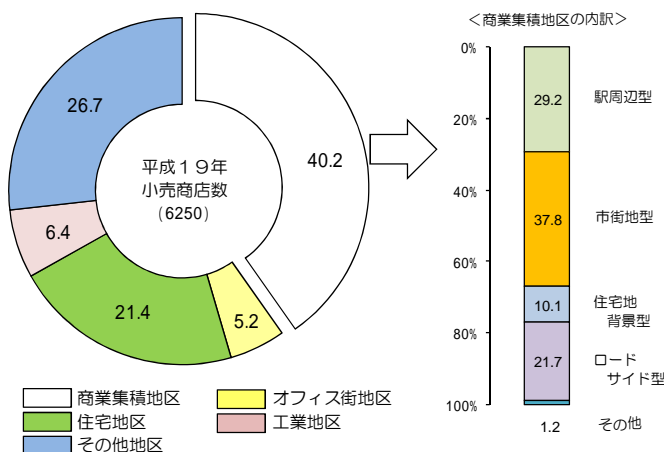


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、40.2%が商業集積地区となっています。商業集積地区の内訳では市街地型が37.8%と最も高い割合となっています。また、ロードサイド型の割合も20%を超えています。

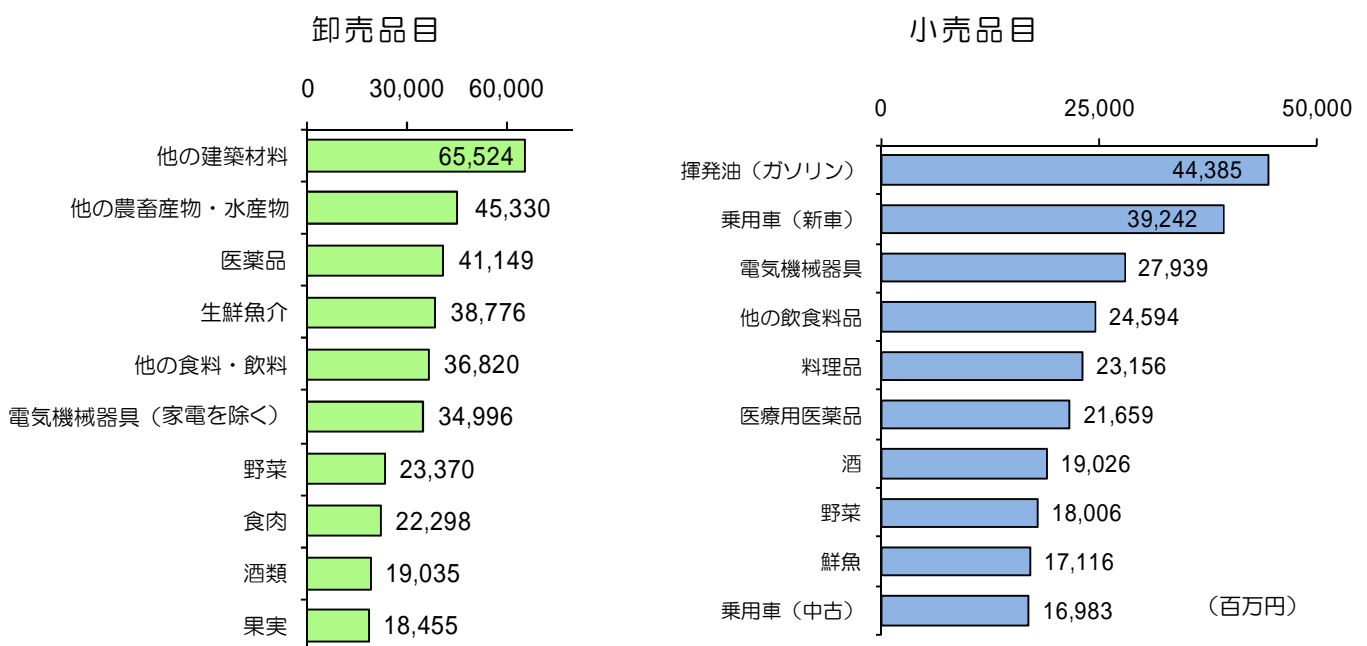


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	6,250	13.7
商業集積地区	2,514	17.3
駅周辺型	733	19.5
市街地型	951	18.4
住宅地背景型	255	21.1
ロードサイド型	546	8.2
その他	29	38.3
オフィス街地区	326	12.8
住宅地区	1,337	13.6
工業地区	402	12.0
其他地区	1,671	13.1

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の農畜産物・水産物」、「生鮮魚介」、「他の食料・飲料」、「野菜」、「食肉」が入っており、農水産、食料品関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



島根県

- 島根県の年間商品販売額は卸売業の6割強、
小売業の5割を松江市と出雲市が占める -

島根県の事業所数をみると、卸売事業所では松江市が33.1%と最も高く、次いで、出雲市の順となっています。小売商店においても松江市が最も高く21.7%を占め、次いで、出雲市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では松江市が47.7%と半数近くを占めています。小売業においても松江市が最も高く28.8%を占めていますが、2位の出雲市と合わせると50.7%と半数を超えています。

小売商店の立地をみると、その他地区に次いで、商業集積地区の割合が高くなっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型の割合が最も高くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

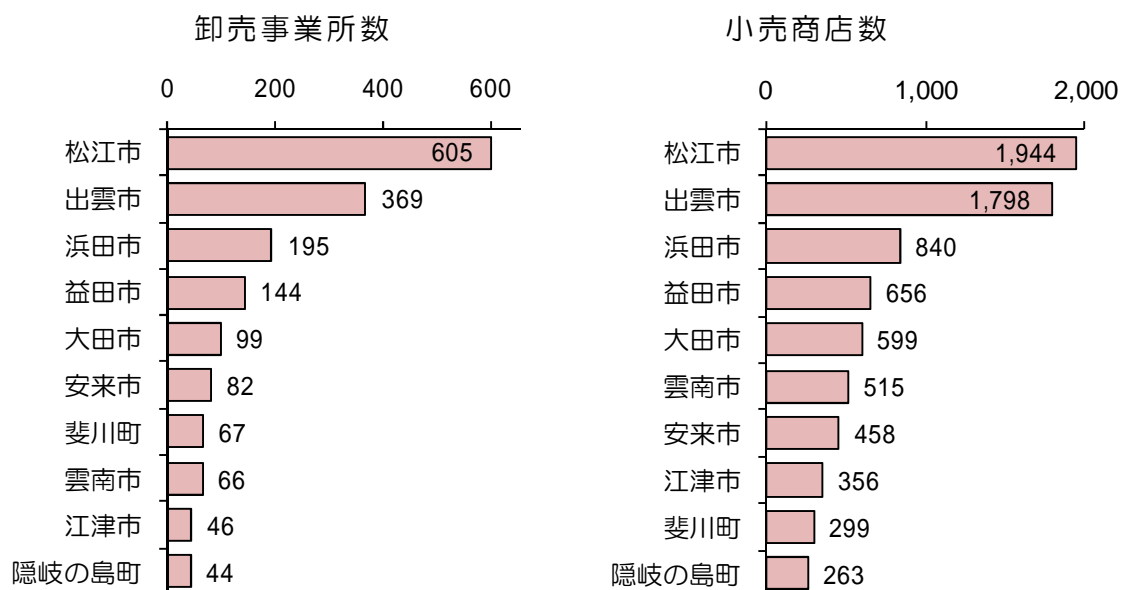
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
島根県計	10,782	46	61,478	46	1,421,377	46	
業種別	卸売業計	1,830	46	14,558	46	689,624	47
	各種商品卸売業	8	39	55	43	2,293	40
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	3	47	14	47	50	47
	衣服・身の回り品卸売業	50	45	253	46	5,570	46
	農畜産物・水産物卸売業	251	44	2,000	47	82,476	47
	食料・飲料卸売業	289	44	2,574	42	98,197	47
	建築材料卸売業	276	43	2,227	40	91,764	43
	化学製品卸売業	52	47	363	47	13,946	47
	鉱物・金属材料卸売業	72	45	778	41	75,400	42
	再生資源卸売業	31	45	328	43	9,657	40
	一般機械器具卸売業	132	42	1,101	42	40,759	41
	自動車卸売業	129	41	998	43	43,804	40
	電気機械器具卸売業	97	39	875	42	78,119	38
	その他の機械器具卸売業	52	42	349	43	14,995	46
	家具・建具・じゅう器等卸売業	68	45	361	45	8,320	46
	医薬品・化粧品等卸売業	116	43	893	47	69,466	46
	他に分類されない卸売業	204	46	1,389	46	54,809	46
	小売業計	8,952	46	46,920	46	731,753	46
	各種商品小売業	38	41	2,285	47	46,064	46
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,046	46	3,385	46	40,524	46
	飲食料品小売業	3,161	44	17,544	46	240,365	46
	自動車・自転車小売業	675	42	4,389	41	102,031	43
	家具・じゅう器・機械器具小売業	939	41	3,466	42	60,723	44
	その他の小売業	3,093	45	15,851	45	242,046	46
	医薬品・化粧品小売業	528	46	2,475	45	44,647	45
	農耕用品小売業	152	41	657	40	13,461	39
	燃料小売業	555	46	3,288	42	95,607	44
書籍・文房具小売業	439	39	3,704	44	21,559	46	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	203	45	872	46	12,036	46	
写真機・写真材料小売業	26	40	96	40	1,232	34	
時計・眼鏡・光学機械小売業	117	46	375	47	4,061	47	
他に分類されない小売業	1,073	43	4,384	43	49,444	45	

2. 市町村別の状況

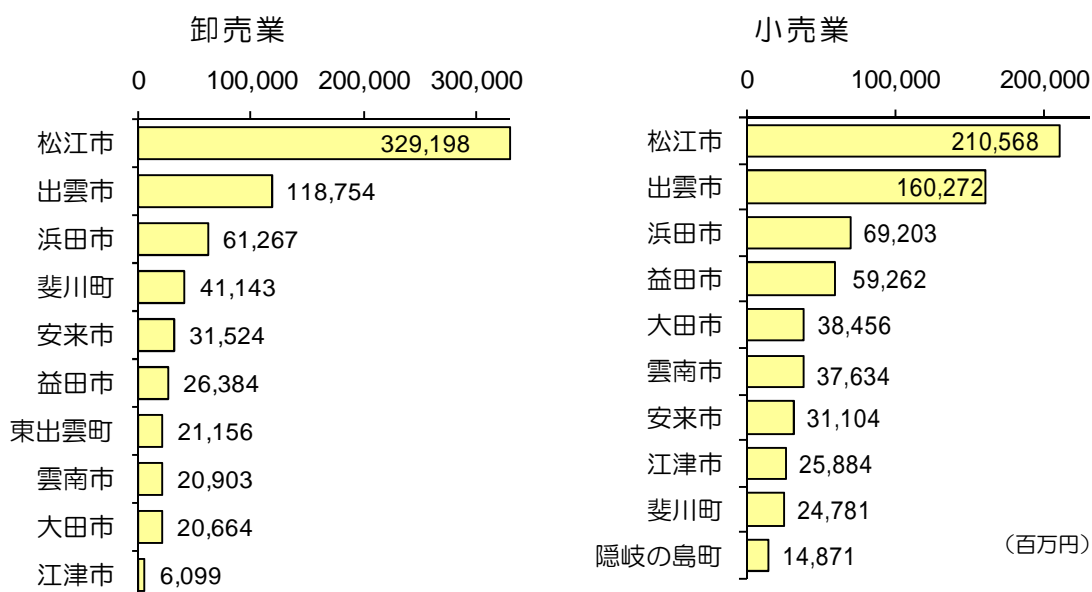
島根県の事業所数をみると、卸売事業所では松江市が33.1%と最も高く、次いで、出雲市の順となっています。小売商店でも松江市が21.7%と最も高く、次いで、出雲市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では松江市が47.7%と半数近くになっています。小売業では松江市と出雲市で50.7%と半数を超えています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

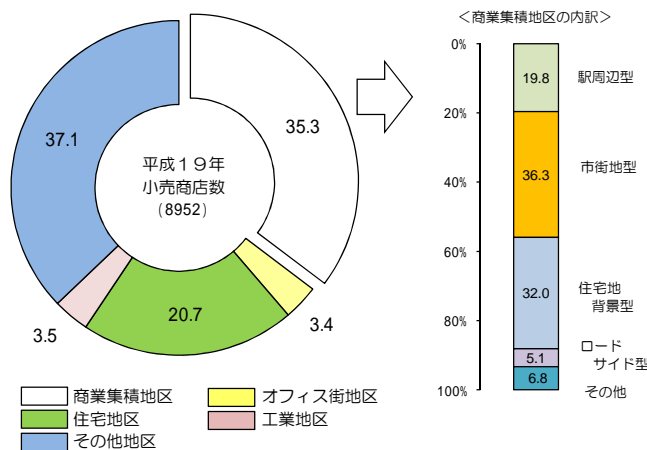


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が37.1%と最も高く、次いで、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が36.3%と最も高くなっています。

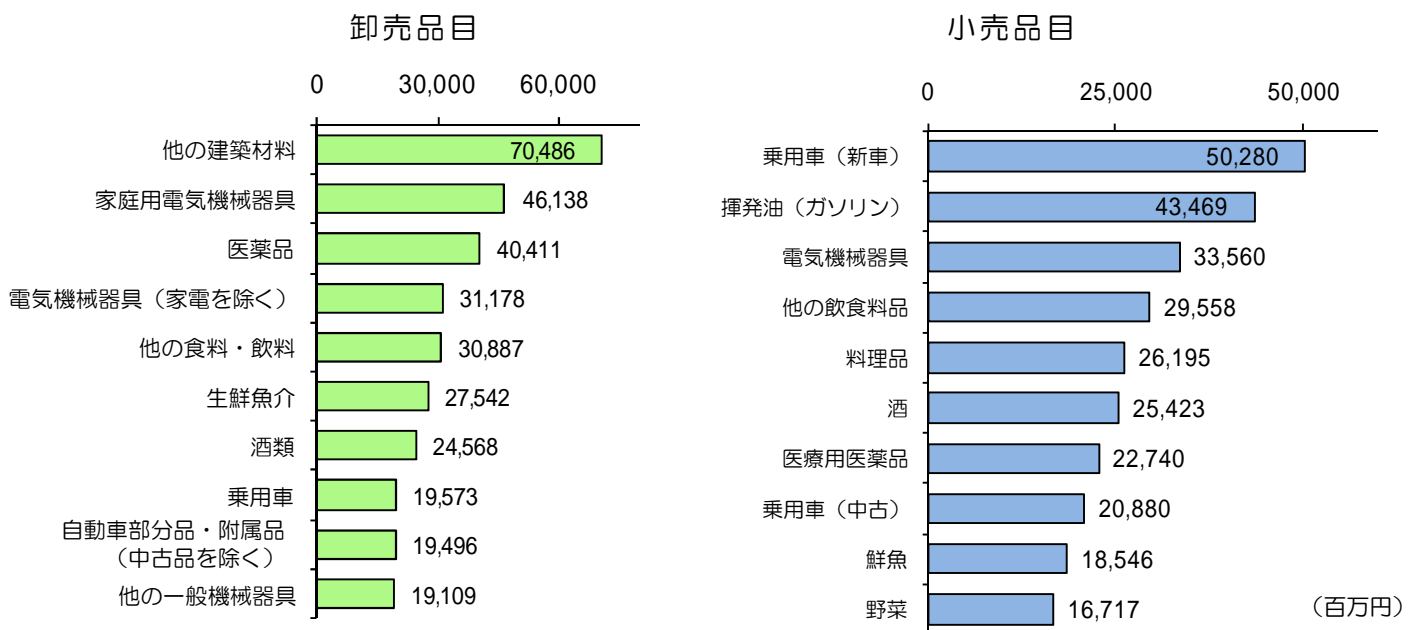


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	8,952	16.3
商業集積地区	3,159	19.3
駅周辺型	625	25.2
市街地型	1,148	24.4
住宅地背景型	1,011	16.9
ロードサイド型	160	49.5
その他	215	9.7
オフィス街地区	304	11.4
住宅地区	1,856	22.4
工業地区	314	30.3
その他地区	3,319	12.7

3. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では2位に「家庭用電気機械器具」、4位に「電気機械器具(家電を除く)」が入り、電気機械器具関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



岡山県

- 岡山県の年間商品販売額は岡山市と倉敷市で卸売業の8割強、
小売業の7割弱、小売商店の立地は住宅地区の割合が高い -

岡山県の事業所数をみると、卸売事業所では岡山市の割合が50.8%と最も高く、小売商店では岡山市と倉敷市で54.6%を占めています。年間商品販売額をみると卸売業では岡山市が63.1%となり、倉敷市と合わせると84.9%となっています。小売業では岡山市と倉敷市で66.3%となっており、岡山市と倉敷市に集中しています。

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が31.5%と最も高くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

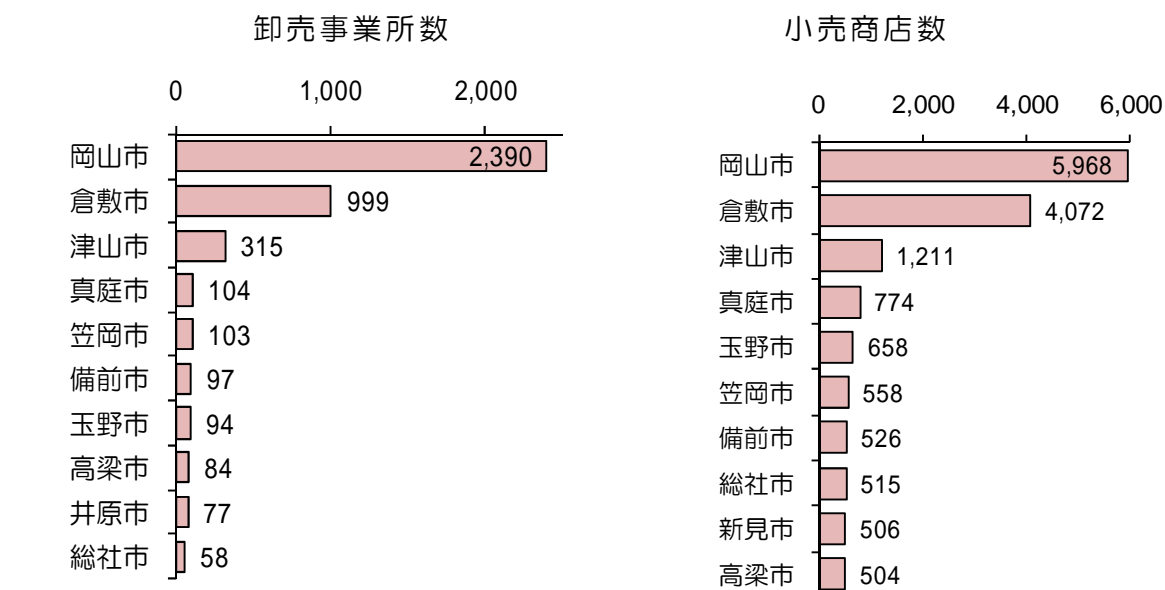
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
岡山県計	23,097	22	165,098	21	5,181,731	19	
卸売業計	4,707	21	45,885	19	3,137,878	19	
業 種 別	各種商品卸売業	14	28	102	35	12,012	18
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	59	16	439	13	22,494	11
	衣服・身の回り品卸売業	207	15	2,669	12	129,512	11
	農畜産物・水産物卸売業	525	26	5,700	24	371,201	26
	食料・飲料卸売業	520	28	5,481	24	435,594	19
	建築材料卸売業	585	21	4,889	19	250,285	22
	化学製品卸売業	196	17	1,683	18	138,300	14
	鉱物・金属材料卸売業	205	20	1,977	20	346,763	19
	再生資源卸売業	137	21	1,199	16	43,266	21
	一般機械器具卸売業	491	16	4,540	14	316,134	16
	自動車卸売業	284	22	2,783	22	148,012	23
	電気機械器具卸売業	229	21	2,540	21	183,372	21
	その他の機械器具卸売業	162	18	1,599	16	98,348	18
	家具・建具・じゅう器等卸売業	269	16	1,920	16	70,224	17
	医薬品・化粧品等卸売業	258	16	2,866	18	263,096	14
	他に分類されない卸売業	566	21	5,498	15	309,266	16
	小売業計	18,390	23	119,213	22	2,043,853	20
業 種 別	各種商品小売業	79	24	6,271	29	186,475	16
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,321	22	9,076	23	134,096	22
	飲食料品小売業	5,820	24	46,664	23	623,102	20
	自動車・自転車小売業	1,722	18	10,723	18	275,625	21
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,794	19	8,003	19	158,989	19
	その他の小売業	6,654	20	38,476	21	665,566	21
	医薬品・化粧品小売業	1,355	22	6,773	19	112,794	19
	農耕用品小売業	351	19	1,682	17	39,995	18
	燃料小売業	1,096	24	7,226	21	246,954	21
	書籍・文房具小売業	777	18	8,775	22	61,090	19
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	499	19	2,475	22	43,408	17
	写真機・写真材料小売業	82	14	271	15	2,793	15
	時計・眼鏡・光学機械小売業	305	21	1,217	18	16,610	13
	他に分類されない小売業	2,189	22	10,057	22	141,922	22

2. 市町村別の状況

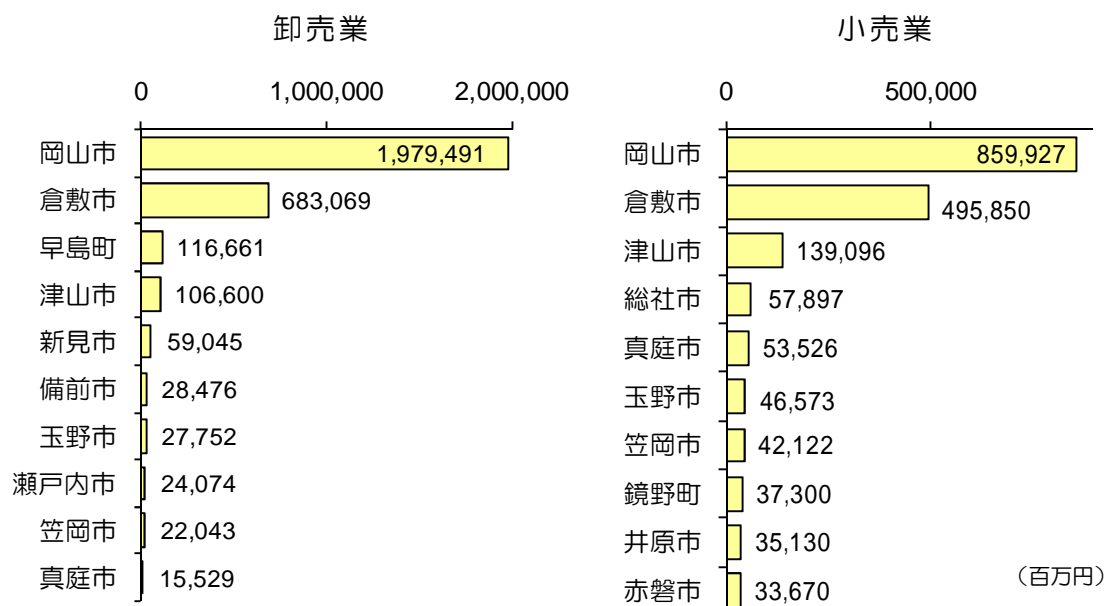
岡山県の事業所数をみると、卸売事業所では岡山市が50.8%と最も高く、小売商店では岡山市と倉敷市で54.6%と半数以上になっています。

年間商品販売額をみると卸売業では岡山市が63.1%、2位の倉敷市と合わせると84.9%となっています。小売業では岡山市と倉敷市で66.3%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

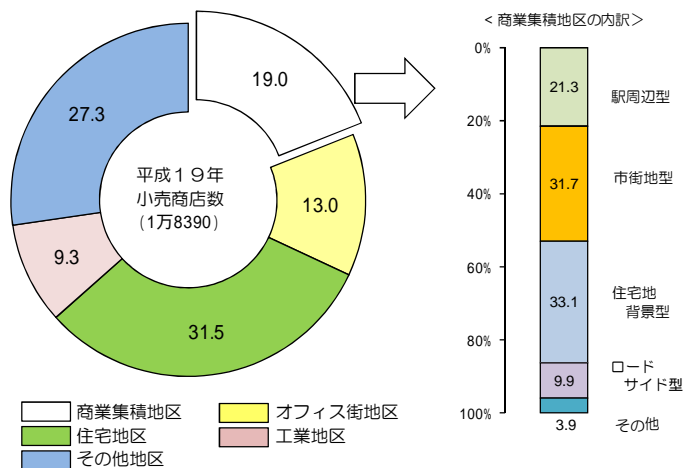


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が31.5%と最も高くなっています。また、商業地域であって商業集積地区の対象とならないオフィス街地区の割合が他県より高くなっています。

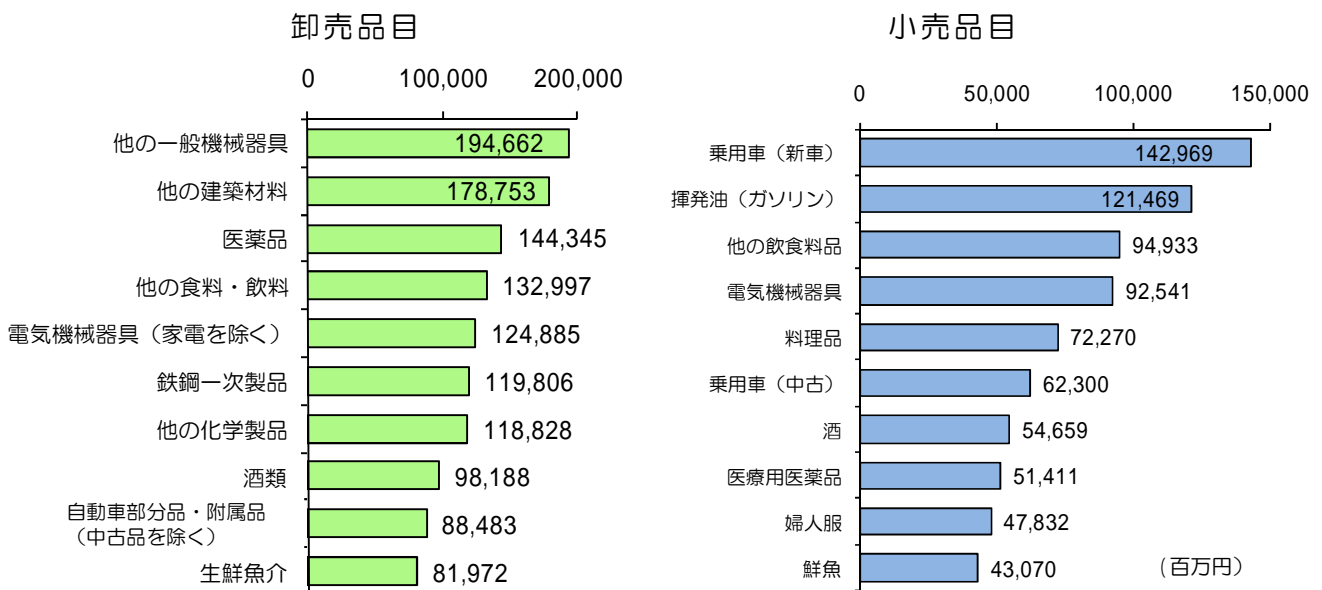


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	18,390	12.8
商業集積地区	3,490	32.7
駅周辺型	744	31.0
市街地型	1,106	29.6
住宅地背景型	1,156	34.5
ロードサイド型	347	13.0
その他	137	63.1
オフィス街地区	2,391	1.2
住宅地区	5,785	10.8
工業地区	1,711	12.0
その他地区	5,013	9.5

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の一般機械器具」、「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」、「他の化学製品」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



広島県

- 広島県の年間商品販売額は卸売業の7割強、
小売業の4割強が広島市に集中 -

広島県の事業所数をみると、卸売事業所の53.9%、小売商店の33.8%を広島市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の72.5%、小売業の43.4%が広島市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が35.8%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型の割合が最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、電気機械器具関連、「鉄鋼一次製品」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

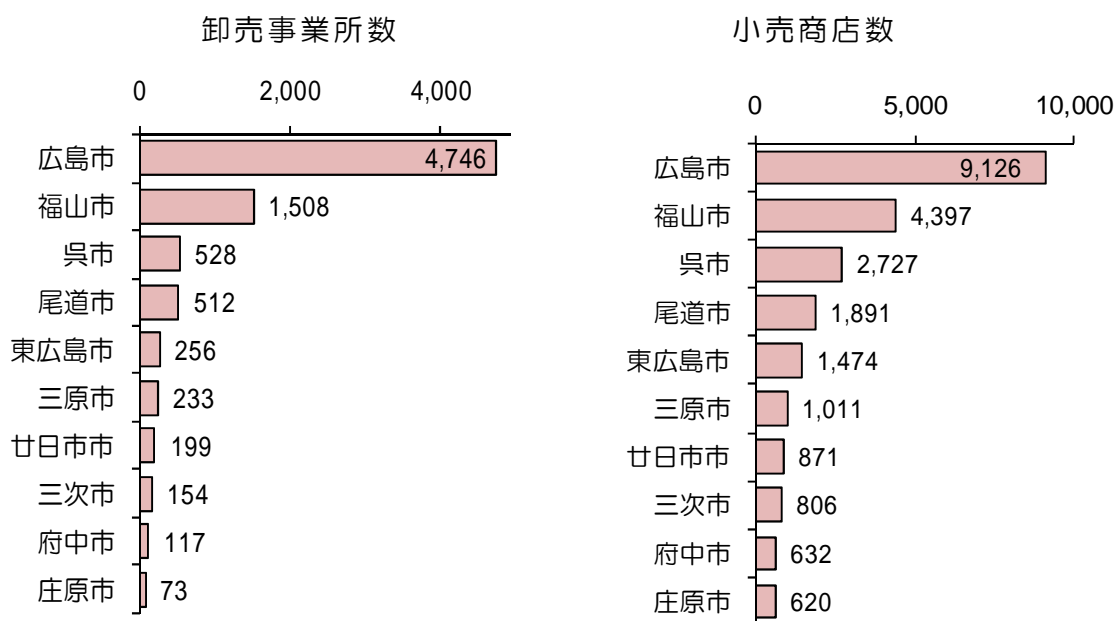
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
広島県計	35,839	11	280,051	11	11,868,449	10	
業種別	卸売業計	8,804	11	88,320	10	8,753,388	8
	各種商品卸売業	31	13	312	12	104,583	8
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	62	14	376	15	18,246	13
	衣服・身の回り品卸売業	412	11	4,918	9	223,696	9
	農畜産物・水産物卸売業	786	15	9,782	12	673,107	13
	食料・飲料卸売業	1,040	11	11,174	11	1,114,231	10
	建築材料卸売業	1,022	11	8,367	11	607,312	10
	化学製品卸売業	396	10	3,091	11	301,233	7
	鉱物・金属材料卸売業	499	10	4,852	11	1,794,388	5
	再生資源卸売業	200	13	1,578	14	83,637	9
	一般機械器具卸売業	1,011	9	8,693	9	748,752	7
	自動車卸売業	446	11	5,055	11	435,409	9
	電気機械器具卸売業	572	10	7,594	7	859,288	7
	その他の機械器具卸売業	361	9	3,232	10	202,657	10
	家具・建具・じゅう器等卸売業	347	13	2,838	10	296,154	5
	医薬品・化粧品等卸売業	474	9	6,832	9	588,200	8
	他に分類されない卸売業	1,145	11	9,626	11	702,496	8
	小売業計	27,035	11	191,731	12	3,115,061	11
	各種商品小売業	168	11	22,535	11	399,215	11
	織物・衣服・身の回り品小売業	3,865	12	15,225	12	210,535	12
	飲食料品小売業	8,241	14	68,163	14	893,703	12
	自動車・自転車小売業	2,267	11	13,939	11	360,419	11
	家具・じゅう器・機械器具小売業	2,605	11	13,034	10	297,470	10
	その他の小売業	9,889	11	58,835	11	953,719	12
	医薬品・化粧品小売業	2,479	11	12,141	11	212,058	11
	農耕用品小売業	302	22	1,557	20	29,977	22
	燃料小売業	1,304	19	9,311	12	307,522	14
書籍・文房具小売業	1,207	11	15,681	10	99,348	12	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	753	11	4,243	11	61,589	12	
写真機・写真材料小売業	111	12	491	9	5,569	9	
時計・眼鏡・光学機械小売業	462	12	1,741	11	22,584	11	
他に分類されない小売業	3,271	12	13,670	14	215,071	13	

2. 市町村別の状況

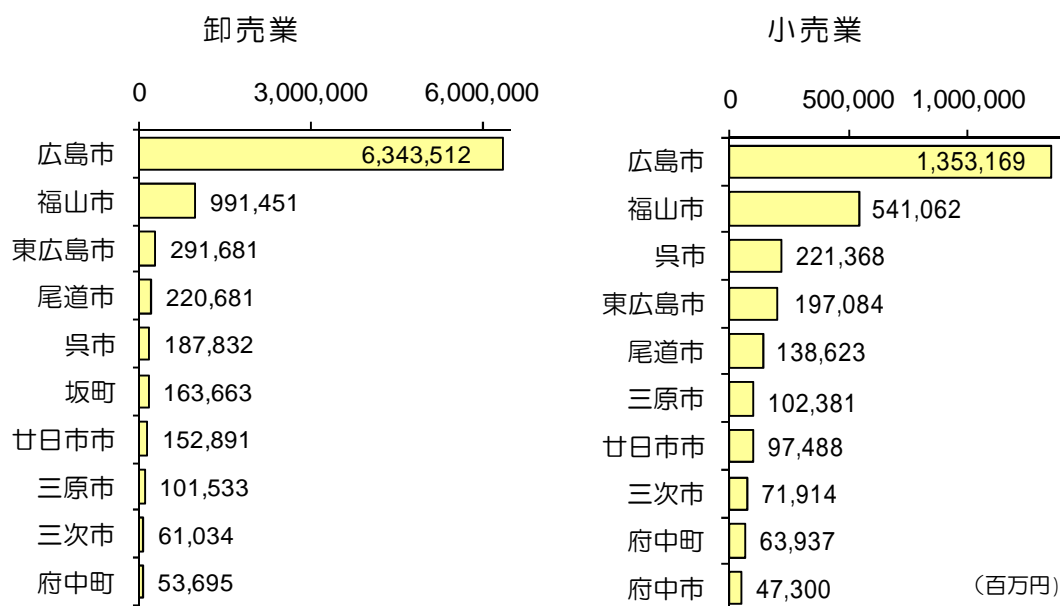
広島県の事業所数をみると、卸売事業所の53.9%、小売商店の33.8%が広島市となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では72.5%、小売業では43.4%が広島市となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

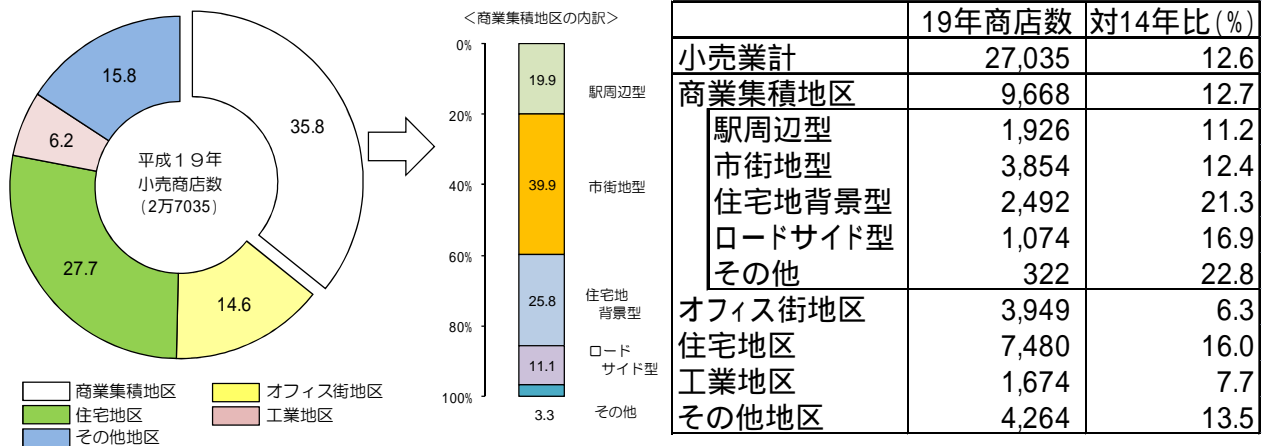


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

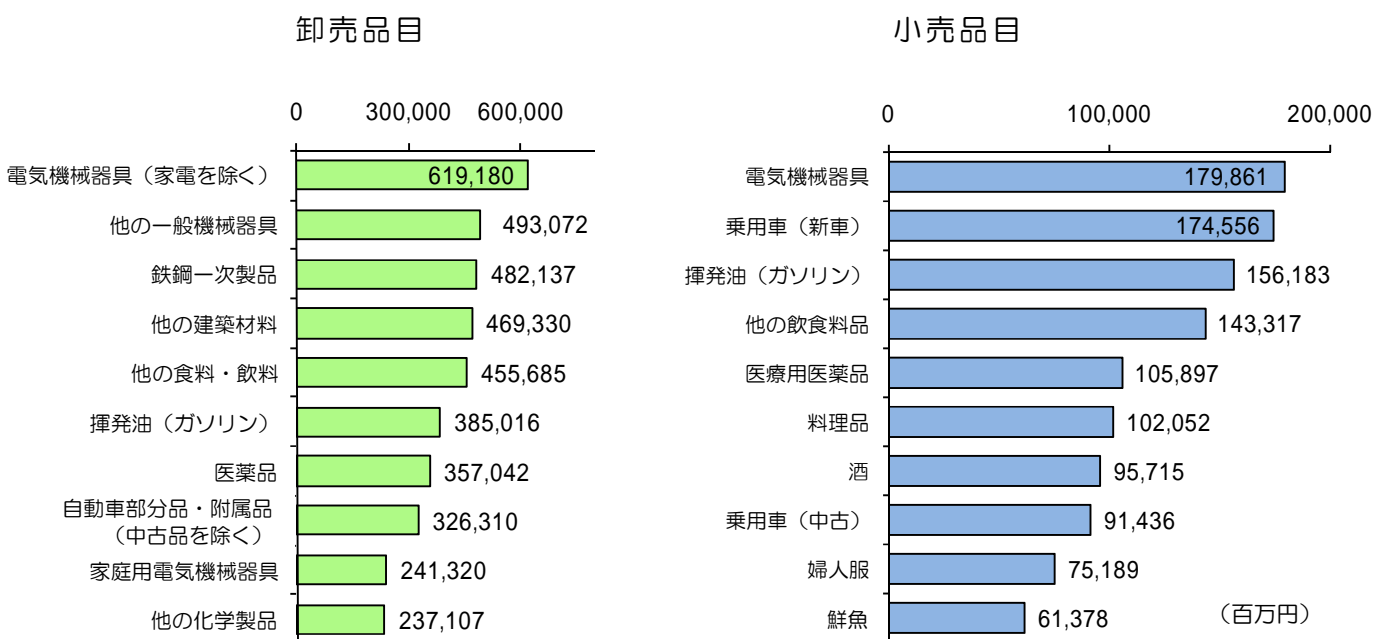
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が35.8%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型の割合が最も高くなっています。また、アウトレットモールが開業したことなどからロードサイド型の商店数が伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では1位に「電気機械器具(家電を除く)」、3位に「鉄鋼一次製品」、6位に「揮発油(ガソリン)」、9位に「家庭用電気機械器具」が入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



山口県

- 山口県の卸売、小売事業所数は下関市に多く、
年間商品販売額は卸売業で山口市、小売業で下関市が多い -

山口県の事業所数をみると、卸売事業所が最も多いのは下関市で、次いで、山口市、周南市の順となっています。小売商店では下関市、山口市、宇部市の順となっています。年間商品販売額をみると卸売業では1位が山口市、次いで、下関市、宇部市、周南市の順、小売業では下関市、山口市、宇部市、周南市の順となっています。

小売商店の立地をみると住宅地区が最も多く、次いで、商業集積地区となっています。また、商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

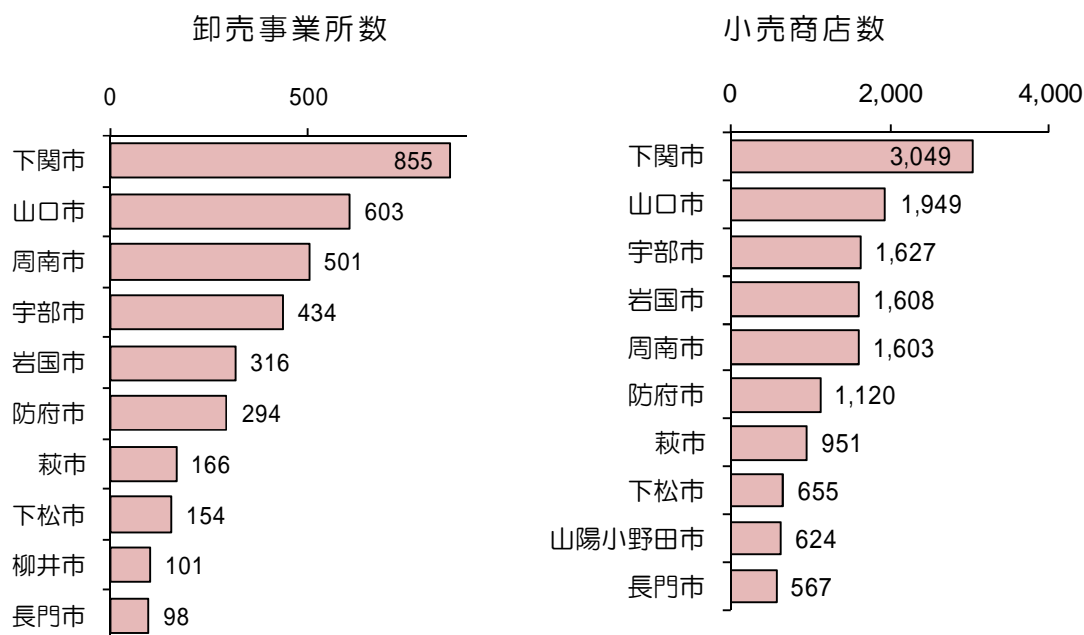
	事業所数		就業者数		年間商品販売額			
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位		
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-		
山口県計	20,010	26	128,471	25	3,548,663	27		
卸売業計	3,864	27	31,152	28	2,063,072	28		
業 種 別	各種商品卸売業	14	28	175	22	8,022	26	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	9	35	26	44	753	43	
	衣服・身の回り品卸売業	71	41	348	43	11,560	38	
	農畜産物・水産物卸売業	564	25	5,090	26	316,249	32	
	食料・飲料卸売業	514	29	4,677	31	334,716	26	
	建築材料卸売業	519	25	3,626	26	180,455	31	
	化学製品卸売業	185	21	1,295	21	100,716	22	
	鉱物・金属材料卸売業	184	23	1,708	25	257,250	25	
	再生資源卸売業	147	19	1,007	20	116,472	8	
	一般機械器具卸売業	343	27	2,485	29	122,134	30	
	自動車卸売業	271	23	2,544	25	152,940	21	
	電気機械器具卸売業	215	24	1,610	28	102,796	31	
	その他の機械器具卸売業	138	21	1,118	24	48,369	31	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	133	33	742	35	21,688	36	
	医薬品・化粧品等卸売業	206	28	2,128	28	182,729	23	
	他に分類されない卸売業	351	33	2,573	32	106,225	40	
	小売業計	16,146	26	97,319	25	1,485,591	25	
	業 種 別	各種商品小売業	118	13	7,523	27	158,740	24
		織物・衣服・身の回り品小売業	1,916	31	6,838	29	82,758	32
		飲食料品小売業	5,585	27	37,856	26	438,275	27
自動車・自転車小売業		1,270	25	7,901	23	189,170	24	
家具・じゅう器・機械器具小売業		1,558	25	7,455	20	155,065	21	
その他の小売業		5,699	25	29,746	26	461,582	27	
医薬品・化粧品小売業		1,359	21	6,516	21	108,494	20	
農耕用品小売業		209	29	1,109	25	23,717	25	
燃料小売業		899	29	5,429	28	184,462	27	
書籍・文房具小売業		737	21	7,709	25	43,121	26	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業		414	23	1,939	24	26,860	24	
写真機・写真材料小売業		43	28	134	34	1,211	35	
時計・眼鏡・光学機械小売業		273	26	896	26	9,618	25	
他に分類されない小売業		1,765	27	6,014	35	64,100	37	

2. 市町村別の状況

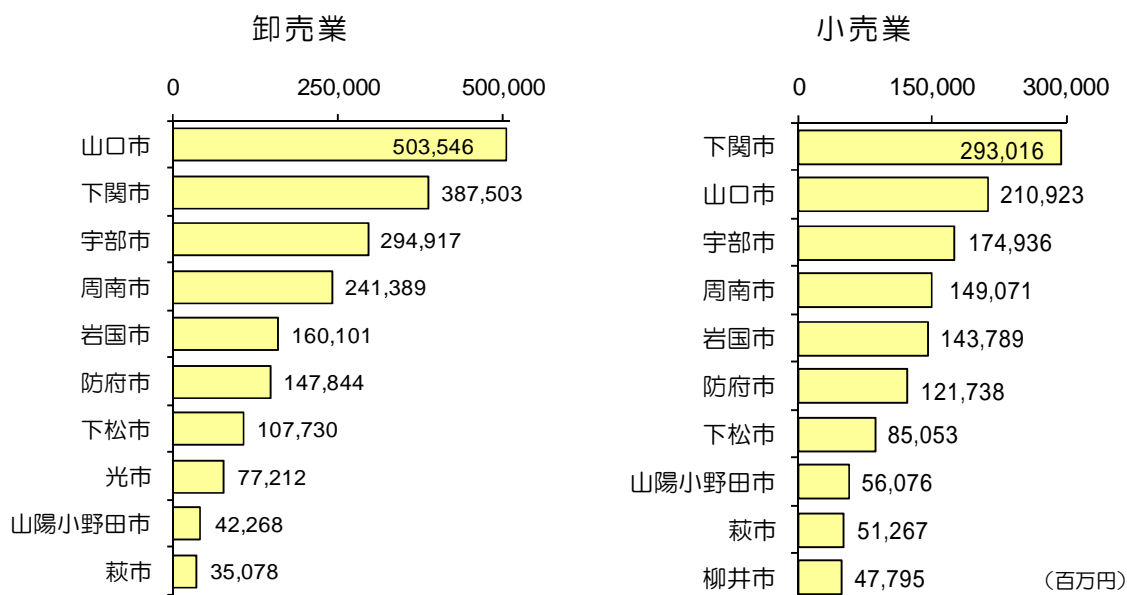
山口県の事業所数をみると、卸売事業所では下関市が最も高く22.1%を占めており、次いで、山口市、周南市の順となっています。小売商店では下関市が18.9%と最も高く、次いで、山口市、宇部市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では山口市、次いで、下関市、宇部市、周南市の順、小売業では下関市、山口市、宇部市、周南市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

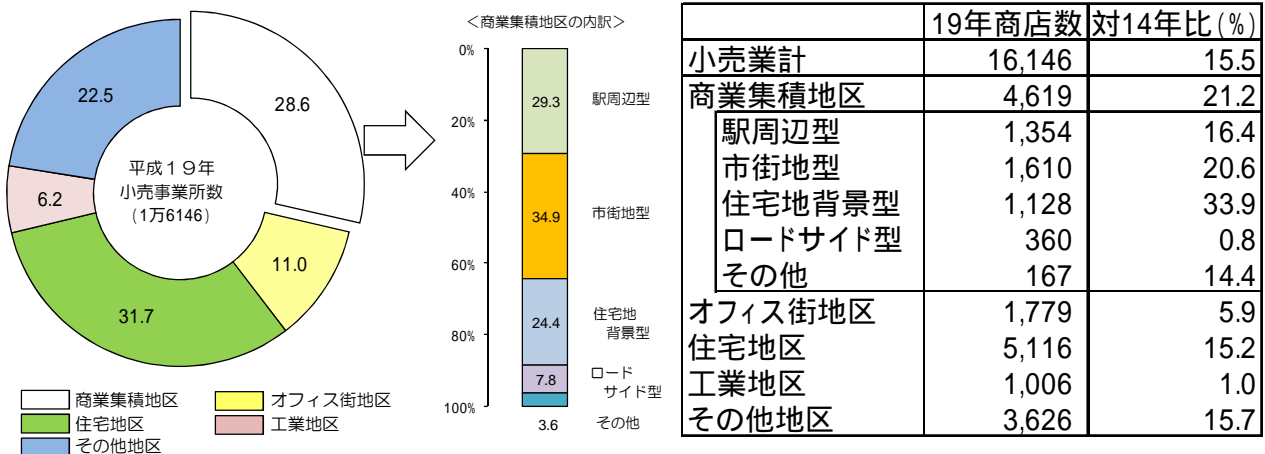


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

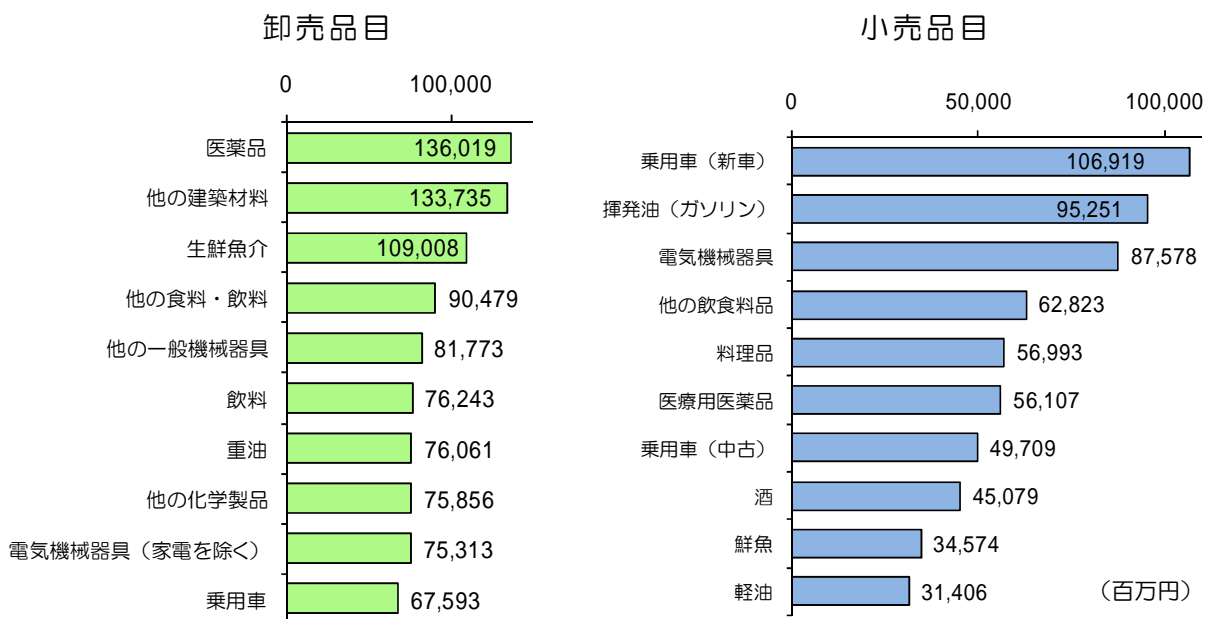
小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が31.7%と最も高く、次いで、商業集積地区となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が34.9%と最も高くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「生鮮魚介」、「他の食料・飲料」などの食料関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



徳島県

- 徳島県の年間商品販売額は卸売業の7割強、
小売業の4割が徳島市に集中 -

徳島県の事業所数をみると、卸売事業所の53.6%、小売商店の31.4%が徳島市となっています。年間商品販売額をみると卸売業の74.9%、小売業の41.2%を徳島市が占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区のうち、駅周辺型と市街地型が20%を超えてほぼ同じ割合となっています。また、住宅地背景型とロードサイド型が20%を下回ってほぼ同じ割合となっています。

卸売販売品目をみると、「生鮮魚介」、「野菜」などの生鮮品が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

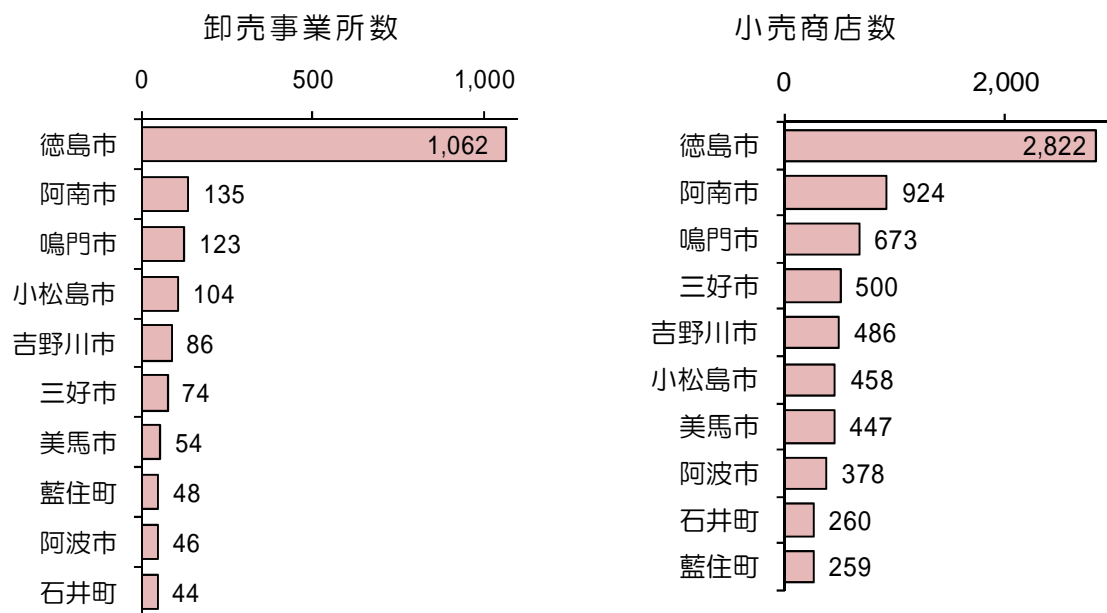
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
徳島県計	10,982	45	65,777	45	1,661,534	44	
業 種 別	卸売業計	1,981	43	16,668	43	929,526	43
	各種商品卸売業	9	37	80	39	3,419	36
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	7	42	20	45	333	46
	衣服・身の回り品卸売業	85	34	546	36	15,449	34
	農畜産物・水産物卸売業	301	41	3,022	41	236,475	36
	食料・飲料卸売業	310	40	2,296	45	119,669	44
	建築材料卸売業	292	40	1,928	44	89,284	44
	化学製品卸売業	75	40	630	38	45,410	35
	鉱物・金属材料卸売業	74	44	699	44	101,637	40
	再生資源卸売業	24	47	238	46	3,208	47
	一般機械器具卸売業	132	42	1,201	40	40,459	42
	自動車卸売業	112	43	997	44	36,418	44
	電気機械器具卸売業	81	45	694	44	42,609	46
	その他の機械器具卸売業	54	41	576	40	30,870	40
	家具・建具・じゅう器等卸売業	81	42	511	42	15,116	42
	医薬品・化粧品等卸売業	125	42	1,235	41	79,555	42
	他に分類されない卸売業	219	44	1,995	40	69,613	44
	小売業計	9,001	45	49,109	45	732,009	45
	各種商品小売業	17	47	2,687	43	41,583	47
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,146	45	3,966	45	47,891	45
	飲食料品小売業	3,148	45	19,527	45	240,475	45
	自動車・自転車小売業	629	44	3,889	43	90,973	44
	家具・じゅう器・機械器具小売業	795	45	3,451	43	65,747	42
	その他の小売業	3,266	43	15,589	46	245,340	45
	医薬品・化粧品小売業	687	42	3,078	42	44,721	44
	農耕用品小売業	175	34	710	38	13,584	37
	燃料小売業	592	41	2,824	46	90,361	45
	書籍・文房具小売業	320	45	3,276	47	23,173	43
	スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	256	39	1,128	43	17,052	41
写真機・写真材料小売業	31	37	139	32	1,579	28	
時計・眼鏡・光学機械小売業	154	43	479	44	5,075	43	
他に分類されない小売業	1,051	44	3,955	45	49,794	44	

2. 市町村別の状況

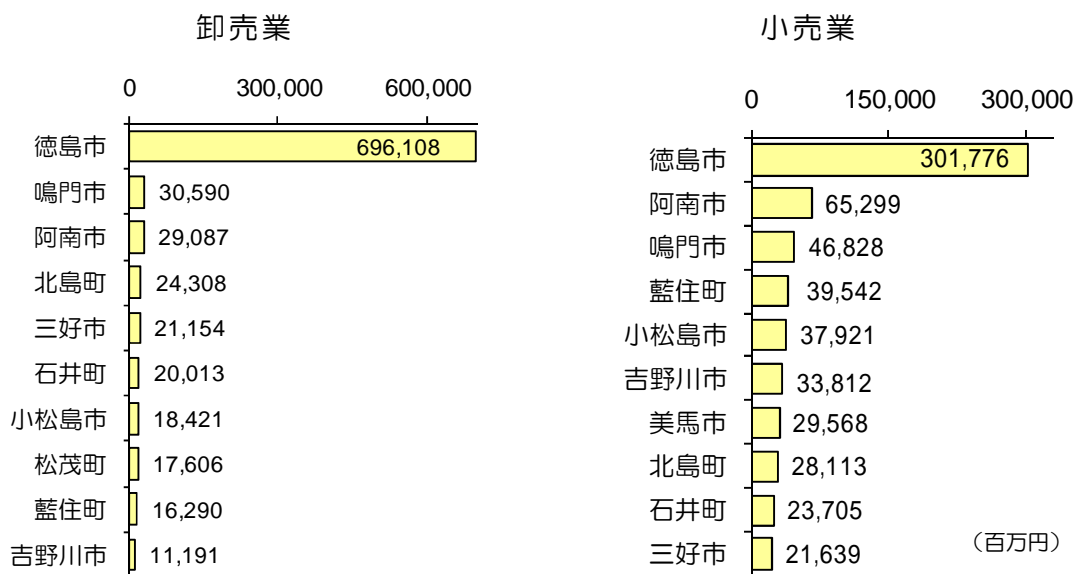
徳島県の事業所数をみると、卸売事業所の53.6%、小売商店の31.4%を徳島市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の74.9%、小売業の41.2%を徳島市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

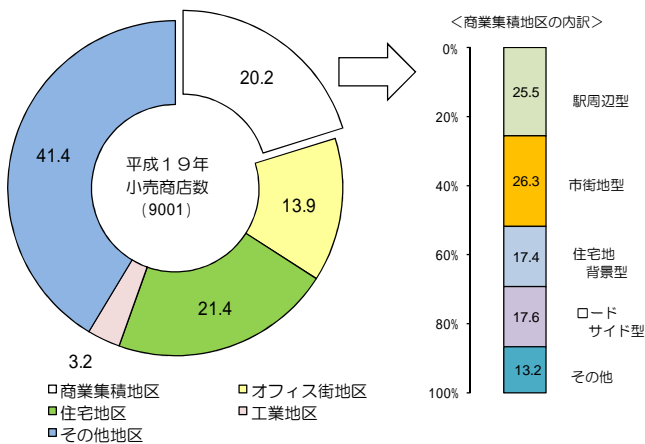


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が41.4%と最も高く、次いで、住宅地区、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型と市街地型が20%を超えてほぼ同じ割合となっています。また、住宅地背景型とロードサイド型が20%を下回りほぼ同じ割合となっています。

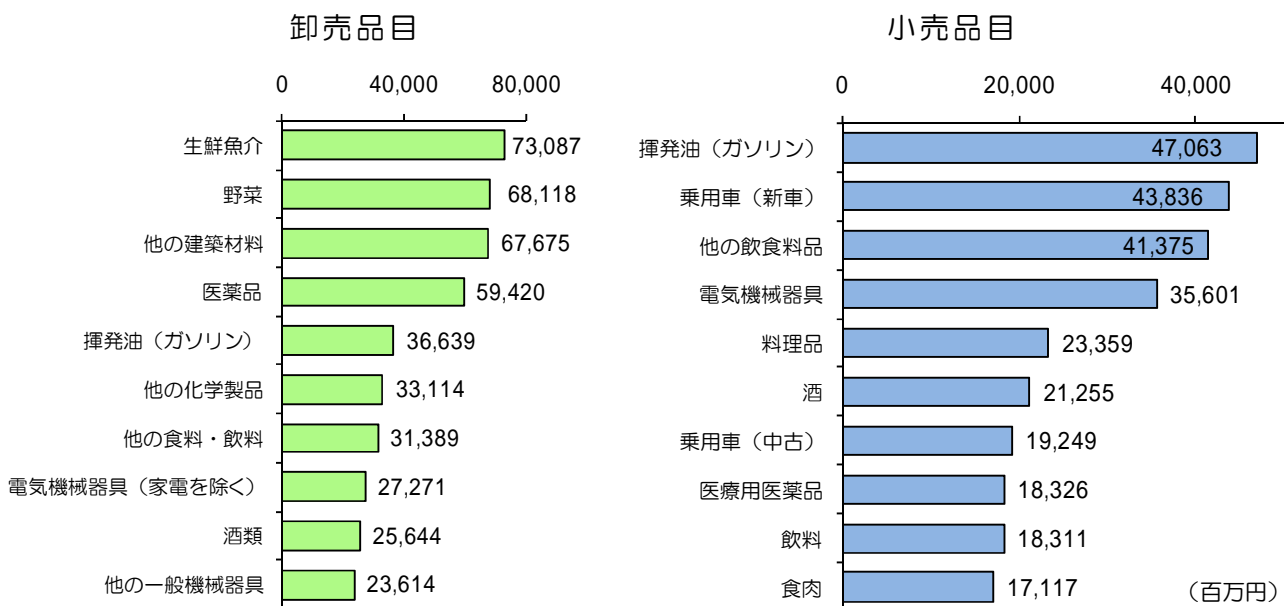


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	9,001	19.7
商業集積地区	1,817	37.9
駅周辺型	464	35.7
市街地型	478	45.1
住宅地背景型	316	34.7
ロードサイド型	320	39.7
その他	239	25.5
オフィス街地区	1,248	135.0
住宅地区	1,927	40.3
工業地区	286	26.5
その他地区	3,723	13.3

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「生鮮魚介」、「野菜」など生鮮品が上位にみられます。

【販売上位10品目】(平成19年)



香川県

- 香川県の年間商品販売額は卸売業の8割弱、
小売業の5割強が高松市に集中 -

香川県の事業所数をみると、卸売事業所の62.4%、小売商店の38.8%を高松市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の79.0%、小売業の52.3%を高松市が占めており、高松市に集中しています。

小売商店の立地をみると、其他地区の割合が最も高く、次いで、住宅地区、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が高くなっています。またロードサイド型の店舗数は増加し、その割合も増加しています。

卸売販売品目をみると、「揮発油(ガソリン)」、「軽油」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

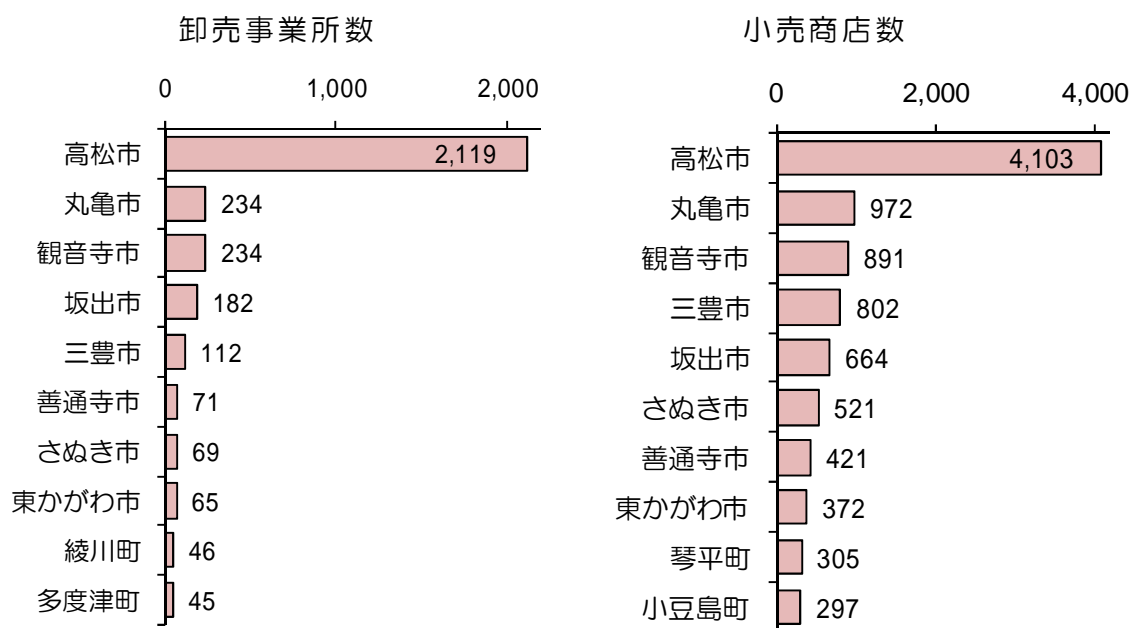
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
香川県計	13,983	39	96,036	39	3,980,519	24	
業種別	卸売業計	3,396	30	30,952	29	2,873,177	20
	各種商品卸売業	15	26	157	26	114,257	7
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	18	31	78	30	3,798	29
	衣服・身の回り品卸売業	115	27	982	21	38,492	19
	農畜産物・水産物卸売業	355	39	3,301	38	242,486	35
	食料・飲料卸売業	391	36	4,111	34	438,159	18
	建築材料卸売業	462	29	3,425	30	254,966	21
	化学製品卸売業	157	23	1,227	24	102,538	21
	鉱物・金属材料卸売業	173	26	1,951	22	608,781	13
	再生資源卸売業	72	36	565	36	18,784	29
	一般機械器具卸売業	354	23	2,562	27	157,421	22
	自動車卸売業	169	34	1,720	32	78,861	31
	電気機械器具卸売業	260	17	3,048	16	293,499	19
	その他の機械器具卸売業	102	31	977	29	56,277	26
	家具・建具・じゅう器等卸売業	142	30	1,011	28	45,749	23
	医薬品・化粧品等卸売業	217	23	2,651	21	172,490	25
	他に分類されない卸売業	394	30	3,186	27	246,618	21
	小売業計	10,587	40	65,084	40	1,107,342	39
	各種商品小売業	51	33	4,415	35	95,445	33
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,626	35	6,454	34	153,451	17
	飲食料品小売業	3,281	42	24,644	40	328,493	40
	自動車・自転車小売業	863	38	5,086	38	117,157	39
	家具・じゅう器・機械器具小売業	921	42	4,545	36	91,416	33
	その他の小売業	3,845	40	19,940	40	321,379	39
	医薬品・化粧品小売業	787	40	3,686	40	64,988	37
	農耕用品小売業	153	40	677	39	14,728	36
	燃料小売業	582	43	3,265	43	111,843	40
書籍・文房具小売業	435	40	4,667	40	33,473	34	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	278	35	1,541	32	26,546	25	
写真機・写真材料小売業	24	42	86	43	825	43	
時計・眼鏡・光学機械小売業	203	36	623	39	6,627	37	
他に分類されない小売業	1,383	37	5,395	41	62,349	40	

2. 市町村別の状況

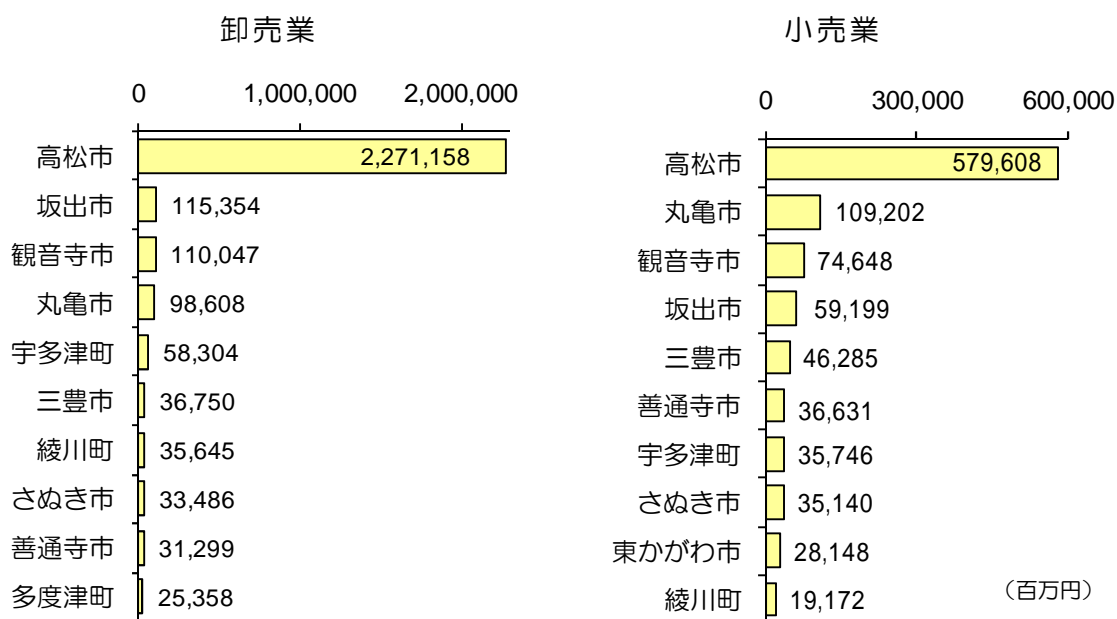
香川県の事業所数をみると、卸売事業所の62.4%、小売商店の38.8%を高松市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の79.0%、小売業の52.3%を高松市が占め、高松市に集中しています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

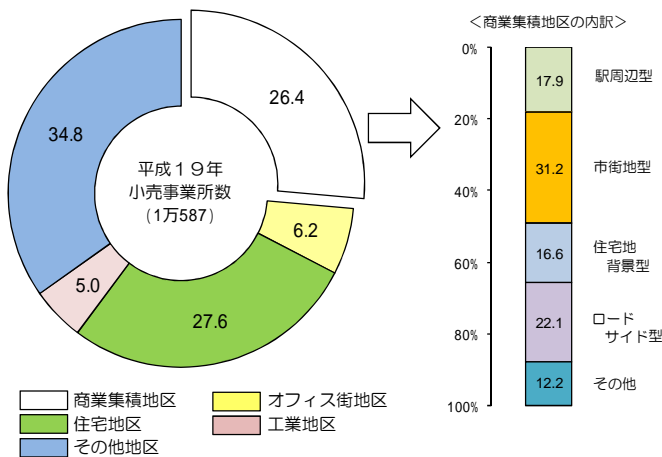


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区、住宅地区、商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が31.2%と最も高く、次いで、ロードサイド型の順となっています。なお、ロードサイド型の割合は増加しています。

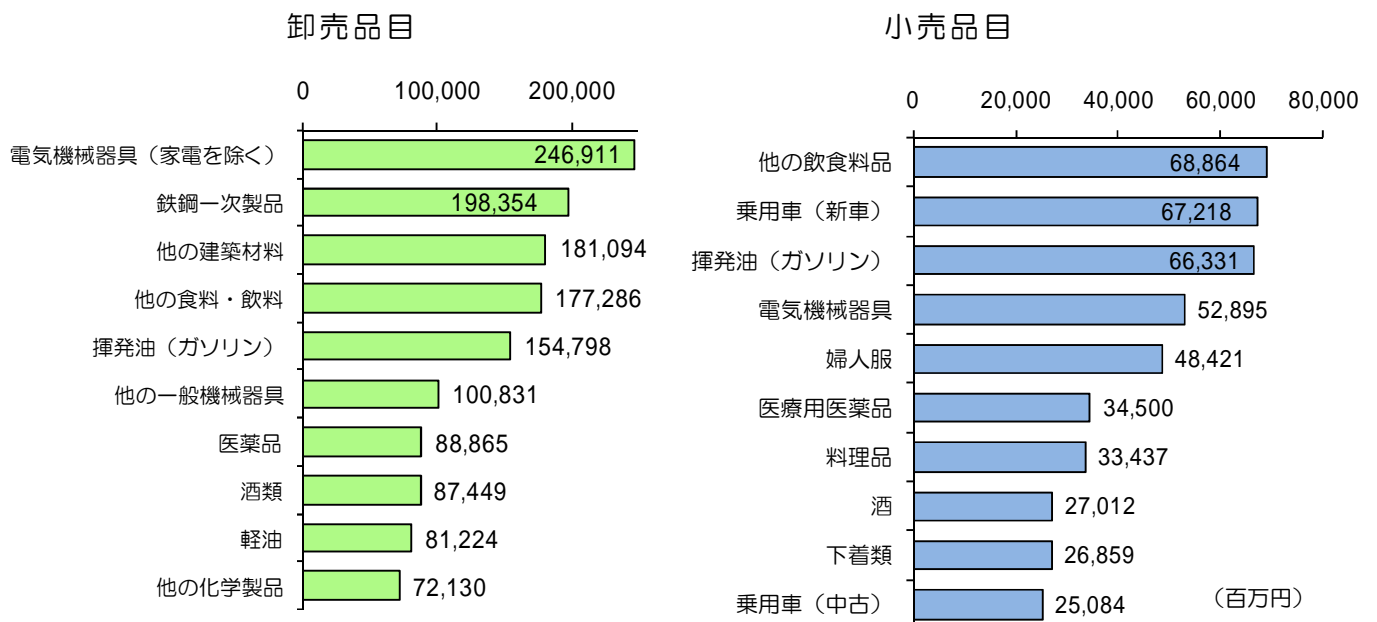


	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	10,587	15.3
商業集積地区	2,796	17.2
駅周辺型	501	14.8
市街地型	873	26.1
住宅地背景型	465	25.6
ロードサイド型	617	7.3
その他	340	16.3
オフィス街地区	654	18.5
住宅地区	2,925	14.7
工業地区	525	2.4
その他地区	3,687	15.3

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」、「揮発油(ガソリン)」、「軽油」などが上位に入っています。小売品目では5位に「婦人服」、9位に「下着類」が入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



愛媛県

- 愛媛県の年間商品販売額は、卸売業、
小売業ともに4割が松山市に集中 -

愛媛県の事業所数をみると、卸売事業所の37.2%、小売商店の27.5%を松山市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の43.9%、小売業の40.2%を松山市が占め、松山市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が31.9%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高く、次いで、住宅地背景型と駅周辺型が20%を超えてほぼ同じ割合となっています。

卸売販売品目をみると、「生鮮魚介」や「果実」など生鮮品のほか、「鉄鋼一次製品」、「電気機械器具(家電を除く)」など幅広い分野の工業製品が上位にみられます。

1.事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額(平成19年)

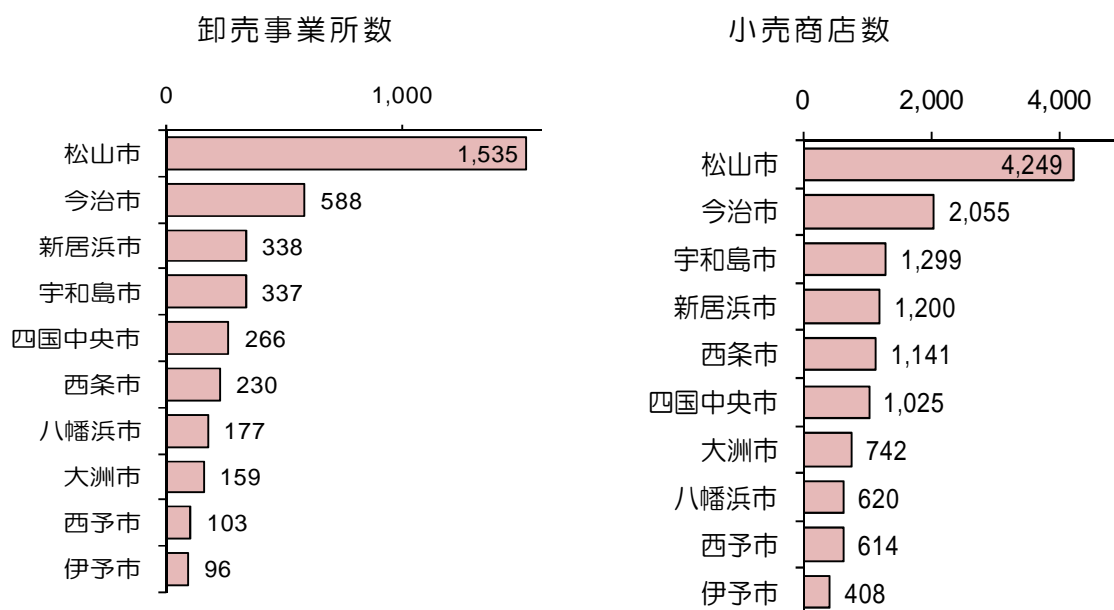
	事業所数		就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-
愛媛県計	19,600	27	125,360	26	3,537,416	28
業種別						
卸売業計	4,131	24	34,855	25	2,172,001	26
各種商品卸売業	19	20	173	23	7,903	28
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	44	20	206	23	9,332	20
衣服・身の回り品卸売業	121	25	748	27	16,818	33
農畜産物・水産物卸売業	672	21	6,284	22	398,098	22
食料・飲料卸売業	578	25	5,472	25	313,442	28
建築材料卸売業	498	27	3,550	28	160,728	33
化学製品卸売業	190	19	1,414	19	110,052	20
鉱物・金属材料卸売業	175	25	1,683	27	270,543	24
再生資源卸売業	93	26	722	28	14,855	33
一般機械器具卸売業	351	24	2,690	24	131,170	28
自動車卸売業	215	30	2,085	30	80,085	30
電気機械器具卸売業	203	27	1,598	29	129,100	26
その他の機械器具卸売業	130	25	959	31	58,099	25
家具・建具・じゅう器等卸売業	133	33	786	33	27,300	31
医薬品・化粧品等卸売業	208	27	2,691	20	175,086	24
他に分類されない卸売業	501	23	3,794	22	269,391	19
小売業計	15,469	27	90,505	28	1,365,415	28
各種商品小売業	69	28	7,936	24	161,379	22
織物・衣服・身の回り品小売業	1,986	26	6,872	28	85,983	31
飲食料品小売業	5,547	29	34,745	29	419,189	30
自動車・自転車小売業	1,232	26	6,999	27	149,662	33
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,296	27	5,836	27	117,299	28
その他の小売業	5,339	27	28,117	29	431,903	29
医薬品・化粧品小売業	1,006	30	5,681	26	92,403	28
農耕用品小売業	235	27	848	31	17,199	32
燃料小売業	974	26	5,548	27	165,284	32
書籍・文房具小売業	617	27	6,945	30	42,893	27
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	380	27	1,589	30	22,926	31
写真機・写真材料小売業	60	18	197	22	2,041	21
時計・眼鏡・光学機械小売業	242	30	807	28	8,854	28
他に分類されない小売業	1,825	25	6,502	27	80,303	31

2. 市町村別の状況

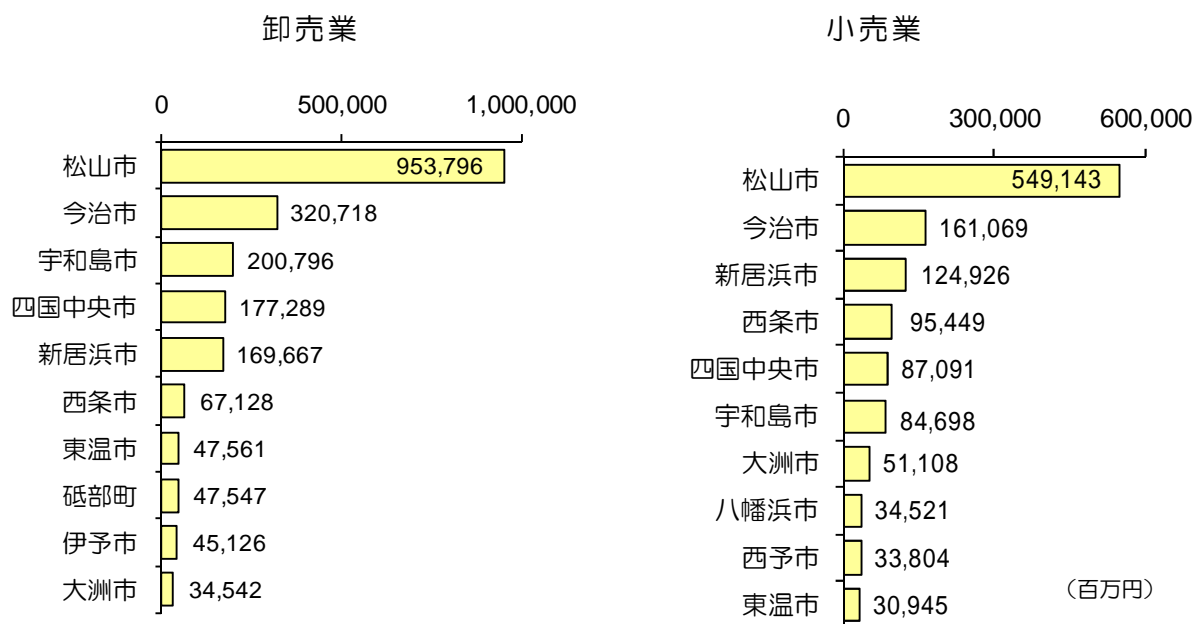
愛媛県の事業所数をみると、卸売事業所の37.2%、小売商店の27.5%を松山市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の43.9%、小売業の40.2%を松山市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

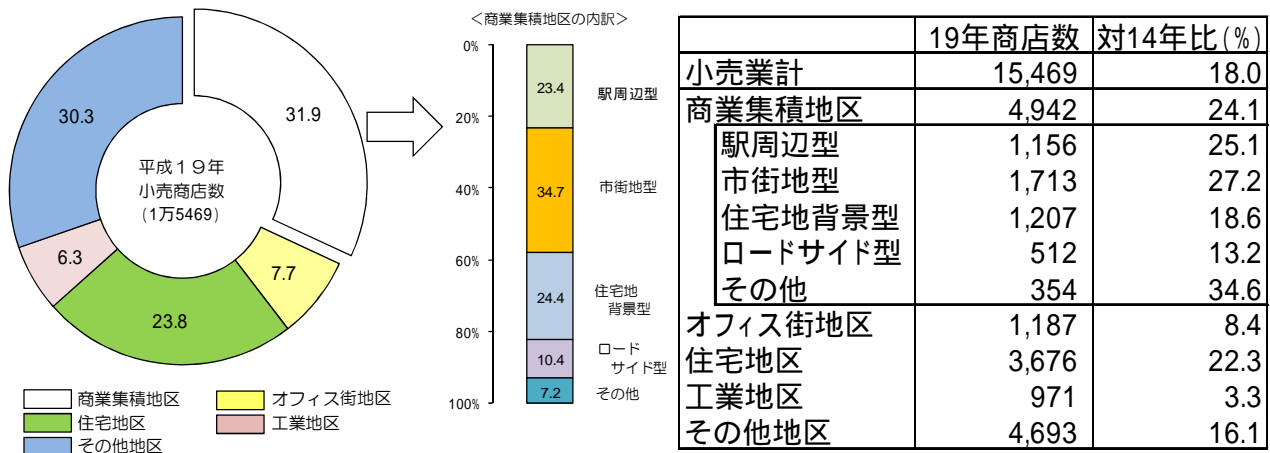


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

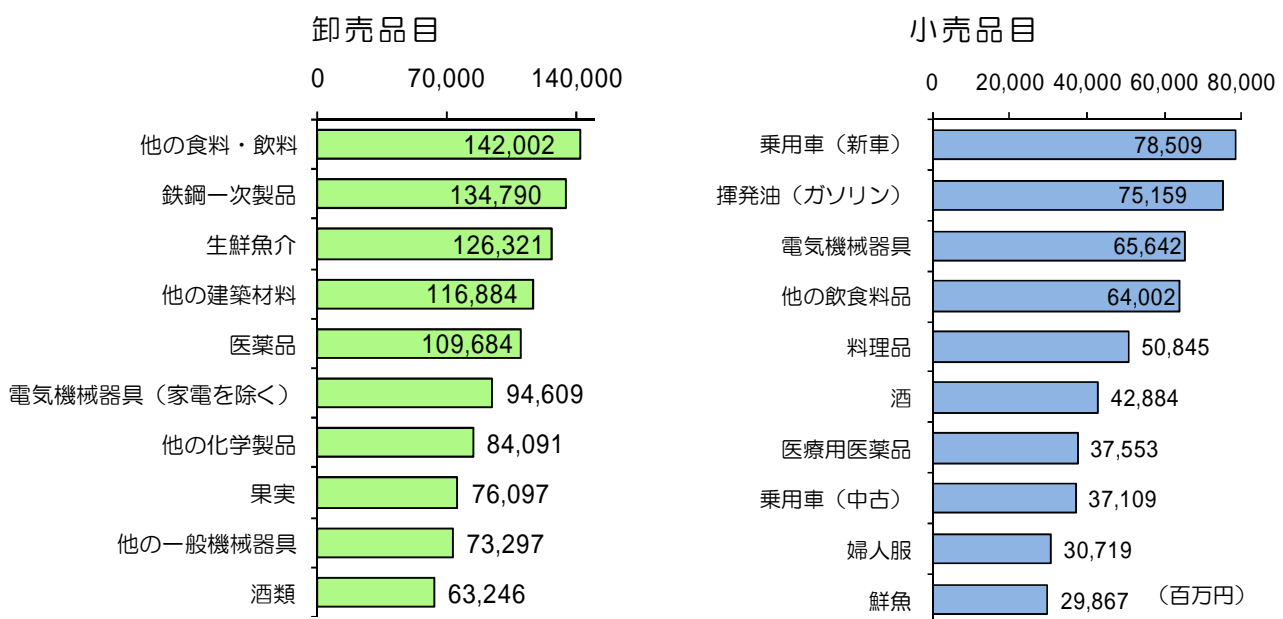
小売商店の立地をみると、商業集積地区の立地割合が31.9%と最も高く、その他地区も30%を超えています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高く、住宅地背景型と駅周辺型は20%を超えてほぼ同じ割合となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の食料・飲料」、「生鮮魚介」、「果実」、「酒類」などの飲食料関連のほか、「鉄鋼一次製品」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



高知県

- 高知県の年間商品販売額は卸売業の7割強、
小売業の5割強が高知市に集中 -

事業所数をみると、卸売事業所の57.5%、小売商店の36.4%を高知市が占めています。年間商品販売額をみると卸売業の74.7%、小売業52.3%が高知市に集中しています。

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が33.0%と最も高く、次いで商業集積地区の割合が31.4%と高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が40.1%と最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、「野菜」、「生鮮魚介」などの生鮮品や飲食料品関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

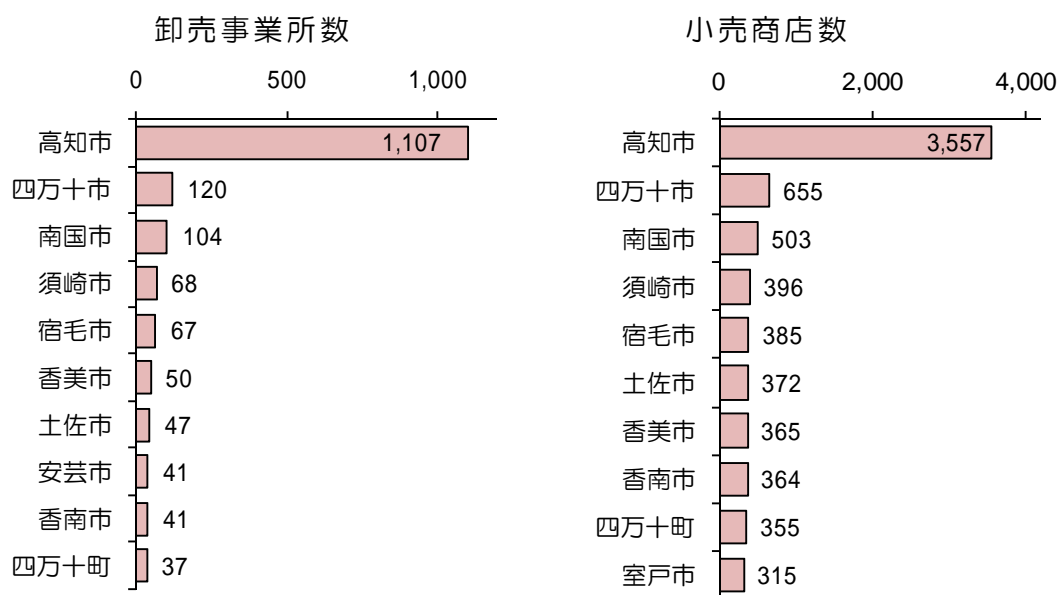
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
高知計	11,702	43	68,435	44	1,593,153	45	
業 種 別	卸売業計	1,924	45	15,623	45	843,794	45
	各種商品卸売業	8	39	98	36	3,347	37
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	7	42	40	40	5,939	23
	衣服・身の回り品卸売業	48	46	274	45	6,673	45
	農畜産物・水産物卸売業	387	34	3,381	37	213,736	38
	食料・飲料卸売業	293	43	2,160	46	136,274	40
	建築材料卸売業	239	47	1,700	47	73,910	47
	化学製品卸売業	54	45	368	45	14,956	46
	鉱物・金属材料卸売業	82	41	815	39	65,227	44
	再生資源卸売業	33	44	341	40	6,525	44
	一般機械器具卸売業	123	45	927	44	31,701	46
	自動車卸売業	105	47	892	47	28,868	47
	電気機械器具卸売業	91	41	937	39	47,714	44
	その他の機械器具卸売業	46	45	403	42	19,532	45
	家具・建具・じゅう器等卸売業	56	46	251	47	5,741	47
	医薬品・化粧品等卸売業	115	44	1,163	43	76,070	44
	他に分類されない卸売業	237	42	1,873	42	107,581	39
	小売業計	9,778	41	52,812	44	749,359	44
	各種商品小売業	27	46	2,347	46	46,705	45
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,244	42	4,039	44	48,323	44
	飲食料品小売業	3,713	40	22,601	41	263,060	43
	自動車・自転車小売業	545	46	3,452	46	75,666	46
	家具・じゅう器・機械器具小売業	817	44	3,146	45	57,562	46
	その他の小売業	3,432	41	17,227	43	258,043	44
	医薬品・化粧品小売業	649	43	2,991	44	52,074	42
	農耕用品小売業	175	34	846	32	17,895	29
	燃料小売業	593	40	2,855	45	85,889	46
書籍・文房具小売業	384	42	4,199	43	22,373	44	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	232	43	1,185	40	16,951	42	
写真機・写真材料小売業	34	35	117	37	1,512	30	
時計・眼鏡・光学機械小売業	143	44	456	45	4,592	46	
他に分類されない小売業	1,222	41	4,578	42	56,756	42	

2. 市町村別の状況

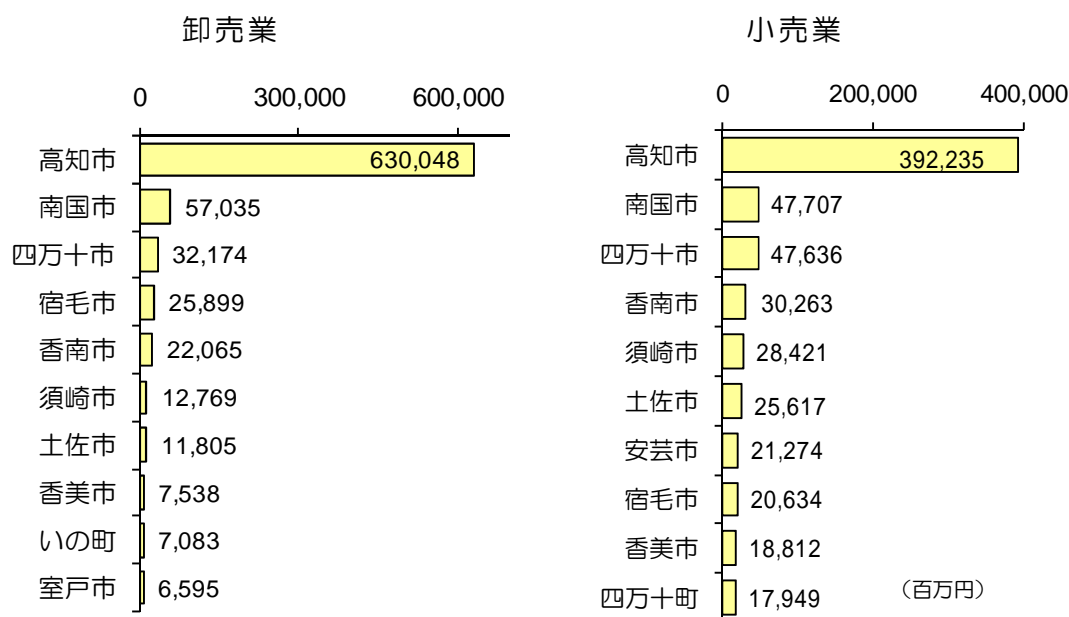
高知県の事業所数をみると、卸売事業所の57.5%、小売商店の36.4%を高知市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の74.7%、小売業の52.3%を高知市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

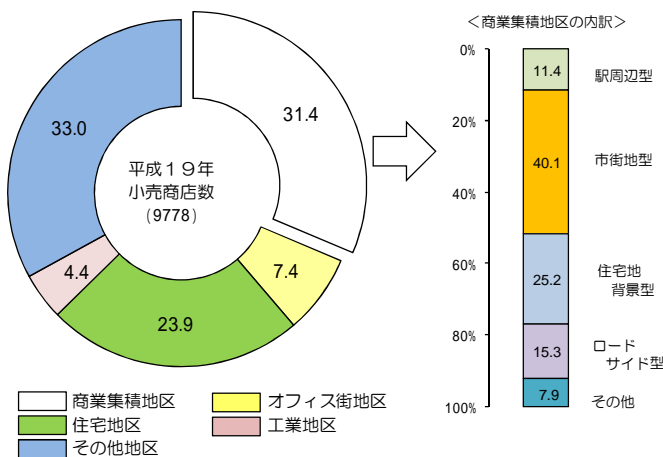


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区に次いで商業集積地区の割合が31.4%と高くなっています。商業集積地区の内訳では、市街地型の割合が40.1%と最も高くなっています。

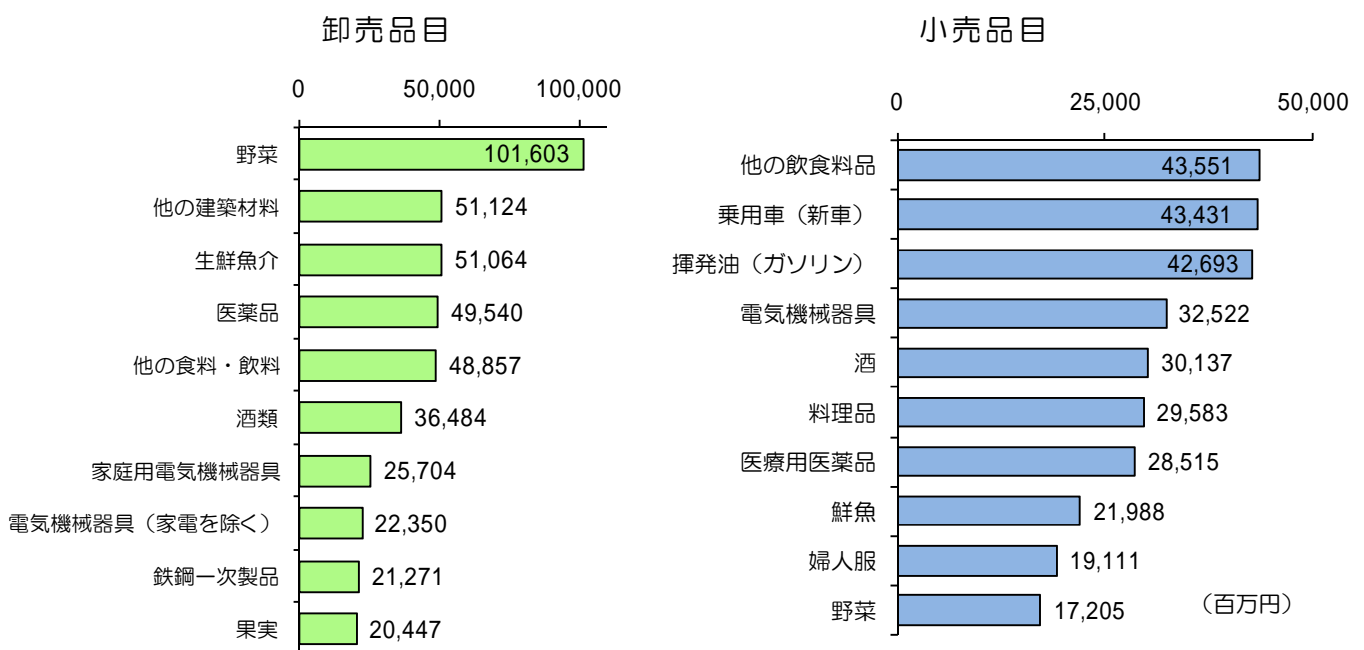


	19年商店数	対14年比(%)
小売業計	9,778	13.0
商業集積地区	3,066	13.0
駅周辺型	350	34.6
市街地型	1,230	16.4
住宅地背景型	774	21.3
ロードサイド型	469	93.8
その他	243	17.1
オフィス街地区	720	26.5
住宅地区	2,336	22.9
工業地区	434	12.1
その他地区	3,222	13.5

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「野菜」、「生鮮魚介」などの生鮮品や「他の食料・飲料」、「酒類」などが入っているほか、「家庭用電気機械器具」、「電気機械器具(家電を除く)」などの工業製品が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



福岡県

- 福岡県の年間商品販売額は卸売業の7割、
小売業の3割強が福岡市に集中 -

福岡県の事業所数をみると、卸売事業所では福岡市が47.4%を占め、次いで、北九州市の順となっています。小売商店では27.0%を福岡市が占め、次いで、北九州市が22.0%を占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の71.6%を福岡市が占めています。小売業では35.6%を福岡市が占め、次いで、北九州市の順となっており、福岡市と北九州市で福岡県の小売年間商品販売額の56.0%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が37.5%と最も高く、次いで、住宅地区の割合が高くなっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が最も多く、駅周辺型はそれに次いでいます。また、大型ショッピングセンターが開業したことからロードサイド型の商店数も大きく増加しています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

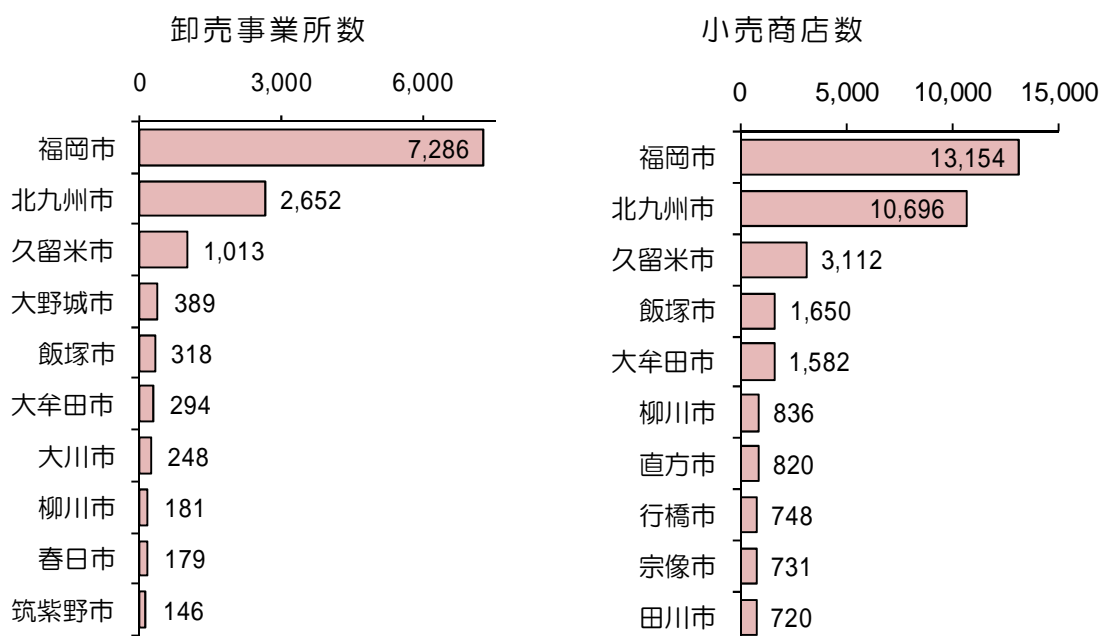
	事業所数	就業者数		年間商品販売額	
		全国順位	(人)	(百万円)	全国順位
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	-
福岡県計	64,043	5	495,152	5	22,126,399
卸売業計	15,385	4	166,141	4	16,770,215
各種商品卸売業	54	4	882	4	541,166
繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	77	13	493	9	22,202
衣服・身の回り品卸売業	914	5	8,627	6	371,240
農畜産物・水産物卸売業	1,291	8	16,570	5	1,513,259
食料・飲料卸売業	1,851	4	23,952	4	2,363,316
建築材料卸売業	1,656	7	13,694	5	1,167,632
化学製品卸売業	829	4	6,759	4	741,175
鉱物・金属材料卸売業	791	4	9,268	4	3,196,362
再生資源卸売業	372	6	3,144	6	150,085
一般機械器具卸売業	1,487	4	13,653	4	1,025,588
自動車卸売業	734	7	7,103	7	395,125
電気機械器具卸売業	1,075	4	15,110	4	1,847,147
その他の機械器具卸売業	672	4	6,893	5	402,667
家具・建具・じゅう器等卸売業	692	5	6,566	4	329,698
医薬品・化粧品等卸売業	841	4	13,099	4	1,121,785
他に分類されない卸売業	2,049	4	20,328	4	1,581,766
小売業計	48,658	6	329,011	9	5,356,185
各種商品小売業	222	5	24,059	9	655,433
織物・衣服・身の回り品小売業	7,359	6	31,865	6	412,748
飲食品小売業	17,438	5	134,410	9	1,687,711
自動車・自転車小売業	3,288	7	21,086	8	596,652
家具・じゅう器・機械器具小売業	3,970	6	22,575	5	531,009
その他の小売業	16,381	7	95,016	9	1,472,632
医薬品・化粧品小売業	4,122	5	20,684	7	312,518
農耕用品小売業	388	13	1,867	10	50,242
燃料小売業	2,023	6	14,359	6	460,256
書籍・文房具小売業	1,949	7	22,289	9	150,528
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,120	8	6,618	8	99,152
写真機・写真材料小売業	114	10	441	10	5,385
時計・眼鏡・光学機械小売業	864	7	3,291	6	36,648
他に分類されない小売業	5,801	6	25,467	8	357,901

2. 市町村別の状況

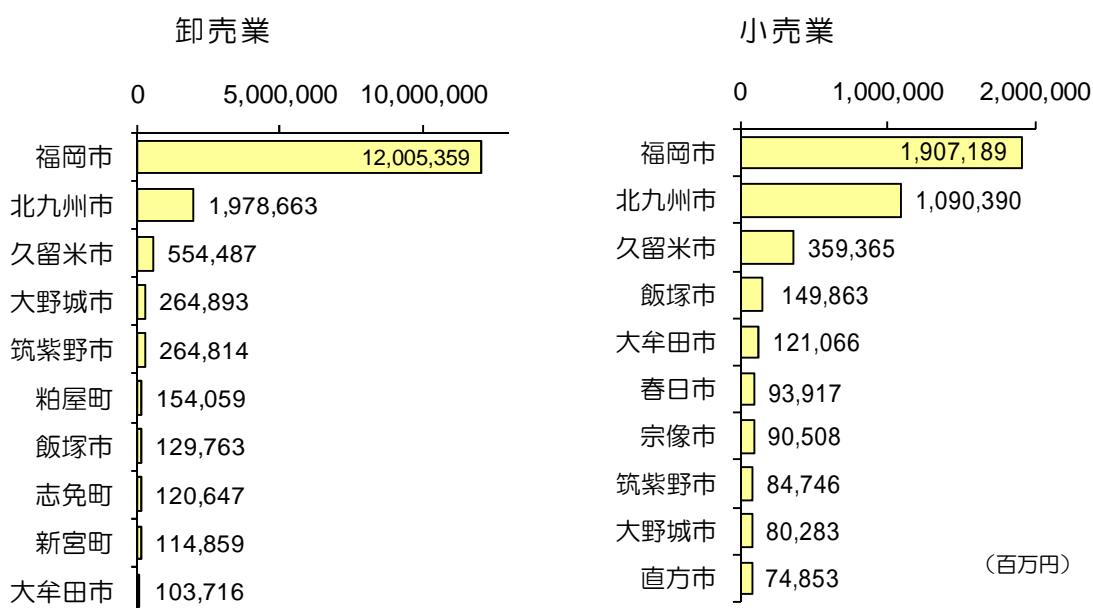
福岡県の事業所数をみると、卸売事業所では福岡市が47.4%を占め、次いで、北九州市が17.2%となっています。小売商店では福岡市が27.0%、北九州市が22.0%を占めています。

年間商品販売額をみると、福岡市は卸売業の71.6%を占め、小売業の35.6%となっています。また、福岡市と北九州市で福岡県の小売業の56.0%と半数以上を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

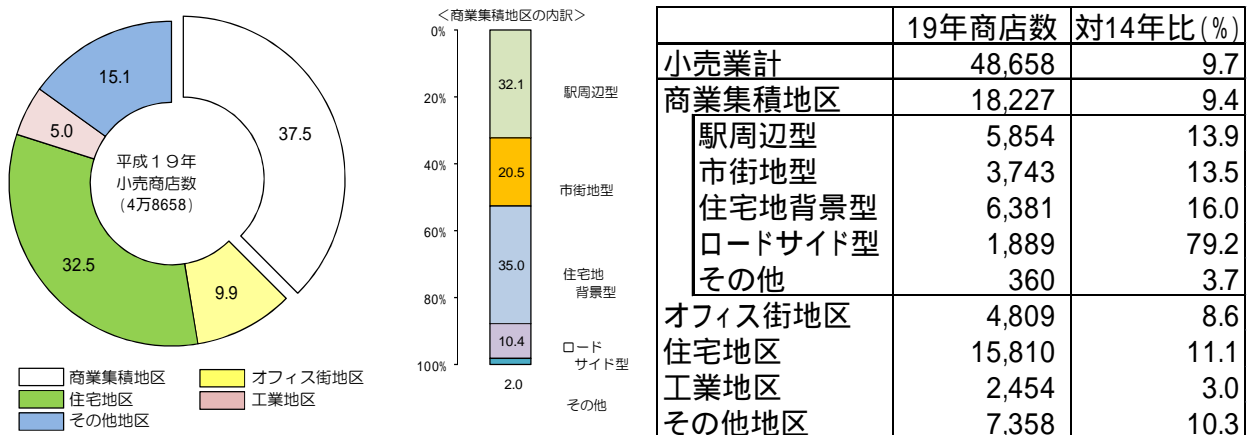


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

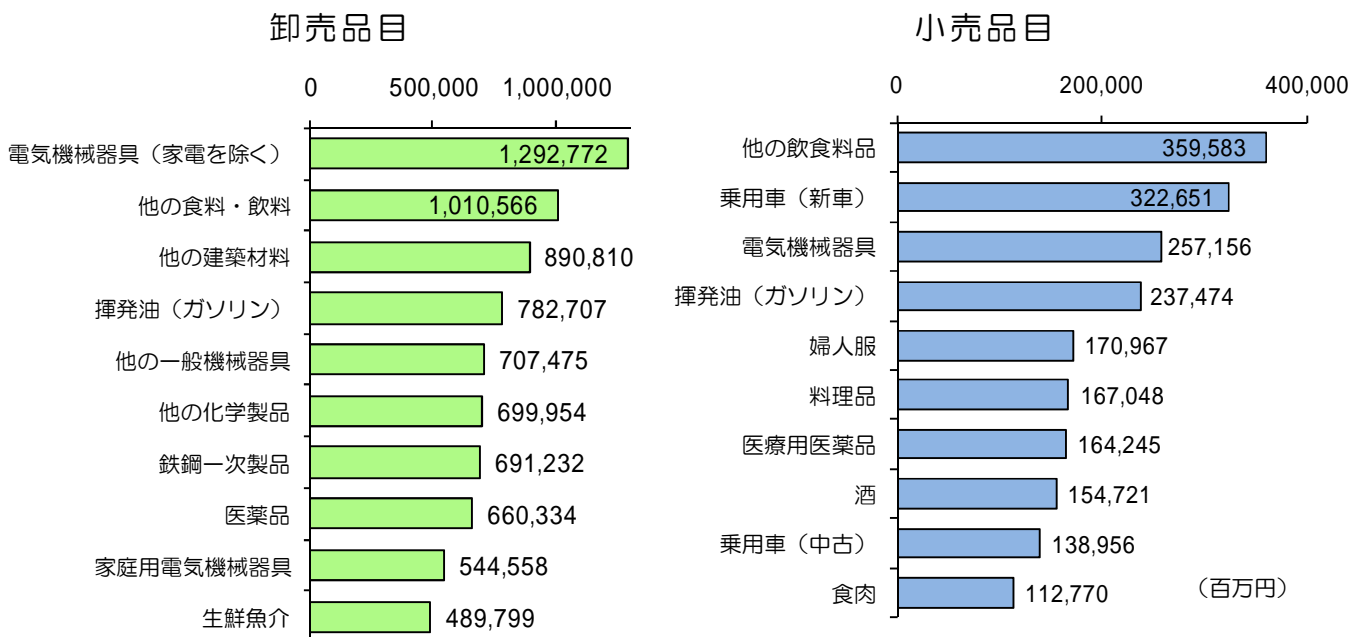
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が37.5%と最も高く、次いで、住宅地区の割合が高くなっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が35.0%と最も多く、次いで、駅周辺型となっています。また、大型ショッピングセンターが開業したことからロードサイド型の商店数も伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では1位が「電気機械器具(家電を除く)」、2位が「他の食料・飲料」となっており、ともに1兆円を超えています。

【販売上位10品目】(平成19年)



佐賀県

- 佐賀県の年間商品販売額は卸売業の5割弱、
小売業の3割が佐賀市に集中 -

佐賀県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の25.7%を佐賀市が占めています。年間商品販売額をみると卸売業の48.0%、小売業の30.8%を佐賀市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区が36.6%と最も割合が高く、次いで、商業集積地区が35.4%となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、ロードサイド型、住宅地背景型の順となっています。特にロードサイド型は大型ショッピングセンターやアウトレットモールの開業もあり、平成14年比47.3%増と大きく伸びています。

卸売販売品目をみると飲食料、農畜水産物関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

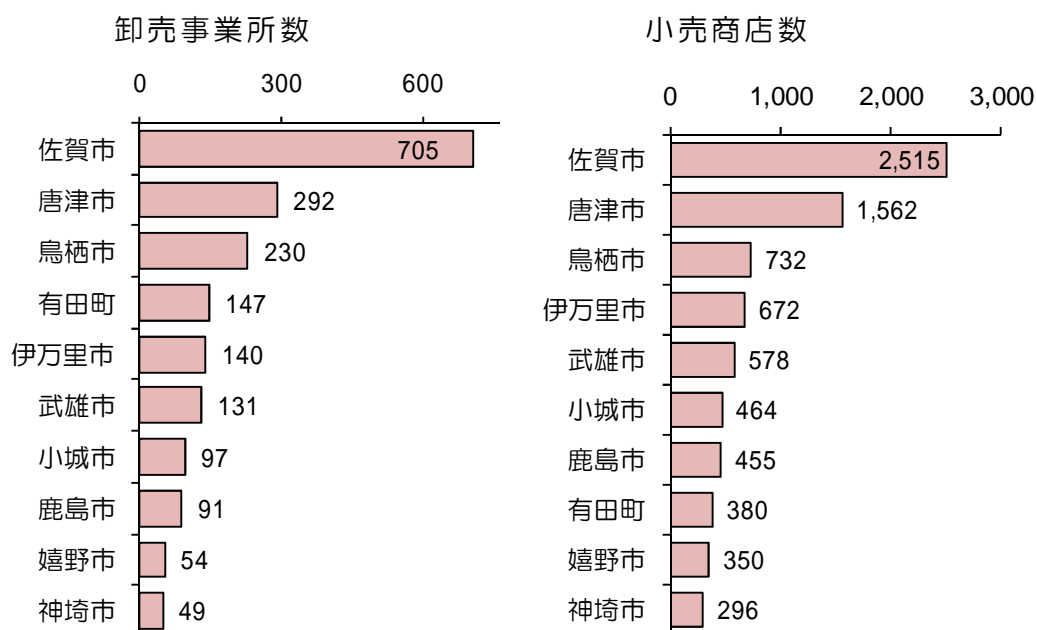
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
佐賀県計	11,969	42	73,560	42	1,835,911	43	
卸売業計	2,198	42	17,520	42	1,017,817	41	
業 種 別	各種商品卸売業	9	37	105	33	4,237	34
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	7	42	31	43	1,357	36
	衣服・身の回り品卸売業	62	43	500	38	18,672	31
	農畜産物・水産物卸売業	356	38	3,117	40	346,813	28
	食料・飲料卸売業	307	41	2,887	40	131,274	41
	建築材料卸売業	274	44	2,076	42	86,544	46
	化学製品卸売業	58	43	416	44	20,072	43
	鉱物・金属材料卸売業	77	43	621	46	55,823	46
	再生資源卸売業	82	31	524	38	12,178	37
	一般機械器具卸売業	132	42	830	47	38,165	43
	自動車卸売業	111	44	995	45	38,481	43
	電気機械器具卸売業	81	45	721	43	46,576	45
	その他の機械器具卸売業	67	40	566	41	35,404	36
	家具・建具・じゅう器等卸売業	205	20	1,092	25	26,925	32
	医薬品・化粧品等卸売業	144	40	1,385	38	69,578	45
	他に分類されない卸売業	226	43	1,654	44	85,717	42
	小売業計	9,771	42	56,040	41	818,094	43
	各種商品小売業	54	32	3,519	40	61,700	40
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,244	42	4,782	42	61,205	40
	飲食料品小売業	3,373	41	21,553	44	257,215	44
	自動車・自転車小売業	677	41	3,793	44	90,778	45
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,047	40	4,333	39	70,936	39
	その他の小売業	3,376	42	18,060	42	276,259	43
医薬品・化粧品小売業	867	36	3,796	39	58,216	39	
農耕用品小売業	155	39	751	36	17,441	31	
燃料小売業	580	44	3,414	41	110,888	41	
書籍・文房具小売業	375	43	4,390	41	21,902	45	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	201	46	1,158	41	15,802	43	
写真機・写真材料小売業	12	47	58	46	810	44	
時計・眼鏡・光学機械小売業	160	42	538	41	4,690	45	
他に分類されない小売業	1,026	46	3,955	45	46,512	46	

2. 市町村別の状況

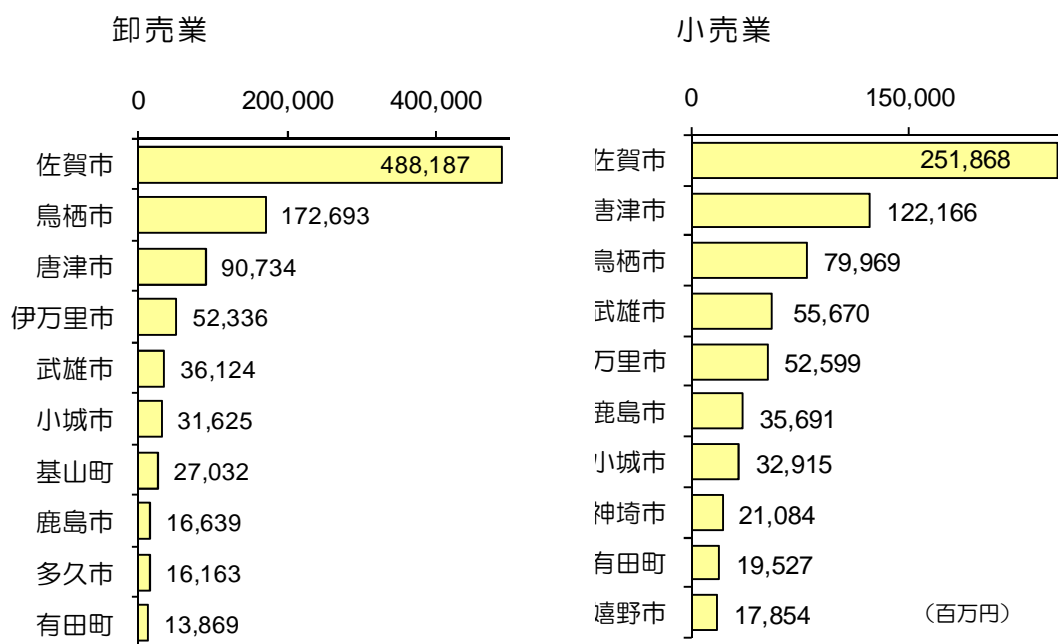
佐賀県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の25.7%を佐賀市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の48.0%、小売業の30.8%を佐賀市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

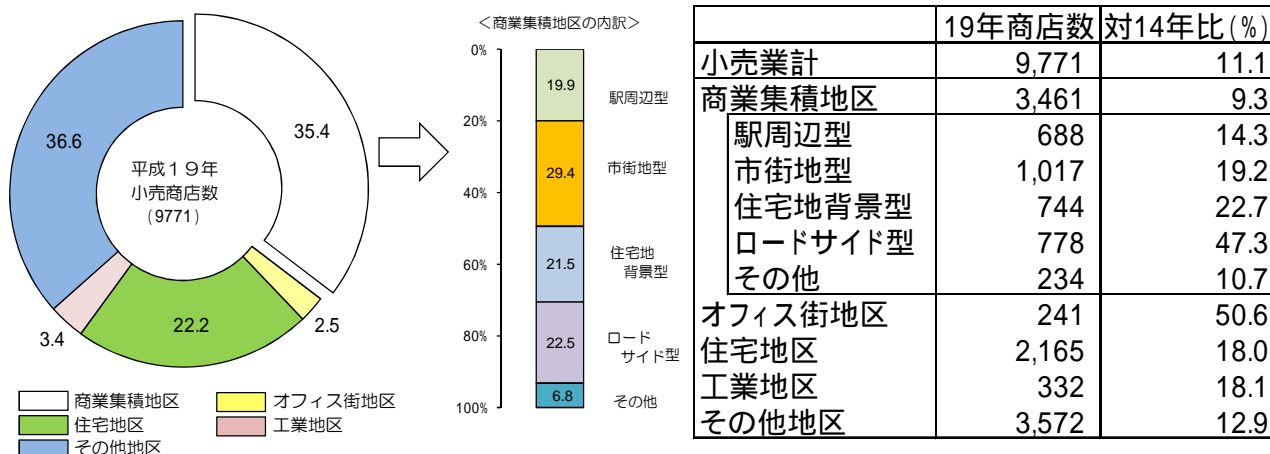


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

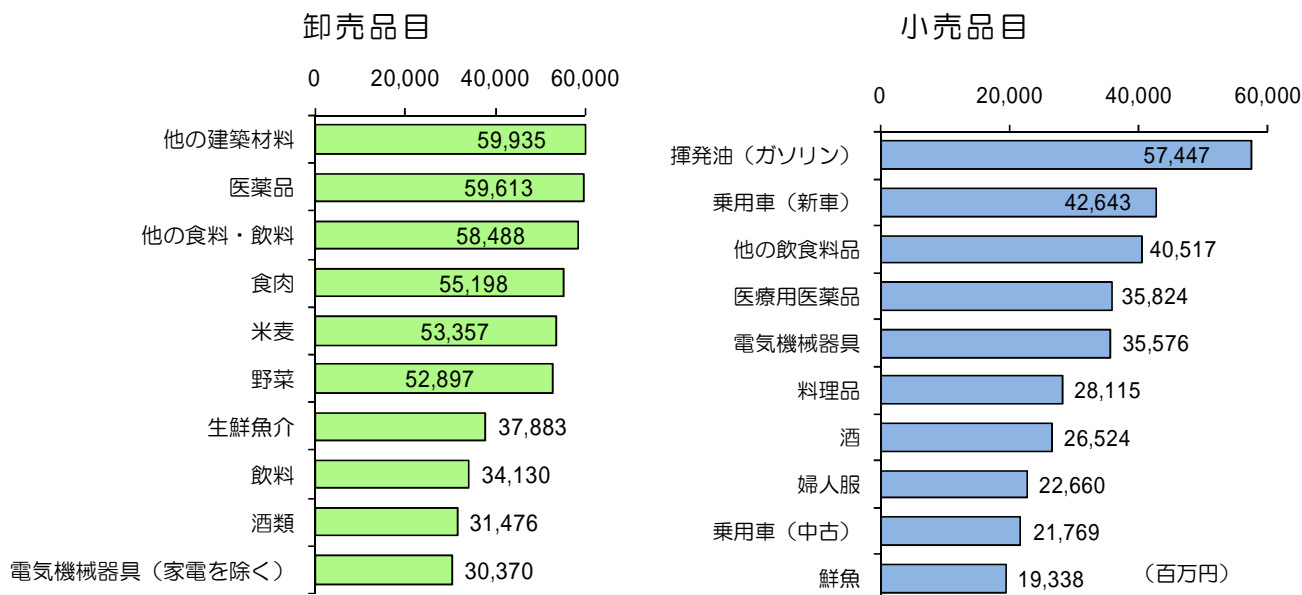
小売商店の立地をみると、その他地区の割合が36.6%と最も高く、次いで、商業集積地区が35.4%となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、ロードサイド型、住宅地背景型の順となっています。特にロードサイド型は大型ショッピングセンターやアウトレットモールの開業もあり、大きく伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「他の食料・飲料」、「食肉」、「米麦」、「野菜」、「生鮮魚介」などの飲食料、農畜水産物関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



長崎県

- 長崎県の年間商品販売額は卸売業の6割強、
小売業の5割強を長崎市と佐世保市が占める -

長崎県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の28.6%を長崎市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業では長崎市が45.3%を占め、次いで、佐世保市の順となっています。小売業では長崎市が29.2%を占め、2位の佐世保市と合するとこの2市で長崎県の小売業の54.8%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高く、次いで、住宅地背景型の順となっています。

卸売販売品目をみると、「生鮮魚介」が1位に入るなど農畜水産関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

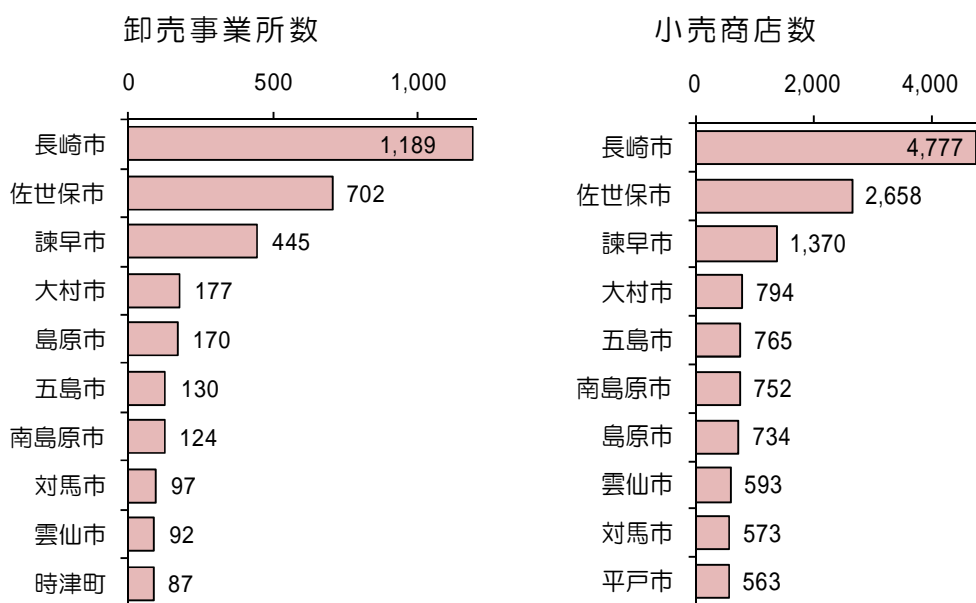
	事業所数	就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	
長崎県計	20,413	25	123,496	27	3,024,321	
卸売業計	3,707	28	30,943	30	1,636,930	
業 種 別	各種商品卸売業	15	26	155	28	7,029
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	9	35	58	34	2,049
	衣服・身の回り品卸売業	87	33	811	25	18,985
	農畜産物・水産物卸売業	704	17	6,679	20	332,319
	食料・飲料卸売業	592	23	4,882	30	234,383
	建築材料卸売業	532	23	3,499	29	146,633
	化学製品卸売業	118	31	804	33	46,215
	鉱物・金属材料卸売業	150	29	1,259	34	197,559
	再生資源卸売業	79	32	618	34	37,998
	一般機械器具卸売業	253	35	2,299	30	124,711
	自動車卸売業	158	36	1,462	34	48,584
	電気機械器具卸売業	155	34	1,436	33	90,334
	その他の機械器具卸売業	106	29	956	32	47,677
	家具・建具・じゅう器等卸売業	177	25	1,213	24	33,738
	医薬品・化粧品等卸売業	212	25	2,261	24	139,742
	他に分類されない卸売業	360	32	2,551	33	128,975
	小売業計	16,706	25	92,553	26	1,387,391
	各種商品小売業	76	25	5,959	30	116,058
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,974	27	7,826	24	98,938
	飲食料品小売業	6,656	20	37,970	25	435,707
自動車・自転車小売業	967	33	5,793	33	121,150	
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,454	26	6,841	25	210,934	
その他小売業	5,579	26	28,164	28	404,603	
医薬品・化粧品小売業	1,161	27	5,669	27	90,504	
農耕用品小売業	196	32	776	35	18,425	
燃料小売業	930	27	5,189	30	156,827	
書籍・文房具小売業	634	26	6,983	29	35,863	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	366	29	1,834	26	26,046	
写真機・写真材料小売業	27	39	100	38	645	
時計・眼鏡・光学機械小売業	301	24	919	25	8,901	
他に分類されない小売業	1,964	24	6,694	26	67,391	

2. 市町村別の状況

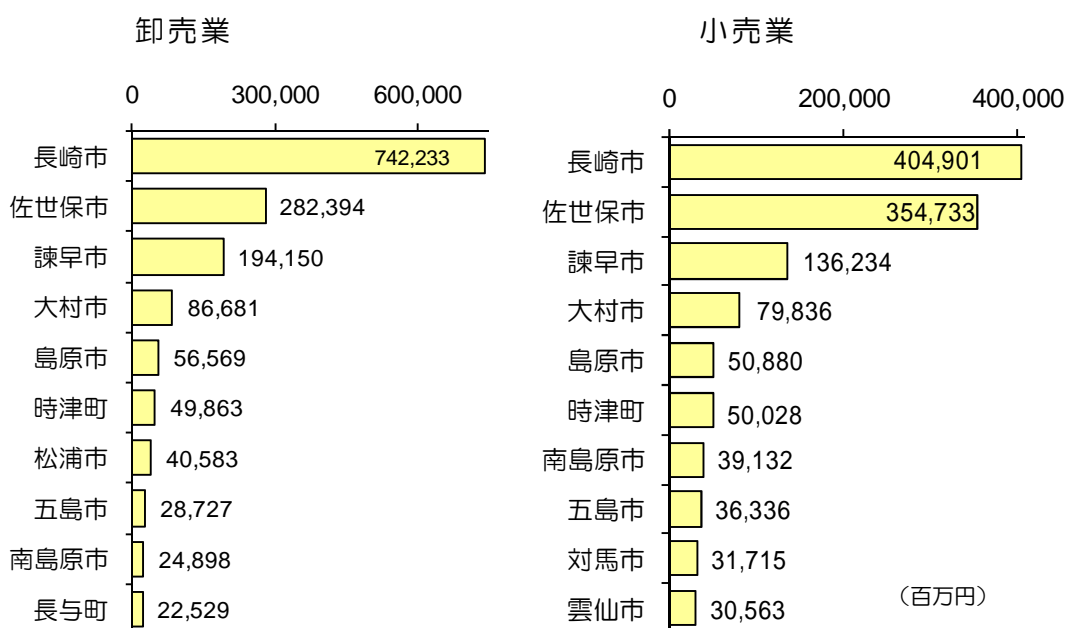
長崎県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の28.6%を長崎市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の45.3%を長崎市が占め、次いで、佐世保市、諫早市の順となっています。小売業では長崎市が29.2%を占め、次いで、佐世保市、諫早市の順となり、長崎市と佐世保市で54.8%と長崎県の小売業の半分以上を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

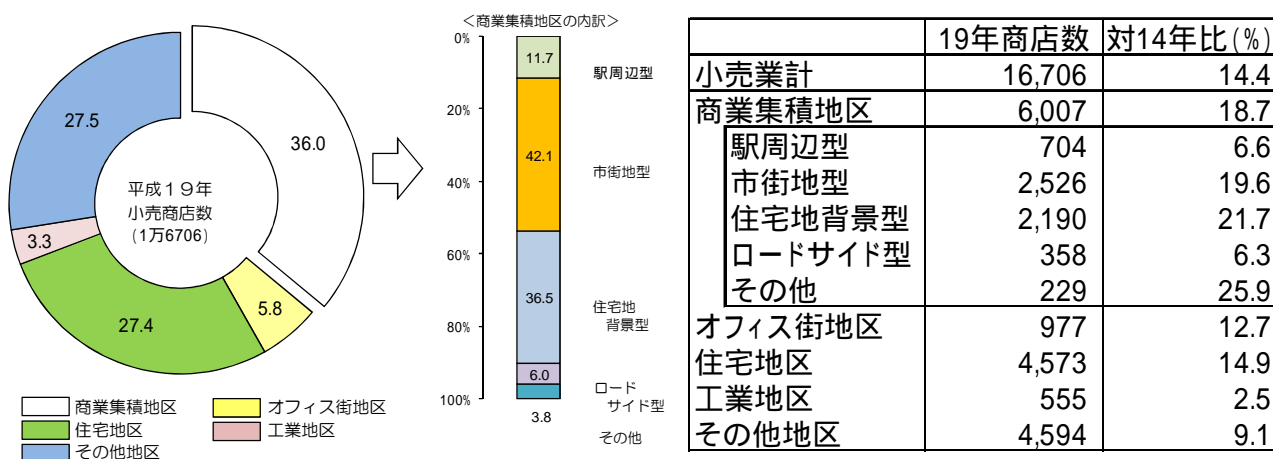


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

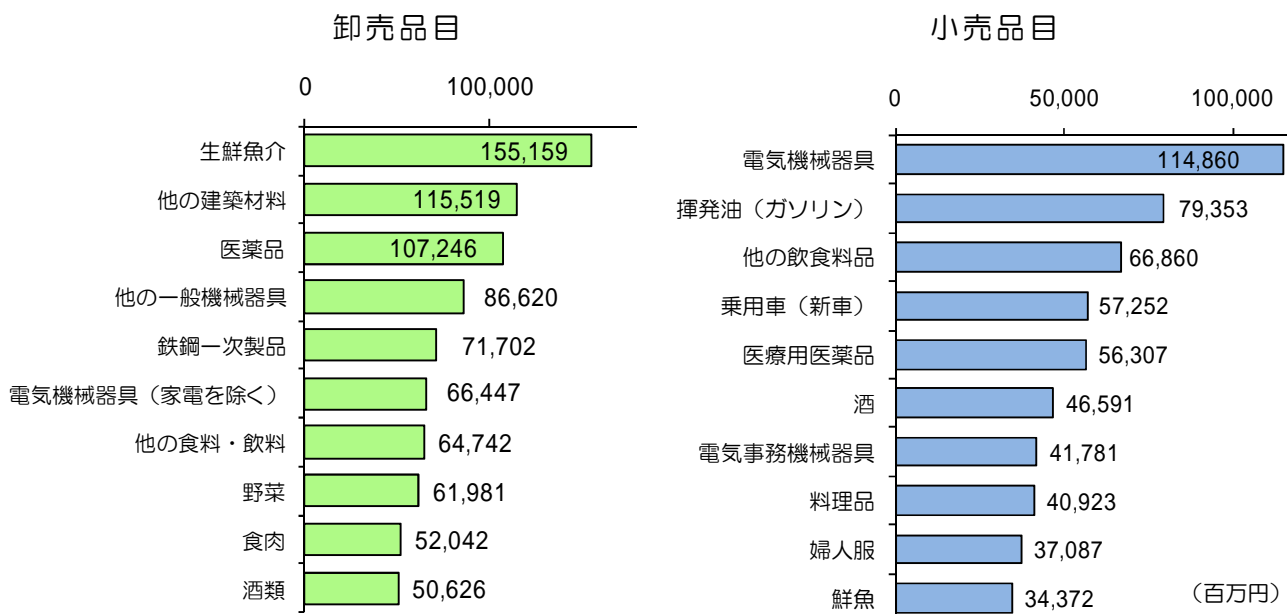
小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が42.1%と最も高く、次いで、住宅地背景型の順となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「生鮮魚介」、「野菜」、「食肉」など、農畜水産関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



熊本県

- 熊本県の年間商品販売額は卸売業の7割弱、
小売業の4割強が熊本市に集中 -

熊本県の事業所数をみると、卸売事業所の50.7%、小売商店の31.5%を熊本市が占めています。年間商品販売額をみると卸売業は68.3%を熊本市が占めており、1兆円を超えています。小売業では44.1%を熊本市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が35.6%と最も高く、次いで、商業集積地区が31.9%となっています。商業集積地区の内訳をみると市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型が25~30%近くあり、立地が分散しています。なお、ロードサイド型の割合は大型ショッピングセンターが開業したことから増加しています。

卸売販売品目は生鮮品が上位に入っています。

平成19年6月1日現在(旧富合町を除く)

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

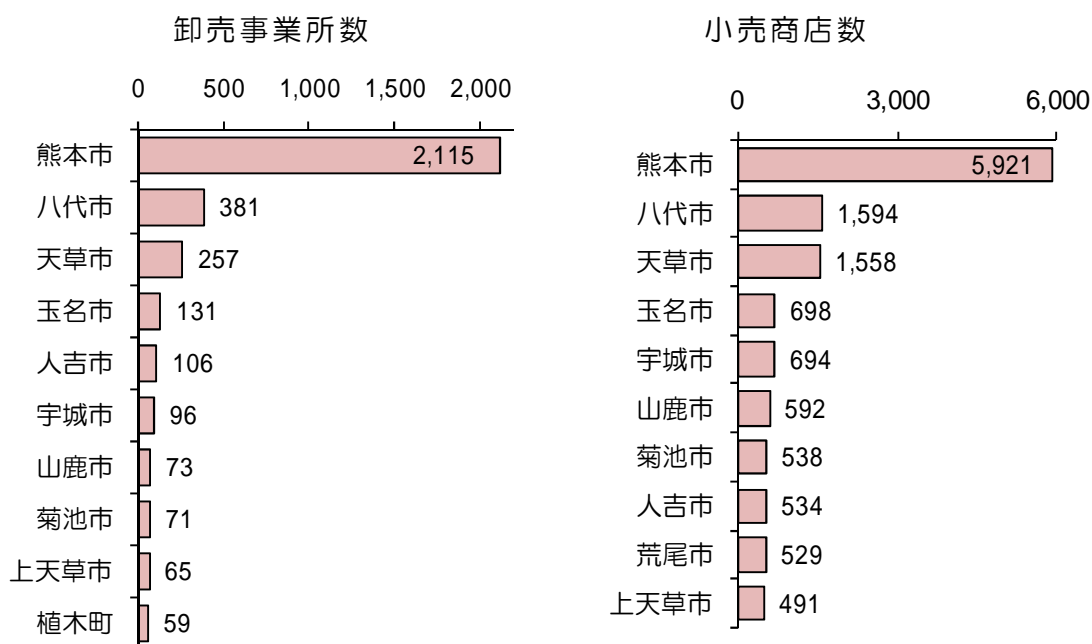
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
熊本県計	22,976	23	158,702	22	3,950,340	25	
卸売業計	4,170	22	37,496	22	2,197,646	25	
業種別	各種商品卸売業	19	20	246	16	15,820	14
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	42	39	815	42
	衣服・身の回り品卸売業	103	30	740	28	19,481	29
	農畜産物・水産物卸売業	732	16	7,903	16	506,634	16
	食料・飲料卸売業	610	20	5,448	26	331,513	27
	建築材料卸売業	540	22	4,095	22	197,266	27
	化学製品卸売業	153	25	1,077	26	74,102	28
	鉱物・金属材料卸売業	132	33	1,345	31	154,503	32
	再生資源卸売業	85	30	969	23	28,715	25
	一般機械器具卸売業	321	29	2,629	25	145,507	26
	自動車卸売業	258	24	2,473	26	84,865	28
	電気機械器具卸売業	226	22	1,877	24	156,184	24
	その他の機械器具卸売業	125	26	1,273	22	76,990	21
	家具・建具・じゅう器等卸売業	156	28	939	31	38,768	24
	医薬品・化粧品等卸売業	254	18	2,999	16	204,201	21
	他に分類されない卸売業	448	26	3,441	25	162,284	27
小売業計	18,806	22	121,206	21	1,752,693	23	
業種別	各種商品小売業	108	14	10,387	16	198,632	13
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,294	23	9,578	22	118,860	23
	飲食物品小売業	7,029	19	48,018	20	530,470	24
	自動車・自転車小売業	1,413	24	7,794	24	184,395	26
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,656	21	8,063	18	153,806	22
	その他の小売業	6,306	23	37,366	23	566,531	23
	医薬品・化粧品小売業	1,247	23	6,502	22	103,460	22
	農耕用品小売業	355	18	1,605	19	43,376	12
	燃料小売業	1,272	21	7,040	22	206,520	24
	書籍・文房具小売業	636	25	10,089	18	51,474	22
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	407	24	2,046	23	29,015	23
	写真機・写真材料小売業	35	32	99	39	623	46
	時計・眼鏡・光学機械小売業	308	20	1,125	20	14,031	19
	他に分類されない小売業	2,046	23	8,860	23	118,031	23

2. 市町村別の状況

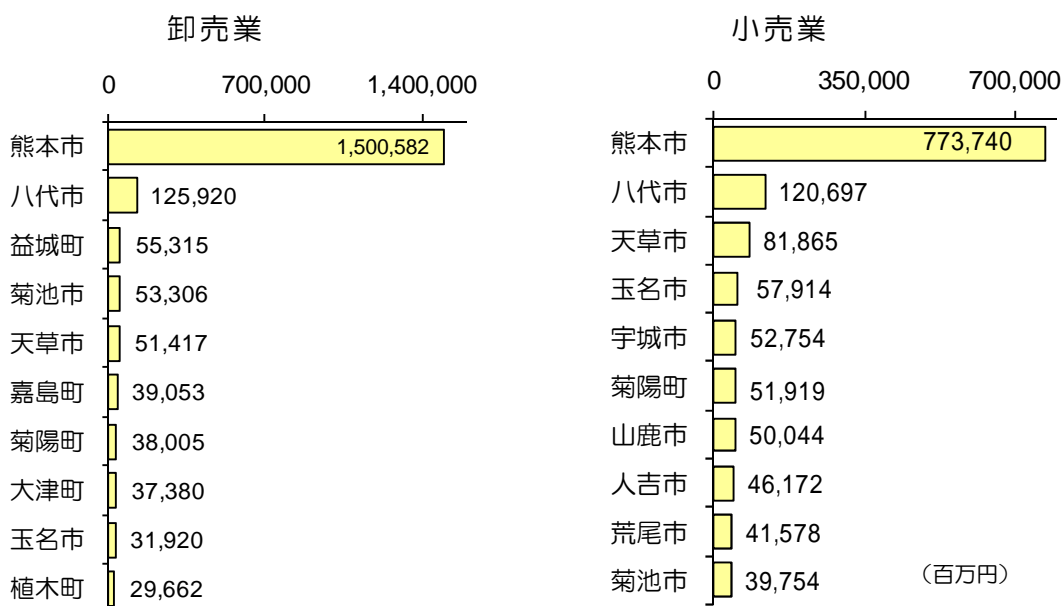
熊本県の事業所数をみると、卸売事業所の50.7%、小売商店の31.5%を熊本市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の68.3%、小売業の44.1%を熊本市が占めており、熊本市の卸売販売額は1兆円を超えています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

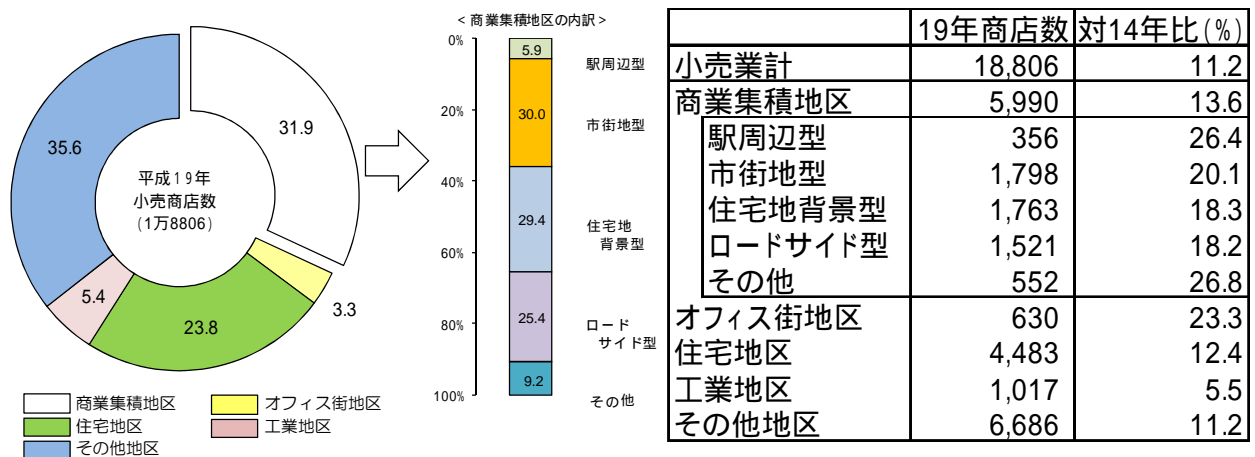


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

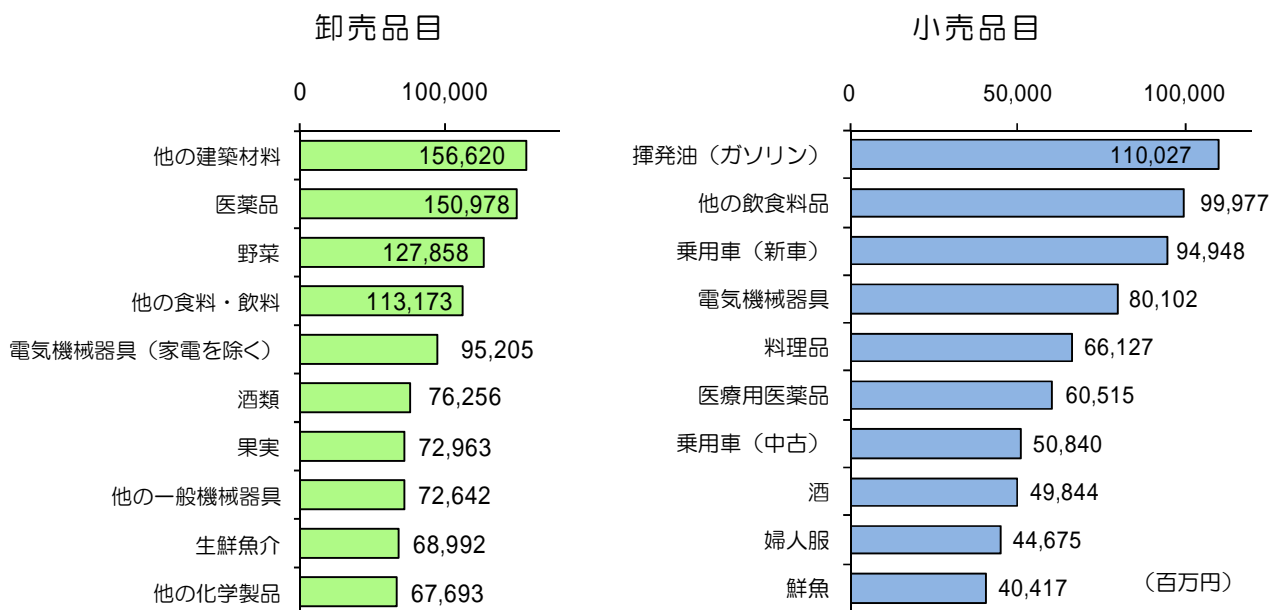
小売商店の立地をみると、その他地区の割合が35.6%と最も高く、次いで、商業集積地区が31.9%となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型が25~30%近くとなっており、立地に分散がみられます。なお、ロードサイド型は、大型ショッピングセンターが開業したことから他県と比べて商店数が増加し、割合も高くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「野菜」、「果実」、「生鮮魚介」などの生鮮品が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



大分県

- 大分県の年間商品販売額では卸売業の7割、
小売業の5割弱が大分市に集中 -

大分県の事業所数をみると、卸売事業所の48.3%、小売商店の29.7%が大分市に集中しています。年間商品販売額をみると卸売業の73.6%、小売業の44.0%が大分市に集中しています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型が最も高く、次いで、住宅地背景型となっています。

卸売品目をみると、電気機械器具関連、「鉄スクラップ」などが上位にみられます。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

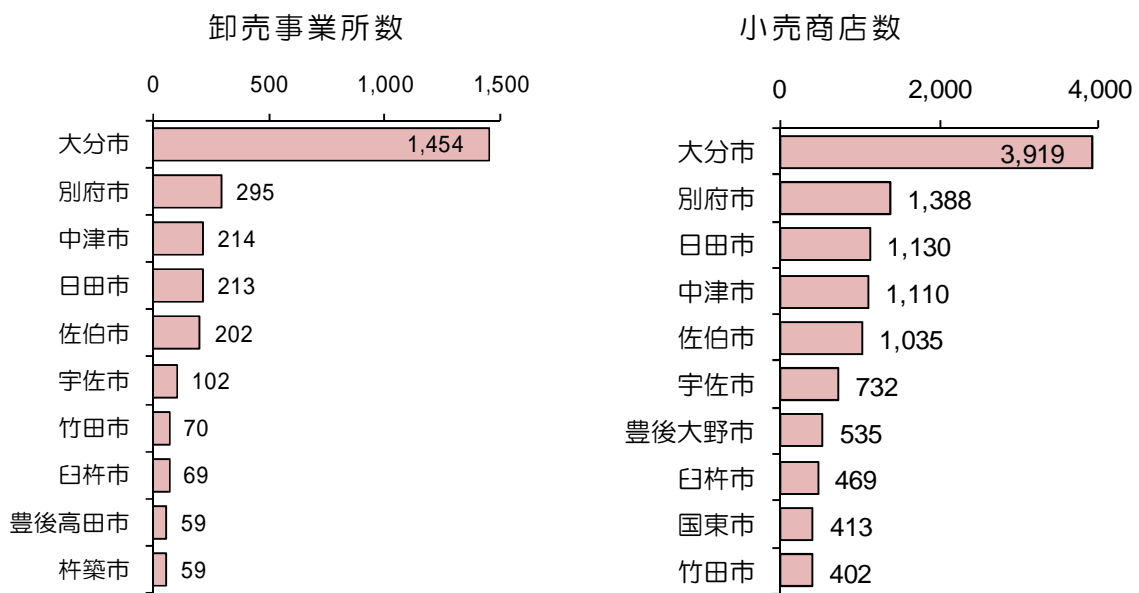
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
大分県計	16,218	34	108,406	32	2,557,027	36	
業種別	卸売業計	3,010	34	24,386	35	1,347,606	36
	各種商品卸売業	11	35	68	41	1,992	42
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	15	34	73	32	1,384	35
	衣服・身の回り品卸売業	81	35	427	41	8,614	43
	農畜産物・水産物卸売業	434	32	4,106	34	223,104	37
	食料・飲料卸売業	472	33	4,374	33	180,203	36
	建築材料卸売業	372	36	2,704	37	197,208	28
	化学製品卸売業	103	34	719	36	35,807	39
	鉱物・金属材料卸売業	146	30	1,185	36	137,276	37
	再生資源卸売業	69	38	556	37	43,919	20
	一般機械器具卸売業	262	33	1,760	36	84,435	35
	自動車卸売業	158	36	1,213	39	40,720	41
	電気機械器具卸売業	157	32	1,421	34	111,126	29
	その他の機械器具卸売業	105	30	1,055	26	41,191	34
	家具・建具・じゅう器等卸売業	113	36	569	40	14,349	43
	医薬品・化粧品等卸売業	179	34	1,716	33	117,734	35
	他に分類されない卸売業	333	35	2,440	34	108,544	37
	小売業計	13,208	32	84,020	31	1,209,421	34
	各種商品小売業	88	22	9,625	19	158,163	25
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,453	39	5,565	38	71,654	36
	飲食料品小売業	4,901	33	32,830	32	376,898	34
	自動車・自転車小売業	930	35	5,668	35	150,196	32
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,133	37	5,381	30	90,439	34
	その他の小売業	4,703	32	24,951	33	362,072	37
	医薬品・化粧品小売業	955	32	4,321	34	69,390	36
	農耕用品小売業	209	29	921	27	22,742	26
	燃料小売業	878	31	4,824	33	141,405	37
書籍・文房具小売業	579	29	6,420	32	32,772	36	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	310	32	1,632	28	23,103	30	
写真機・写真材料小売業	41	29	166	24	1,978	23	
時計・眼鏡・光学機械小売業	227	32	737	32	8,053	31	
他に分類されない小売業	1,504	33	5,930	36	62,629	39	

2. 市町村別の状況

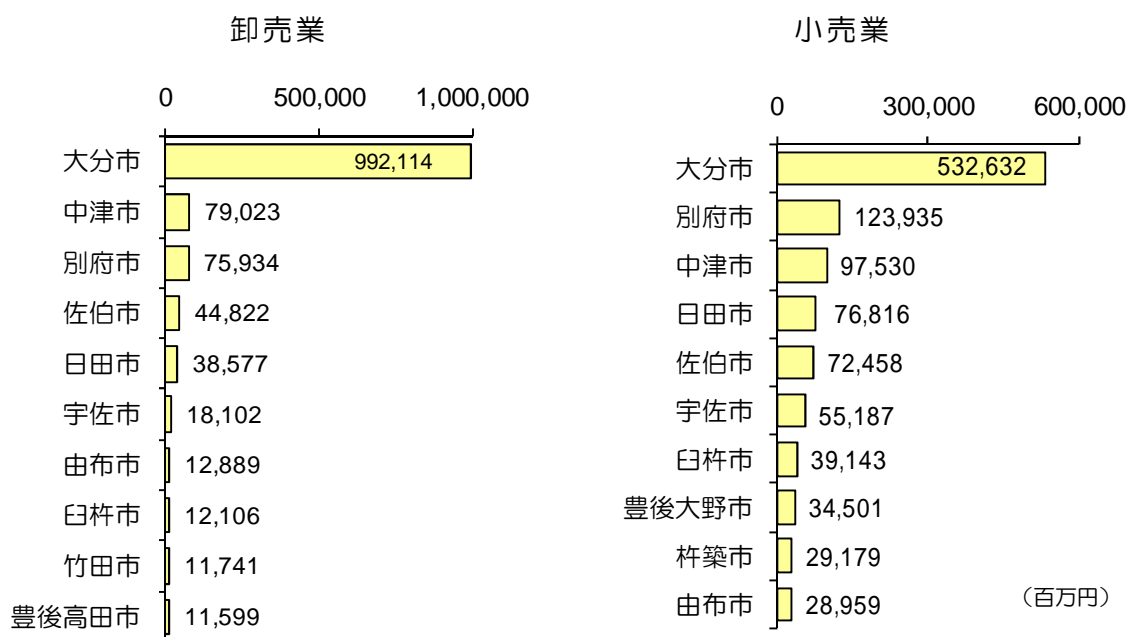
大分県の事業所数をみると、卸売事業所の48.3%、小売商店の29.7%が大分市となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の73.6%、小売業の44.0%を大分市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

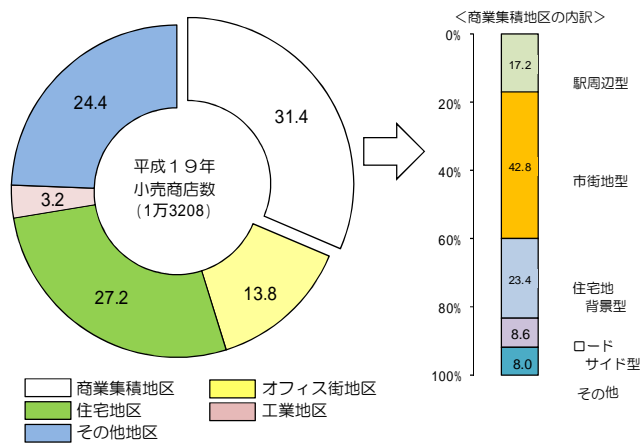


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が31.4%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型が42.8%と最も高く、次いで、住宅地背景型が高くなっています。

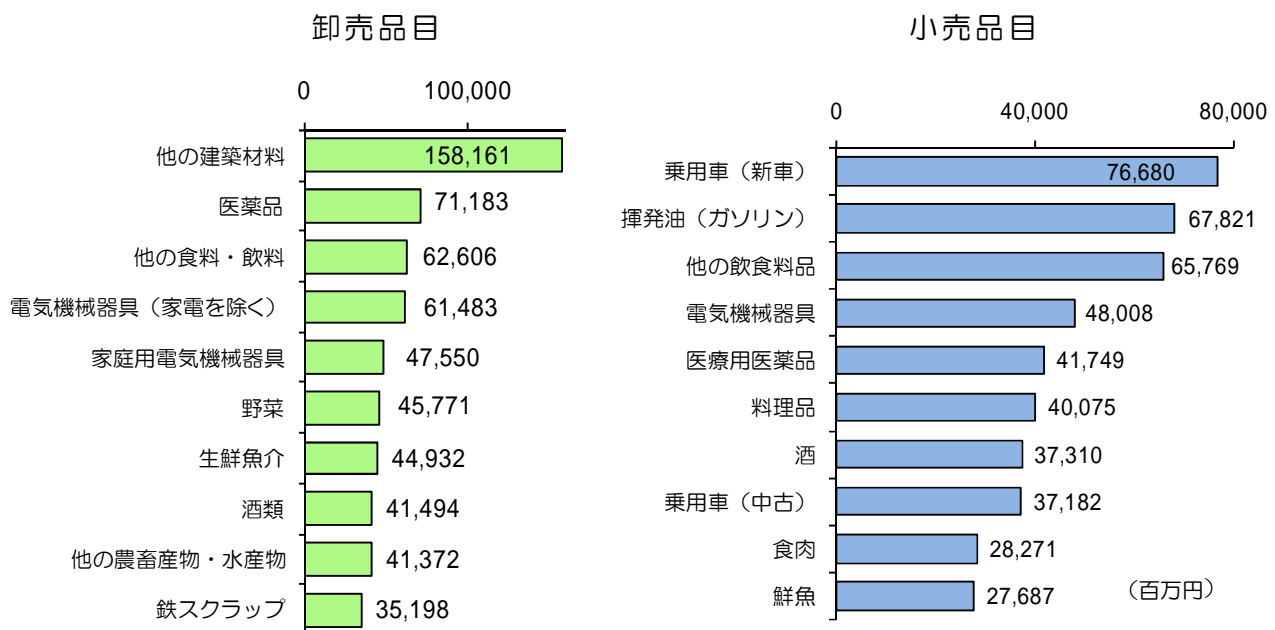


	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	13,208	14.4
商業集積地区	4,143	18.6
駅周辺型	713	23.5
市街地型	1,773	19.1
住宅地背景型	970	19.4
ロードサイド型	357	1.9
その他	330	17.1
オフィス街地区	1,817	2.6
住宅地区	3,599	14.9
工業地区	428	6.3
その他地区	3,221	15.1

4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間販売額をみると、卸売品目では電気機械器具関連、「鉄スクラップ」などが上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



宮崎県

- 宮崎県の年間商品販売額は卸売業の6割強、
小売業の4割弱を宮崎市が占める -

事業所数をみると、卸売事業所の40.0%、小売商店の30.0%を宮崎市が占め、次いで、卸売事業所、小売商店ともに都城市、延岡市、日向市の順となっています。年間商品販売額をみると卸売業の63.7%、小売業の38.0%を宮崎市が占めています。

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が32.1%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、「野菜」、「食肉」、「生鮮魚介」、「他の農畜産物・水産物」など農畜水産物や飲食料関連が上位に多く入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

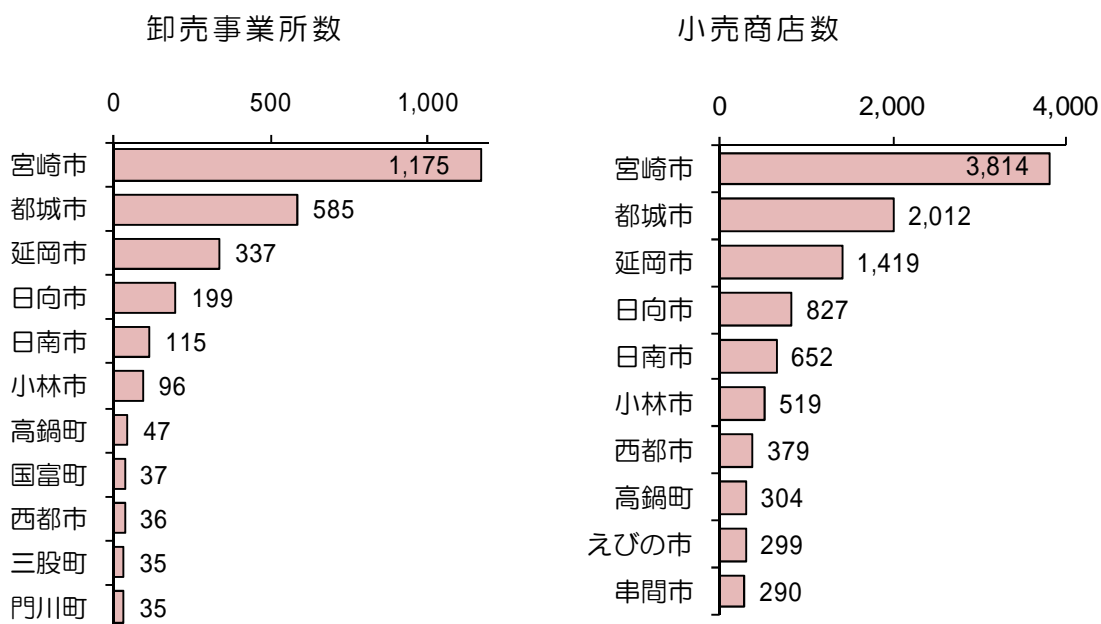
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
宮崎県計	15,674	35	98,690	36	2,586,434	35	
卸売業計	2,940	36	24,204	36	1,439,112	35	
業 種 別	各種商品卸売業	18	23	167	24	8,048	25
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	45	38	1,038	38
	衣服・身の回り品卸売業	72	39	377	42	9,277	41
	農畜産物・水産物卸売業	439	31	5,030	27	469,085	20
	食料・飲料卸売業	477	32	4,496	32	198,668	34
	建築材料卸売業	390	34	2,759	36	135,217	36
	化学製品卸売業	105	32	743	34	40,759	36
	鉱物・金属材料卸売業	89	39	729	43	81,727	41
	再生資源卸売業	72	36	736	27	12,691	35
	一般機械器具卸売業	234	36	1,626	37	66,566	37
	自動車卸売業	166	35	1,307	36	45,359	38
	電気機械器具卸売業	148	35	993	38	62,625	41
	その他の機械器具卸売業	94	34	638	38	30,140	41
	家具・建具・じゅう器等卸売業	91	41	559	41	17,422	39
	医薬品・化粧品等卸売業	204	29	1,735	32	116,191	37
	他に分類されない卸売業	333	35	2,264	37	144,299	30
	小売業計	12,734	35	74,486	37	1,147,321	36
	各種商品小売業	93	19	4,368	36	89,103	34
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,437	40	5,998	35	81,973	33
	飲食品小売業	4,538	34	30,203	35	358,715	38
自動車・自転車小売業	1,005	32	5,662	36	139,418	36	
家具・じゅう器・機械器具小売業	1,170	35	5,331	32	95,188	32	
その他の小売業	4,491	34	22,924	38	382,925	35	
医薬品・化粧品小売業	955	32	4,195	35	63,961	38	
農耕用品小売業	271	23	1,369	23	42,265	15	
燃料小売業	849	32	4,561	34	153,794	35	
書籍・文房具小売業	493	34	5,077	38	29,160	40	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	342	31	1,312	38	19,090	37	
写真機・写真材料小売業	33	36	133	35	1,318	32	
時計・眼鏡・光学機械小売業	229	31	751	31	6,730	36	
他に分類されない小売業	1,319	39	5,526	40	66,607	36	

2. 市町村別の状況

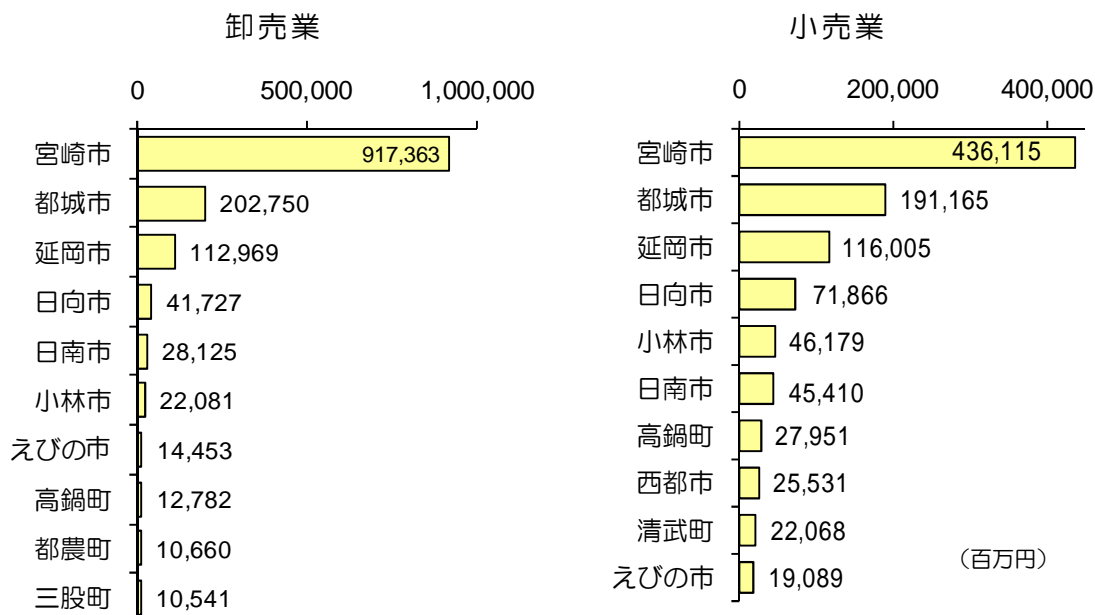
宮崎県の事業所数をみると、卸売事業所の40.0%、小売商店の30.0%を宮崎市が占め、次いで、卸売事業所、小売商店ともに都城市、延岡市、日向市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の63.7%、小売業の38.0%を宮崎市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

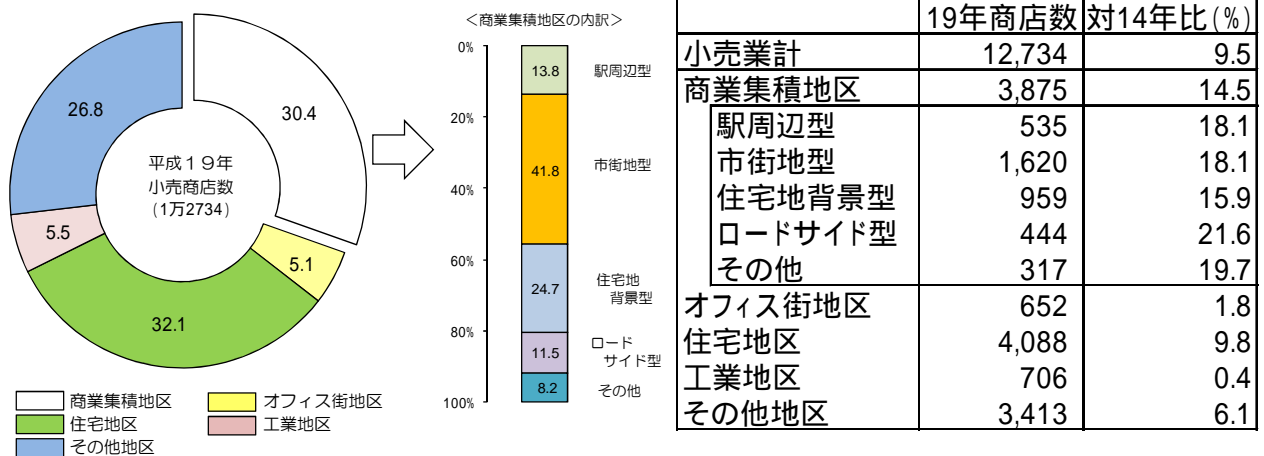


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

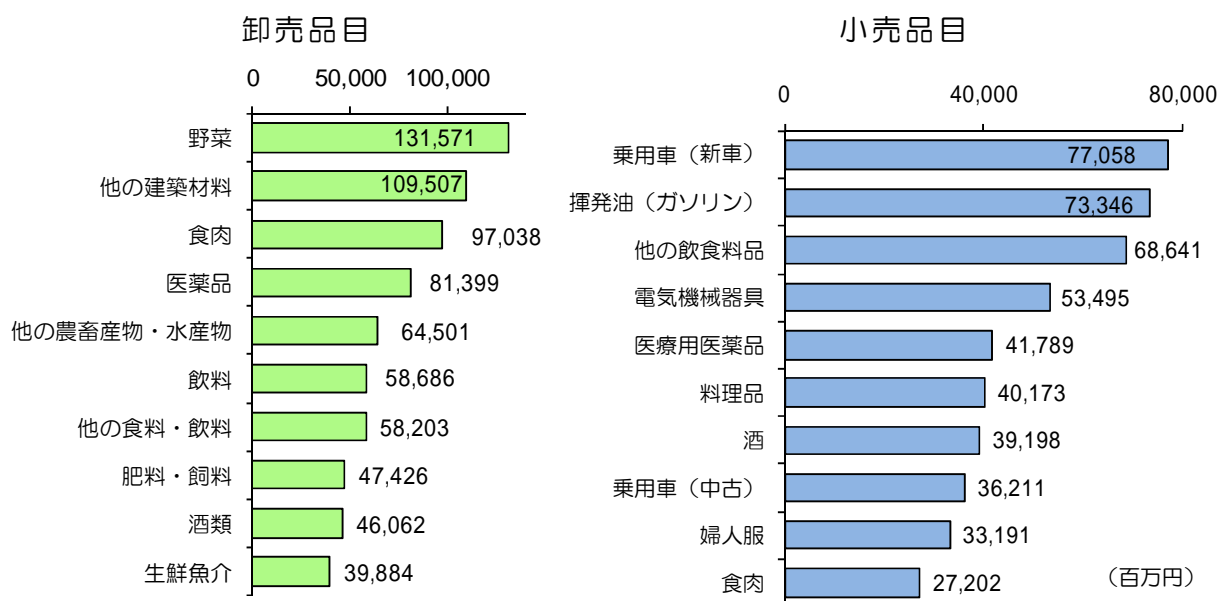
小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が32.1%と最も高くなっています。
また、商業集積地区の内訳では市街地型の割合が41.8%と最も高くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「野菜」、「食肉」、「生鮮魚介」、「他の農畜産物・水産物」など農畜水産物や飲食料関連が上位にみられます。

【販売上位10品目】(平成19年)



鹿児島県

- 鹿児島県の年間商品販売額は卸売業の8割弱、
小売業の4割弱を鹿児島市が占める -

事業所数をみると、卸売事業所の54.7%、小売商店の29.2%を鹿児島市が占めています。年間商品販売額をみると卸売業の79.0%、小売業の39.0%が鹿児島市に集中しています。

商店の立地をみると、その他地区の割合が最も高く、次いで商業集積地区の順となっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型、住宅地背景型の割合が高く、駅周辺型、ロードサイド型の割合は10%以下と低くなっています。

卸売品目の年間商品販売をみると、「食肉」、「他の食料・飲料」、「他の農畜産物・水産物」、「肥料・飼料」、「野菜」、「酒類」、「生鮮魚介」など農畜水産、飲食料関係が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

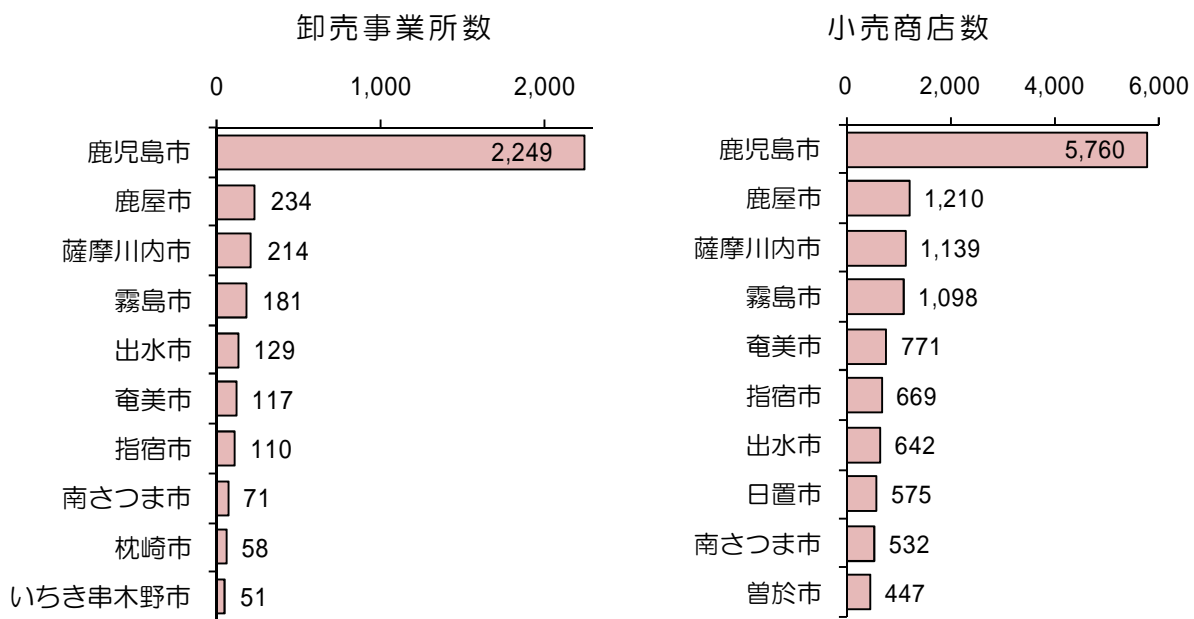
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
鹿児島県計	23,858	21	145,886	24	4,026,665	23	
業種別	卸売業計	4,110	25	35,438	24	2,420,157	24
	各種商品卸売業	20	18	210	21	8,666	24
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	28	27	173	24	4,216	28
	衣服・身の回り品卸売業	70	42	651	32	18,033	32
	農畜産物・水産物卸売業	694	18	6,568	21	708,825	12
	食料・飲料卸売業	594	22	6,312	16	416,569	20
	建築材料卸売業	530	24	3,914	23	229,083	23
	化学製品卸売業	145	26	1,025	27	62,952	30
	鉱物・金属材料卸売業	169	28	1,366	29	158,441	31
	再生資源卸売業	76	33	634	31	15,548	32
	一般機械器具卸売業	344	26	2,543	28	110,572	32
	自動車卸売業	298	20	2,565	24	95,616	27
	電気機械器具卸売業	208	25	1,834	25	125,993	27
	その他の機械器具卸売業	132	24	997	28	51,280	29
	家具・建具・じゅう器等卸売業	103	37	727	36	25,309	34
	医薬品・化粧品等卸売業	240	20	2,292	23	171,194	26
	他に分類されない卸売業	459	25	3,627	24	217,859	25
	小売業計	19,748	19	110,448	24	1,606,508	24
	各種商品小売業	123	12	8,524	22	184,830	17
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,947	28	7,091	26	89,995	28
	飲食料品小売業	7,848	16	47,142	22	556,705	22
	自動車・自転車小売業	1,555	22	7,623	25	156,363	29
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,722	20	6,796	26	118,372	26
	その他の小売業	6,553	22	33,272	24	500,243	26
	医薬品・化粧品小売業	1,392	19	6,616	20	102,496	23
	農耕用品小売業	470	7	1,900	8	54,262	6
	燃料小売業	1,344	16	6,781	23	200,578	25
書籍・文房具小売業	767	19	8,820	21	45,245	25	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	427	22	1,863	25	23,464	28	
写真機・写真材料小売業	19	43	71	44	833	42	
時計・眼鏡・光学機械小売業	324	19	1,029	22	10,006	24	
他に分類されない小売業	1,810	26	6,192	30	63,358	38	

2. 市町村別の状況

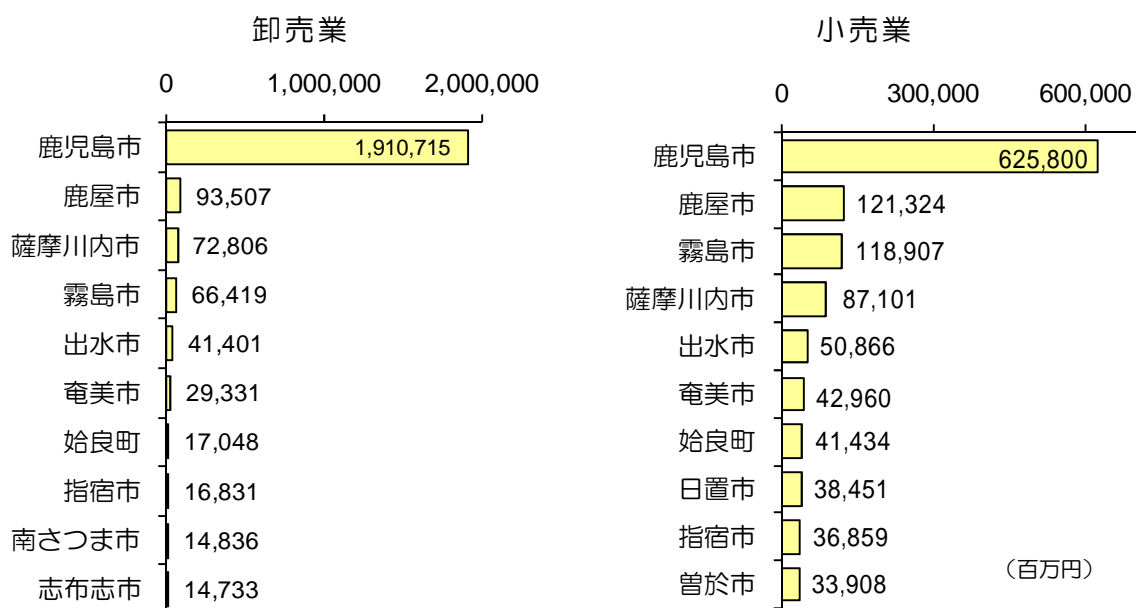
鹿児島県の事業所数をみると、卸売事業所の54.7%、小売商店の29.2%を鹿児島市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の79.0%、小売業の39.0%が鹿児島市に集中しています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

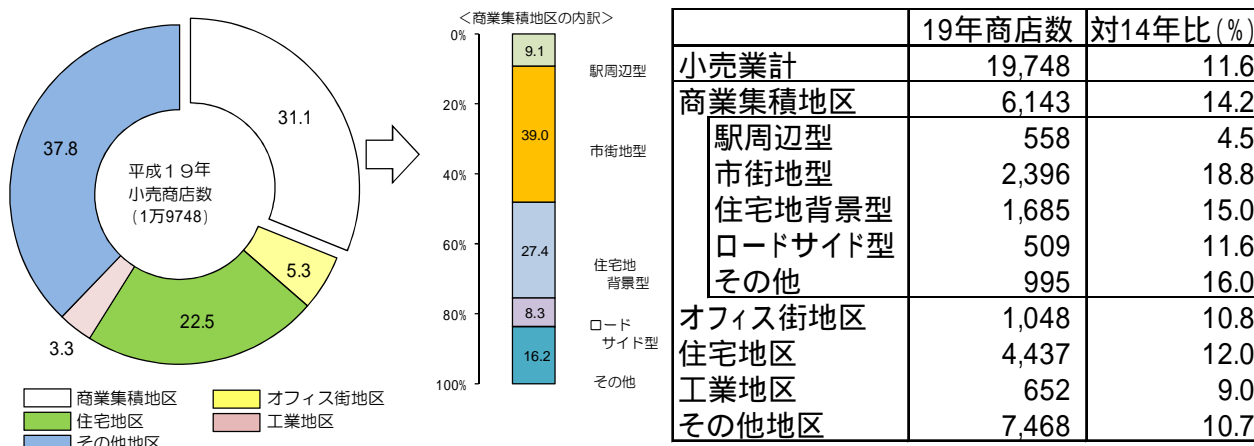


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

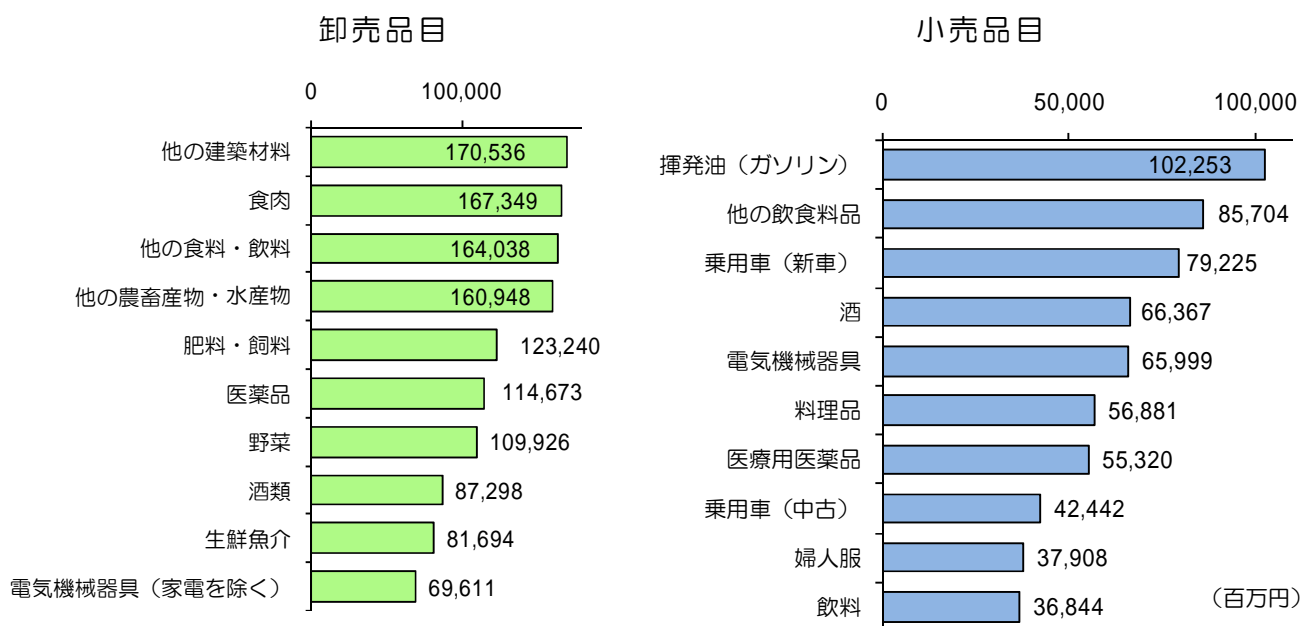
小売商店の立地をみると、その他地区に次いで、商業集積地区の割合が31.1%と高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型の割合は高くなっていますが、駅周辺型やロードサイド型の割合は10%以下で低くなっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「食肉」、「他の食料・飲料」、「他の農畜産物・水産物」、「肥料・飼料」、「野菜」、「酒類」、「生鮮魚介」など農畜水産、飲食料関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)



沖縄県

- 沖縄県の小売商店は住宅地区への立地割合が最も高い -

沖縄県の事業所数をみると、卸売事業所の34.2%、小売商店の27.1%を那覇市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の41.1%、小売業の27.6%を那覇市が占め、また、卸売業では那覇市と浦添市をあわせると沖縄県の72.4%を占めています。

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が36.1%と最も高く、次いで、商業集積地区の割合が32.1%となっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型と住宅地背景型がそれぞれ50%近くを占めています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

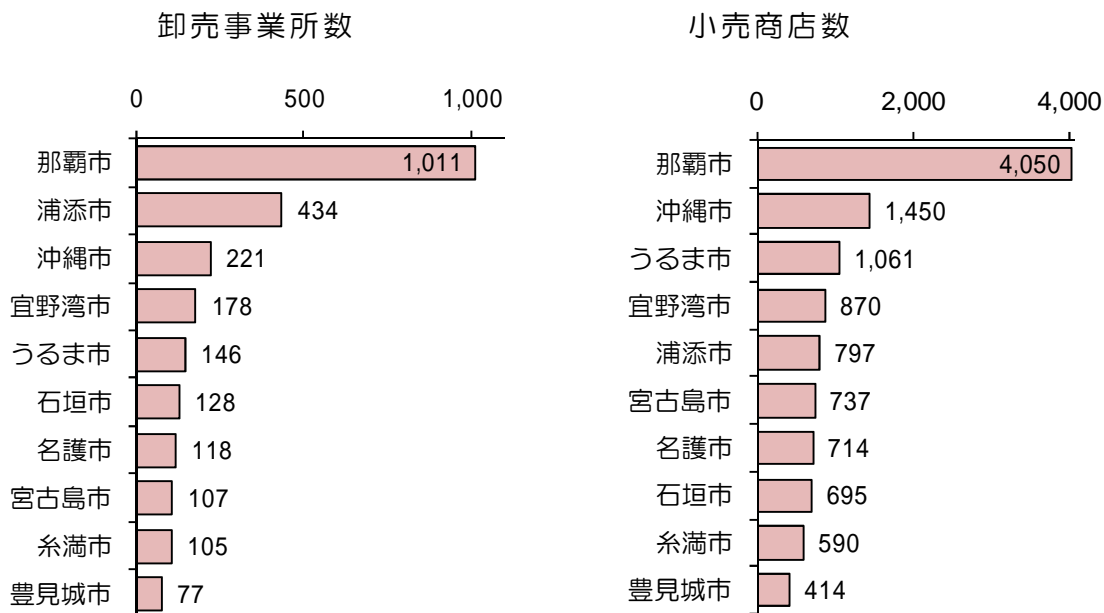
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
沖縄県計	17,926	29	110,621	31	2,605,252	34	
卸売業計	2,956	35	28,355	32	1,497,409	33	
業種別	各種商品卸売業	5	45	35	45	1,640	44
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	19	30	76	31	1,484	33
	衣服・身の回り品卸売業	115	27	549	35	9,097	42
	農畜産物・水産物卸売業	401	33	4,630	31	171,664	41
	食料・飲料卸売業	539	26	5,739	21	350,339	25
	建築材料卸売業	342	38	2,763	35	134,630	37
	化学製品卸売業	65	41	565	41	19,758	44
	鉱物・金属材料卸売業	106	36	1,544	28	224,858	26
	再生資源卸売業	73	35	839	25	18,471	30
	一般機械器具卸売業	199	39	1,832	35	65,431	38
	自動車卸売業	143	38	1,225	38	38,934	42
	電気機械器具卸売業	204	26	1,966	23	113,940	28
	その他の機械器具卸売業	83	38	851	34	30,937	39
	家具・建具・じゅう器等卸売業	102	39	760	34	18,691	38
	医薬品・化粧品等卸売業	152	38	1,923	29	115,471	38
	他に分類されない卸売業	408	29	3,058	29	182,064	26
	小売業計	14,970	29	82,266	33	1,107,843	38
	各種商品小売業	41	39	3,070	42	52,662	44
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,061	24	6,558	33	62,895	39
	飲食料品小売業	5,767	25	37,794	27	440,964	26
	自動車・自転車小売業	939	34	4,721	40	102,739	42
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,221	31	5,341	31	82,489	37
	その他の小売業	4,941	30	24,782	34	366,094	36
医薬品・化粧品小売業	997	31	3,922	37	56,888	40	
農耕用品小売業	79	47	407	46	12,483	40	
燃料小売業	607	39	4,882	32	152,548	36	
書籍・文房具小売業	1,164	13	6,066	35	30,524	38	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	402	25	1,632	28	18,238	38	
写真機・写真材料小売業	13	45	58	46	601	47	
時計・眼鏡・光学機械小売業	181	40	638	37	5,697	41	
他に分類されない小売業	1,498	34	7,177	24	89,115	25	

2. 市町村別の状況

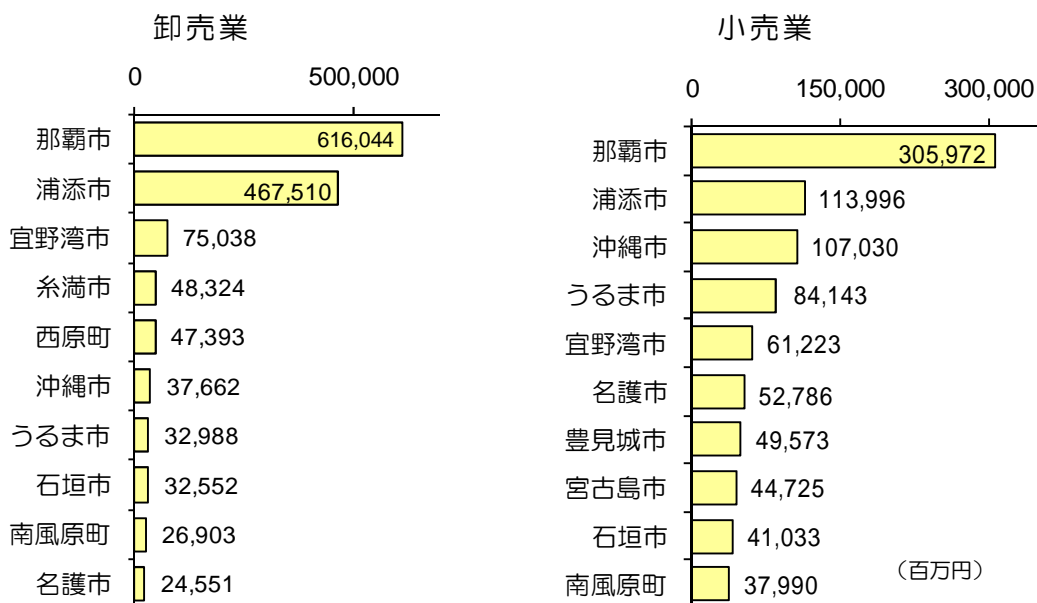
沖縄県の事業所数をみると、卸売事業所の34.2%、小売商店の27.1%を那覇市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業の41.1%、小売業の27.6%を那覇市が占め、また、卸売業では那覇市と浦添市で72.4%を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

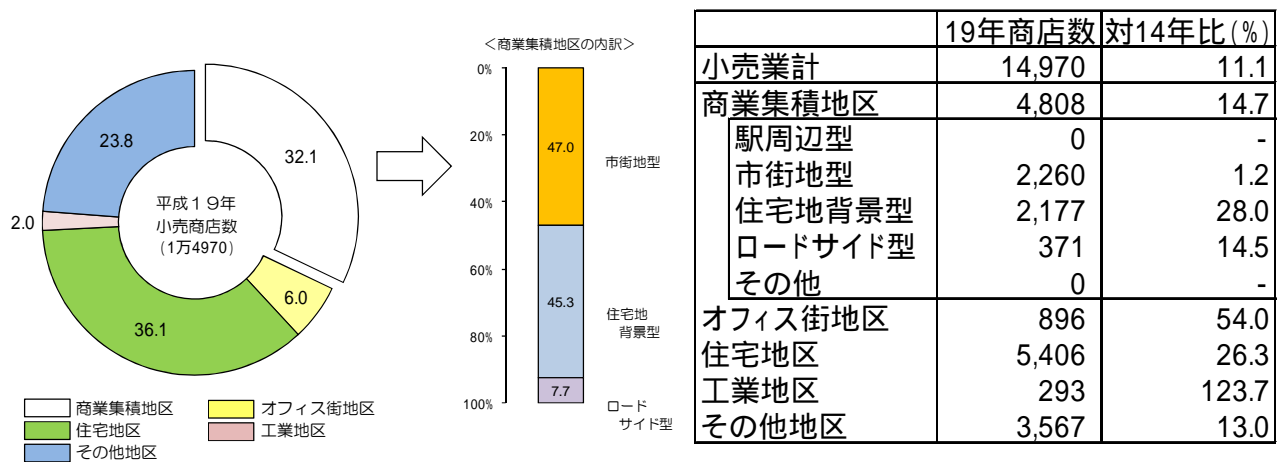


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が36.1%と最も高く、次いで、商業集積地区の割合が32.1%となっています。商業集積地区の内訳をみると、市街地型と住宅地背景型が45%を超える高い割合になっています。また、アウトレットモールが開業したことなどからロードサイド型の商店数も増加しています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「揮発油(ガソリン)」、「酒類」、「たばこ」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

